

道路メンテナンス年報

国土交通省 道路局

2023年8月

目次

1. 道路メンテナンス年報について	1
(1) 概要	1
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	1
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果	2
(1) 2巡目（2019～22年度）の点検結果	2
(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況	14
(3) 過年度の点検（2014～22年度）の実施施設の判定区分毎の施設数と割合	17
(4) 過年度の点検（2014～22年度）の点検結果	20
3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況	32
(1) 1巡目点検（2014～18年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	32
(2) 2巡目点検（2019～22年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	35
(3) 過年度の点検（2014～22年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	38
(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況	41
(5) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）	41
(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	42
4. 地方公共団体の修繕等措置状況	43
(1) 1巡目点検（2014～18年度）の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況	43
(2) 2022年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数	44
5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況	45
(1) 概要	45
(2) 2巡目（2022年度）の点検結果（国土交通省、都道府県・政令市）	47
(3) 過年度の点検（2017～2022年度）の点検結果（国土交通省）	49
(4) 過年度の点検（2017～2022年度）の実施箇所における修繕等措置の実施状況（国土交通省）	50
6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況	51
(1) 小規模附属物	51
(2) 土工構造物	55
7. 橋梁・トンネルの現状	59
(1) 橋梁の現状	59
(2) トンネルの現状	68
8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み	77
(1) 道路メンテナンス会議の開催	77
(2) 地域一括発注の状況	77
(3) 直轄診断・修繕代行	78
(4) 研修の実施状況	79

(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数.....	79
(6) 個別施設計画の策定状況（2022年度末時点）	80
(7) 道路メンテナンス事業補助の活用状況.....	83
(8) 点検実施者の保有資格等	84
(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況.....	85
(10) 集約・撤去・機能縮小等の検討状況.....	91
(11) 新技術活用事例及び集約・撤去事例集	92
※巻末資料.....	93
(1) 道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳	93
(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳.....	100
(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト（2014～2022年度）	105
(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数	140

1. 道路メンテナンス年報について

(1) 概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等^{※1}については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する橋梁・トンネル・道路附属物等の
 - ・ 2巡目（2019～2022年度）及び過年度（2014～2022年度）の点検結果^{※2}
 - ・ 1巡目点検（2014～2018年度）、2巡目点検（2019～2022年度）、過年度の点検（2014～2022年度）における修繕等措置状況
 - 国土交通省が管理する道路及び47都道府県と20政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路における舗装の点検結果
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する小規模附属物の2017～2022年度の点検結果、土工構造物の1巡目（2018～2022年度）の点検結果
- 結果の詳細は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html
- また、道路インフラの老朽化対策状況の更なる見える化を図るため、
 - ・ 橋梁・トンネル・道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で閲覧できる「全国道路施設点検データベース（損傷マップ）」を以下に公開しています。
 URL：<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
 - ・ より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」において有料で公開しております。
 URL：<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。
 → 地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。
 → 各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。

※1 道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

※2 複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2巡目(2019~22年度)の点検結果

1) 全道路管理者

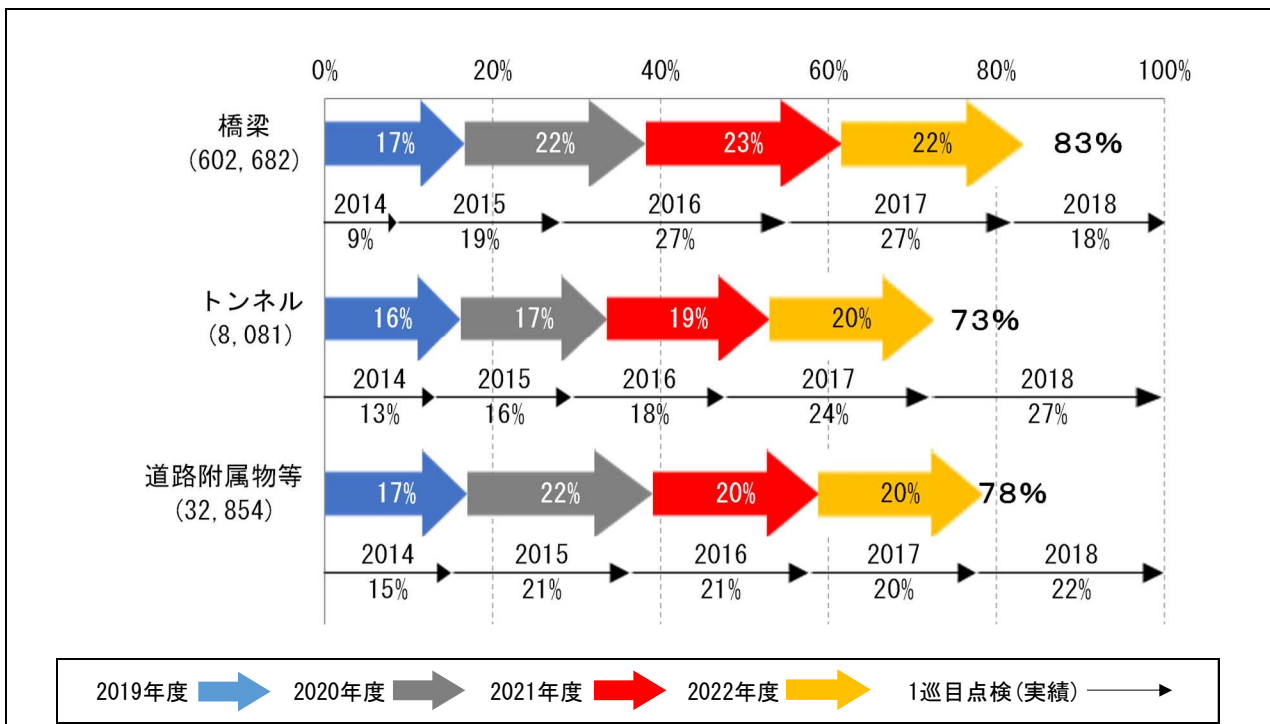
- 2巡目(2019~2022年度)の累積点検実施率は、橋梁 83%、トンネル 73%、道路附属物等 78%と着実に進捗しています。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 41%、Ⅱ 51%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 67%、Ⅲ 30%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 38%、Ⅱ 51%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある(次頁以降も同様)。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2巡目(2019~2022年度)の点検実施率(全道路管理者合計)



※()内は、2019~2022年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

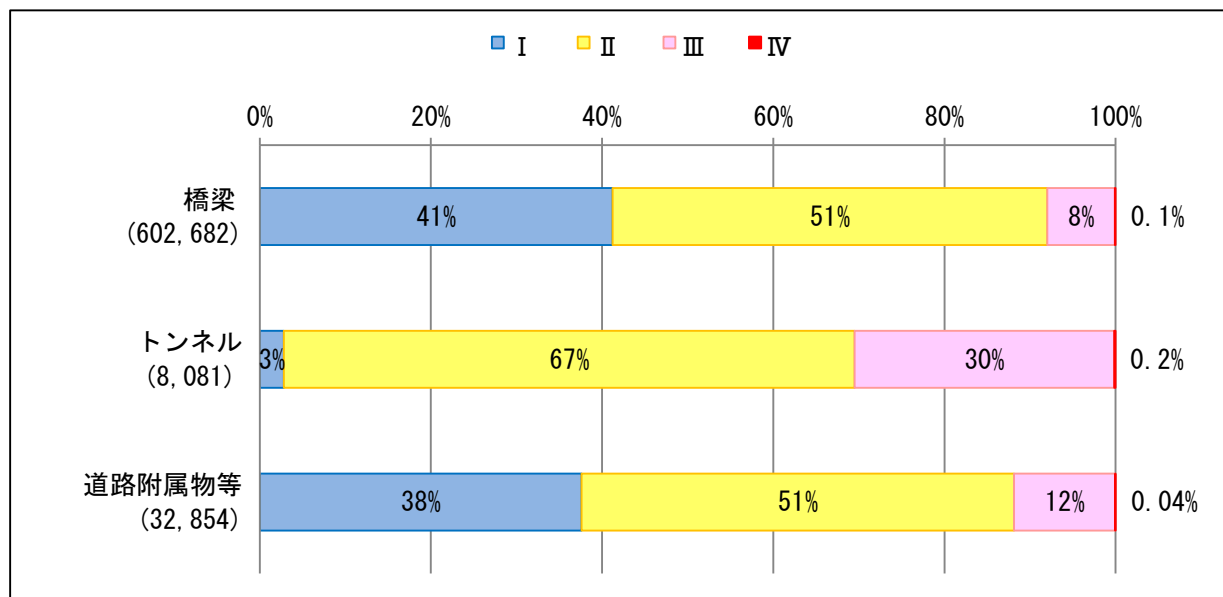
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	729,159	724,272	602,682	83% (82%)
トンネル	11,558	11,138	8,081	73% (72%)
道路附属物等	42,892	41,932	32,854	78% (77%)

2023.3末時点

※1: 2023年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1巡目(2014~2017年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	602,682	248,378	306,302	47,521	481
		41%	51%	8%	0.1%
トンネル	8,081	226	5,391	2,451	13
		3%	67%	30%	0.2%
道路附属物等	32,854	12,349	16,604	3,888	13
		38%	51%	12%	0.04%

2023.3 末時点

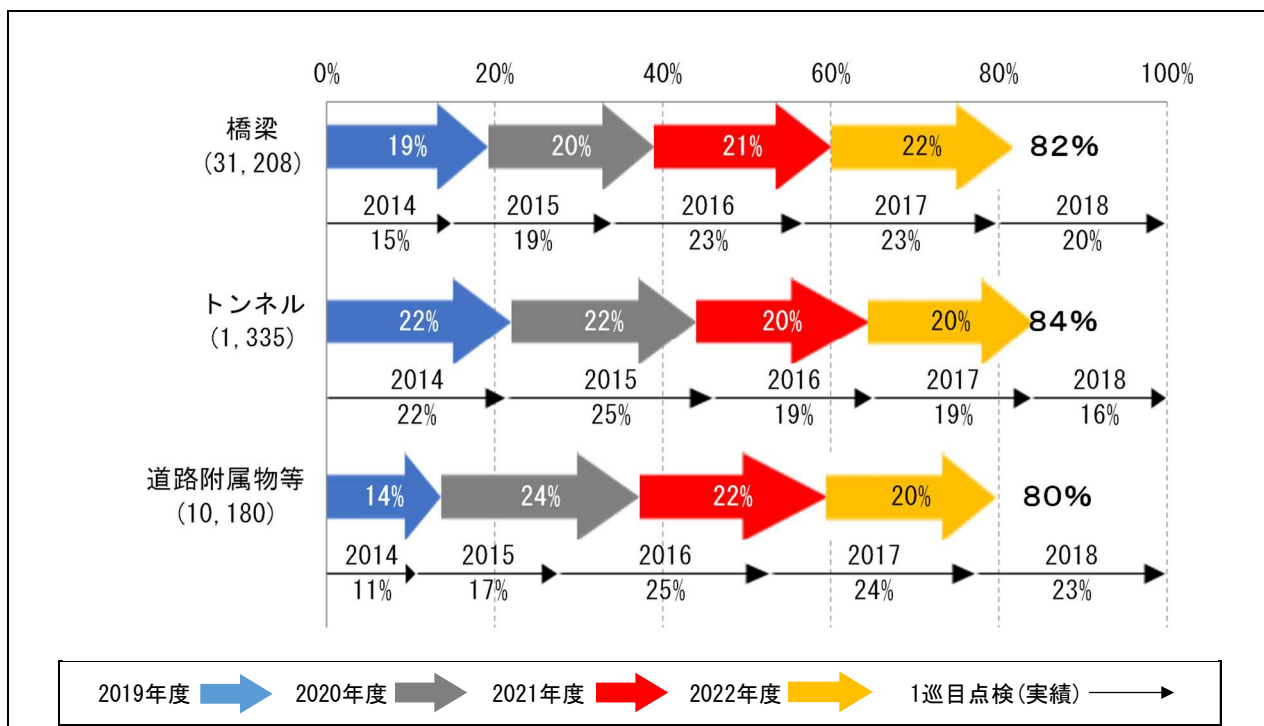
2)国土交通省

- 2 巡目（2019～2022 年度）の累積点検実施率は、橋梁 82%、トンネル 84%、道路附属物等 80%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 57%、Ⅱ 33%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 69%、Ⅲ 27%、道路附属物等：Ⅰ 31%、Ⅱ 53%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2022 年度）の点検実施率(国土交通省)



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

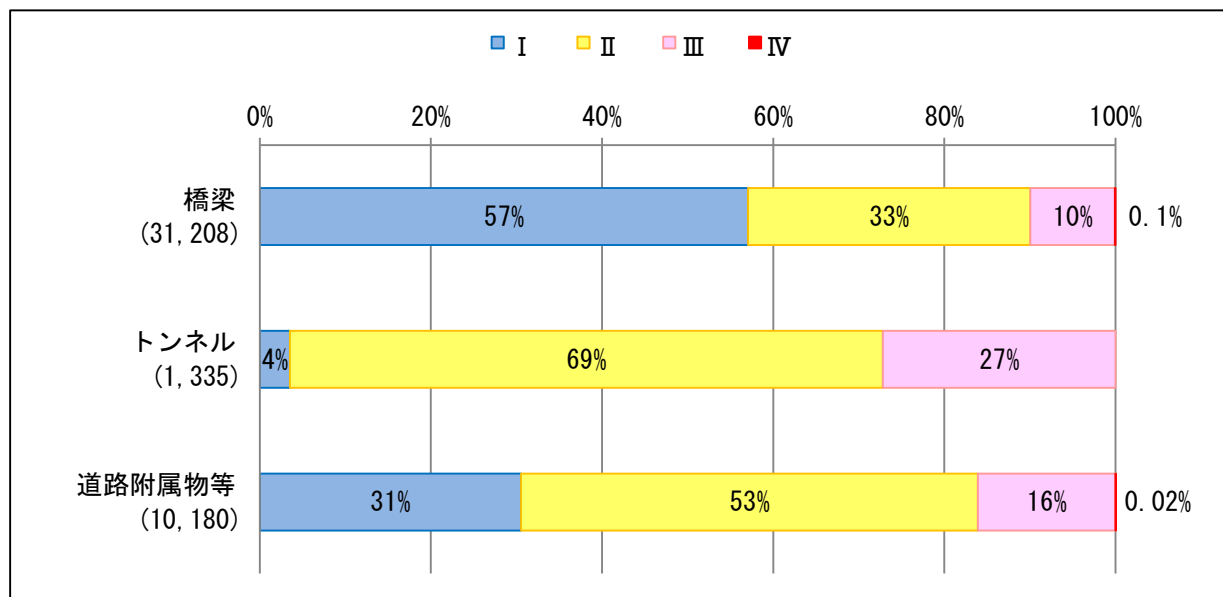
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	39,118	38,212	31,208	82% (80%)
トンネル	1,754	1,588	1,335	84% (84%)
道路附属物等	13,065	12,782	10,180	80% (77%)

2023.3 末時点

※1:2023 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2017 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(国土交通省)



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	31,208	17,805	10,291	3,089	23
		57%	33%	10%	0.1%
トンネル	1,335	47	925	363	0
		4%	69%	27%	0%
道路附属物等	10,180	3,108	5,435	1,635	2
		31%	53%	16%	0.02%

2023.3 末時点

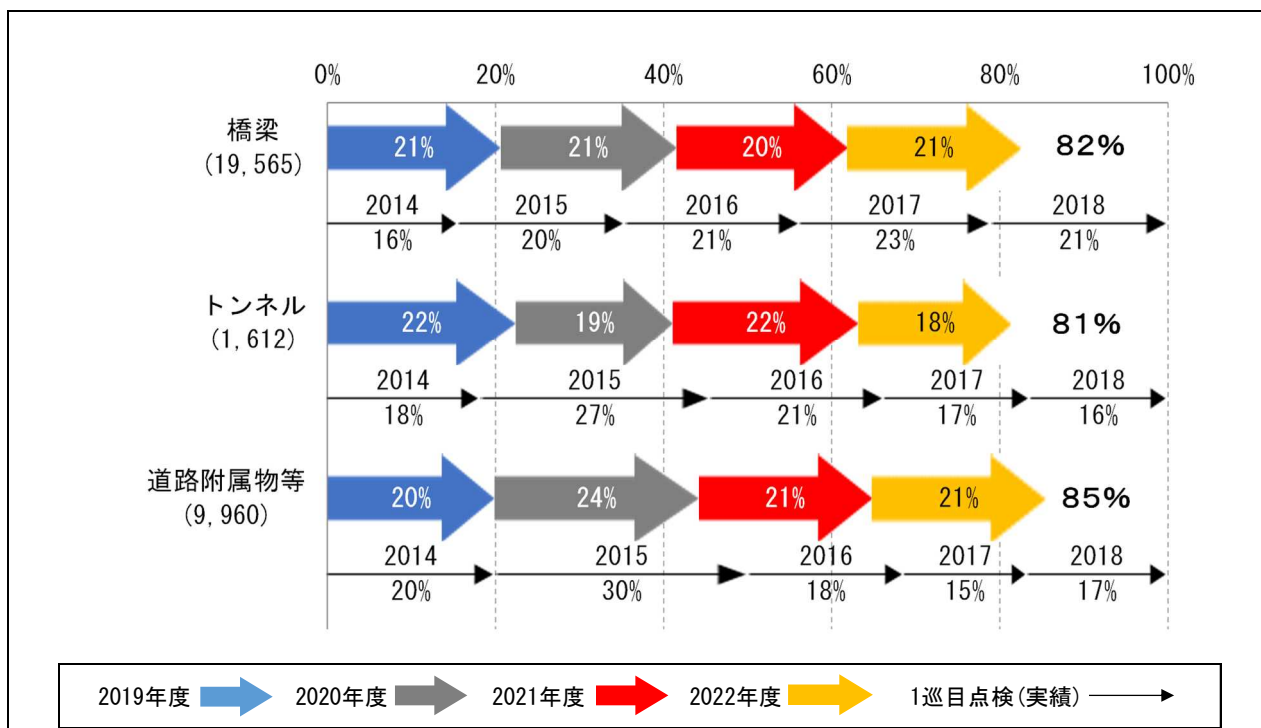
3) 高速道路会社

- 2 巡目（2019～2022 年度）の累積点検実施率は、橋梁 82%、トンネル 81%、道路附属物等 85%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 21%、Ⅱ 68%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 74%、Ⅲ 21%、道路附属物等：Ⅰ 62%、Ⅱ 36%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2022 年度）の点検実施率（高速道路会社）



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

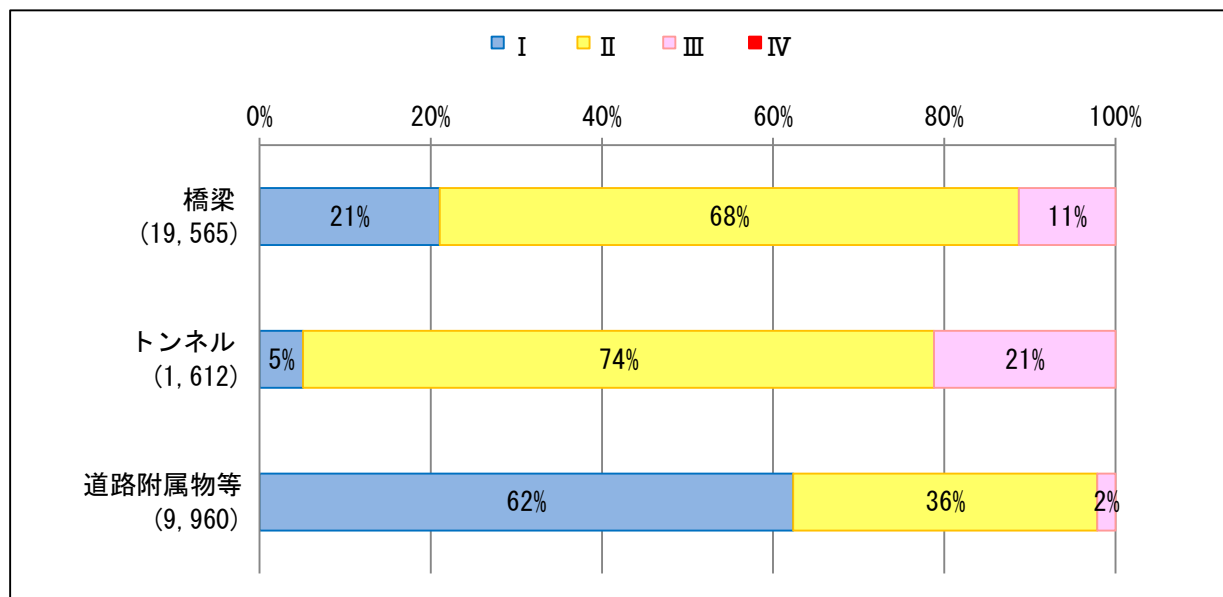
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	24,239	23,720	19,565	82% (79%)
トンネル	2,064	1,981	1,612	81% (84%)
道路附属物等	12,176	11,656	9,960	85% (83%)

2023.3 末時点

※1:2023 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2017 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(高速道路会社)



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	19,565	4,119	13,239	2,207	0
		21%	68%	11%	0%
トンネル	1,612	82	1,188	342	0
		5%	74%	21%	0%
道路附属物等	9,960	6,210	3,539	211	0
		62%	36%	2%	0%

2023.3 末時点

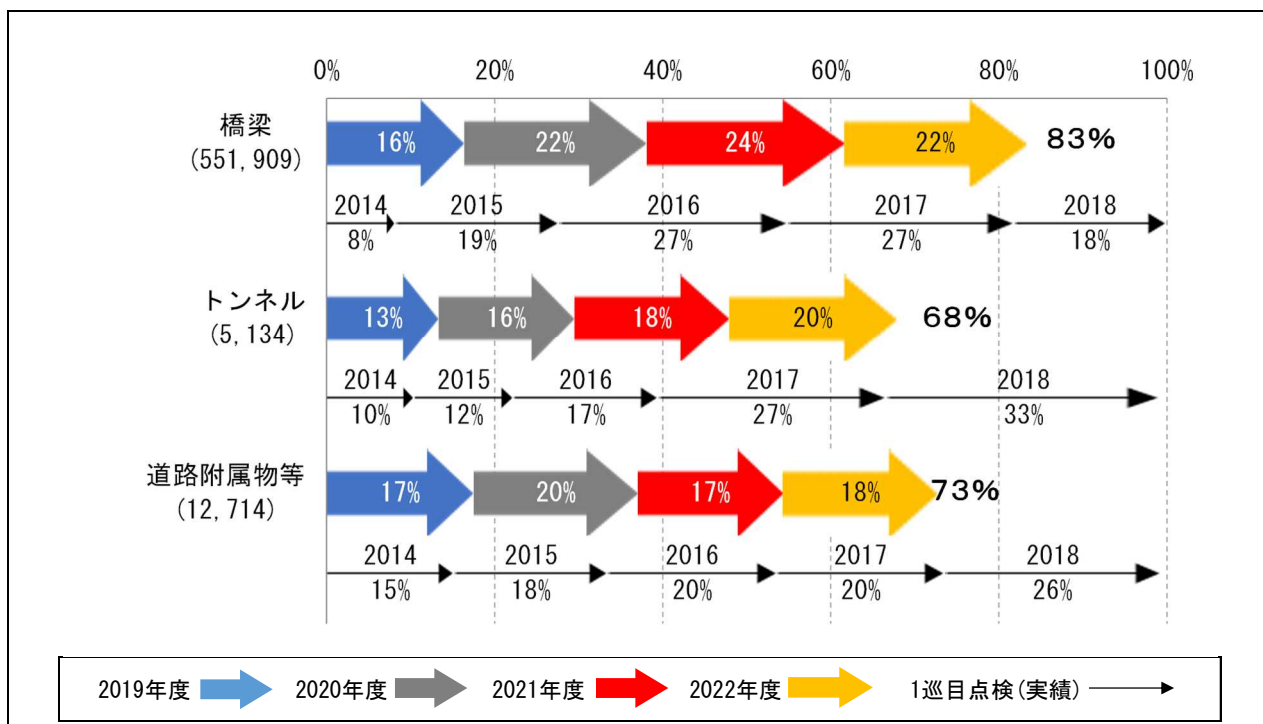
4) 地方公共団体

- 2 巡目（2019～2022 年度）の累積点検実施率は、橋梁 83%、トンネル 68%、道路附属物等 73%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 41%、Ⅱ 51%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 64%、Ⅲ 34%、Ⅳ 0.3%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2022 年度）の点検実施率（地方公共団体）



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

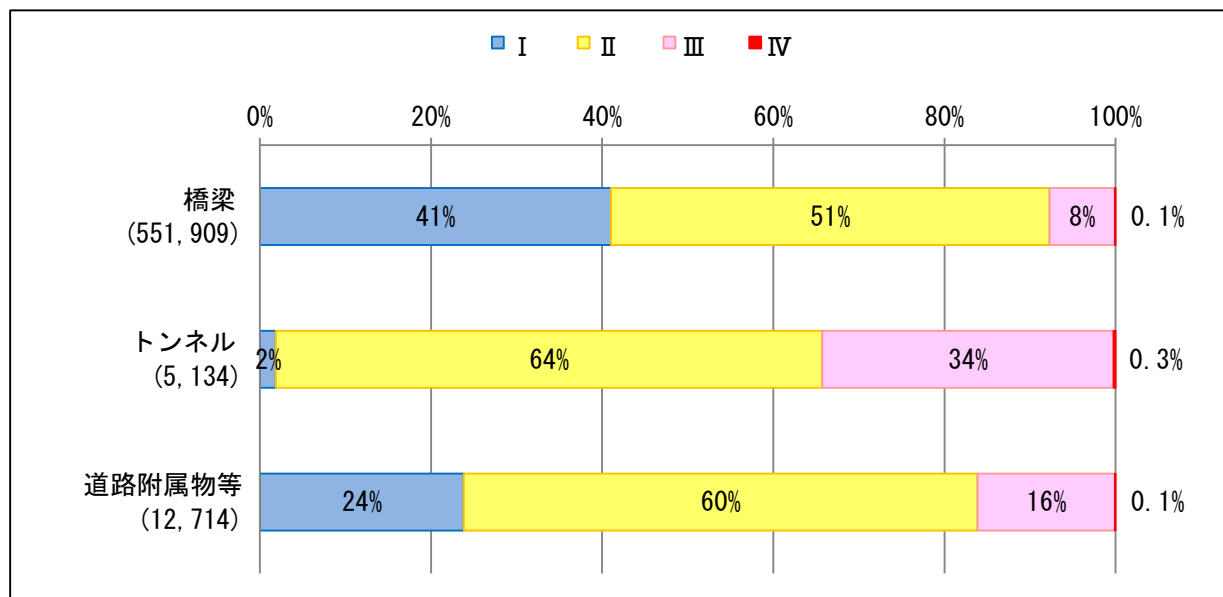
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	665, 802	662, 340	551, 909	83% (82%)
トンネル	7, 740	7, 569	5, 134	68% (67%)
道路附属物等	17, 651	17, 494	12, 714	73% (74%)

2023. 3 末時点

※1:2023 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目（2014～2017 年度）における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(地方公共団体)



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	551,909	226,454	282,772	42,225	458
		41%	51%	8%	0.1%
トンネル	5,134	97	3,278	1,746	13
		2%	64%	34%	0.3%
道路附属物等	12,714	3,031	7,630	2,042	11
		24%	60%	16%	0.1%

2023.3 末時点

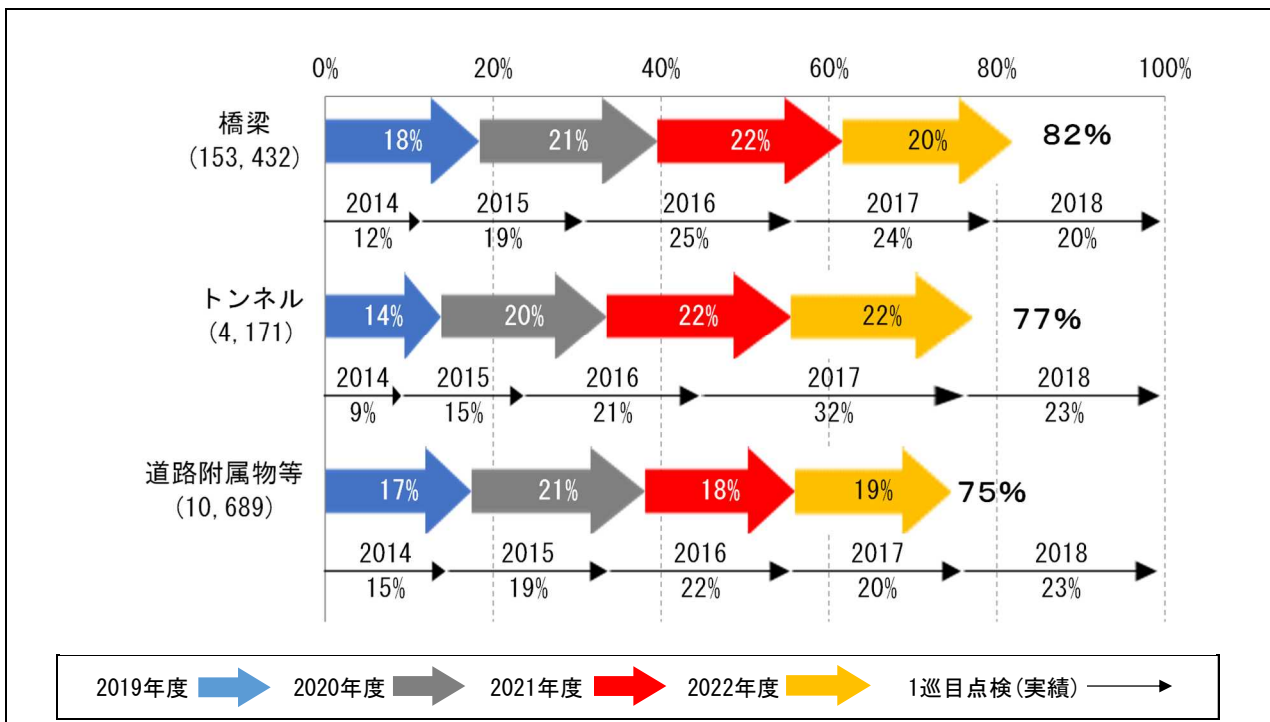
5) 都道府県・政令市等

- 2 巡目（2019～2022 年度）の累積点検実施率は、橋梁 82%、トンネル 77%、道路附属物等 75%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 1%、Ⅱ 64%、Ⅲ 35%、Ⅳ 0.05%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2022 年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

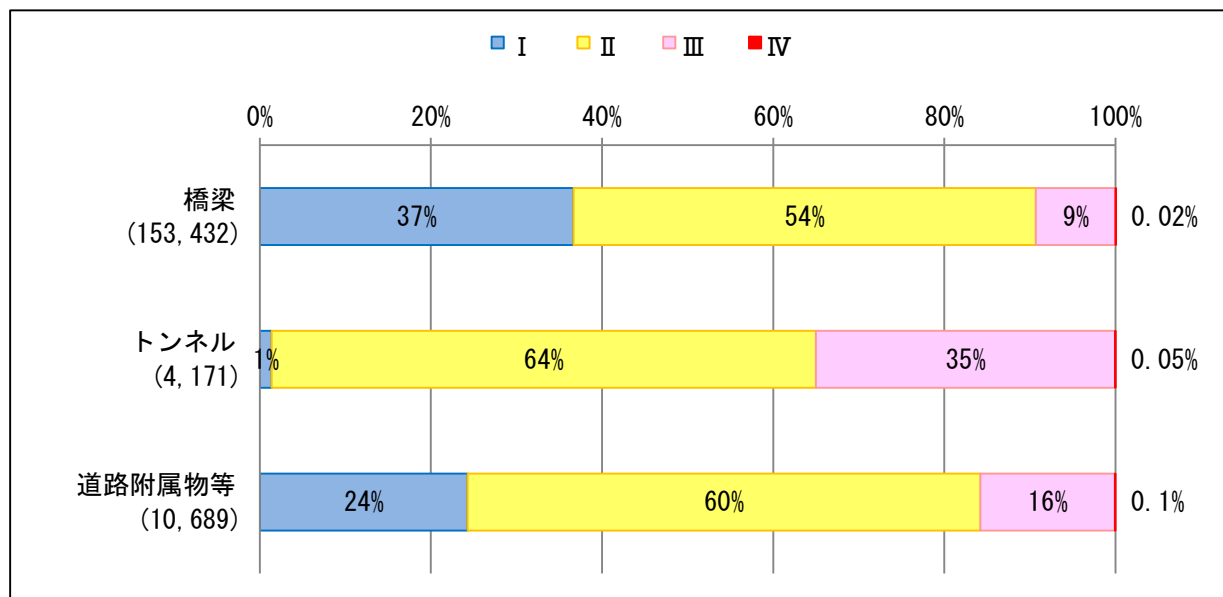
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	188,646	187,450	153,432	82% (80%)
トンネル	5,556	5,405	4,171	77% (77%)
道路附属物等	14,434	14,341	10,689	75% (76%)

2023.3 末時点

※1:2023 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2017 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(都道府県・政令市等)



※()内は、2019～20201 度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	153,432	56,278	82,848	14,276	30
		37%	54%	9%	0.02%
トンネル	4,171	59	2,651	1,459	2
		1%	64%	35%	0.05%
道路附属物等	10,689	2,597	6,403	1,682	7
		24%	60%	16%	0.1%

2023.3 末時点

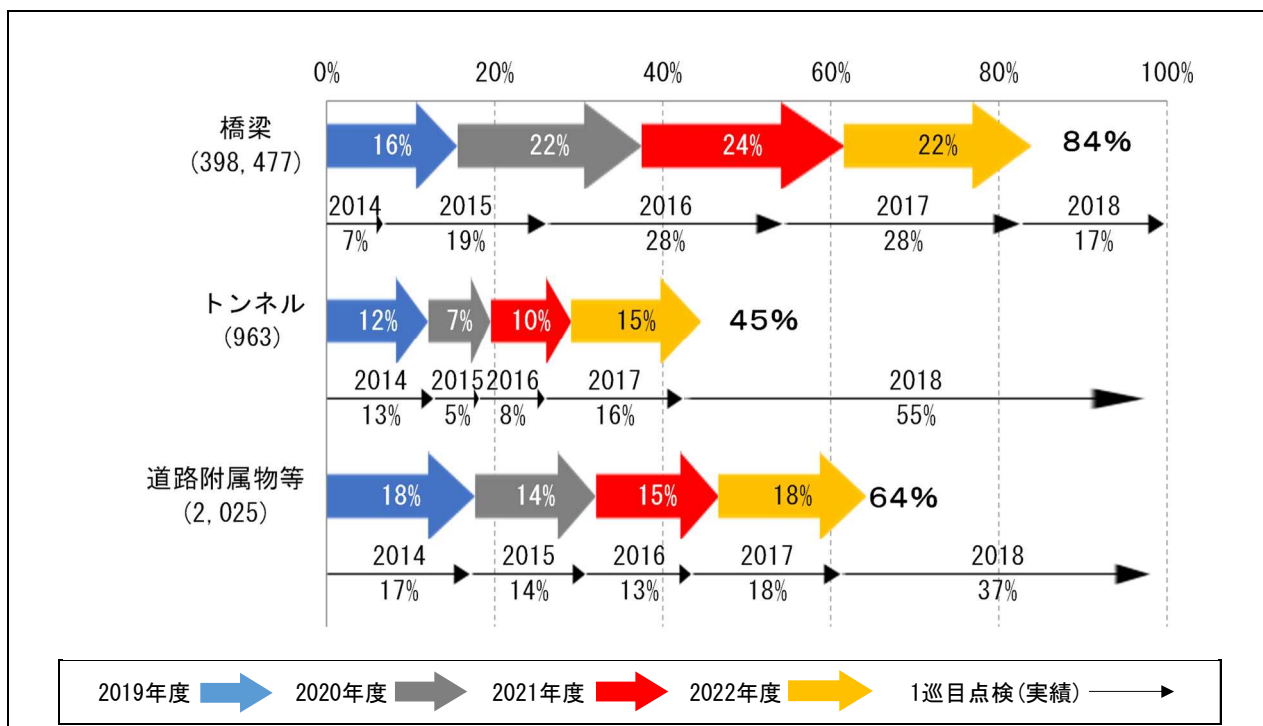
6) 市区町村

- 2 巡目（2019～2022 年度）の累積点検実施率は、橋梁 84%、トンネル 45%、道路附属物等 64%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 43%、Ⅱ 50%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 65%、Ⅲ 30%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 21%、Ⅱ 61%、Ⅲ 18%、Ⅳ 0.2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2022 年度）の点検実施率(市区町村)



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

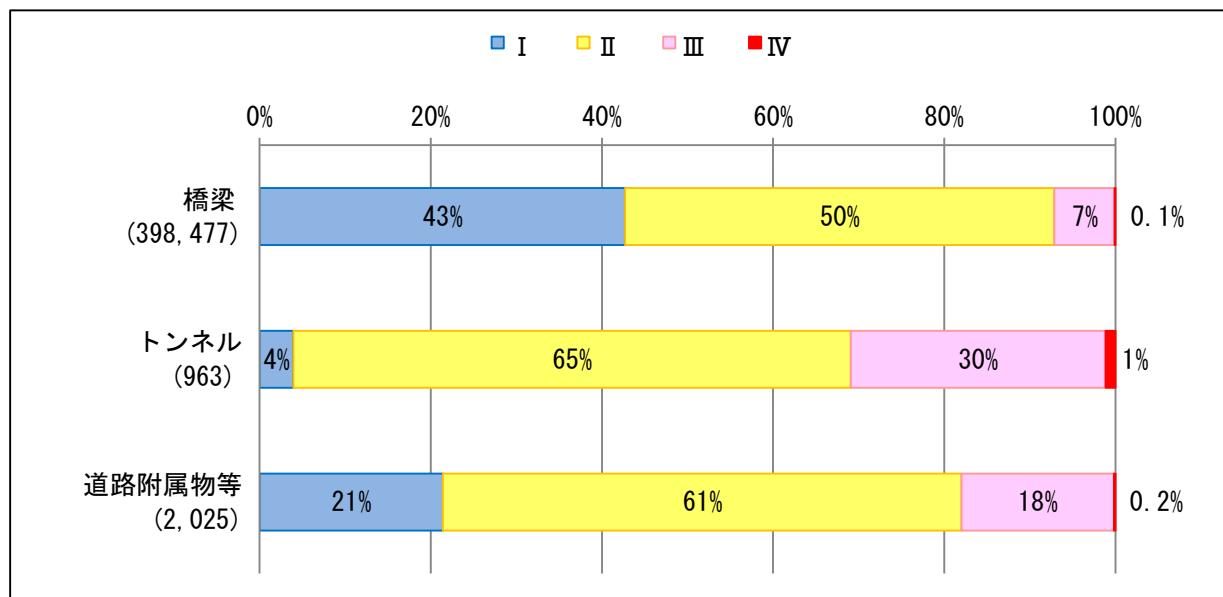
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	477, 156	474, 890	398, 477	84% (83%)
トンネル	2, 184	2, 164	963	45% (43%)
道路附属物等	3, 217	3, 153	2, 025	64% (61%)

2023. 3 末時点

※1:2023 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2017 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(市区町村)



※()内は、2019～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	398,477	170,176	199,924	27,949	428
		43%	50%	7%	0.1%
トンネル	963	38	627	287	11
		4%	65%	30%	1%
道路附属物等	2,025	434	1,227	360	4
		21%	61%	18%	0.2%

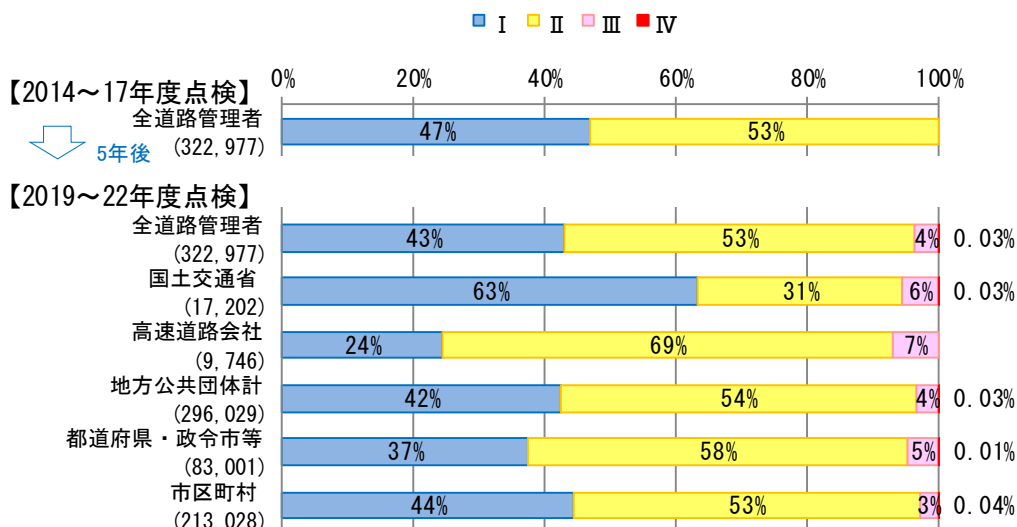
2023.3 末時点

(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況

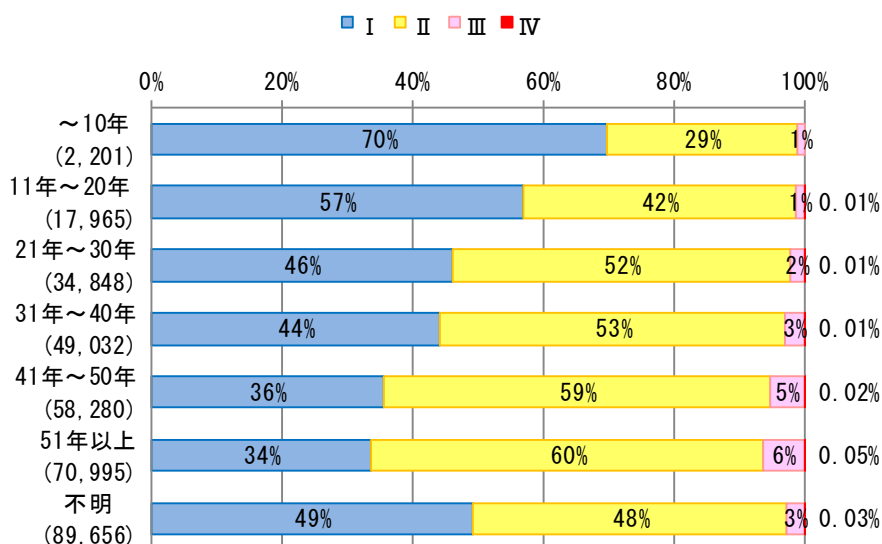
1) 橋梁

- 1 巡目の 2014 年度～2017 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019 年度～2022 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で 4% です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



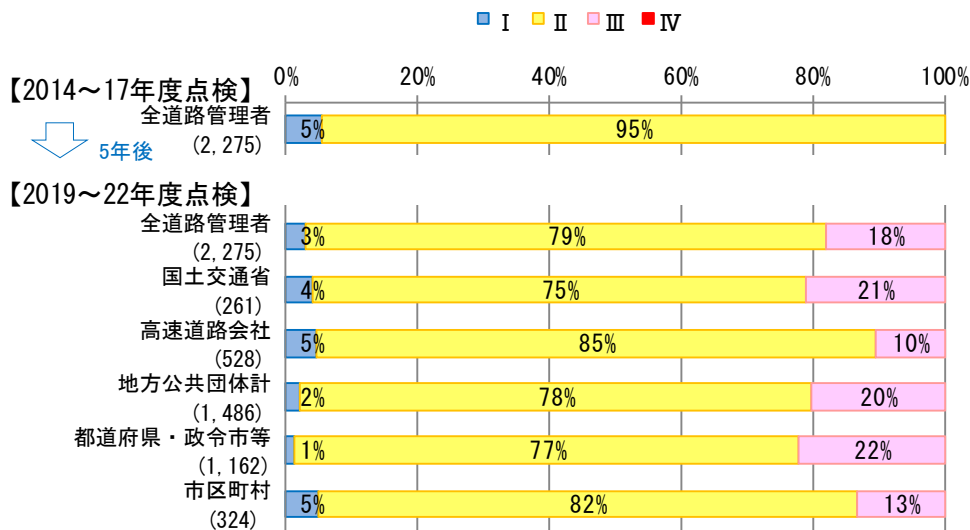
※()内は、1 巡目(2014 年度～2017 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019 年度～2022 年度に点検を実施した橋梁の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

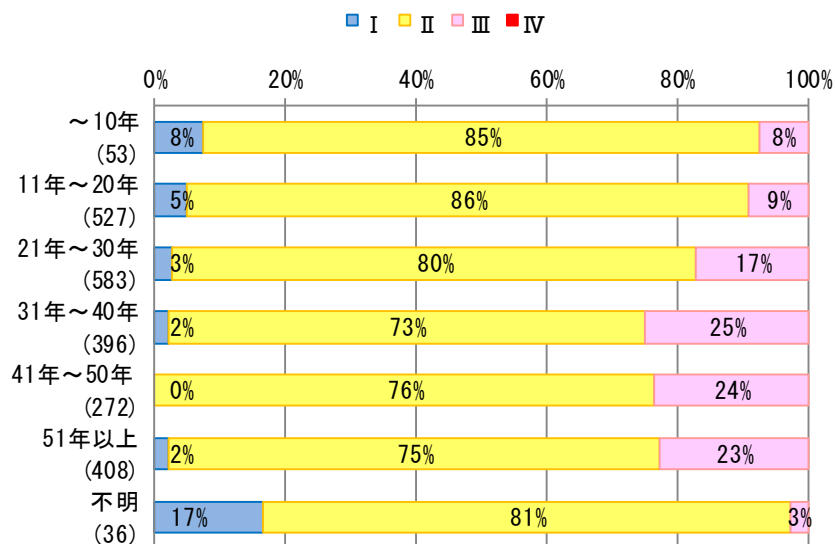
2)トンネル

- 1 巡目の 2014 年度～2017 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2022年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で18%です。
- 建設後経過年数が21年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



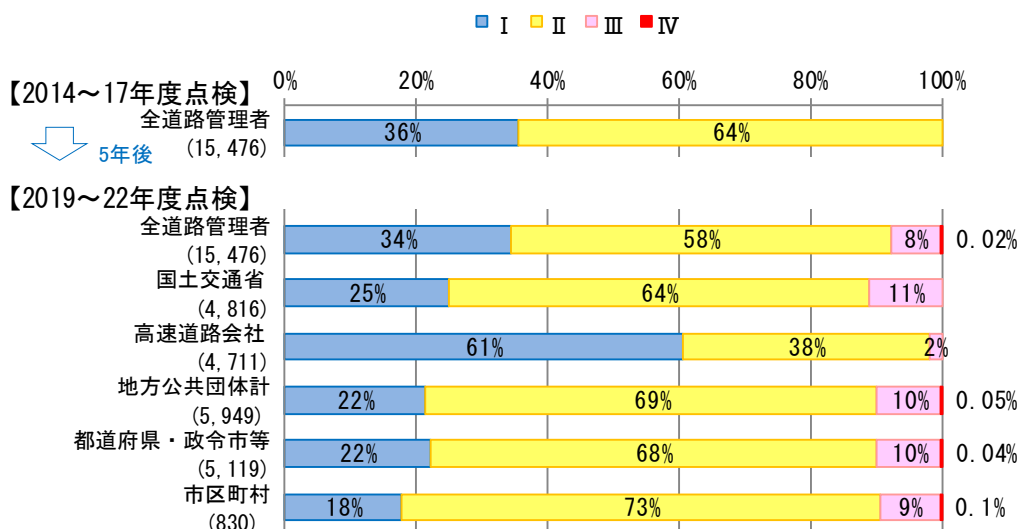
※()内は、1 巡目(2014 年度～2017 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなったトンネル数のうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2022年度に点検を実施したトンネルの合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

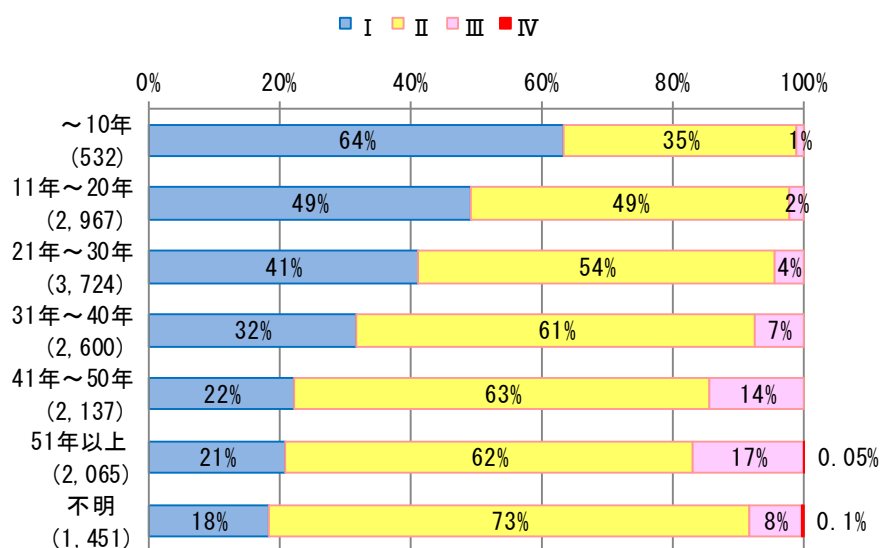
3) 道路附属物等

- 1 巡目の 2014 年度～2017 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2022年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した道路附属物等の割合は全道路管理者合計で8%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)

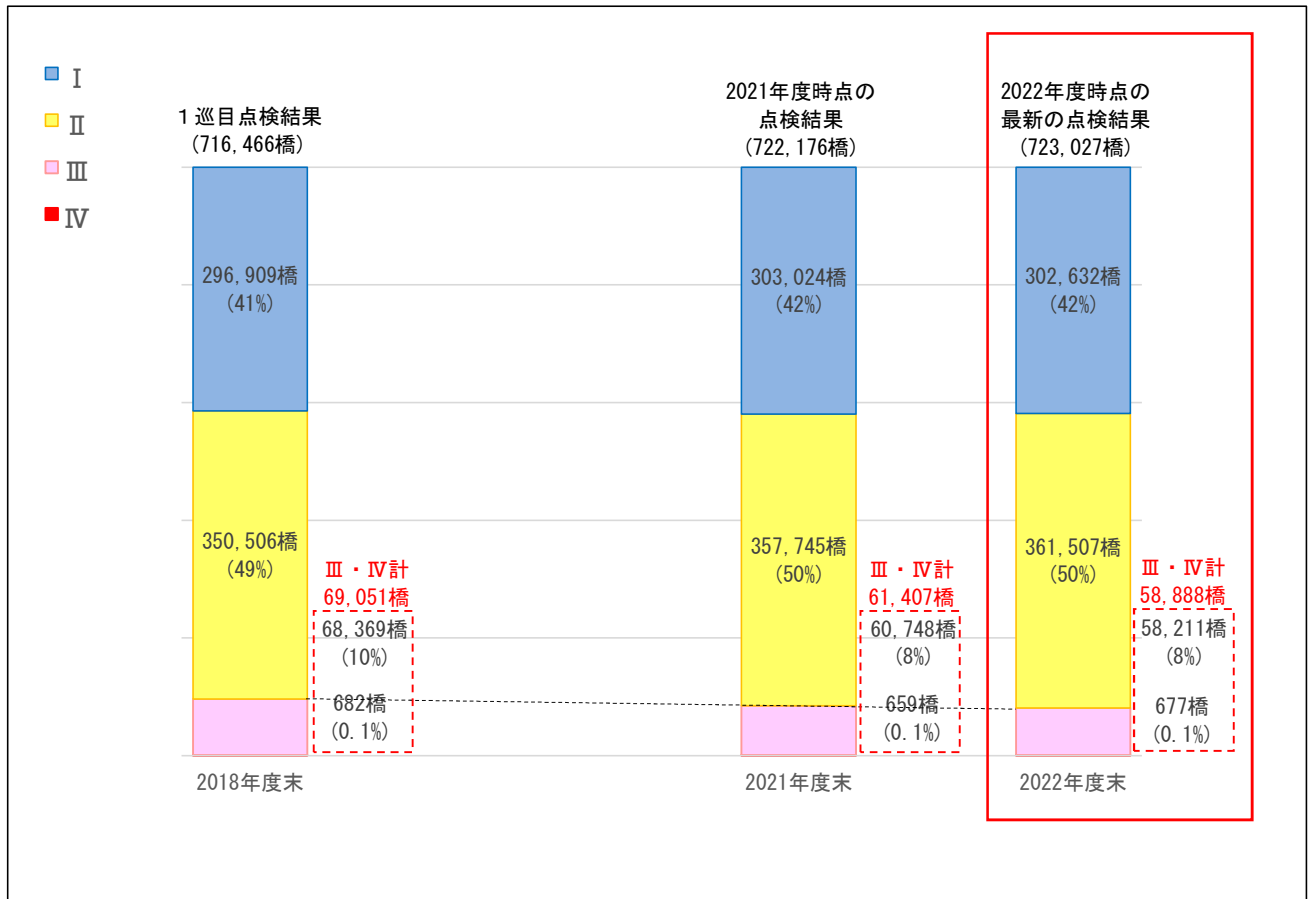


※()内は、1 巡目(2014 年度～2017 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった道路附属物等の施設数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019 年度～2022 年度に点検を実施した道路附属物等の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

(3) 過年度の点検(2014~22年度)の実施施設の判定区分毎の施設数と割合

1) 橋梁

- 過年度の点検(2014~2022年度)における判定区分の割合は、I 42%、II 50%、III 8%、IV 0.1%であり、修繕等が必要な判定区分III・IVの橋梁は58,888橋であった。
- 1巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分III・IVの橋梁数は着実に減少している。

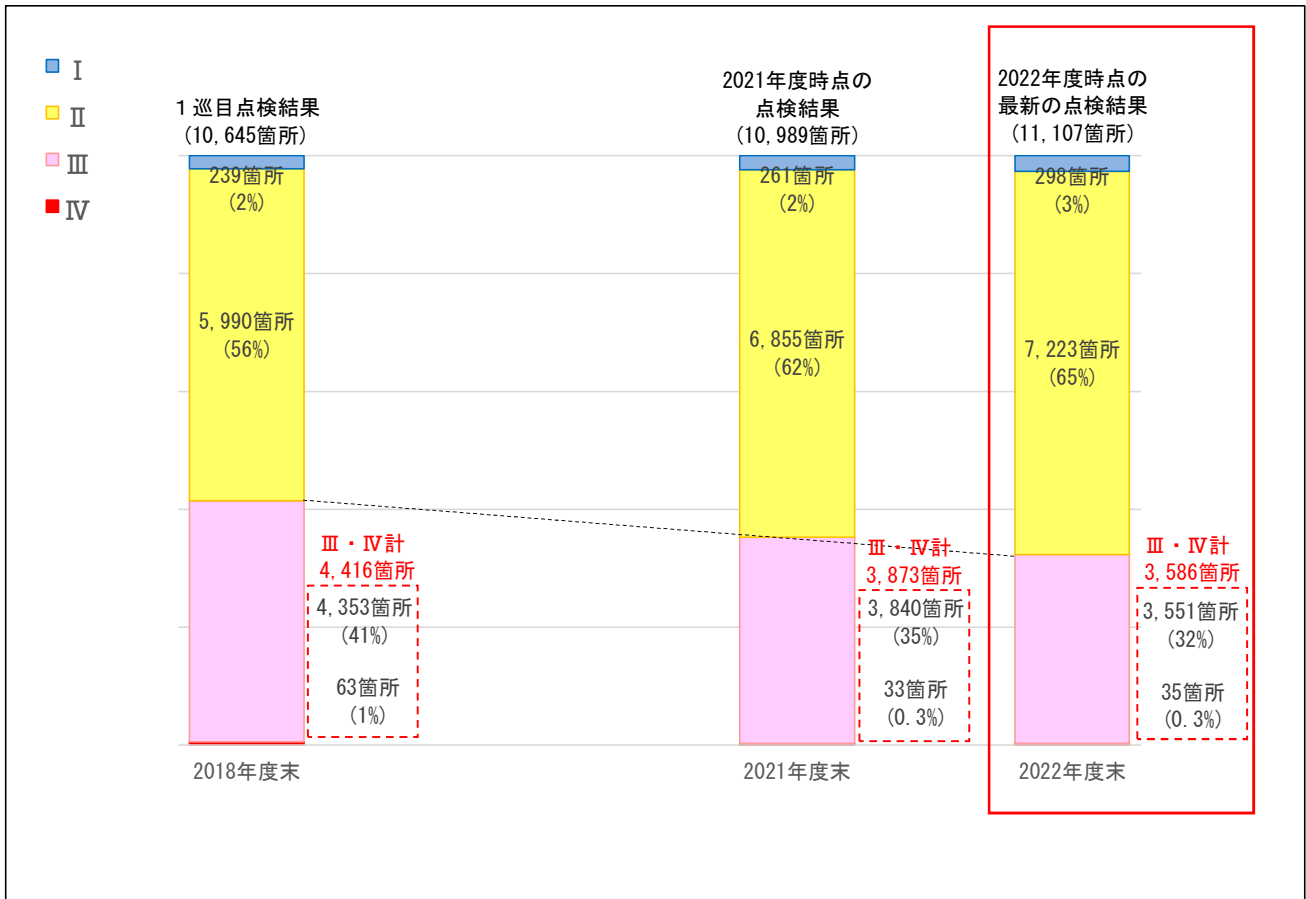


※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

2)トンネル

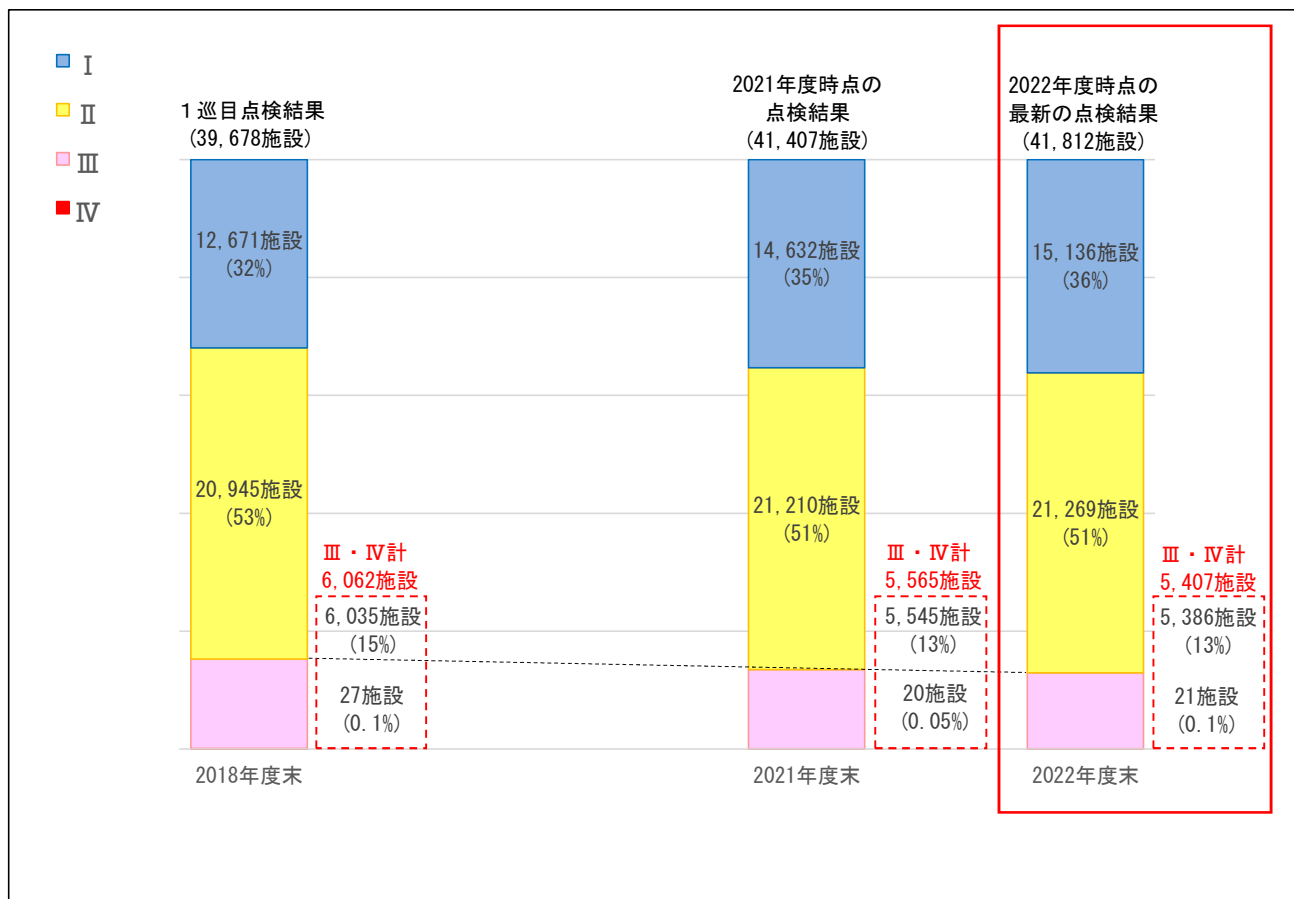
- 過年度の点検（2014～2022年度）における判定区分の割合は、I 3%、II 65%、III 32%、IV 0.3%であり、修繕等が必要な判定区分III・IVのトンネルは3,586箇所であった。
- 1巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分III・IVのトンネル数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

3) 道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2022年度）における判定区分の割合は、I 36%、II 51%、III 13%、IV 0.1%であり、修繕等が必要な判定区分III・IVの道路附属物等は5,407施設であった。
- 1巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分III・IVの道路附属物等数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2014~22年度)の点検結果

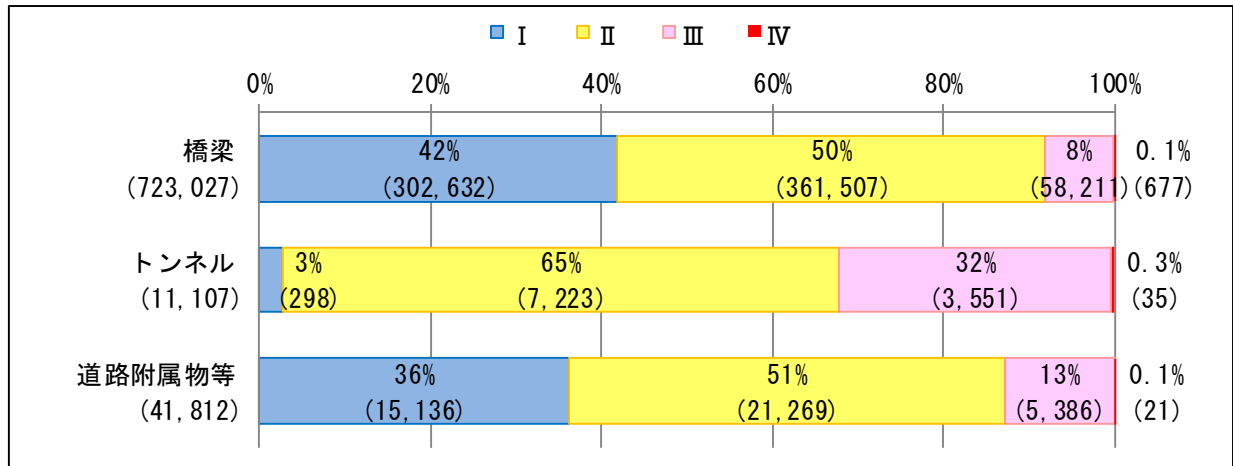
1) 全道路管理者

○ 過年度の点検(2014~22年度)における判定区分の割合は、橋梁：I 42%、II 50%、III 8%、IV 0.1%、トンネル：I 3%、II 65%、III 32%、IV 0.3%、道路附属物等：I 36%、II 51%、III 13%、IV 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



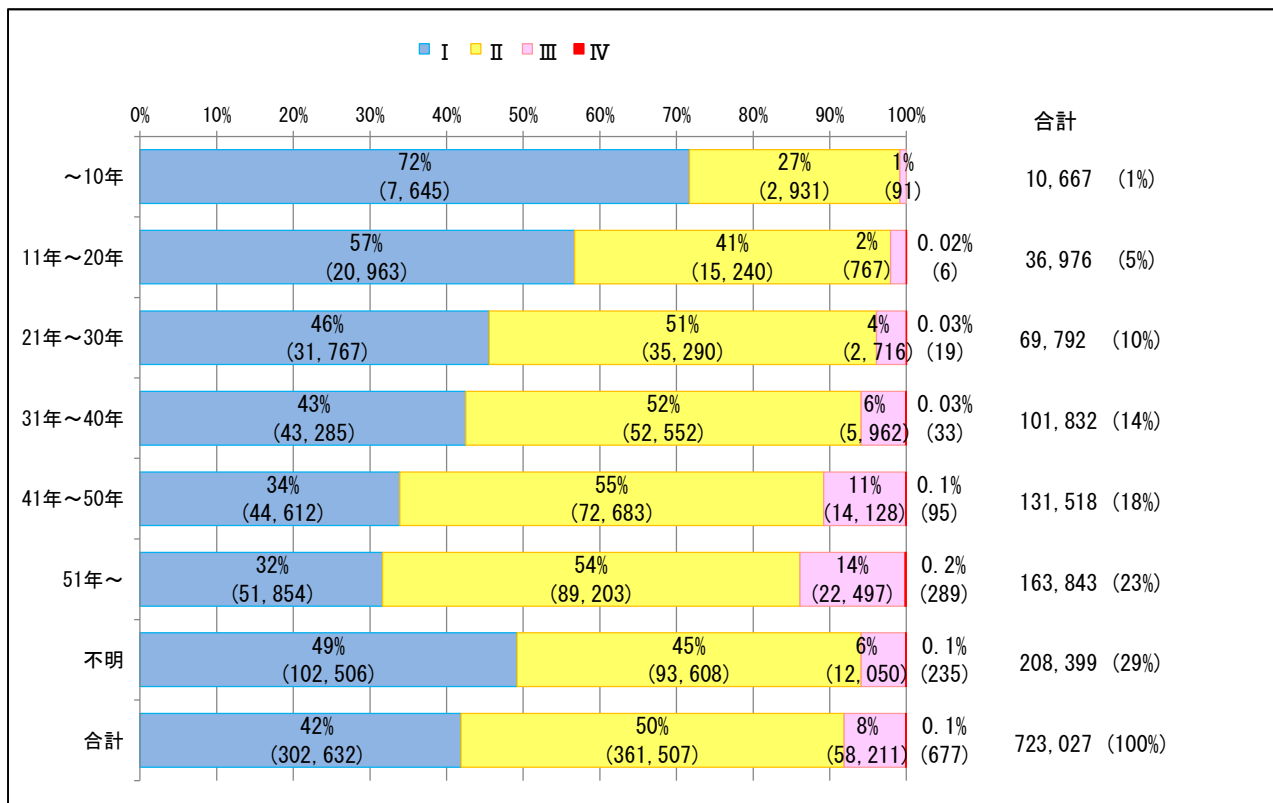
2023.3末時点

※()内は、2023年3月末時点の施設数のうち、2014~2022年度に点検を実施した施設数の合計。

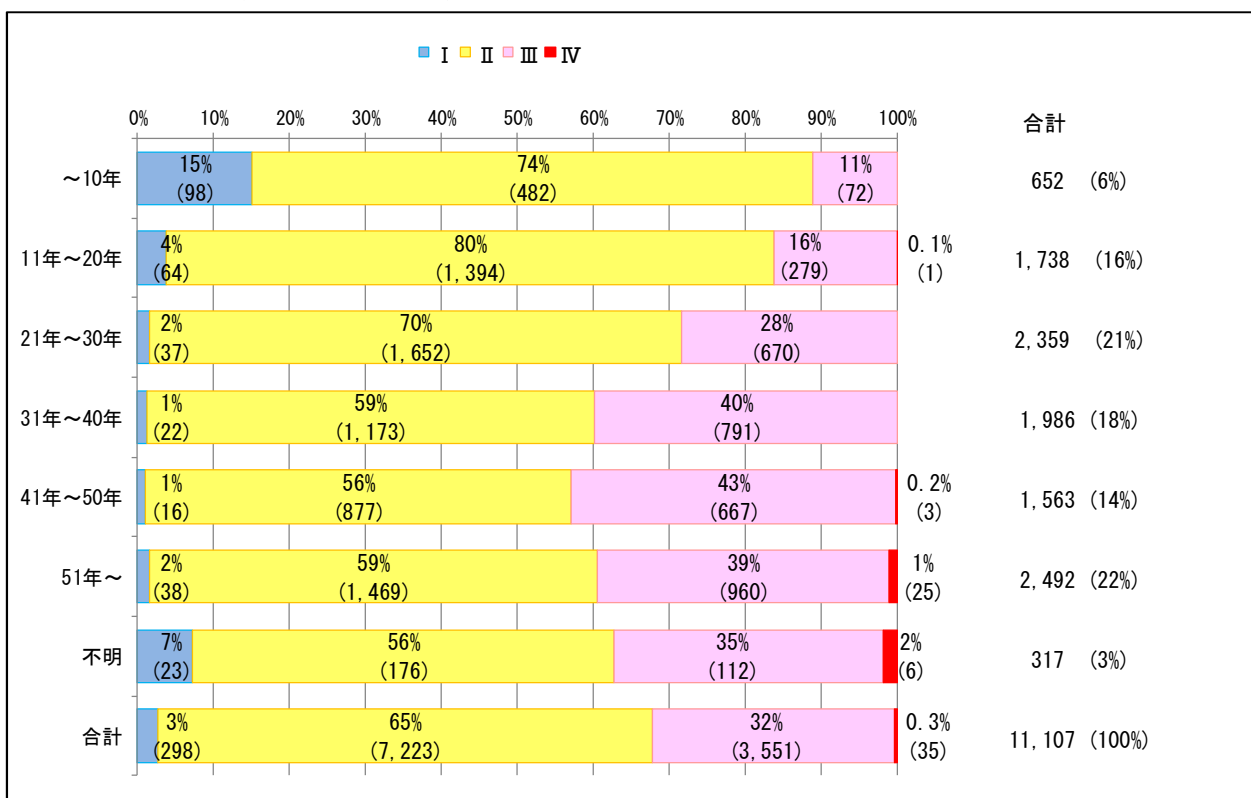
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

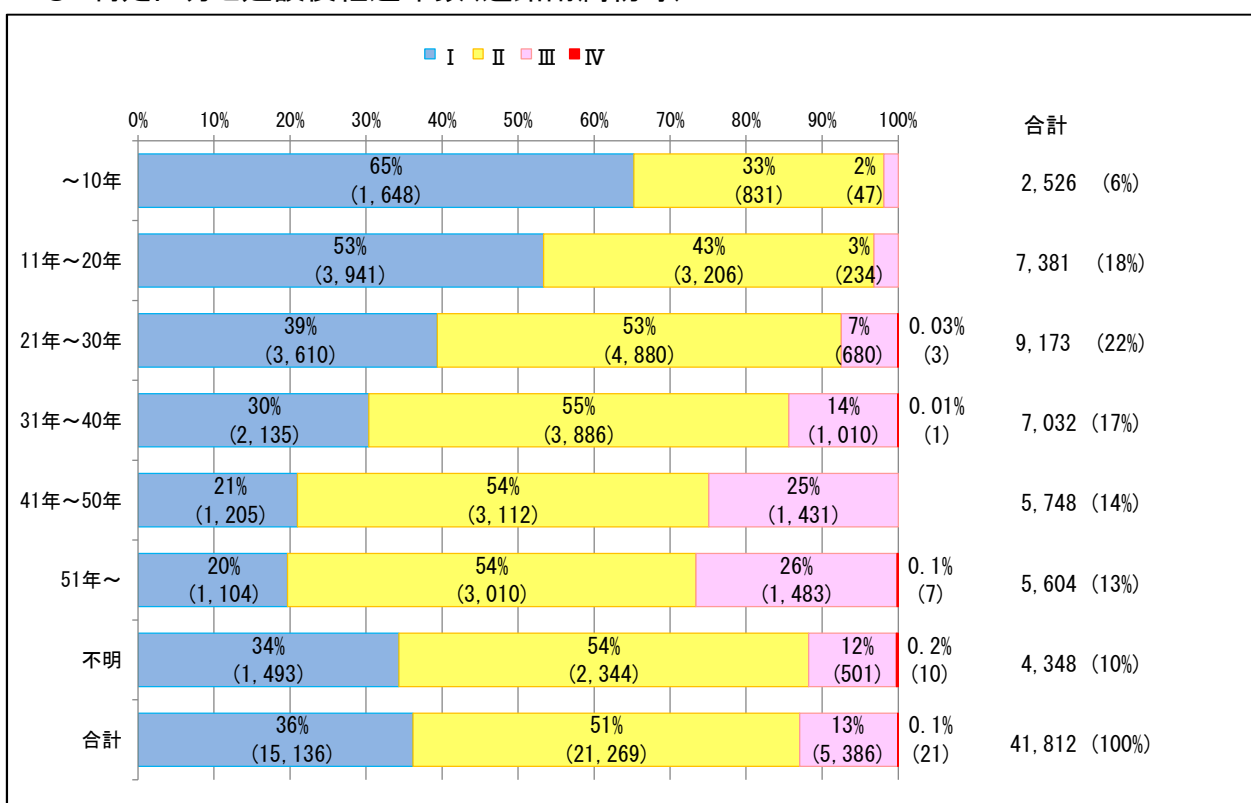
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



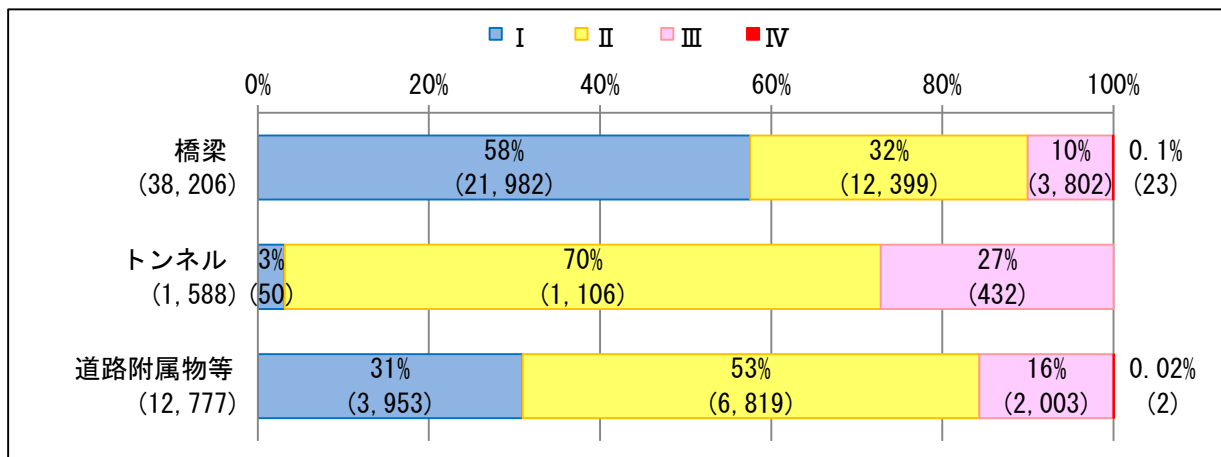
2) 国土交通省

- 過年度の点検（2014～22年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 58%、Ⅱ 32%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 70%、Ⅲ 27%、道路附属物等：Ⅰ 31%、Ⅱ 53%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(国土交通省)



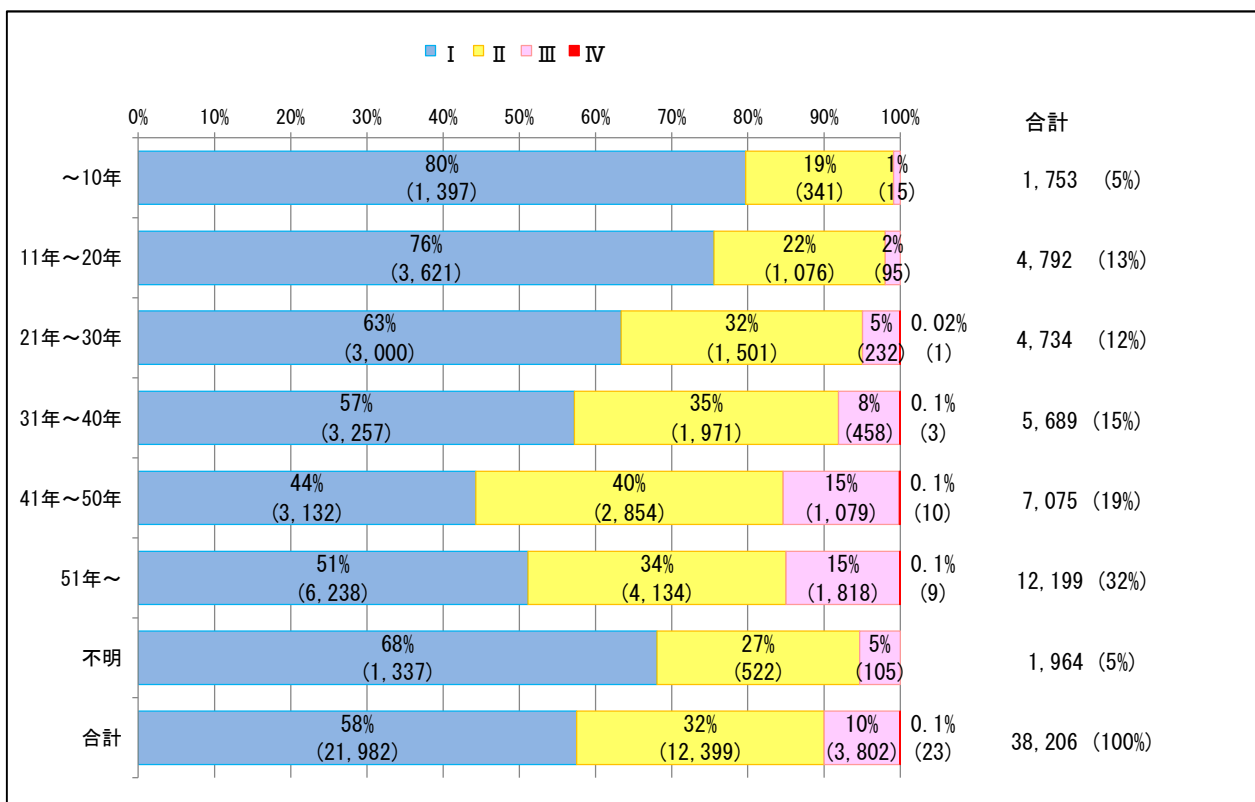
2023.3 末時点

※()内は、2023年3月末時点の施設数のうち、2014～2022年度に点検を実施した施設数の合計。

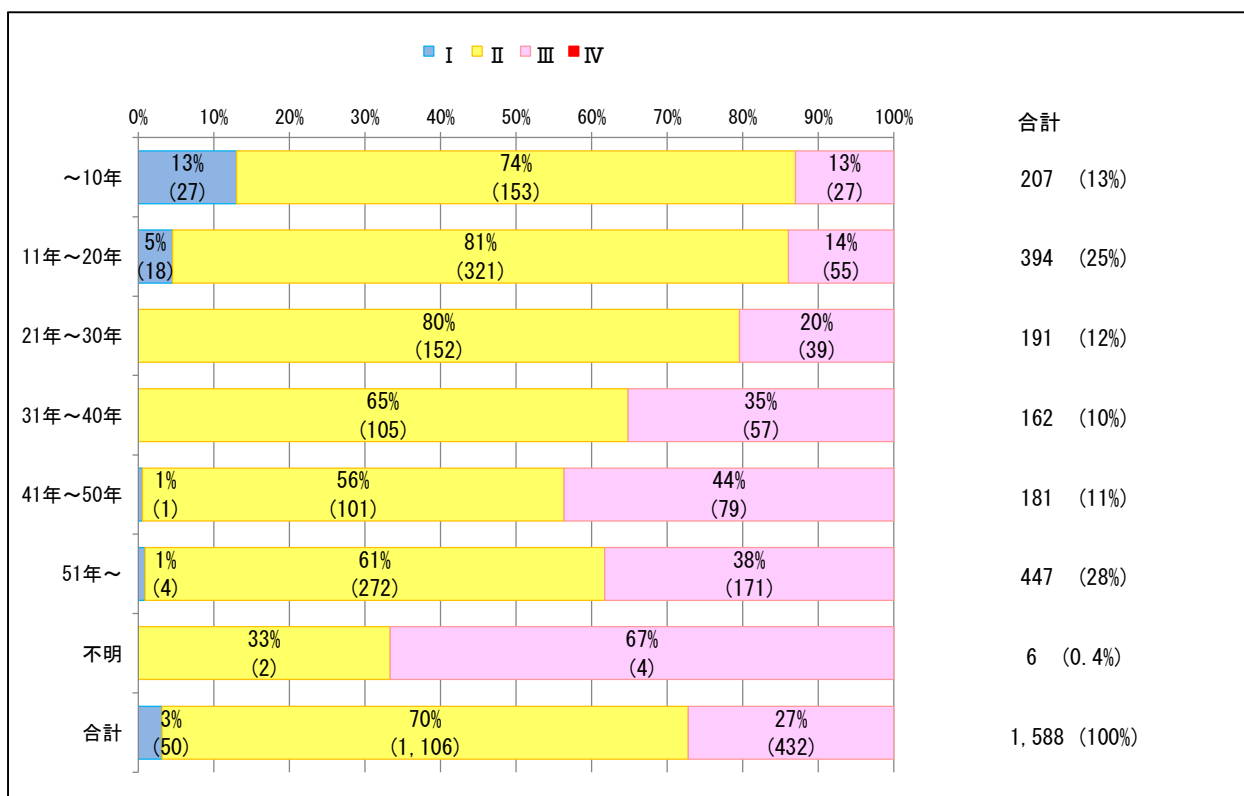
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

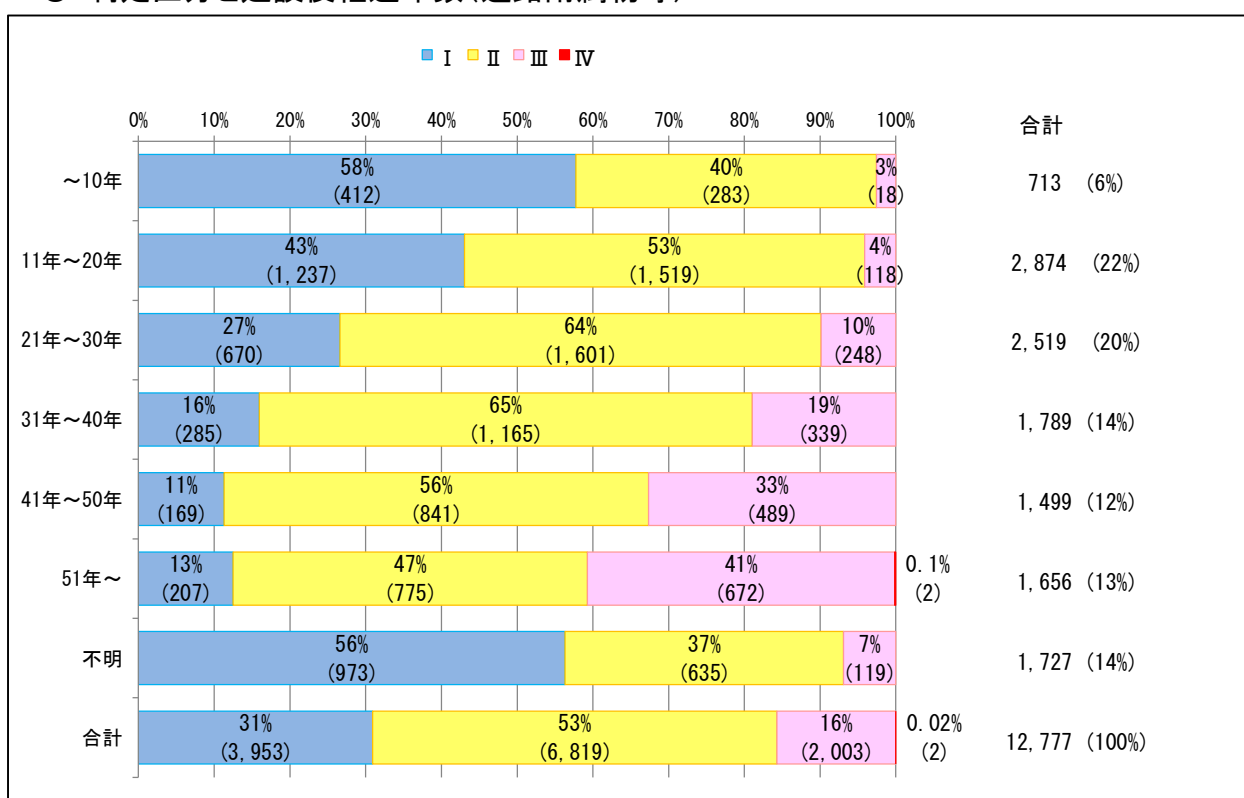
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



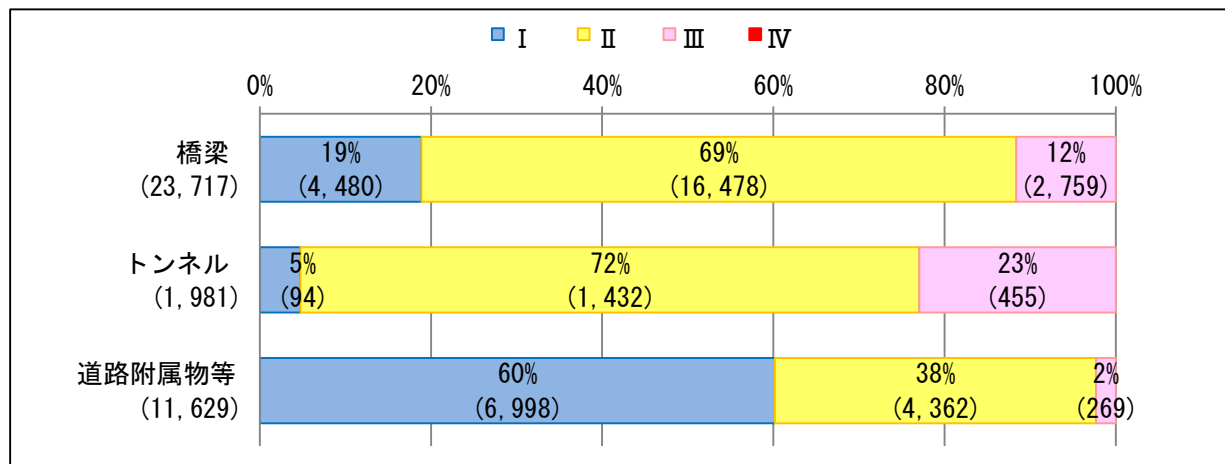
3) 高速道路会社

○ 過年度の点検（2014～22年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 19%、Ⅱ 69%、Ⅲ 12%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 72%、Ⅲ 23%、道路附属物等：Ⅰ 60%、Ⅱ 38%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



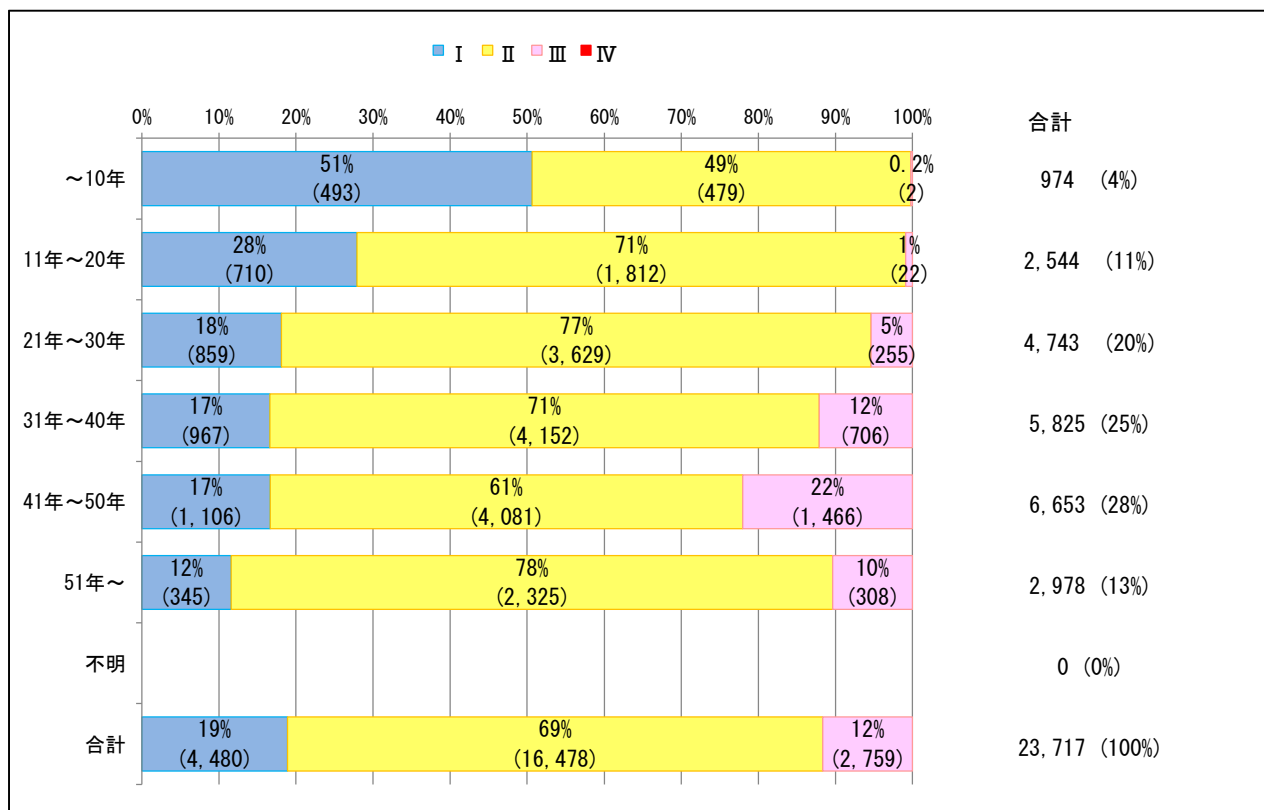
2023.3末時点

※()内は、2023年3月末時点の施設数のうち、2014～2022年度に点検を実施した施設数の合計。

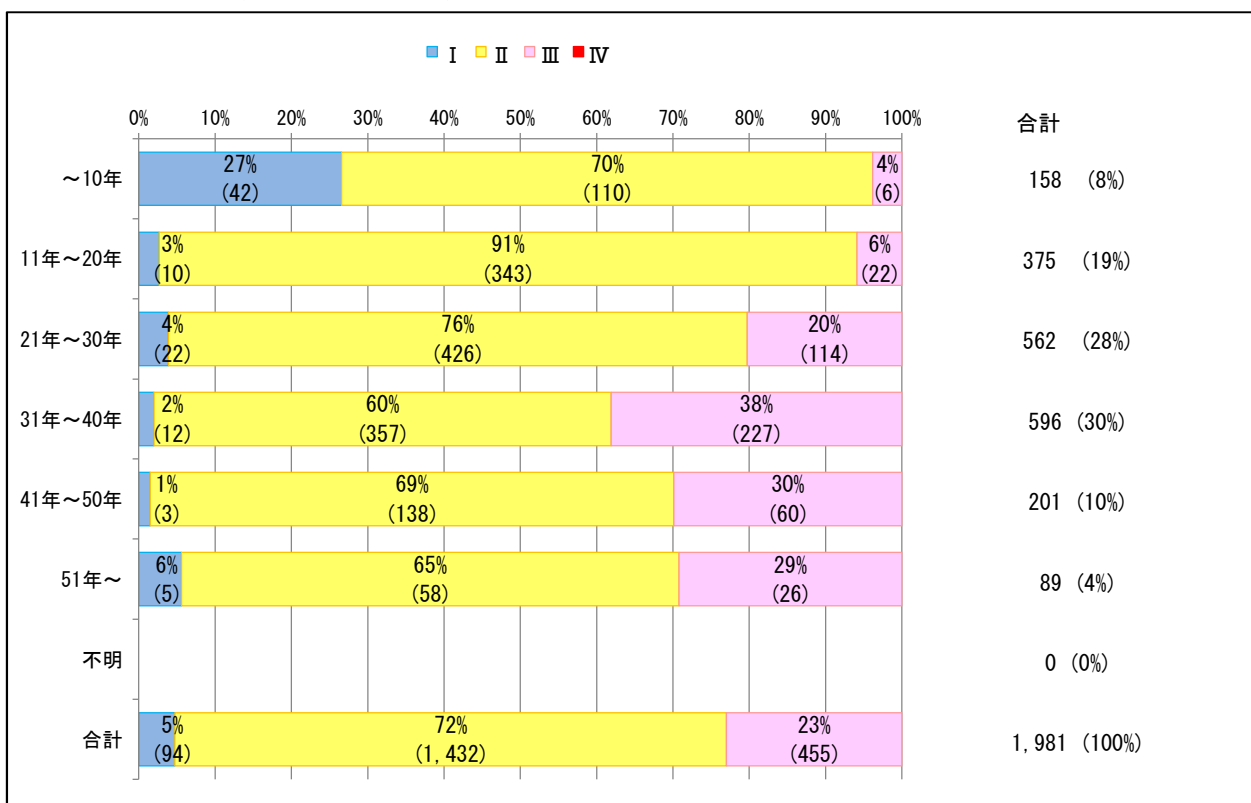
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

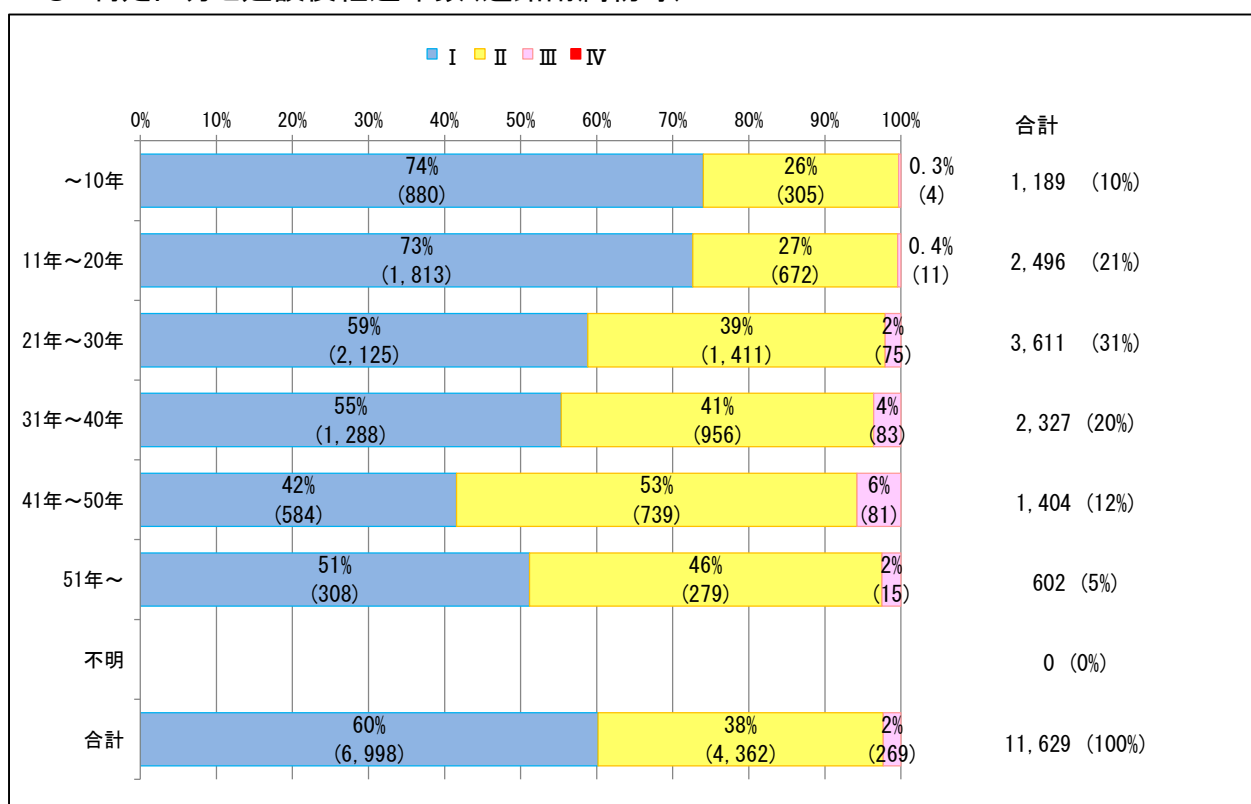
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



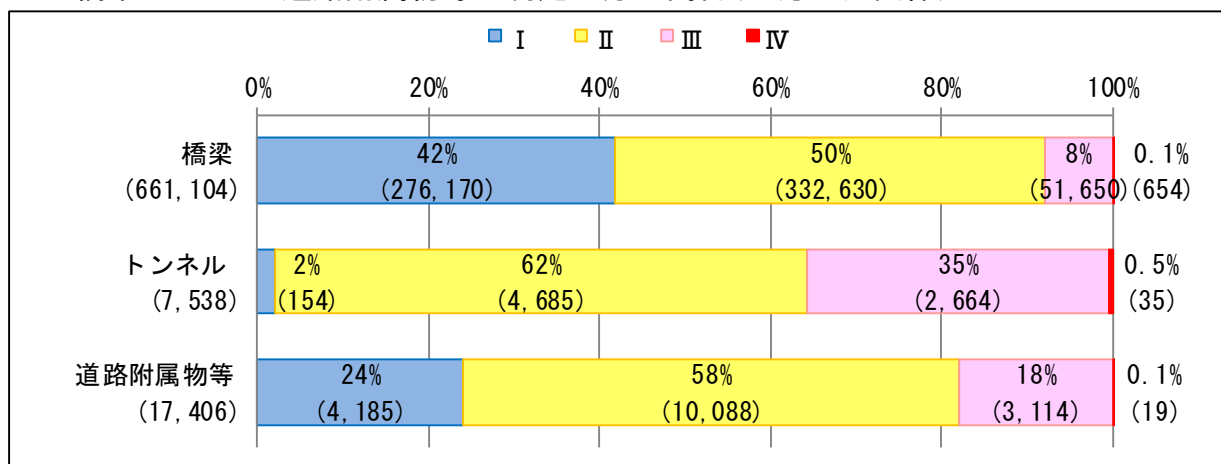
4) 地方公共団体

○ 過年度の点検（2014～22年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 62%、Ⅲ 35%、Ⅳ 0.5%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 58%、Ⅲ 18%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(地方公共団体)



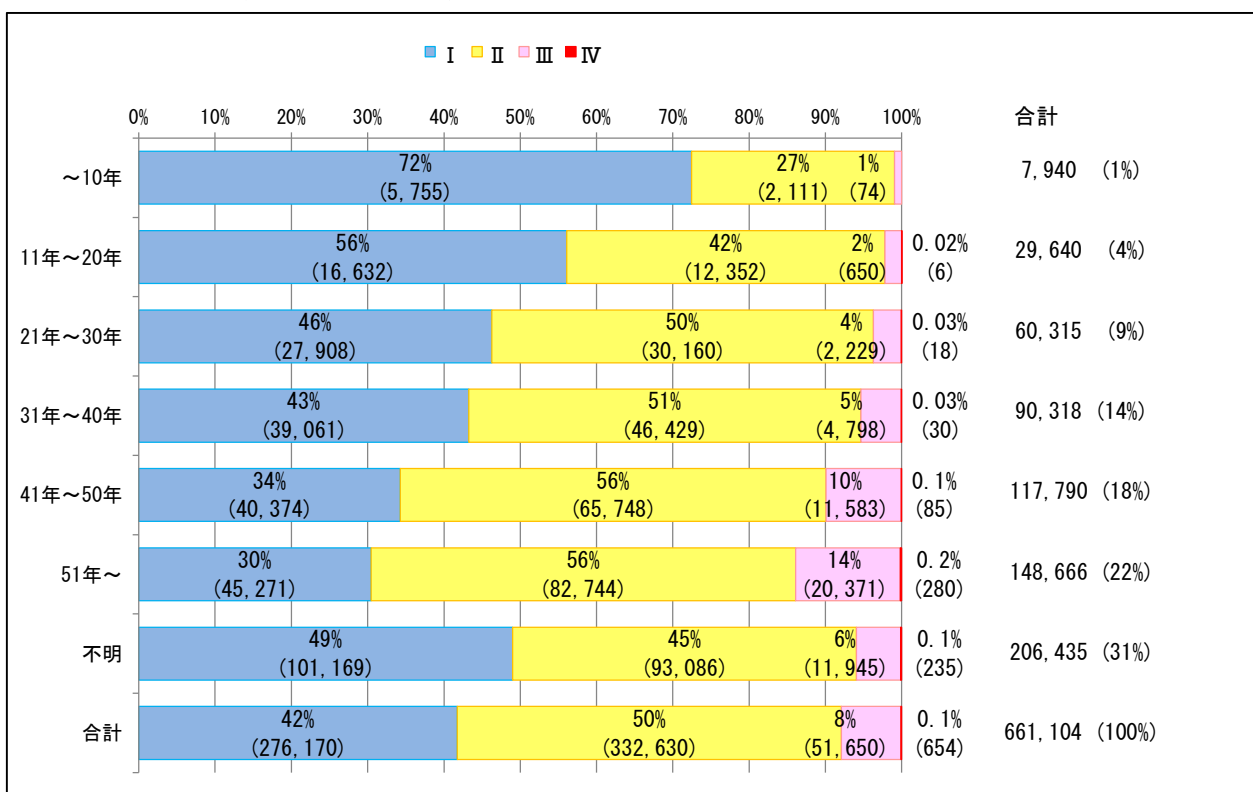
2023.3末時点

※()内は、2023年3月末時点の施設数のうち、2014～2022年度に点検を実施した施設数の合計。

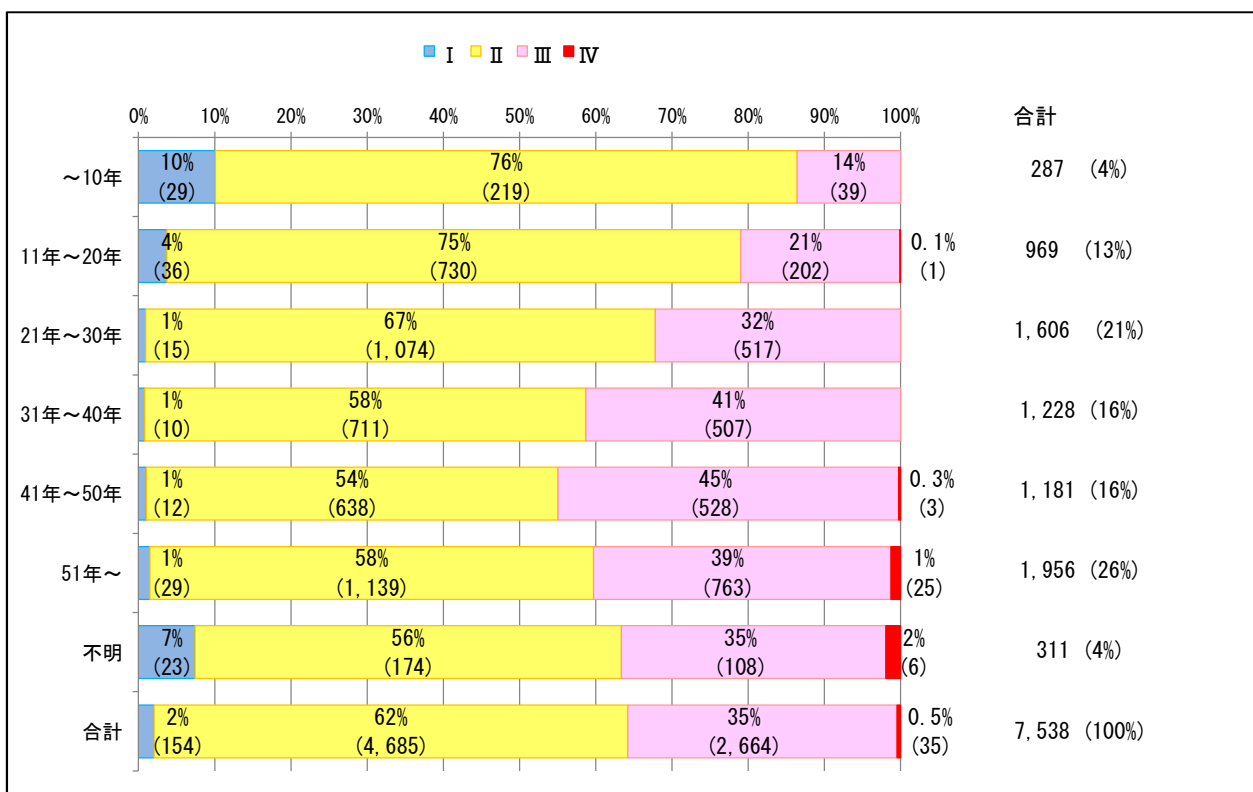
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

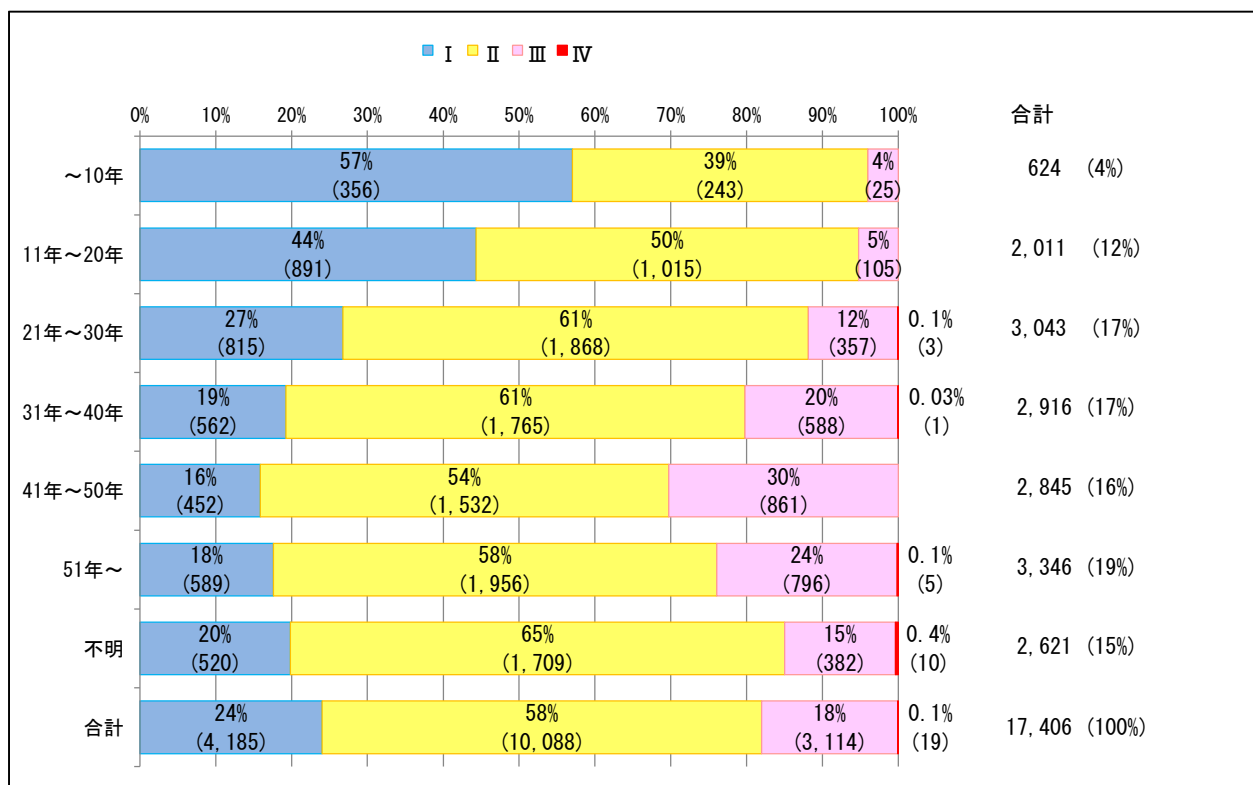
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



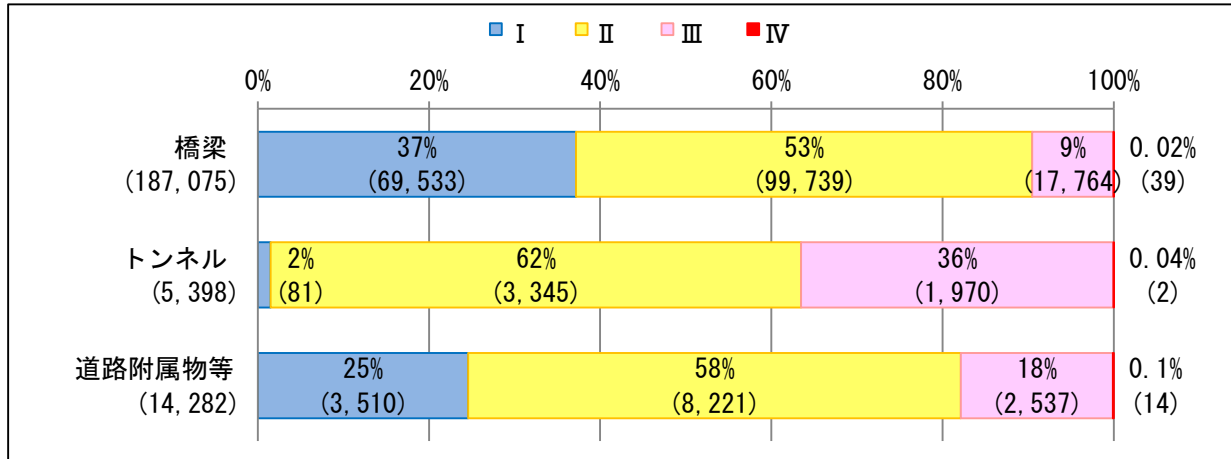
5) 都道府県・政令市等

- 過年度の点検（2014～22年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 37%、Ⅱ 53%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 62%、Ⅲ 36%、Ⅳ 0.04%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 58%、Ⅲ 18%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



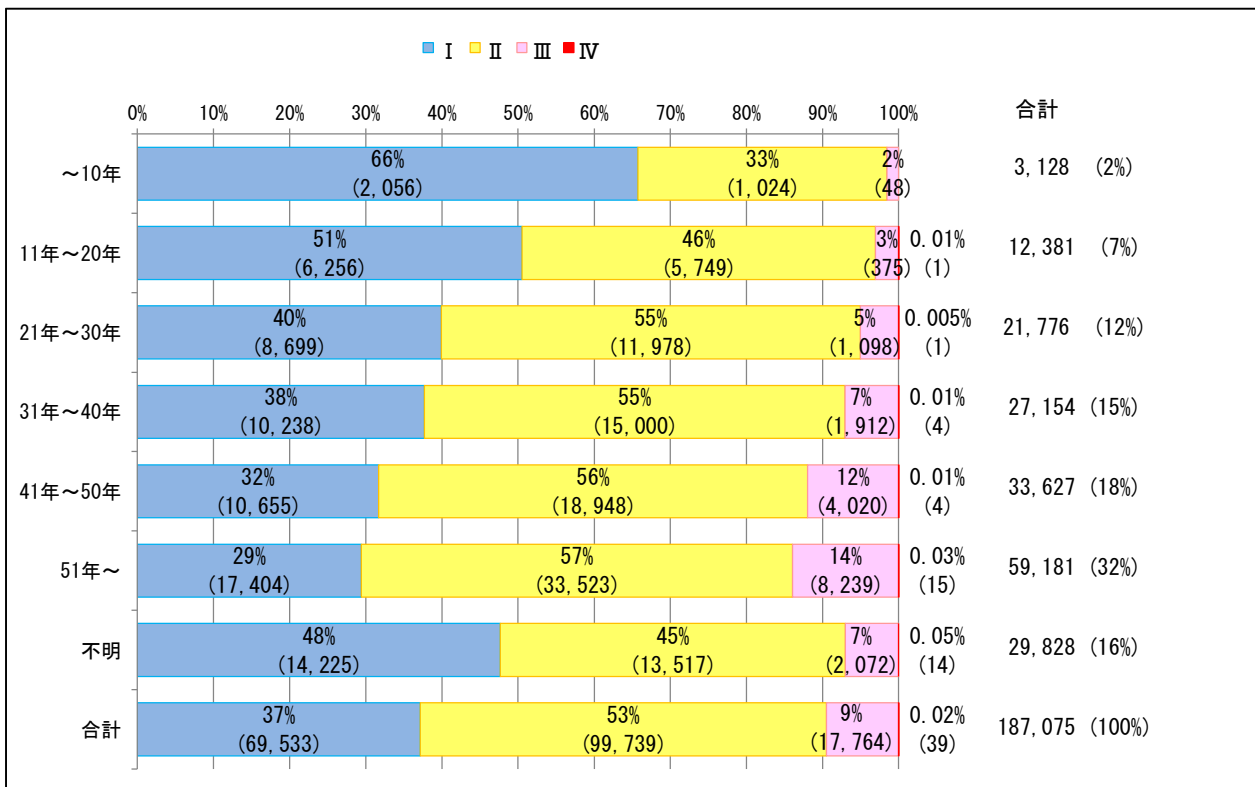
2023.3末時点

※()内は、2023年3月末時点の施設数のうち、2014～2022年度に点検を実施した施設数の合計。

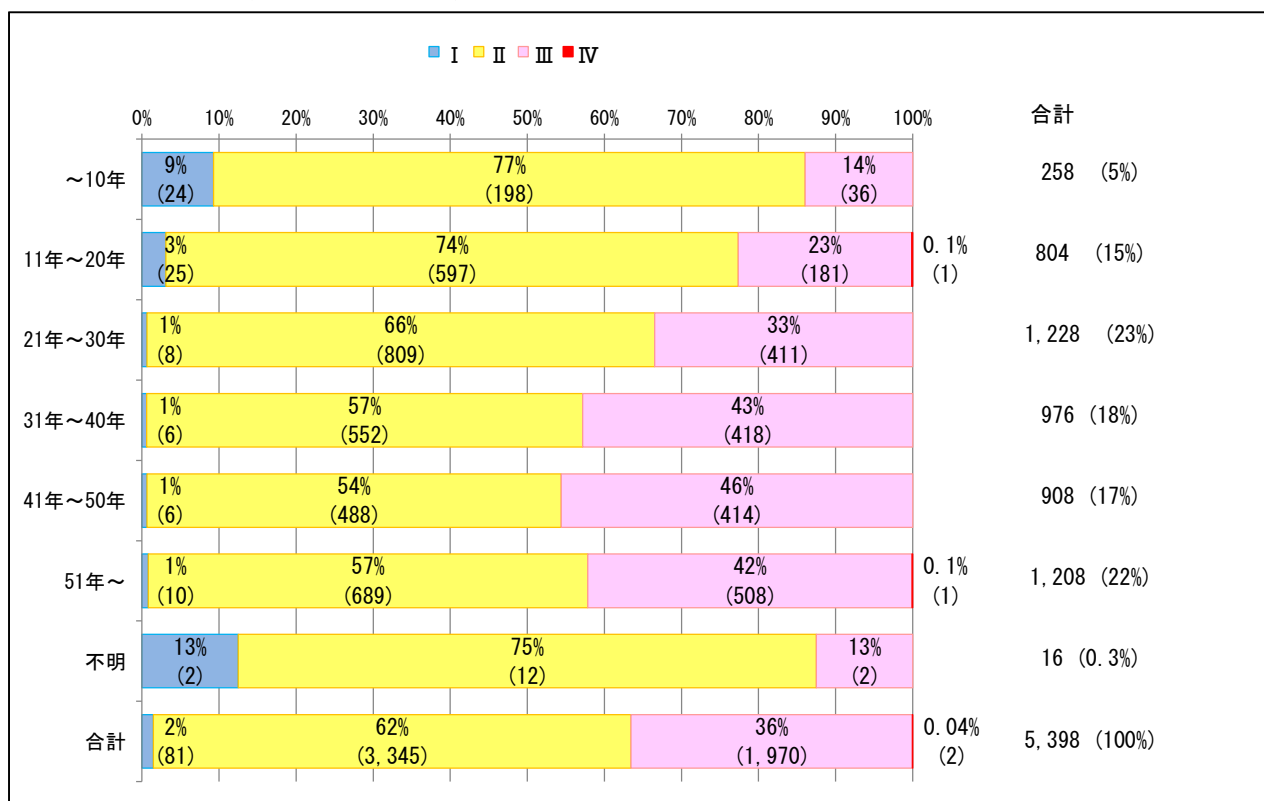
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

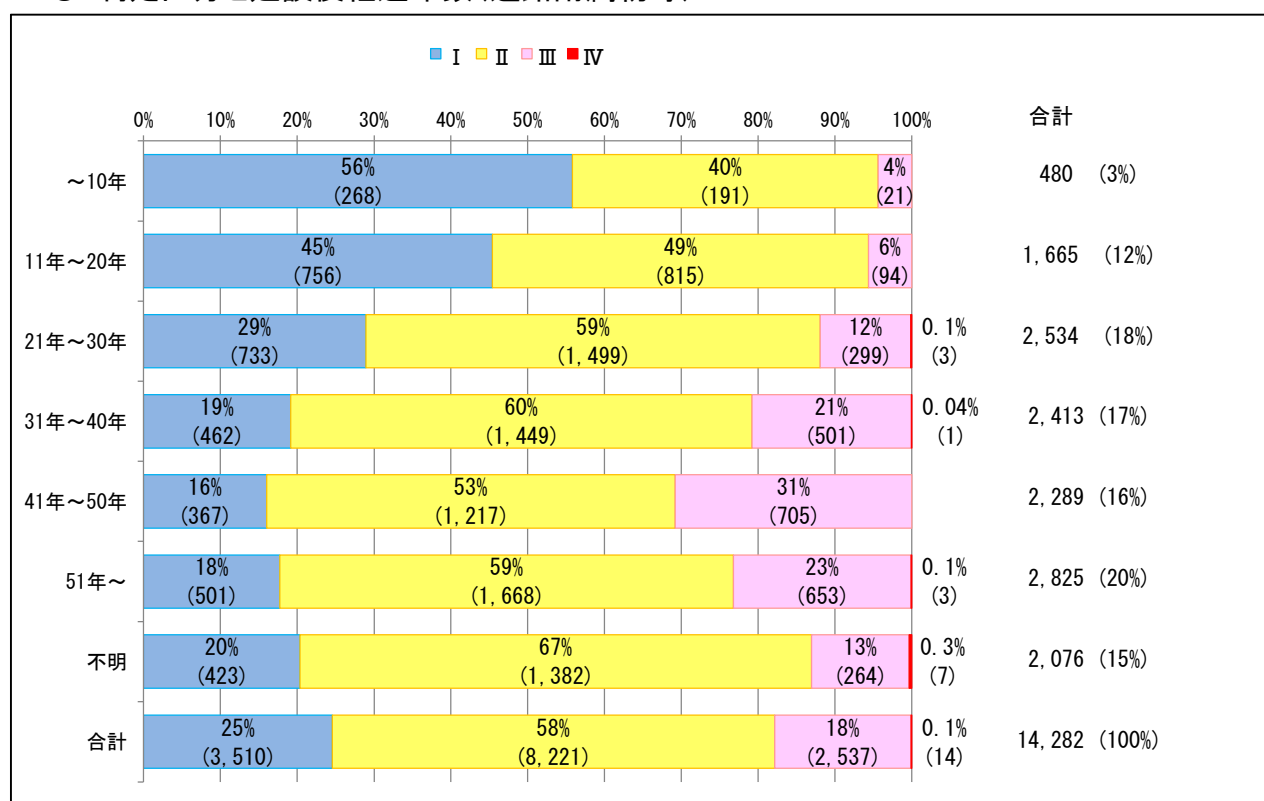
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



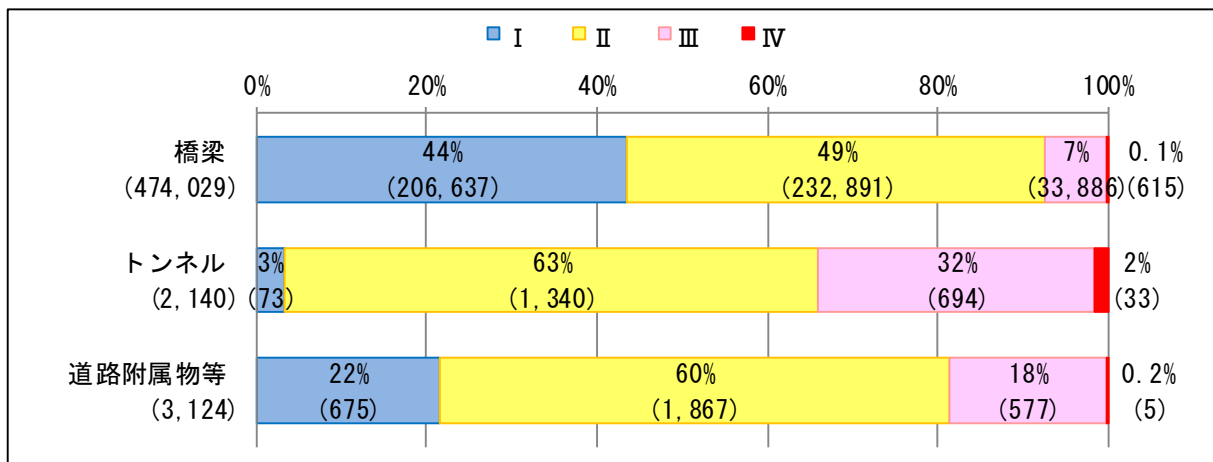
6) 市区町村

- 過年度の点検（2014～22年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 63%、Ⅲ 32%、Ⅳ 2%、道路附属物等：Ⅰ 22%、Ⅱ 60%、Ⅲ 18%、Ⅳ 0.2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(市区町村)



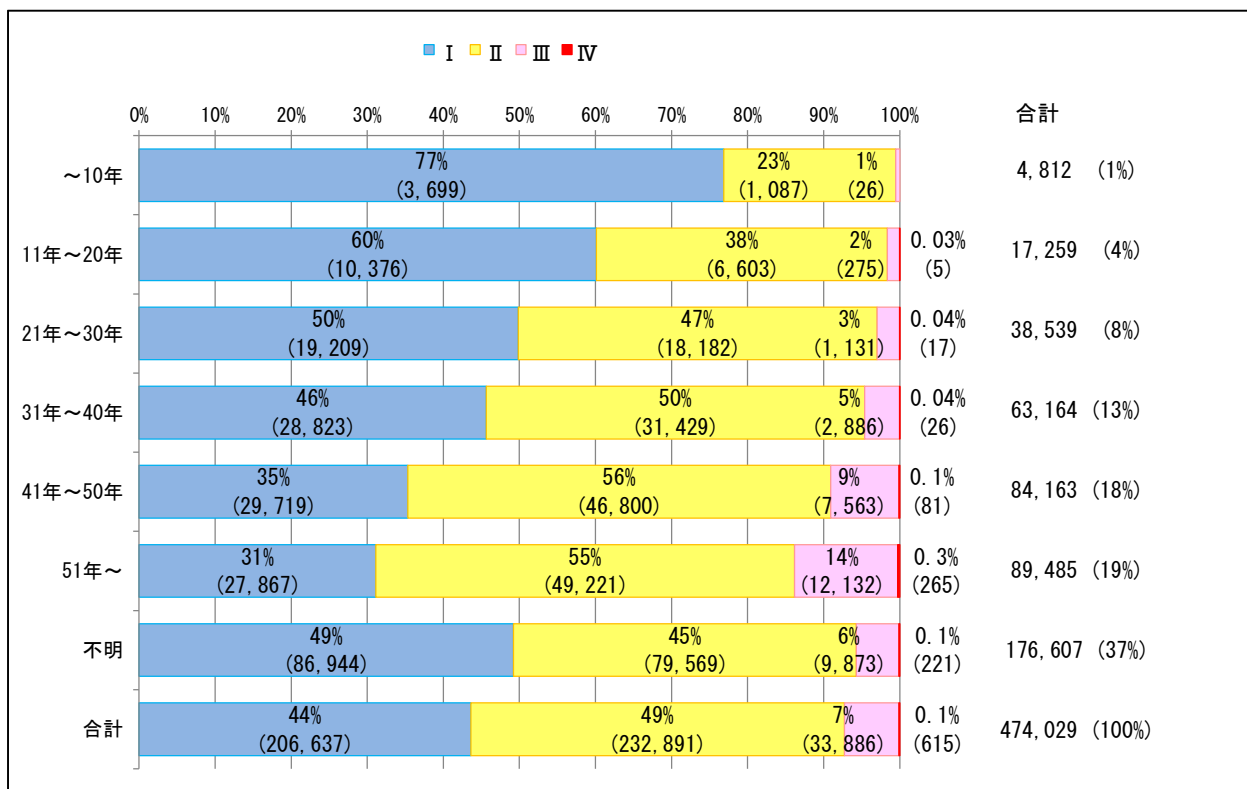
2023.3 末時点

※()内は、2023年3月末時点の施設数のうち、2014～2022年度に点検を実施した施設数の合計。

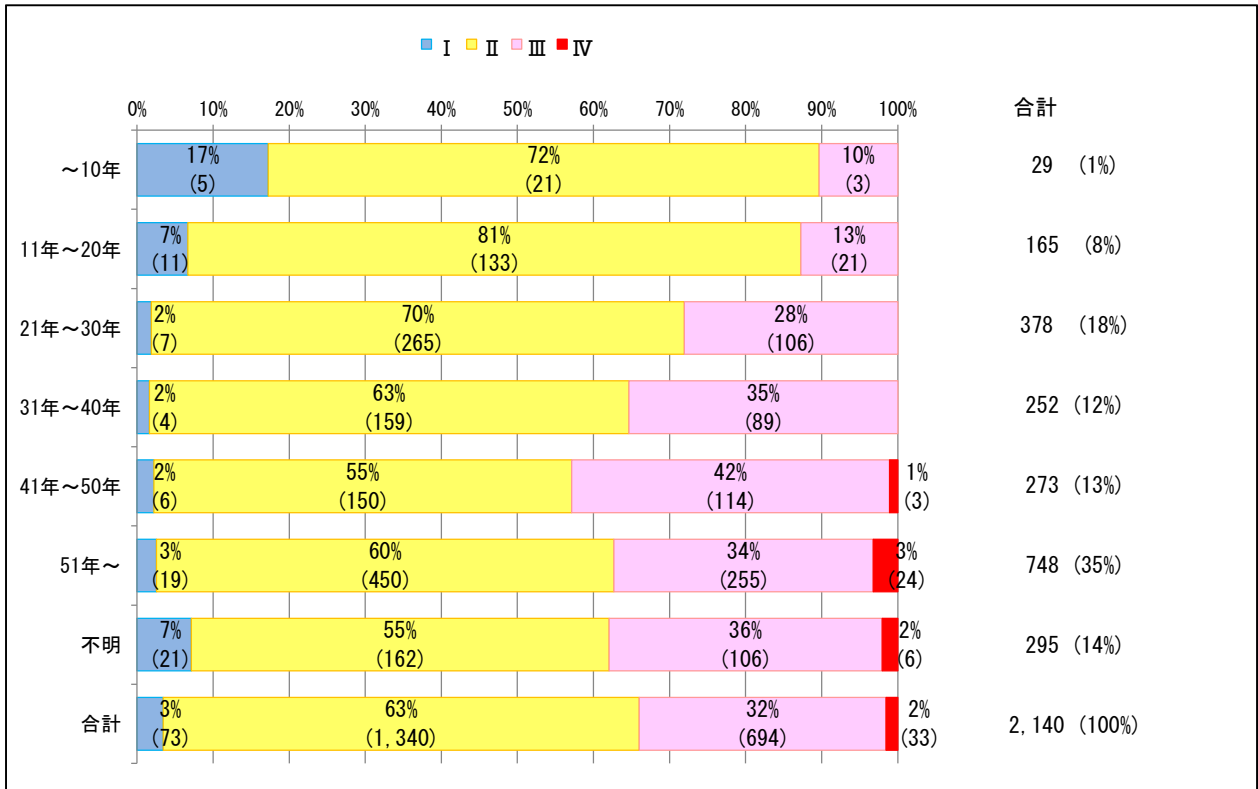
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

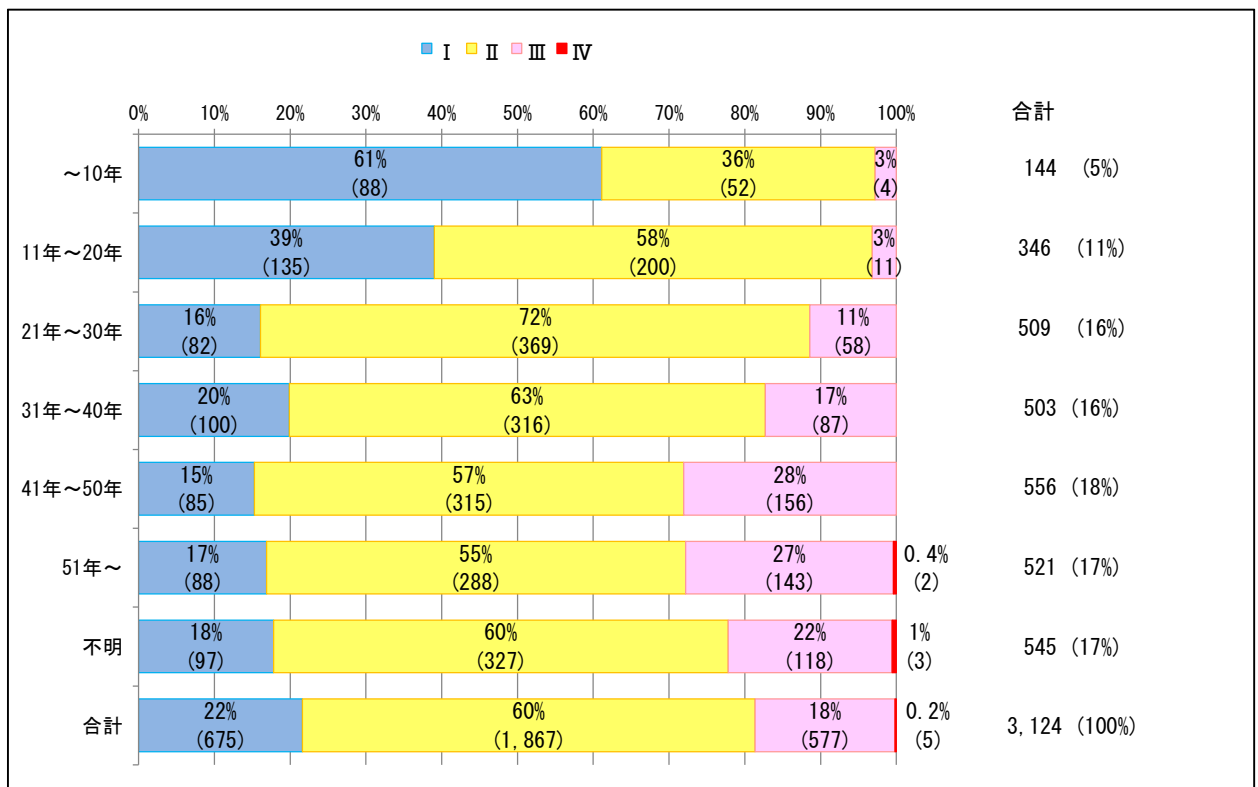
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 1巡目点検(2014～18年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 1巡目点検(2014～2018年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 99%、高速道路会社 95%、地方公共団体 75%です。
- 完了した割合は、国土交通省 70%、高速道路会社 75%、地方公共団体 56%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約2割あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度					
					0%	20%	40%	60%	80%
国土交通省	3,359	3,337 (99%)	2,344 (70%)	2014	92% (着手率), 100% (完了率)				
				2015	86% (着手率), 100% (完了率)				
				2016	76% (着手率), 100% (完了率)				
				2017	64% (着手率), 100% (完了率)				
				2018	37% (着手率), 97% (完了率)				
高速道路会社	2,533	2,402 (95%)	1,905 (75%)	2014	86% (着手率), 100% (完了率)				
				2015	91% (着手率), 100% (完了率)				
				2016	83% (着手率), 100% (完了率)				
				2017	87% (着手率), 100% (完了率)				
				2018	43% (着手率), 81% (完了率)				
地方公共団体計	61,466	46,043 (75%)	34,357 (56%)	2014	74% (着手率), 85% (完了率)				
				2015	65% (着手率), 81% (完了率)				
				2016	57% (着手率), 76% (完了率)				
				2017	47% (着手率), 68% (完了率)				
				2018	38% (着手率), 65% (完了率)				
都道府県・政令市等	20,071	17,770 (89%)	12,974 (65%)	2014	81% (着手率), 93% (完了率)				
				2015	74% (着手率), 93% (完了率)				
				2016	66% (着手率), 88% (完了率)				
				2017	53% (着手率), 83% (完了率)				
				2018	51% (着手率), 87% (完了率)				
市区町村	41,395	28,273 (68%)	21,383 (52%)	2014	69% (着手率), 79% (完了率)				
				2015	61% (着手率), 76% (完了率)				
				2016	54% (着手率), 71% (完了率)				
				2017	44% (着手率), 62% (完了率)				
				2018	31% (着手率), 52% (完了率)				
合計	67,358	51,782 (77%)	38,606 (57%)		57% (着手率), 77% (完了率)				

2023.3末時点

※1:1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2022年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 1巡目点検（2014～2018年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 99%、高速道路会社 99%、地方公共団体 91%です。
- 完了した割合は、国土交通省 92%、高速道路会社 93%、地方公共団体 76%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳであるトンネルは次回点検まで（5年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約1割あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度					
					0%	20%	40%	60%	80%
国土交通省	507	503 (99%)	467 (92%)	2014	100% (C/A) 100% (B/A)				
				2015	97% (C/A) 100% (B/A)				
				2016	94% (C/A) 100% (B/A)				
				2017	95% (C/A) 100% (B/A)				
				2018	63% (C/A) 94% (B/A)				
高速道路会社	692	687 (99%)	644 (93%)	2014	97% (C/A) 100% (B/A)				
				2015	98% (C/A) 100% (B/A)				
				2016	98% (C/A) 100% (B/A)				
				2017	89% (C/A) 100% (B/A)				
				2018	69% (C/A) 94% (B/A)				
地方公共団体計	3,151	2,880 (91%)	2,402 (76%)	2014	85% (C/A) 93% (B/A)				
				2015	82% (C/A) 93% (B/A)				
				2016	87% (C/A) 98% (B/A)				
				2017	78% (C/A) 94% (B/A)				
				2018	62% (C/A) 83% (B/A)				
都道府県・政令市等	2,326	2,284 (98%)	2,005 (86%)	2014	97% (C/A) 100% (B/A)				
				2015	85% (C/A) 95% (B/A)				
				2016	90% (C/A) 99% (B/A)				
				2017	84% (C/A) 99% (B/A)				
				2018	81% (C/A) 97% (B/A)				
市区町村	825	596 (72%)	397 (48%)	2014	63% (C/A) 79% (B/A)				
				2015	59% (C/A) 73% (B/A)				
				2016	63% (C/A) 86% (B/A)				
				2017	50% (C/A) 73% (B/A)				
				2018	39% (C/A) 67% (B/A)				
合計	4,350	4,070 (94%)	3,513 (81%)		81% (C/A) 94% (B/A)				

2023.3末時点

※1:1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2022年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 1巡目点検（2014～2018年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 98%、高速道路会社 99%、地方公共団体 85%です。
- 完了した割合は、国土交通省 59%、高速道路会社 94%、地方公共団体 67%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである道路附属物等は次回点検まで（5年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない道路附属物等は約1割あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※3
					0%	100%	0%	100%	
国土交通省	1,609	1,577 (98%)	947 (59%)	2014	81%	100%	81%	100%	100%
				2015	68%	100%	68%	100%	100%
				2016	65%	100%	65%	100%	100%
				2017	58%	100%	58%	100%	100%
				2018	31%	91%	31%	91%	100%
高速道路会社	391	387 (99%)	367 (94%)	2014	94%	100%	94%	100%	100%
				2015	96%	100%	96%	100%	100%
				2016	95%	100%	95%	100%	100%
				2017	98%	100%	98%	100%	100%
				2018	84%	94%	84%	94%	100%
地方公共団体計	3,814	3,252 (85%)	2,543 (67%)	2014	85%	96%	85%	96%	100%
				2015	59%	78%	59%	78%	100%
				2016	70%	87%	70%	87%	100%
				2017	69%	90%	69%	90%	100%
				2018	57%	80%	57%	80%	100%
都道府県・政令市等	3,154	2,751 (87%)	2,155 (68%)	2014	88%	98%	88%	98%	100%
				2015	57%	77%	57%	77%	100%
				2016	72%	90%	72%	90%	100%
				2017	72%	92%	72%	92%	100%
				2018	61%	84%	61%	84%	100%
市区町村	660	501 (76%)	388 (59%)	2014	77%	90%	77%	90%	100%
				2015	74%	83%	74%	83%	100%
				2016	54%	69%	54%	69%	100%
				2017	50%	79%	50%	79%	100%
				2018	44%	63%	44%	63%	100%
合計	5,814	5,216 (90%)	3,857 (66%)		66%	90%	66%	90%	100%

2023.3末時点

※1:1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2022年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(2) 2巡目点検(2019~22年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 2巡目点検(2019~2022年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 55%、高速道路会社 41%、地方公共団体 42%です。
- 完了した割合は、国土交通省 11%、高速道路会社 13%、地方公共団体 15%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度		
					措置着手率(B/A)	措置完了率(C/A)
国土交通省	3,112	1,703 (55%)	342 (11%)	2019	22%	84%
				2020	12%	67%
				2021	7%	47%
				2022	2%	21%
高速道路会社	2,207	915 (41%)	284 (13%)	2019	26%	65%
				2020	15%	52%
				2021	8%	33%
				2022	3%	18%
地方公共団体計	42,683	17,780 (42%)	6,571 (15%)	2019	29%	58%
				2020	21%	54%
				2021	9%	38%
				2022	3%	15%
都道府県・政令市等	14,306	7,475 (52%)	2,456 (17%)	2019	33%	69%
				2020	23%	68%
				2021	10%	49%
				2022	4%	22%
市区町村	28,377	10,305 (36%)	4,115 (15%)	2019	27%	52%
				2020	20%	48%
				2021	9%	33%
				2022	2%	12%
合計	48,002	20,398 (42%)	7,197 (15%)		15%	42%

2023.3末時点

※1: 2巡目(2019年度~2022年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2022年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 2巡目点検（2019～2022年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 51%、地方公共団体 61%です。
- 完了した割合は、国土交通省 15%、高速道路会社 22%、地方公共団体 26%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※2
					0%	100%	0%	100%	
国土交通省	363	233 (64%)	56 (15%)	2019	26%	93%	26%	93%	
				2020	19%	77%	19%	77%	
				2021	10%	57%	10%	57%	
				2022	1%	14%	1%	14%	
高速道路会社	342	174 (51%)	76 (22%)	2019	31%	77%	31%	77%	
				2020	33%	63%	33%	63%	
				2021	23%	51%	23%	51%	
				2022	7%	21%	7%	21%	
地方公共団体計	1,759	1,067 (61%)	458 (26%)	2019	56%	85%	56%	85%	
				2020	30%	79%	30%	79%	
				2021	21%	57%	21%	57%	
				2022	5%	27%	5%	27%	
都道府県・政令市等	1,461	960 (66%)	424 (29%)	2019	62%	92%	62%	92%	
				2020	32%	82%	32%	82%	
				2021	22%	60%	22%	60%	
				2022	6%	30%	6%	30%	
市区町村	298	107 (36%)	34 (11%)	2019	28%	57%	28%	57%	
				2020	14%	51%	14%	51%	
				2021	9%	36%	9%	36%	
				2022	1%	16%	1%	16%	
合計	2,464	1,474 (60%)	590 (24%)		24%	60%	24%	60%	

2023.3末時点

※1: 2巡目(2019年度～2022年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2022年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 2巡目点検（2019～2022年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 53%、高速道路会社 52%、地方公共団体 53%です。

- 完了した割合は、国土交通省 11%、高速道路会社 40%、地方公共団体 20%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※2
					0%	100%	0%	100%	
国土交通省	1,637	861 (53%)	188 (11%)	2019	21%	77%	18%	67%	
				2020	18%	67%	9%	52%	
				2021	9%	52%	2%	26%	
				2022	2%	26%			
高速道路会社	211	110 (52%)	84 (40%)	2019	80%	91%	41%	57%	
				2020	41%	57%	34%	46%	
				2021	34%	46%	2%	10%	
				2022	2%	10%			
地方公共団体計	2,053	1,097 (53%)	412 (20%)	2019	39%	82%	24%	66%	
				2020	24%	66%	12%	46%	
				2021	12%	46%	3%	16%	
				2022	3%	16%			
都道府県・政令市等	1,689	923 (55%)	345 (20%)	2019	38%	82%	23%	69%	
				2020	23%	69%	15%	49%	
				2021	15%	49%	4%	14%	
				2022	4%	14%			
市区町村	364	174 (48%)	67 (18%)	2019	46%	84%	25%	52%	
				2020	25%	52%	1%	34%	
				2021	1%	34%	2%	21%	
				2022	2%	21%			
合計	3,901	2,068 (53%)	684 (18%)			18%	53%		

2023.3末時点

※1:2巡目(2019年度～2022年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2022年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(3) 過年度の点検(2014~22年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 過年度の点検(2014~2022年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 62%、高速道路会社 50%、地方公共団体 46%です。
- 完了した割合は、国土交通省 15%、高速道路会社 19%、地方公共団体 19%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A - B)
		B (B / A)	うち完了 C (C / A)	
国土交通省	3,825	2,383 (62%)	562 (15%)	1,442 (38%)
高速道路会社	2,759	1,377 (50%)	537 (19%)	1,382 (50%)
地方公共団体	52,304	23,948 (46%)	10,054 (19%)	28,356 (54%)
都道府県・ 政令市等	17,803	10,420 (59%)	4,104 (23%)	7,383 (41%)
市区町村	34,501	13,528 (39%)	5,950 (17%)	20,973 (61%)
合計	58,888	27,708 (47%)	11,153 (19%)	31,180 (53%)

2023.3末時点

※1:2022年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

- 過年度の点検（2014～2022年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 69%、高速道路会社 62%、地方公共団体 68%です。
- 完了した割合は、国土交通省 21%、高速道路会社 33%、地方公共団体 37%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A - B)
		B (B / A)	うち完了 C (C / A)	
国土交通省	432	296 (69%)	92 (21%)	136 (31%)
高速道路会社	455	283 (62%)	152 (33%)	172 (38%)
地方公共団体	2,699	1,834 (68%)	1,007 (37%)	865 (32%)
都道府県・ 政令市等	1,972	1,451 (74%)	817 (41%)	521 (26%)
市区町村	727	383 (53%)	190 (26%)	344 (47%)
合計	3,586	2,413 (67%)	1,251 (35%)	1,173 (33%)

2023.3末時点

※1:2022年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2022年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2022年度末時点で、国土交通省 59%、高速道路会社 61%、地方公共団体 62%です。
- 完了した割合は、国土交通省 16%、高速道路会社 49%、地方公共団体 31%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A - B)
		B (B / A)	うち完了 C (C / A)	
国土交通省	2,005	1,190 (59%)	328 (16%)	815 (41%)
高速道路会社	269	164 (61%)	131 (49%)	105 (39%)
地方公共団体	3,133	1,939 (62%)	961 (31%)	1,194 (38%)
都道府県・ 政令市等	2,551	1,631 (64%)	805 (32%)	920 (36%)
市区町村	582	308 (53%)	156 (27%)	274 (47%)
合計	5,407	3,293 (61%)	1,420 (26%)	2,114 (39%)

2023.3末時点

※1:2022年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況

- 各都道府県における道路管理者毎（国土交通省、高速道路会社、都道府県、市区町村）の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を公開。

(5) 全国道路施設点検データベース(損傷マップ)

- 老朽化対策のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で公開中。



<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>

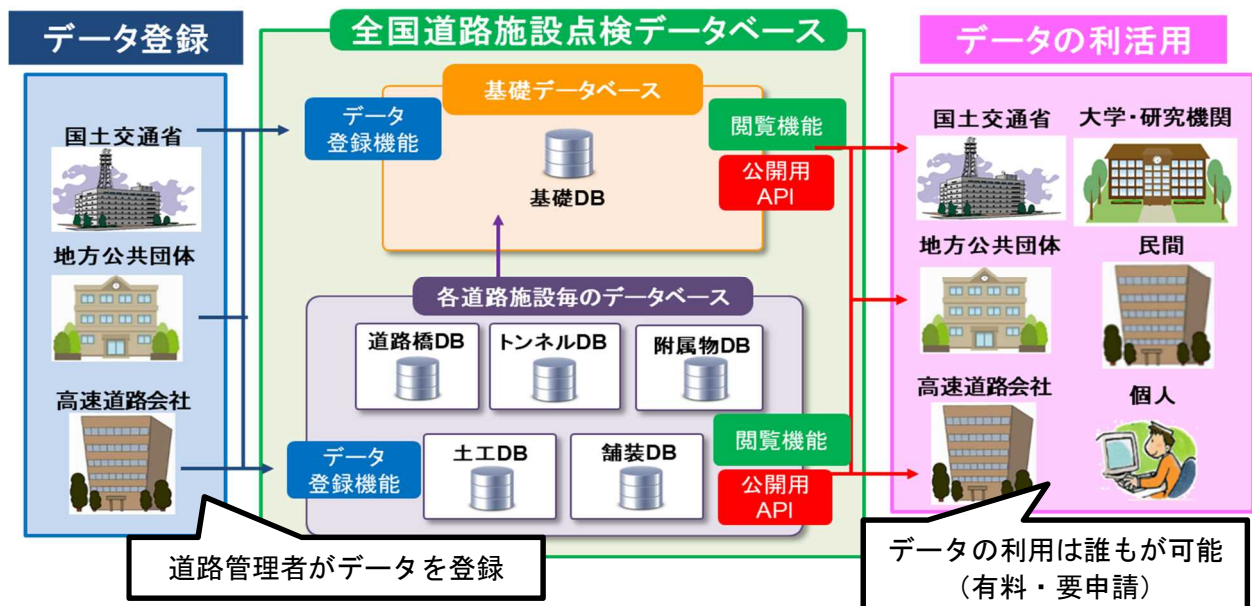
- データについては順次更新を行い 2022 年度末時点のデータも今後公開予定。
- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」により有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。



<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>

○ 全国道路施設点検データベース～損傷マップ～(閲覧画面)

○ 全国道路施設点検データベース(イメージ)



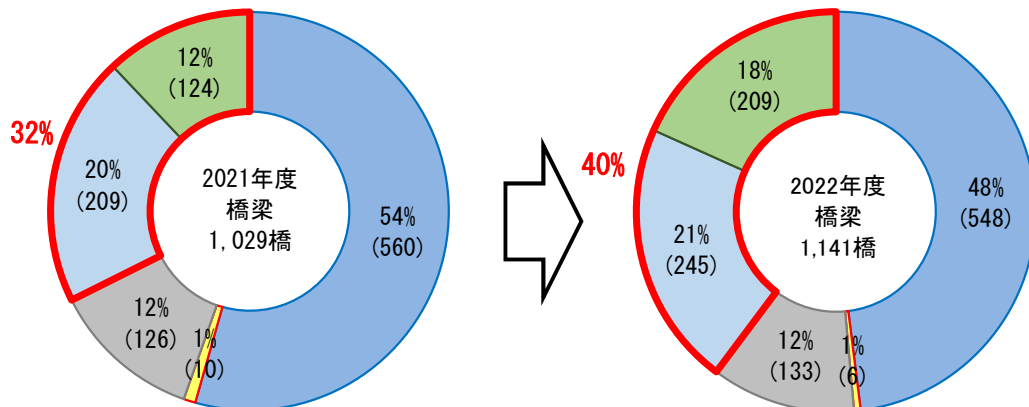
(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

○ 2022年度末までに緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）と判定された施設の措置状況のうち、撤去・廃止の割合は、2022年度末時点で、橋梁：40%、トンネル：48%、道路附属物等：33%です。

※道路管理者毎の内訳及びⅣ判定の施設リストは巻末資料(3)を参照。

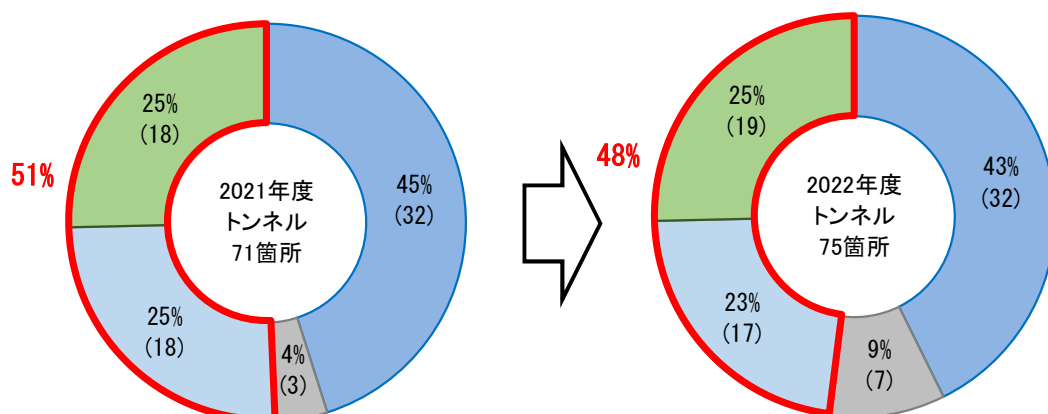
○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(完了済・予定のものを含む)

■ 修繕・架替 ■ 機能転換 ■ 対応未定 ■ 撤去・廃止 ■ 撤去・廃止済



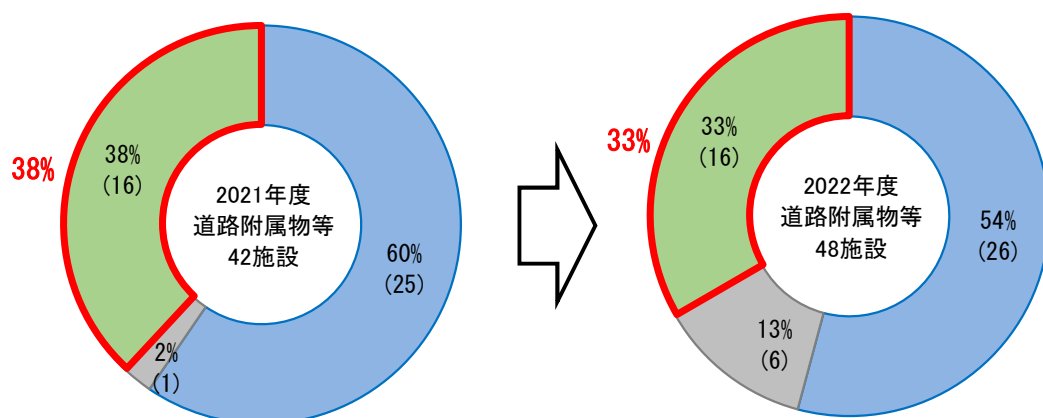
○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況(完了済・予定のものを含む)

■ 修繕 ■ 対応未定 ■ 廃止 ■ 撤去・廃止済



○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況(完了済・予定のものを含む)

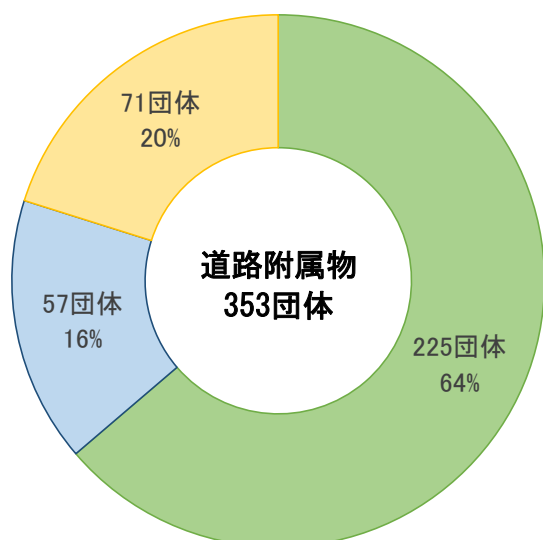
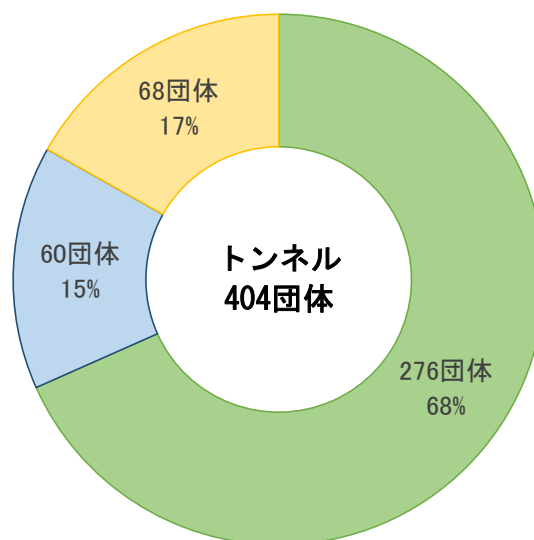
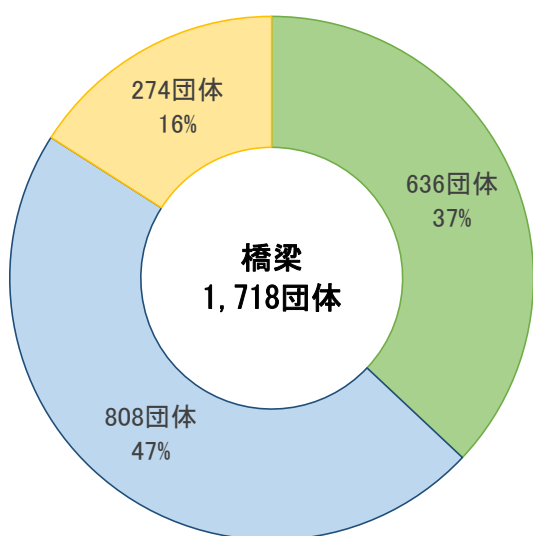
■ 修繕 ■ 対応未定 ■ 廃止 ■ 撤去・廃止済



4. 地方公共団体の修繕等措置状況

(1) 1巡目点検(2014～18年度)の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況

- 1巡目点検(2014～2018年度)において早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁に着手した割合は、地方公共団体によって差があり、1巡目点検で区分Ⅲ又はⅣと判定された施設を管理している1,718団体のうち、
- ・ 着手率100%の地方公共団体が636団体(37%)ある一方で、
 - ・ 着手率50%以上100%未満が808団体(47%)
 - ・ 着手率50%未満が274団体(16%)
- であり、地方公共団体によって差がでてきている。



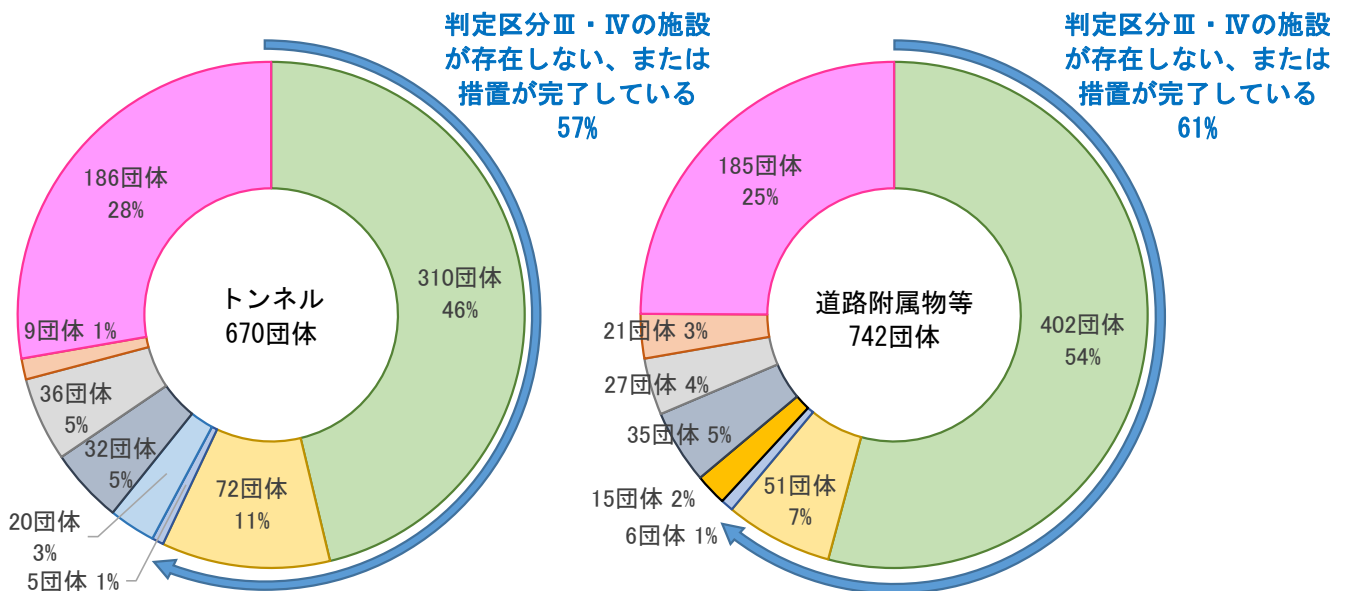
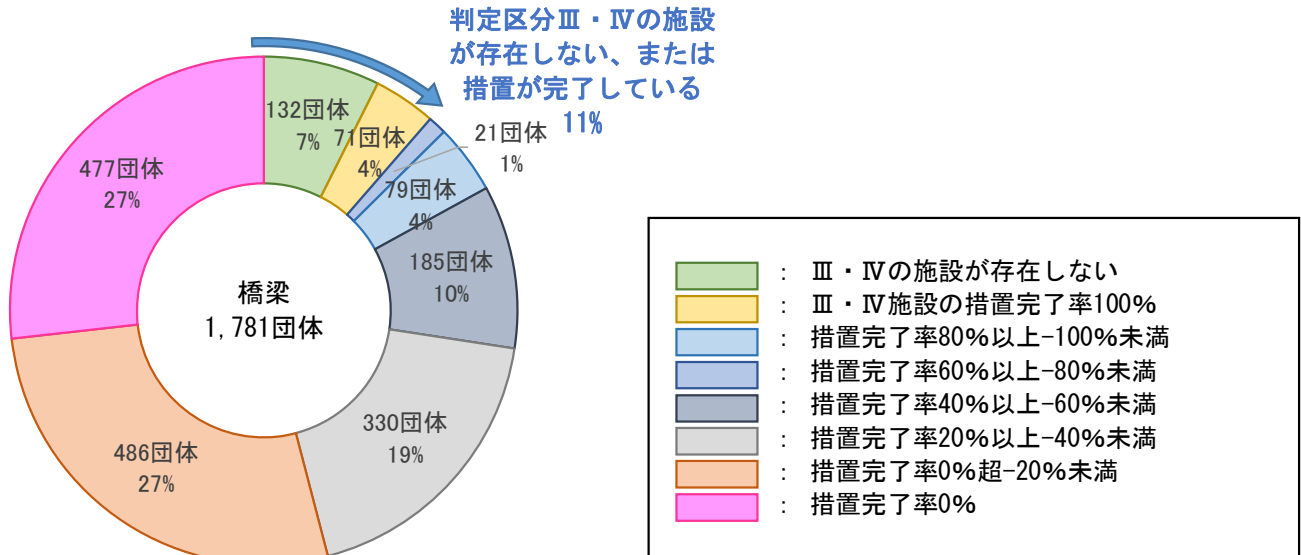
■	: Ⅲ・Ⅳ施設の措置着手率100%
■	: 措置着手率50%以上-100%未満
■	: 措置着手率50%未満

※点検対象外等となり、現在、1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設を管理していない団体を除く。

(2)2022 年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数

○ 橋梁の修繕等の措置が進み、早期に措置を講ずべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）の施設が存在しない、または修繕等の措置が完了している団体は、2022 年度末時点で 11%に留まっており、措置完了率が 20%未満の団体が半数以上を占めています。

○ 地方公共団体の予防保全への移行状況



※団体数は、2022 年度末時点の点検対象施設（管理施設のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設）を管理する都道府県、政令市、市区町村の合計。

5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 概要

舗装については、各道路管理者により、道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制の視点から管内の道路を分類し、その分類に基づき点検などを行っています。今年度より、地方公共団体の管理する重要物流道路などの重交通を担う道路である分類A・Bに焦点をあてて集計しています。

<道路の分類のイメージ>

特性	分類	主な道路 (イメージ)	管理基準※ ¹ ()内は直轄の基準	点検頻度	健全性の診断※ ²	車線延長※ ³	
・高速道路等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)	A	高速道路※ ⁴	ひび割れ率: 15~20% (20%以上)	道路管理者が5年に1回以上適切に実施	分類A・Bの判定区分 I (健全): 損傷レベルが小	計: 約 41,100km ・高速管理: 約 33,600km ・直轄管理: 約 5,000km ・地方管理: 約 2,500km	
			わだち掘れ量: 20~25mm (25mm 以上)				II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中
・損傷の進行が早い道路等 (例えば大型車交通量が多い道路) 重要物流道路又は大型車 1,000 台・方向以上/日(目安)	B	直轄国道	ひび割れ率: 20~40% (40%以上)		更新時期や地域特性等に応じて道路管理者が適切に点検計画を作成	分類C・Dの判定区分 III (修繕段階): 損傷レベルが大	計: 約 174,700km ・直轄管理 約 55,000km ・地方管理 約 119,700km
			わだち掘れ量: 20~40mm (40mm 以上)				
・損傷の進行が緩やかな道路等 (例えば大型車交通量が少ない道路)	C	補助国道・県道	IRI: 3.5mm/m (3.5mm/m以上)	III-2 路盤打換等 (路盤以下の層も損傷)		I (健全): 損傷レベルが小	計: 約 350,000km
			ひび割れ率: 20~40% (40%以上)				
・生活道路等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響がなければ長寿命) 幅員 5.5m 未満の道路	D	政令市一般市道 市町村道	IRI: 8mm/m (8mm/m以上)	III (修繕段階): 損傷レベルが大	計: 約 750,000km		
合計						計: 約 1,300,000km	

※1 一部の地方管理道路については、独自の管理基準を設定している場合がある。

※2 コンクリート舗装の健全性の診断は、分類A~D共通して、判定区分I~IIIで判定

※3 車線延長は一部センサデータ等による推計値を含む。

※4 高速道路会社についてはサービス水準を高く設定しており、独自の厳しい基準で点検を実施していることから、国の舗装点検要領にあてはめることができないため集計していない。

国土交通省の管理する道路の舗装は、2017年度より舗装点検要領（2017年3月 国土交通省 道路局 国道・防災課）に基づき、5年に1回の頻度で目視を基本とする点検を実施しています。

舗装の健全性の診断は、以下の通り区分します。

<アスファルト舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態
II	表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度
III	修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態
	III-1 表層等修繕	表層の供用年数が使用目標年数を超える場合（路盤以下の層が健全であると想定される場合）
	III-2 路盤打換等	表層の供用年数が使用目標年数未満である場合（路盤以下の層が損傷していると想定される場合）

<コンクリート舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小：目地部に目地材が充填されている状態を保持し、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まることができないと想定される状態であり、ひび割れも認められない状態
II	補修段階	損傷レベル中：目地部の目地材が飛散等しており、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まる恐れがあると想定される状態、目地部で角欠けが生じている状態
III	修繕段階	損傷レベル大：コンクリート版において、版央付近又はその前後に横断ひび割れが全幅員にわたっていて、一枚の版として輪荷重を支える機能が失われている可能性が高いと考えられる状態、または、目地部に段差が生じたりコンクリート版の隅角部に角欠けへの進展が想定されるひび割れが生じているなど、コンクリート版と路盤の間に隙間が存在する可能性が高いと考えられる状態

国土交通省以外の道路管理者は、舗装点検要領（2016年10月 国土交通省 道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

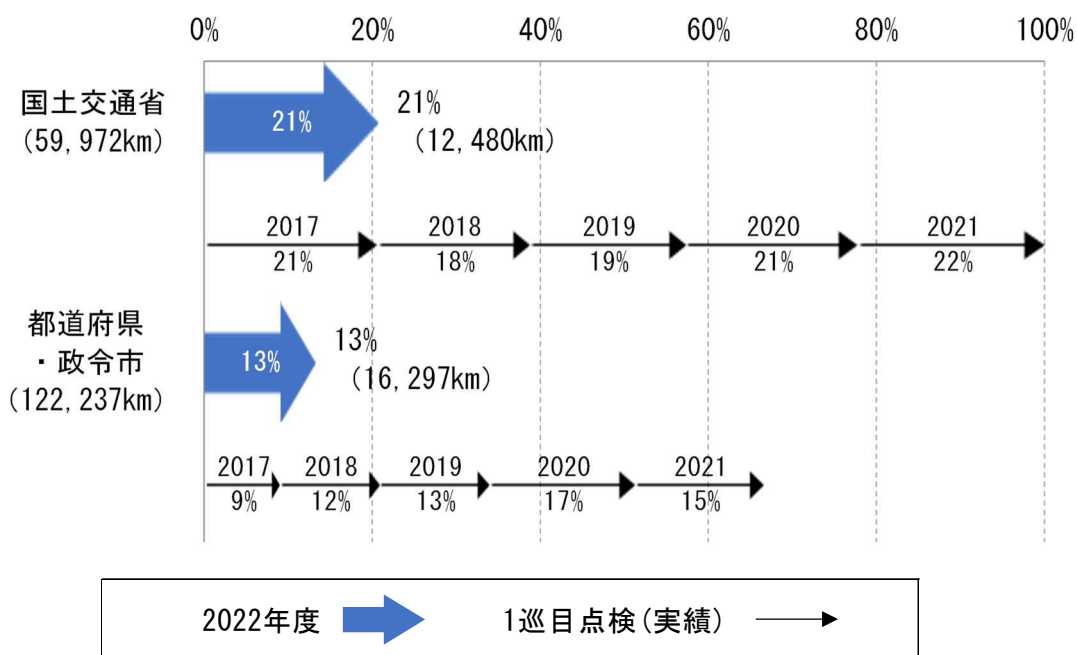
(2) 2巡目(2022年度)の点検結果(国土交通省、都道府県・政令市)

- 舗装点検については 2022 年度より 2 巡目点検が始まり、国土交通省が管理する道路では約 21%、都道府県・政令市が管理する道路^{※1}では約 13%で点検を実施済みです。
- 判定区分Ⅲ(修繕段階)の割合(延べ車線延長^{※2}ベース)は、アスファルト舗装では国土交通省が 12%、都道府県・政令市が 12%、コンクリート舗装では国土交通省が 2%、都道府県・政令市が 8%となっています。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

※2 延べ車線延長: 点検対象となる車線延長の合計。2022 年 3 月末時点の延長のうち、供用後 5 年以内を除く。
また一部の自治体では管理延長等をもとに算出。

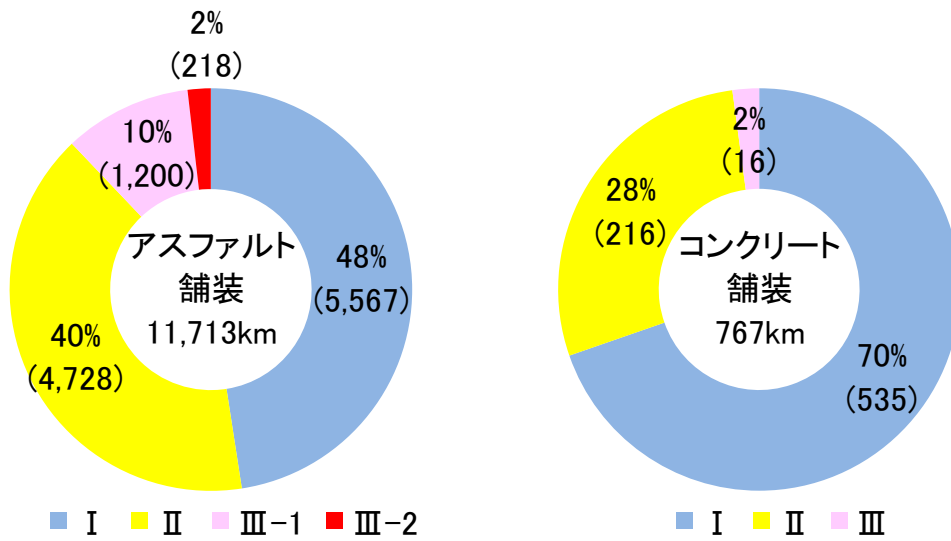
○ 点検実施率(延べ車線延長ベース)



2023.3 末時点

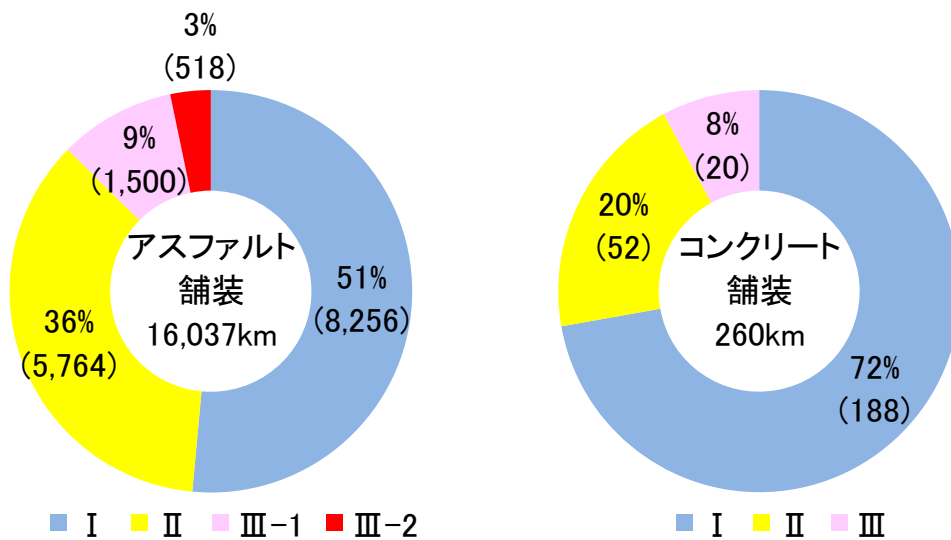
※()内は、2022 年度に点検を実施した車線延長の合計。

○ 国土交通省の2巡目(2022年)点検の判定区分の割合



2023.3 末時点

○ 都道府県・政令市の2巡目(2022年)点検の判定区分の割合



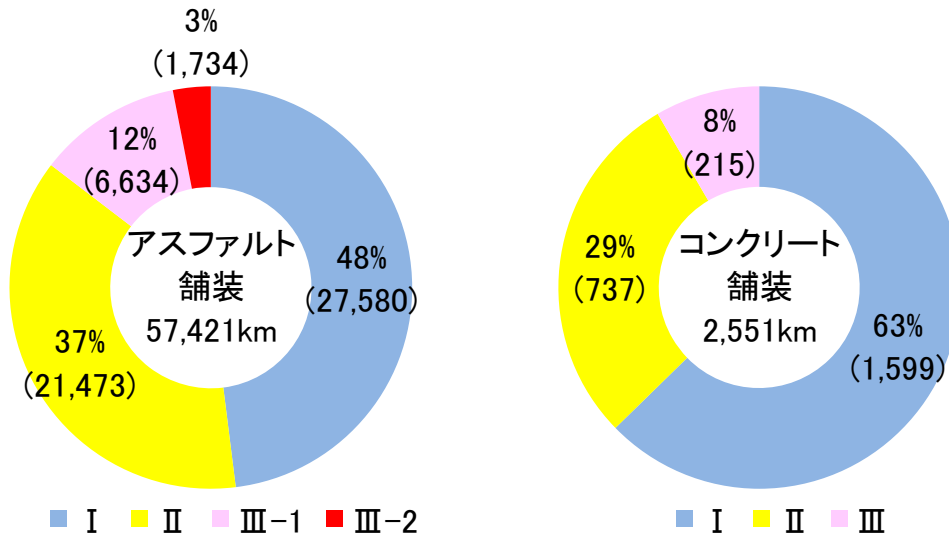
2023.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

(3) 過年度の点検(2017~2022 年度)の点検結果(国土交通省)

○ 2022 年度末時点で判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長ベース）は、アスファルト舗装では 15%、コンクリート舗装では 8%となっています。

○ 国土交通省の判定区分の割合



2023.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
 ※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2017～2022年度)の実施箇所における修繕等措置の実施状況(国土交通省)

○ 2022年度末の時点で修繕段階(区分Ⅲ)にあると判定されたアスファルト舗装のうち、修繕等措置に着手した割合は17%、コンクリート舗装では9%です。

○ 国土交通省の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	8,368	1,411 (17%)
As 舗装(Ⅲ-1)	6,634	1,168 (18%)
As 舗装(Ⅲ-2)	1,734	242 (14%)
Co 舗装	215	19 (9%)
合計	8,583	1,429 (17%)

2023.3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 小規模附属物

1) 概要

小規模附属物については、門型標識を除く道路標識及び照明施設等の支柱や支柱取付部等について点検を行っています。

国土交通省では、附属物（標識、照明施設等）点検要領（2014年6月 国土交通省道路局 国道・防災課）に基づき、概ね10年に1回を目安として近接目視による詳細点検及び、5年に1回を目安として外観目視を基本とする中間点検を実施しています。

小規模附属物の損傷度の診断は、以下の通り区分します。

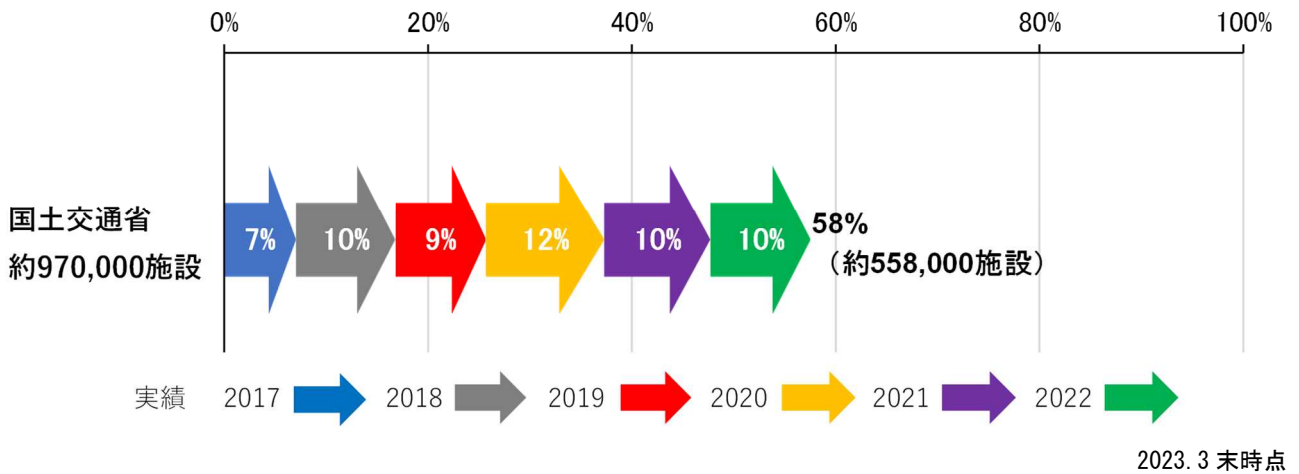
区分	状態
a	損傷が認められない
c	損傷が認められる
e	損傷が大きい

国土交通省以外の道路管理者は、小規模附属物点検要領（2017年3月 国土交通省道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 点検結果(国土交通省)

- 国土交通省では、2017 年度より小規模附属物点検を行っており、2022 年度末時点の近接目視による詳細点検の実施率は約 58%となっています。
- 国土交通省の損傷度の判定区分の割合は、a 64%、c 32%、e 5%です。

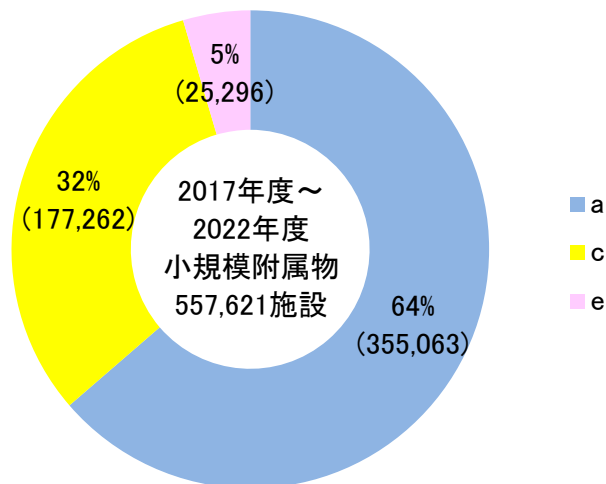
○ 国土交通省の点検実施率(詳細点検)



※()内は、2017~2022 年度に点検を実施した施設数の合計。

○ 国土交通省の判定区分の割合

小規模附属物点検結果 損傷度の判定区分



2023.3 末時点

3) 修繕の実施状況(国土交通省)

○ 国土交通省が管理する小規模附属物で、損傷度の判定区分 e の修繕着手率は 19%、完了率は 18%です。

判定区分c、e の修繕の実施状況(国土交通省)

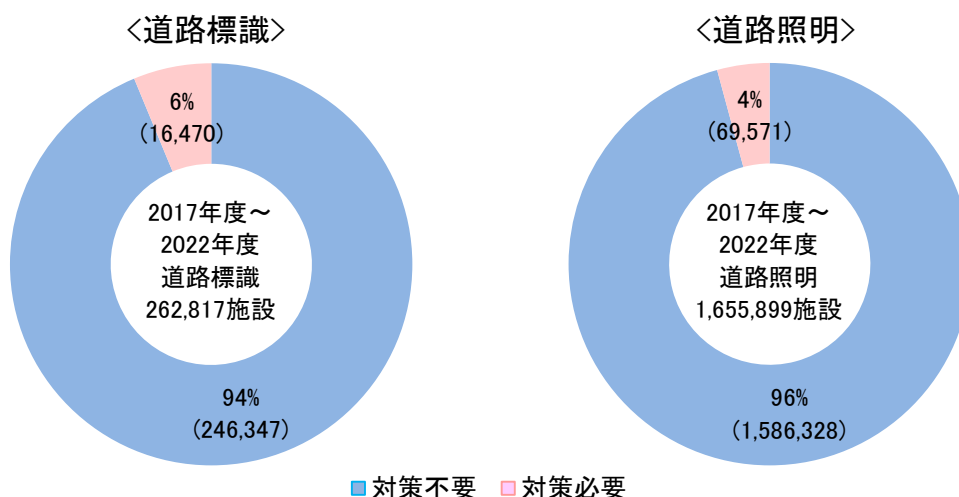
小規模 附属物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
c	177,262	1,478 (1%)	1,321 (1%)	2017	0.4%	1%				
				2018	2%	2%				
				2019	1%	1%				
				2020	1%	1%				
				2021	0.4%	0.4%				
				2022	0.2%	0.2%				
e	25,296	4,928 (19%)	4,460 (18%)	2017	26%	32%				
				2018	27%	30%				
				2019	27%	30%				
				2020	23%	23%				
				2021	10%	11%				
				2022	3%	3%				
合計	202,558	6,406 (3%)	5,781 (3%)							

2023. 3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2016 年度に小規模附属物点検要領を示しています。
- 2017～2022 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は、道路標識：262,817 施設、道路照明：1,655,899 施設となっています。
- 要対策の施設数は、道路標識で 16,470 施設、道路照明で 69,571 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、道路標識で 33%、道路照明で 44%です。

○ 地方公共団体の点検結果



2023.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の小規模附属物における修繕等措置の実施状況

種別	対策が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
道路標識	16,470	5,508 (33%)	4,276 (26%)
道路照明	69,571	30,411 (44%)	28,806 (41%)
合計	86,041	35,949 (42%)	33,082 (38%)

2023.3 末時点

※2017～2022 年度の 6 年間の点検により対策が必要と判定された施設。

(2) 土工構造物

1) 概要

土工構造物については、重要度が高い法面等について点検を行うこととしています。

国土交通省では、道路土工構造物点検要領（2018年6月 国土交通省 道路局 国道・技術課）に基づき、長大切土又は高盛土の区域（特定道路土工構造物）については、2018年度より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

特定道路土工構造物の健全性の診断は、以下の通り区分します。

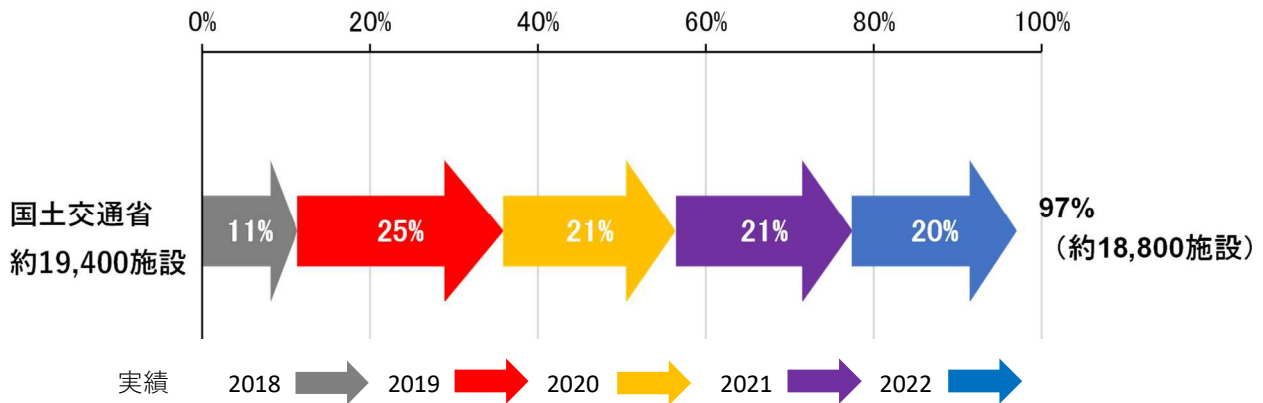
区分		状態
I	健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合（道路の機能に支障が生じていない状態）
II	経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合（道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態）
III	早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合（道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態）
IV	緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合（道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

国土交通省以外の道路管理者は、道路土工構造物点検要領（2017年8月 国土交通省 道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 点検結果(国土交通省)

- 国土交通省では、2018 年度より特定土工構造物点検を行っており、2022 年度末時点の点検実施率は約 97%となっています。
- 国土交通省管理の土工構造物の健全性の判定区分の割合は、I 48%、II 46%、III 6%、IV 0.02%です。

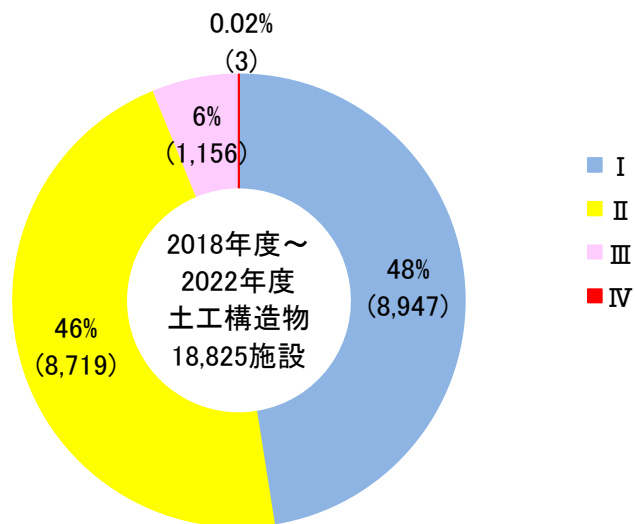
○ 国土交通省の点検実施率



2023. 3 末時点

※()内は、2018～2022 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※災害などにより点検を実施できないなど、一部点検できてない箇所がある。

○ 国土交通省の判定区分の割合



2023. 3 末時点

3) 修繕の実施状況(国土交通省)

○ 国土交通省が管理する特定土工構造物で、健全性の判定区分Ⅲの施設の修繕着手率は19%、判定区分Ⅳの施設の修繕着手率は100%です。

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕の実施状況(国土交通省)

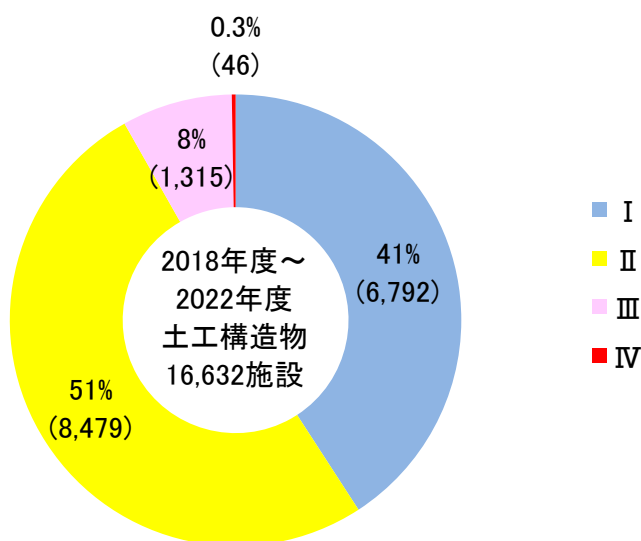
土工 構造物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	 : 着手率(B/A) : 完了率(C/A)					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
Ⅲ	1,156	220 (19%)	62 (5%)	2018	11%	31%				
				2019	7%	23%				
				2020	4%	16%				
				2021	3%	17%				
				2022	0%	4%				
Ⅳ	3	3 (100%)	1 (33%)	2018	対象施設なし					
				2019	0%	100%				
				2020	50%	100%				
				2021	対象施設なし					
				2022	対象施設なし					
合計	1,159	223 (19%)	63 (5%)							

2023.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2017 年度に道路土工構造物点検要領を示しています。
- 2018～2022 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は 16,632 施設となっています。
- 判定区分Ⅲ（早期措置段階）の施設数は 1,315 施設、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）の施設数は 46 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、判定区分Ⅲの施設で 18%、判定区分Ⅳの施設で 87%です。

○ 地方公共団体の判定区分の割合



2023.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の特定土工構造物における修繕等措置の実施状況

判定区分	修繕が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
Ⅲ	1,315	239 (18%)	127 (10%)
Ⅳ	46	40 (87%)	32 (70%)
合計	1,361	279 (20%)	159 (12%)

2023.3 末時点

※2018～2022 年度の 5 年間の点検により判定区分Ⅲ又はⅣと判定された施設。

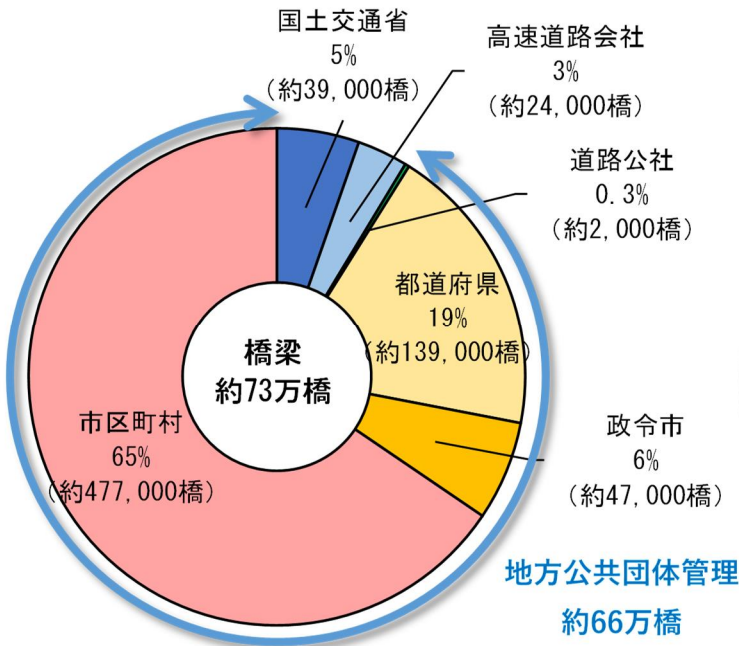
7. 橋梁・トンネルの現状

(1) 橋梁の現状

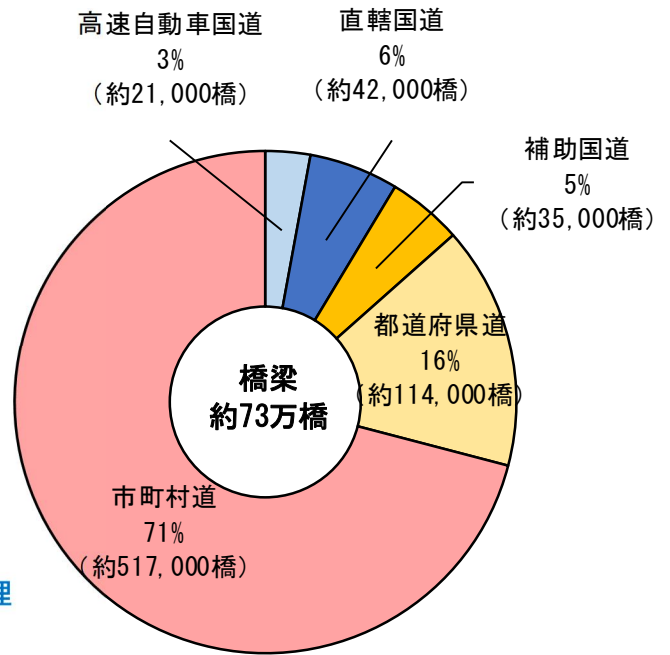
1) 管理者別の橋梁数、橋面積

○ 我が国には橋梁が約73万橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約66万橋と、9割以上を占めています。

○ 道路管理者別橋梁数

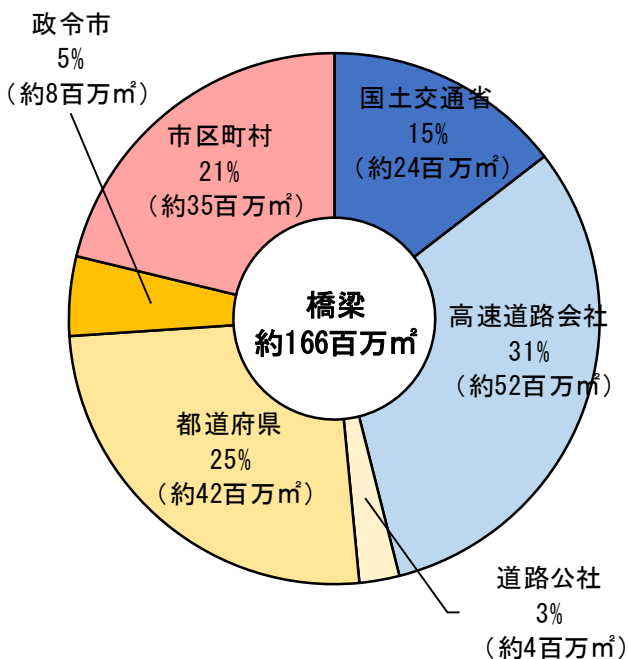


○ 道路種別別橋梁数

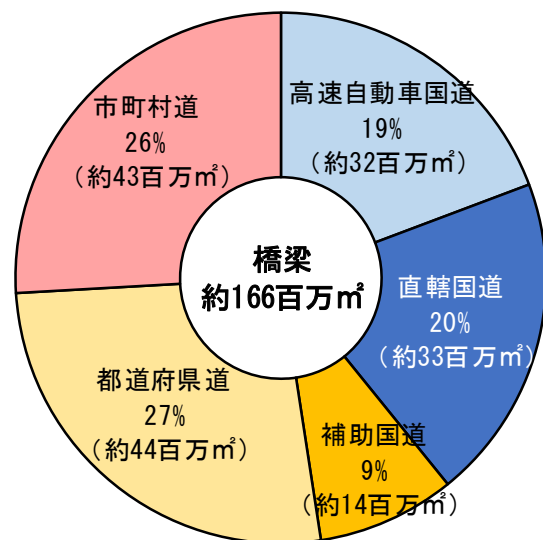


(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

○ 道路管理者別橋面積



○ 道路種別別橋面積

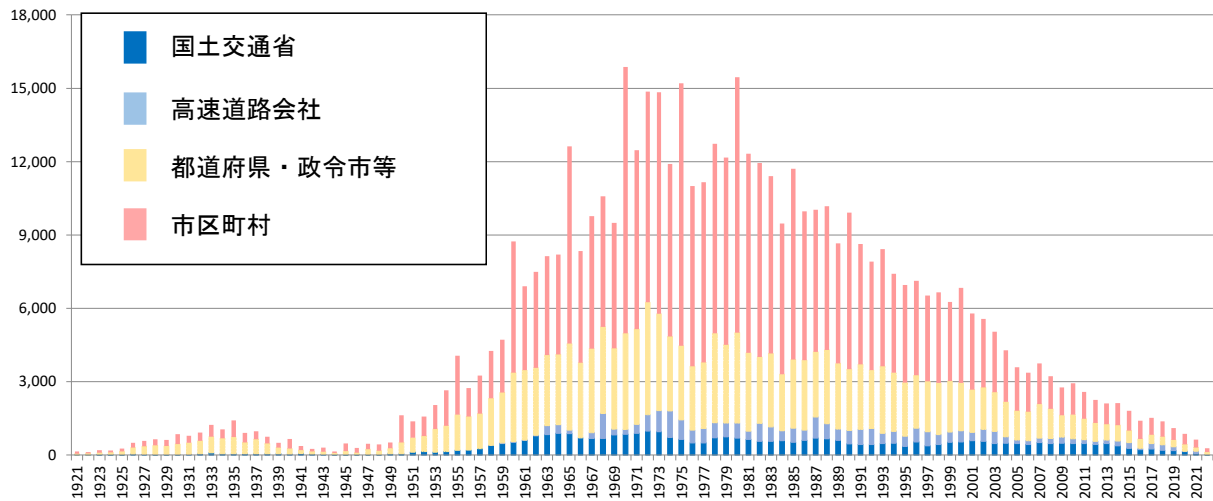


(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

2) 建設年度別の橋梁数

- 建設後 50 年を経過した橋梁の割合は、現在は約 37%であるのに対し、10 年後には約 61%となります。建設後 50 年を経過し橋長 15m 未満の橋梁の割合は、10 年後に約 68%となります。橋長 15m 以上の橋梁の割合は、10 年後に 49%となります。
- この他に建設年度が不明の道路橋が全国で約 21 万橋あり、これらのお大半が市区町村管理の橋長 15m 未満の橋梁です。

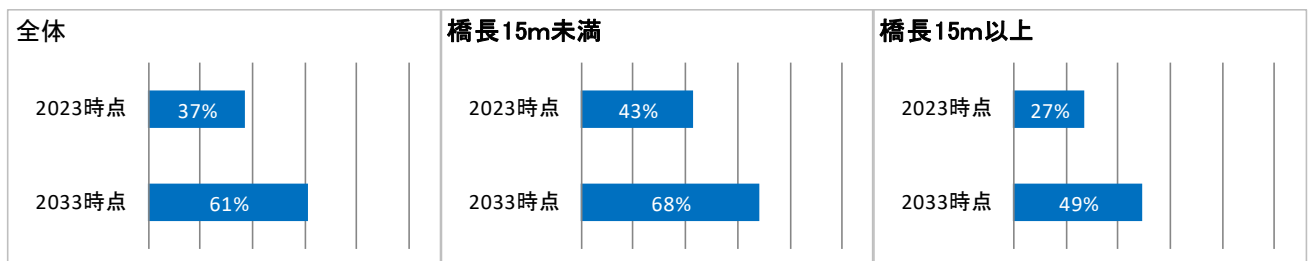
○ 建設年度別橋梁数



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 20.9 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

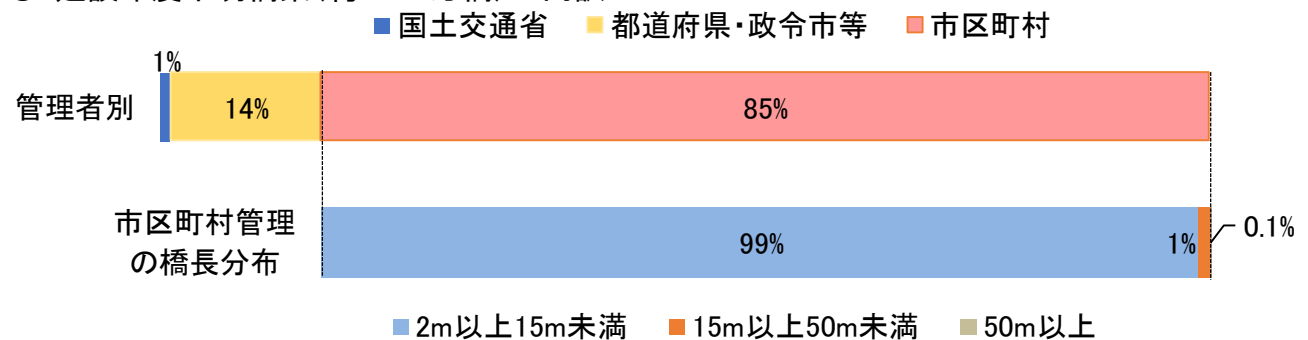
○ 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 20.9 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

○ 建設年度不明橋梁(約 20.9 万橋)の内訳

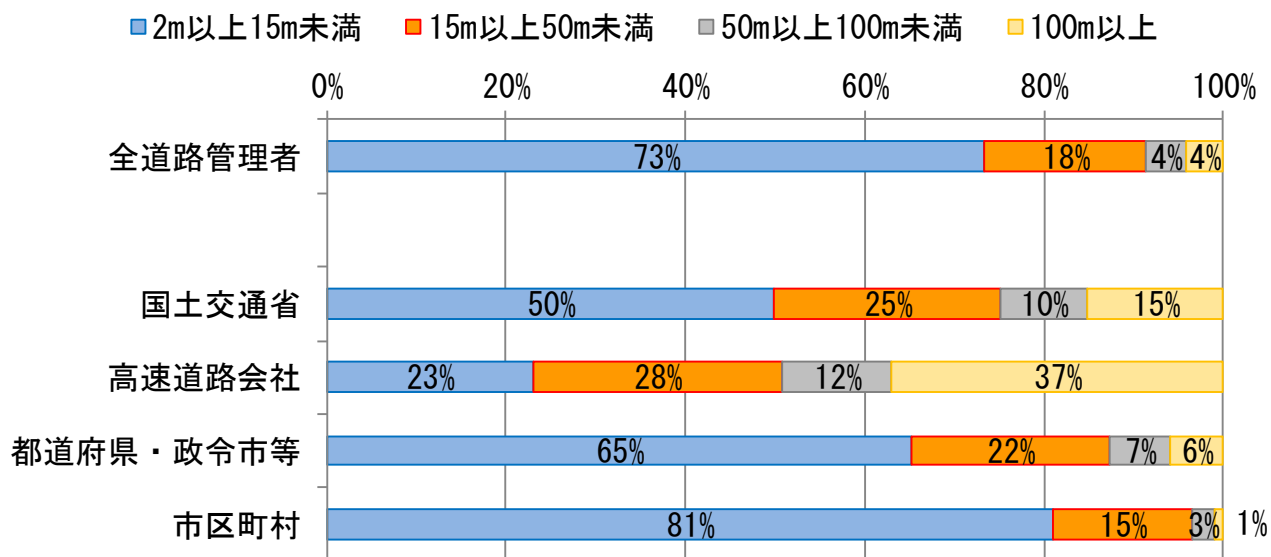


(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

3) 管理者別の橋長分布

- 橋長 50m 以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理する橋梁の 80%以上が橋長 15m 未満です。

○ 管理者別の橋長分布



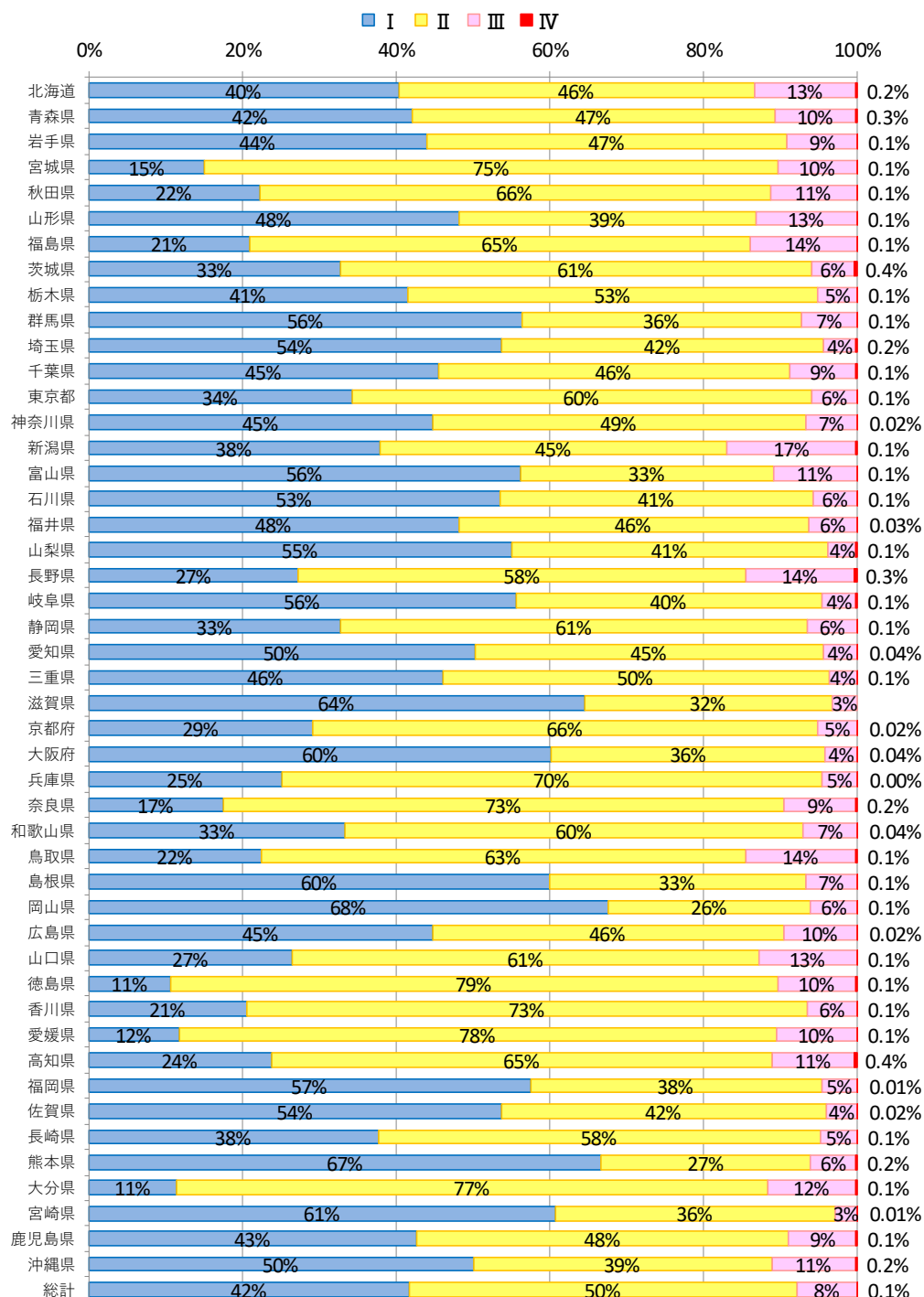
(出典) 道路局調べ(2023.3 末時点)

※ 橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014~22年度)の点検結果の分布

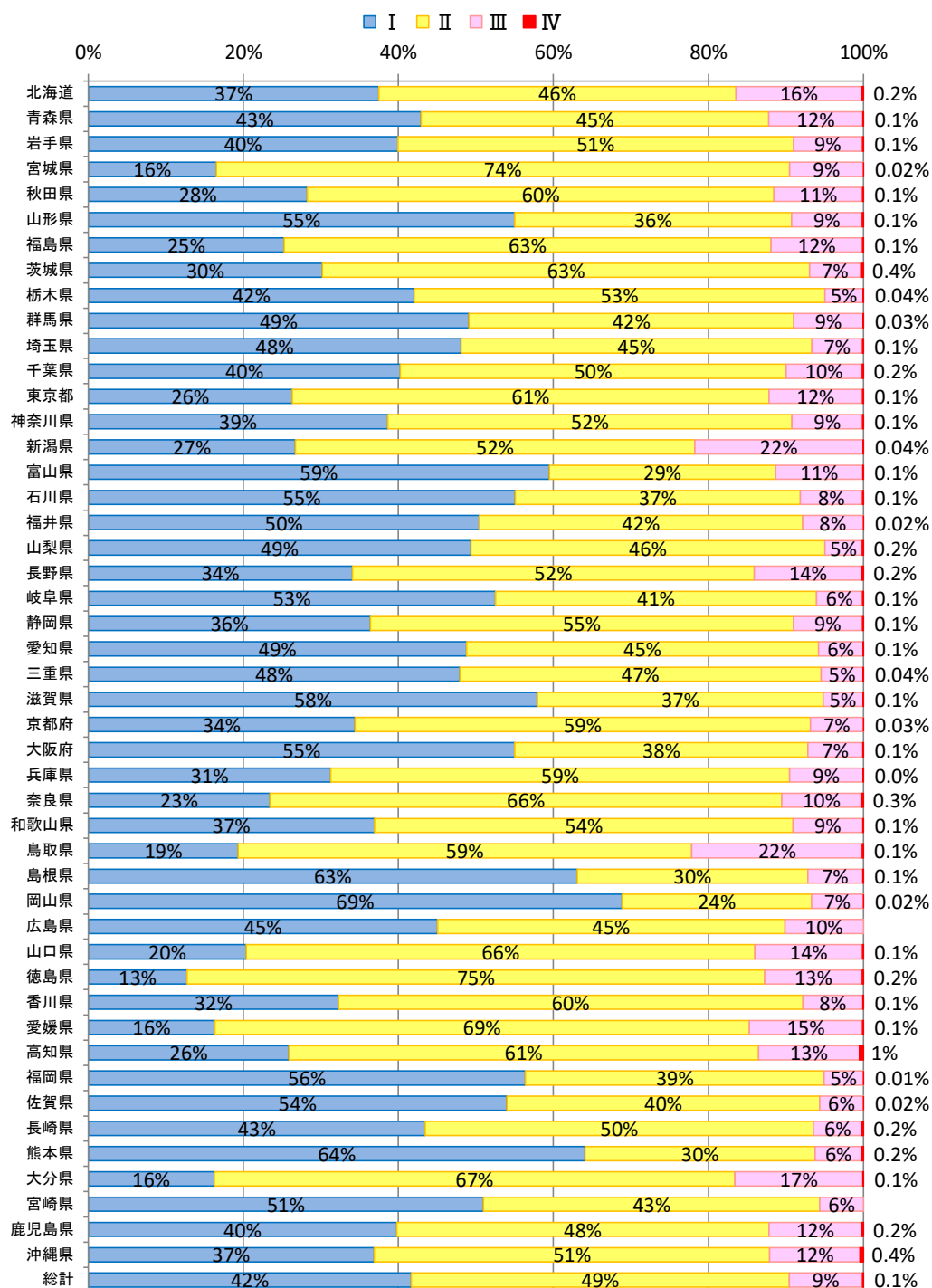
- 過年度の点検(2014~2022年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、I 42%、II 50%、III 8%、IV 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理橋梁)



※2023年3月末時点の2014~2022年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014~2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理橋梁)

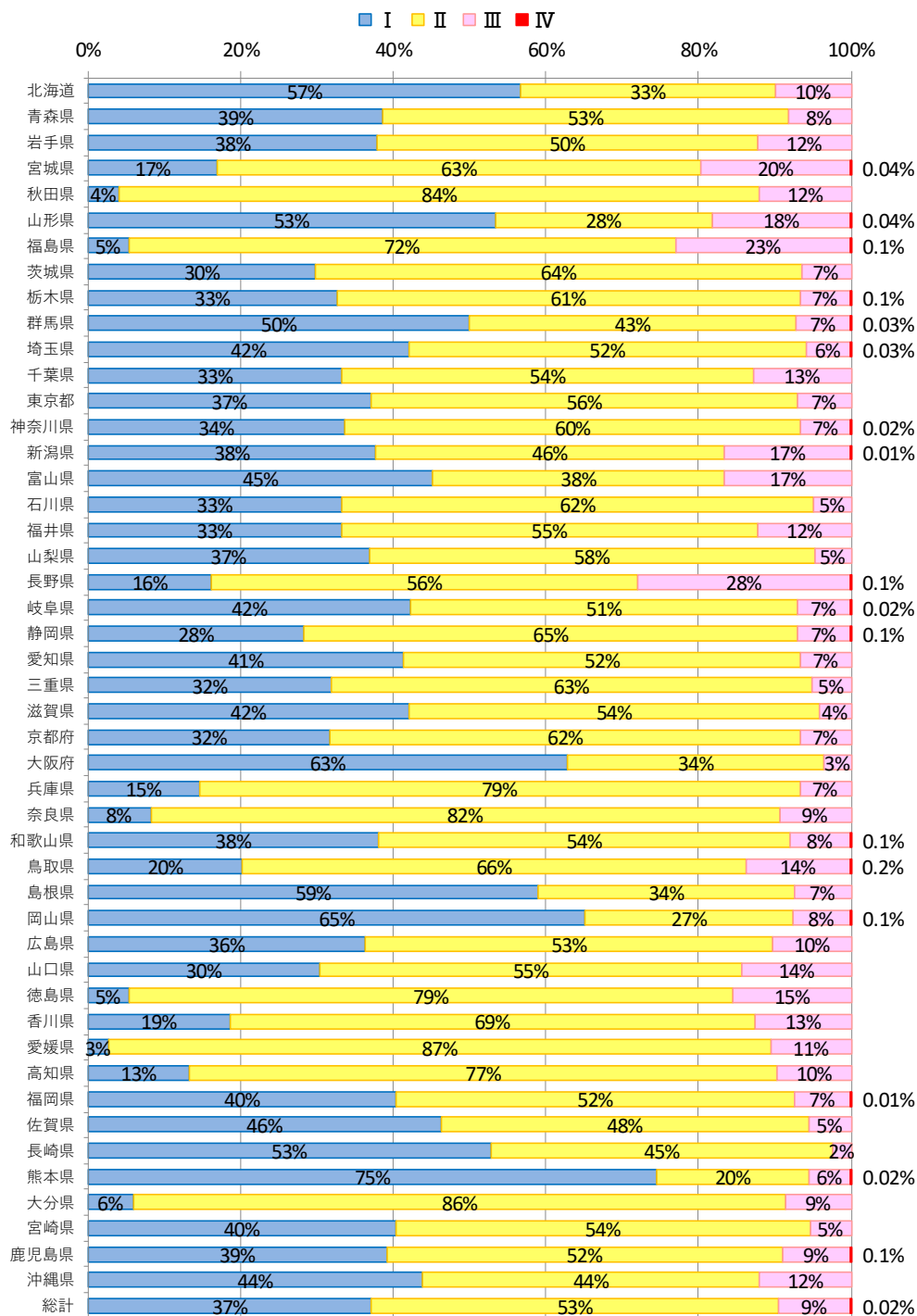


※2019年3月末時点の1巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014~22年度)の判定区分の分布

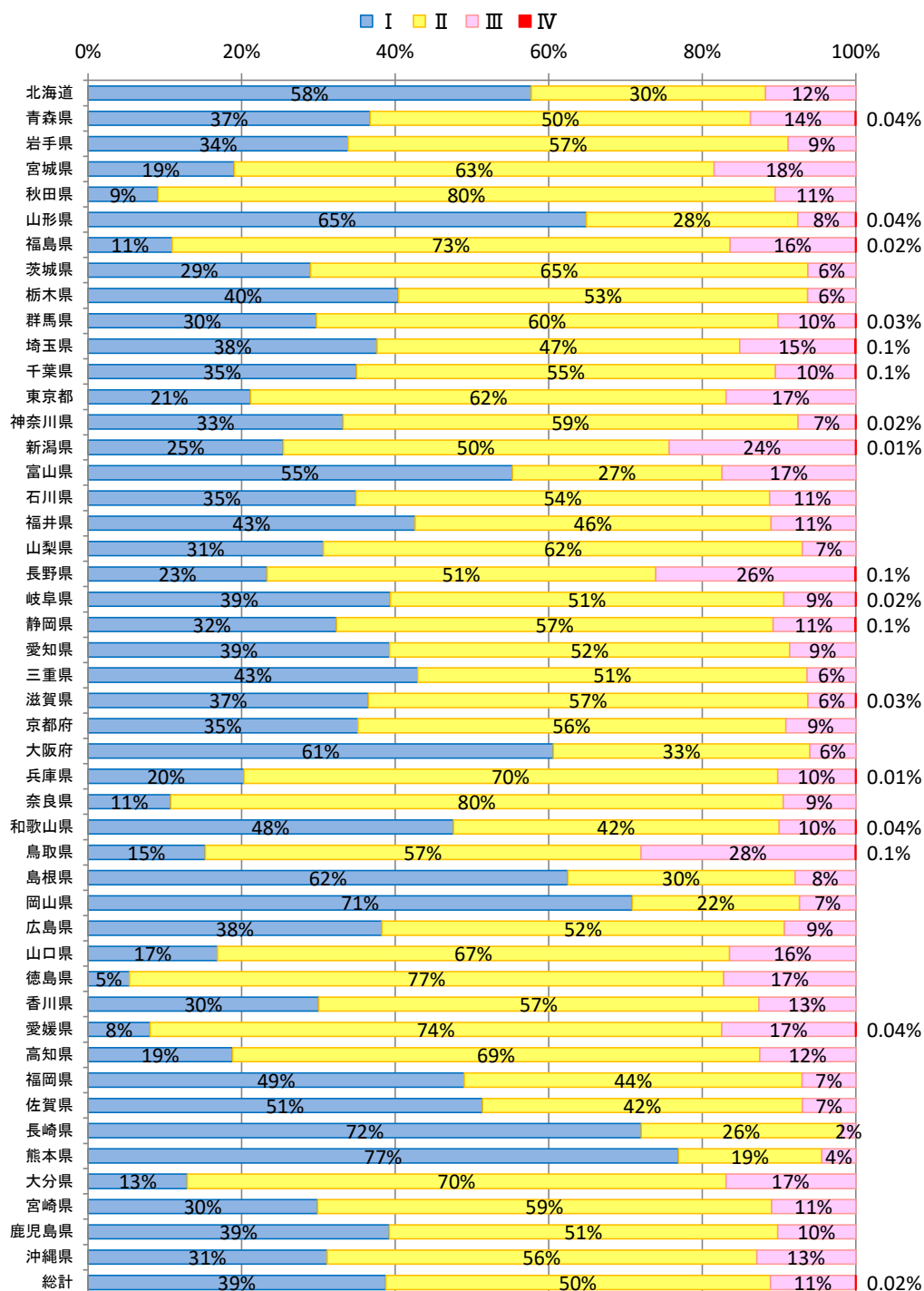
- 過年度の点検(2014~2022年度)で都道府県・政令市等が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等全体の判定区分の割合は、I 37%、II 53%、III 9%、IV 0.02%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理橋梁)



※2023年3月末時点の2014~2022年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014~2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理橋梁)

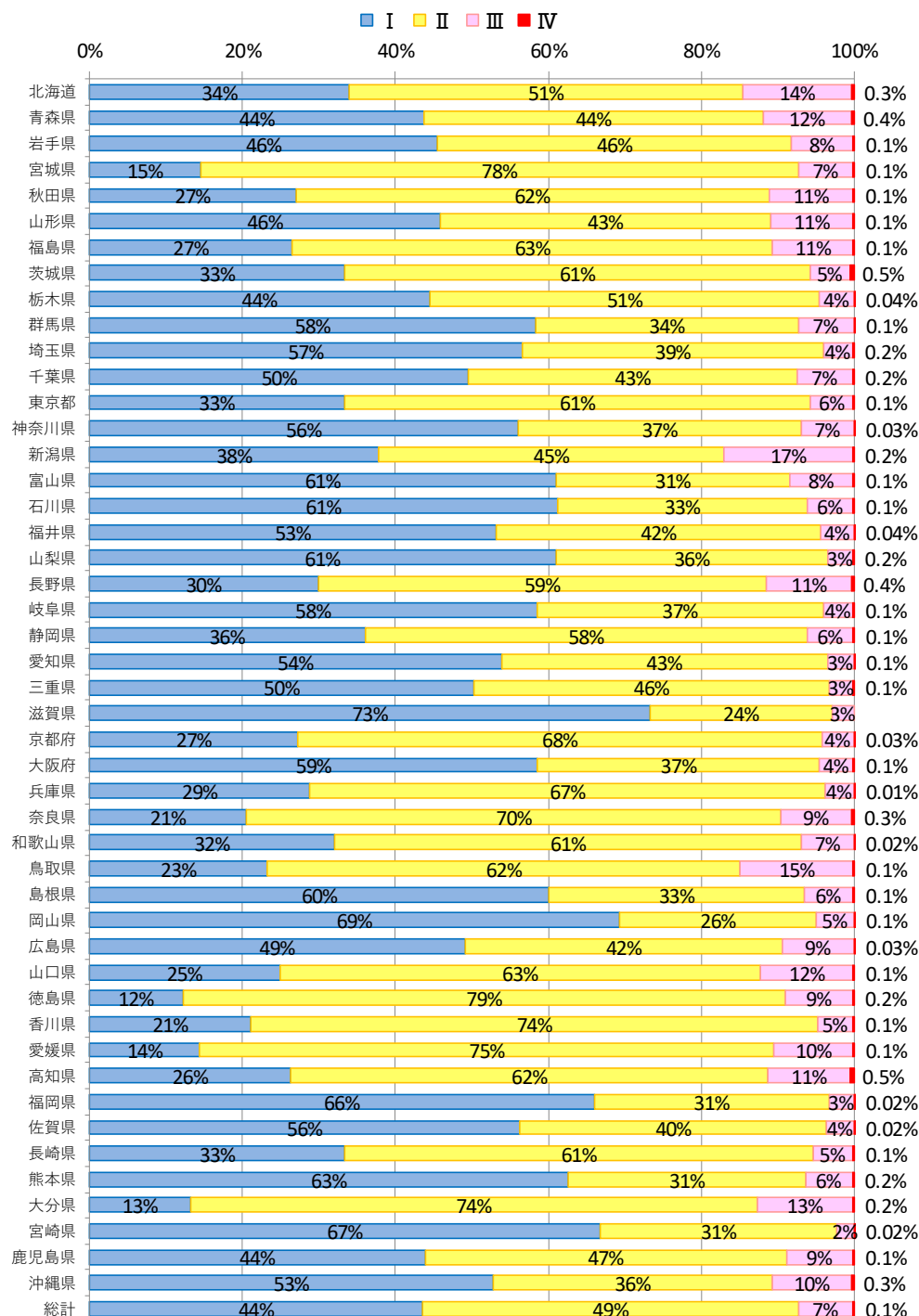


※2019年3月末時点の1巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014~22年度)の判定区分の分布

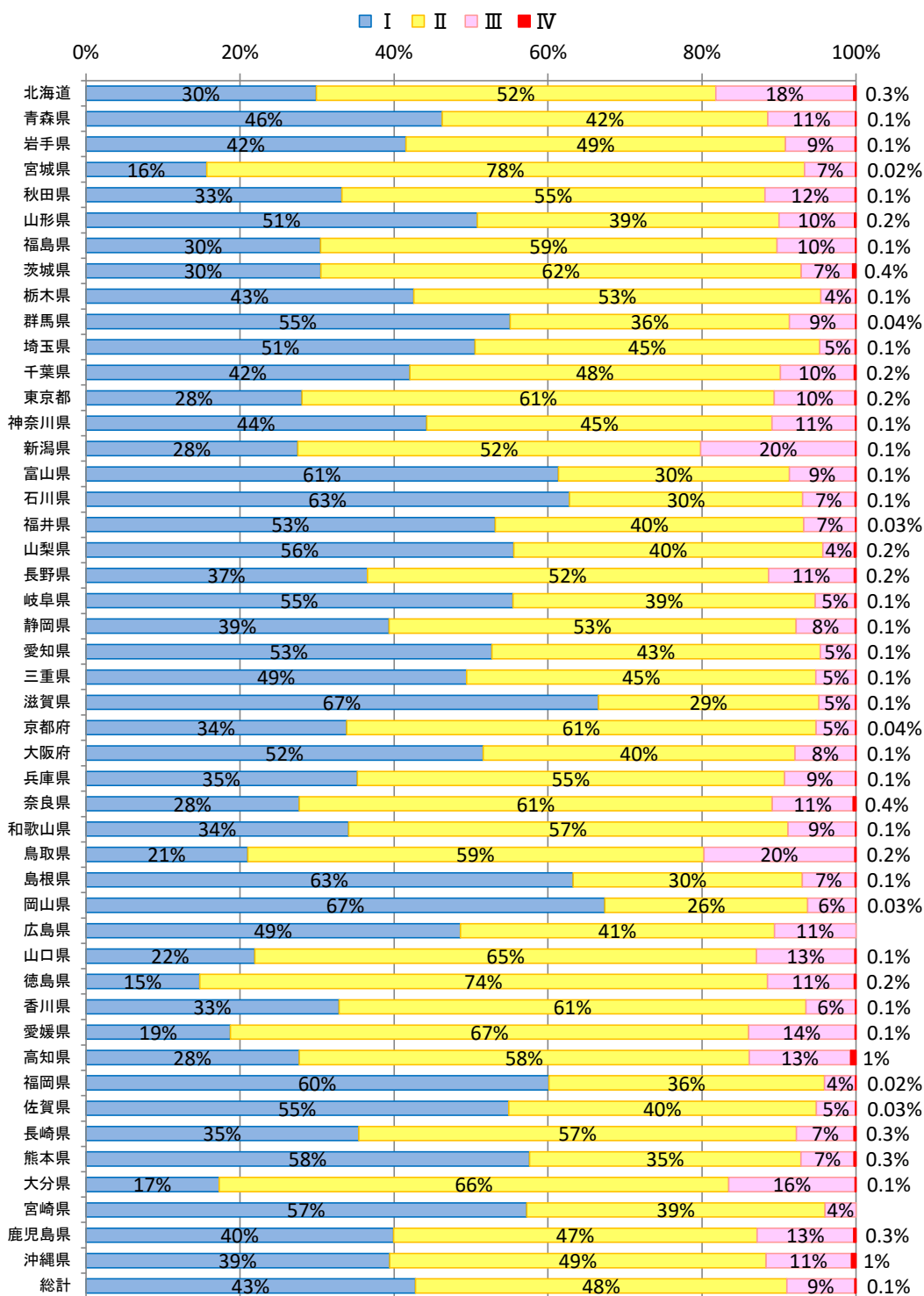
- 過年度の点検(2014~2022年度)で市区町村が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村全体の判定区分の割合は、I 44%、II 49%、III 7%、IV 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理橋梁)



※2023年3月末時点の2014~2022年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014~2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理橋梁)



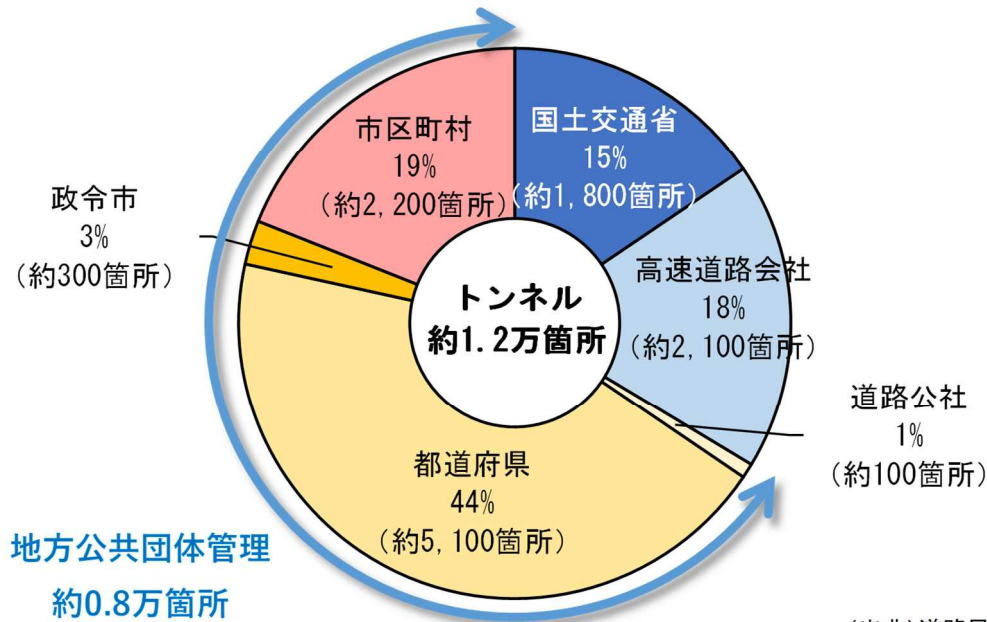
※2019年3月末時点の1巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(2)トンネルの現状

1) 管理者別の箇所数

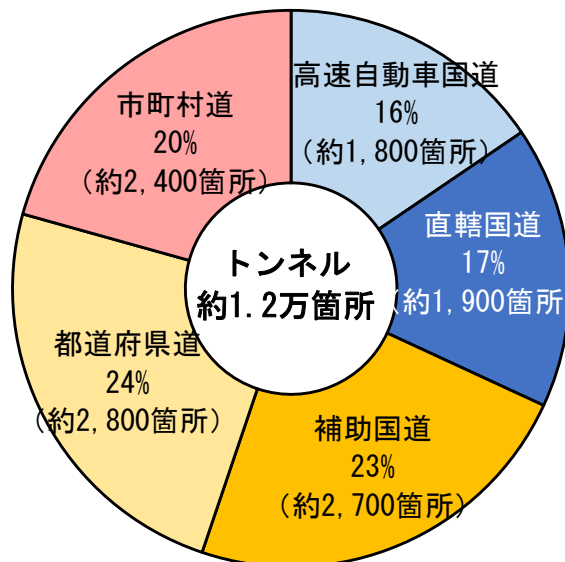
○ 我が国にはトンネルが約1.2万箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約0.8万箇所と、約7割を占めています。

○ 道路管理者別



(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

○ 道路種別



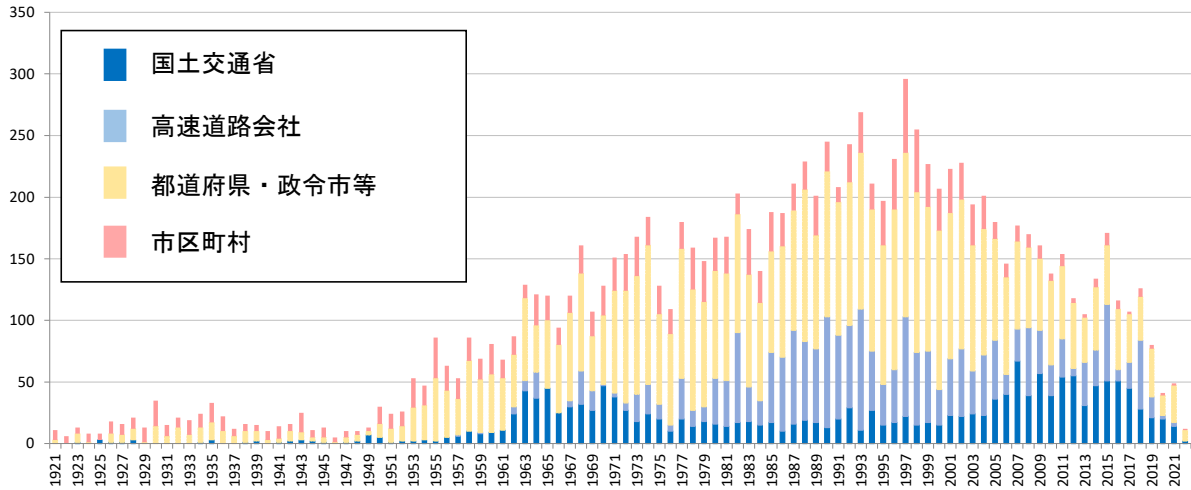
(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

2) 建設年度別のトンネル数

○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合は、現在は約 25%であるのに対し、10 年後には約 40%に増加します。建設後 50 年を経過し延長 100m 未満のトンネルの割合は、10 年後に約 75%となります。

※橋梁・トンネルの建設年度別施設数は巻末資料(4)を参照。

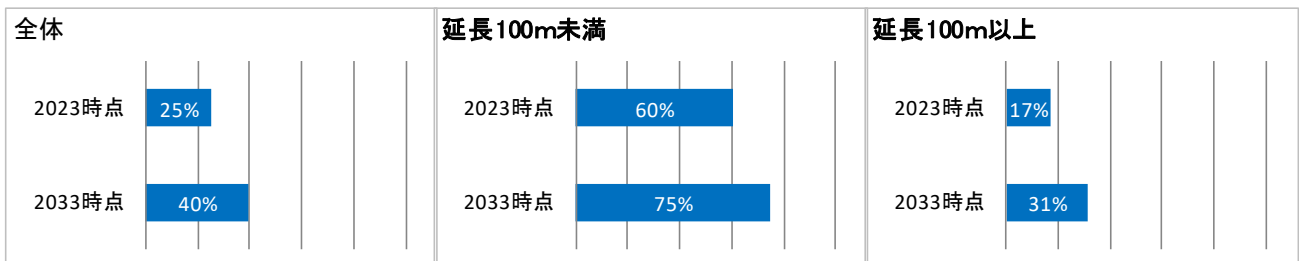
○ 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 330 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

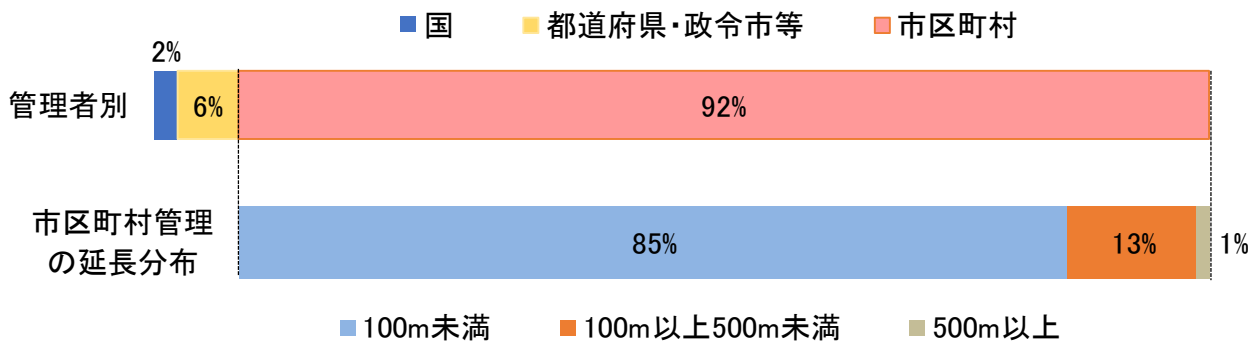
○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 330 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

○ 建設年度不明トンネル(約 330 箇所)の内訳

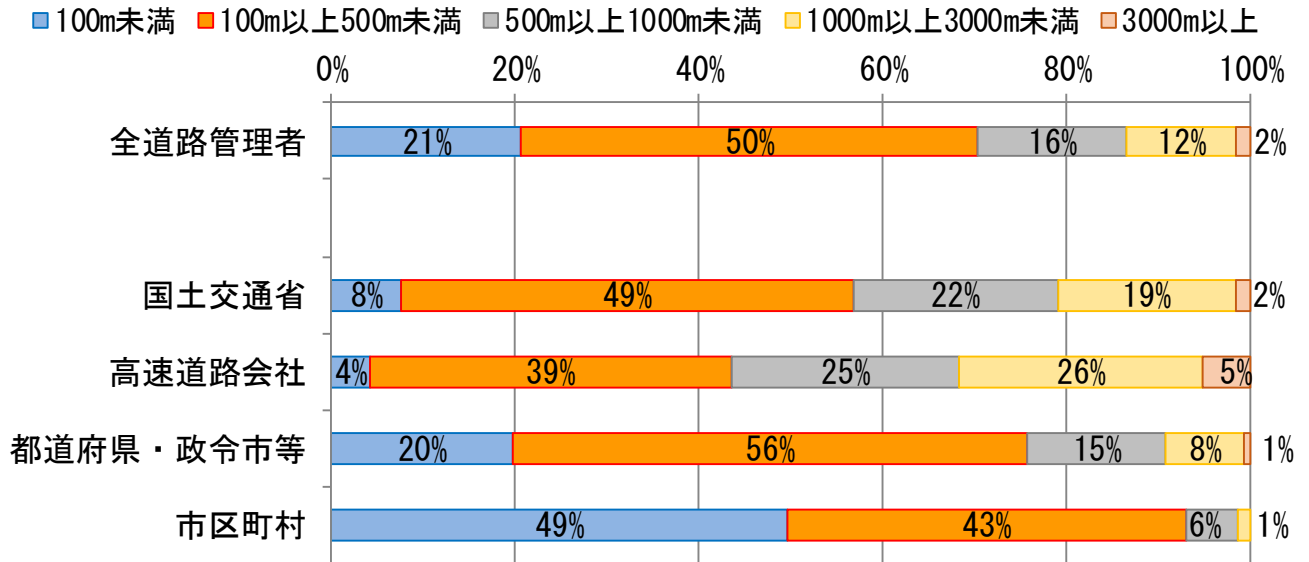


(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)

3) 管理者別の延長分布

- 延長 1000m 以上のトンネルは国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理するトンネルの約 50%が延長 100m 未満です。

○ 管理者別の延長分布

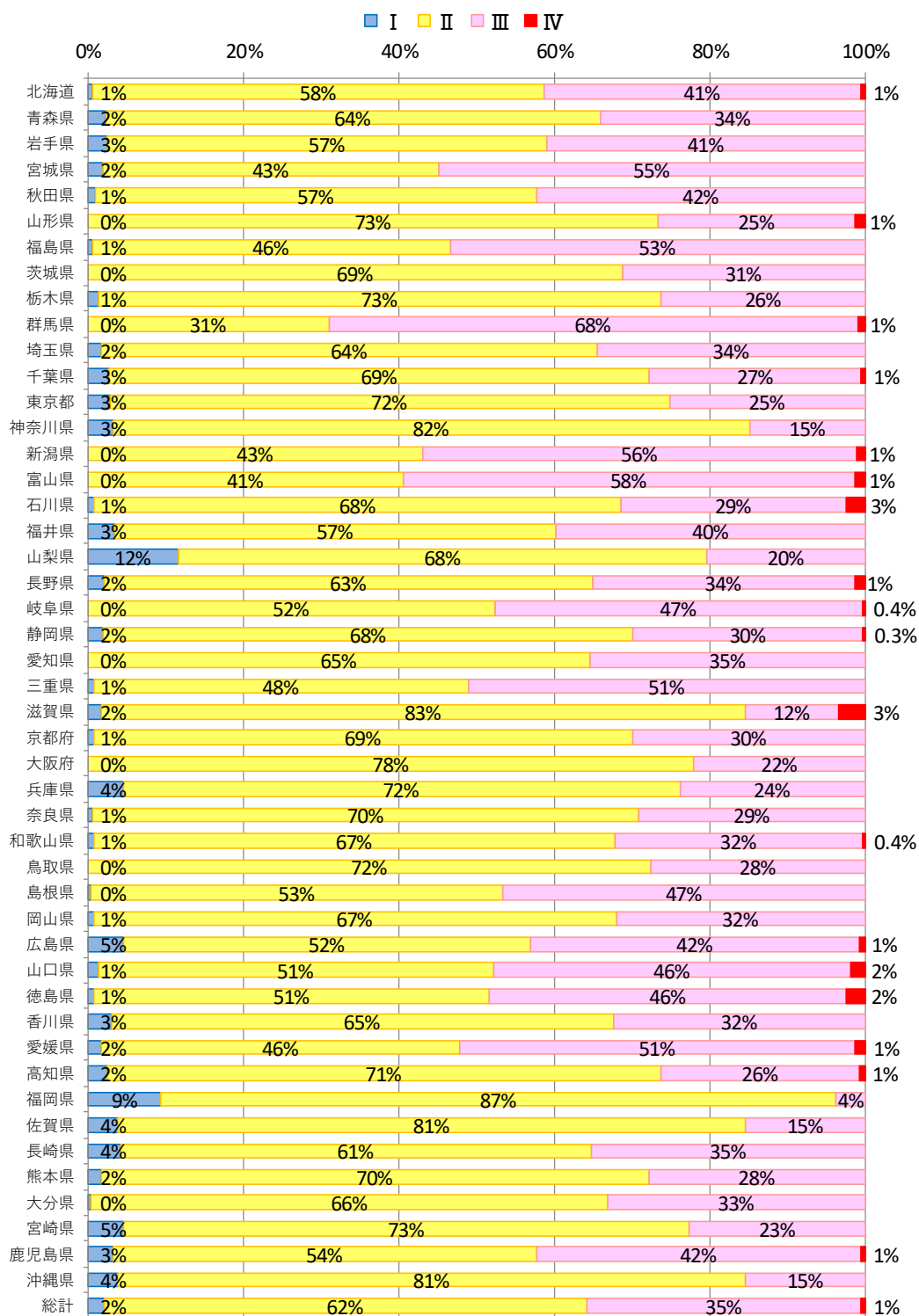


(出典)道路局調べ(2023.3 末時点)
 ※ 延長に関して情報がなかった施設を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014~22年度)の判定区分の分布

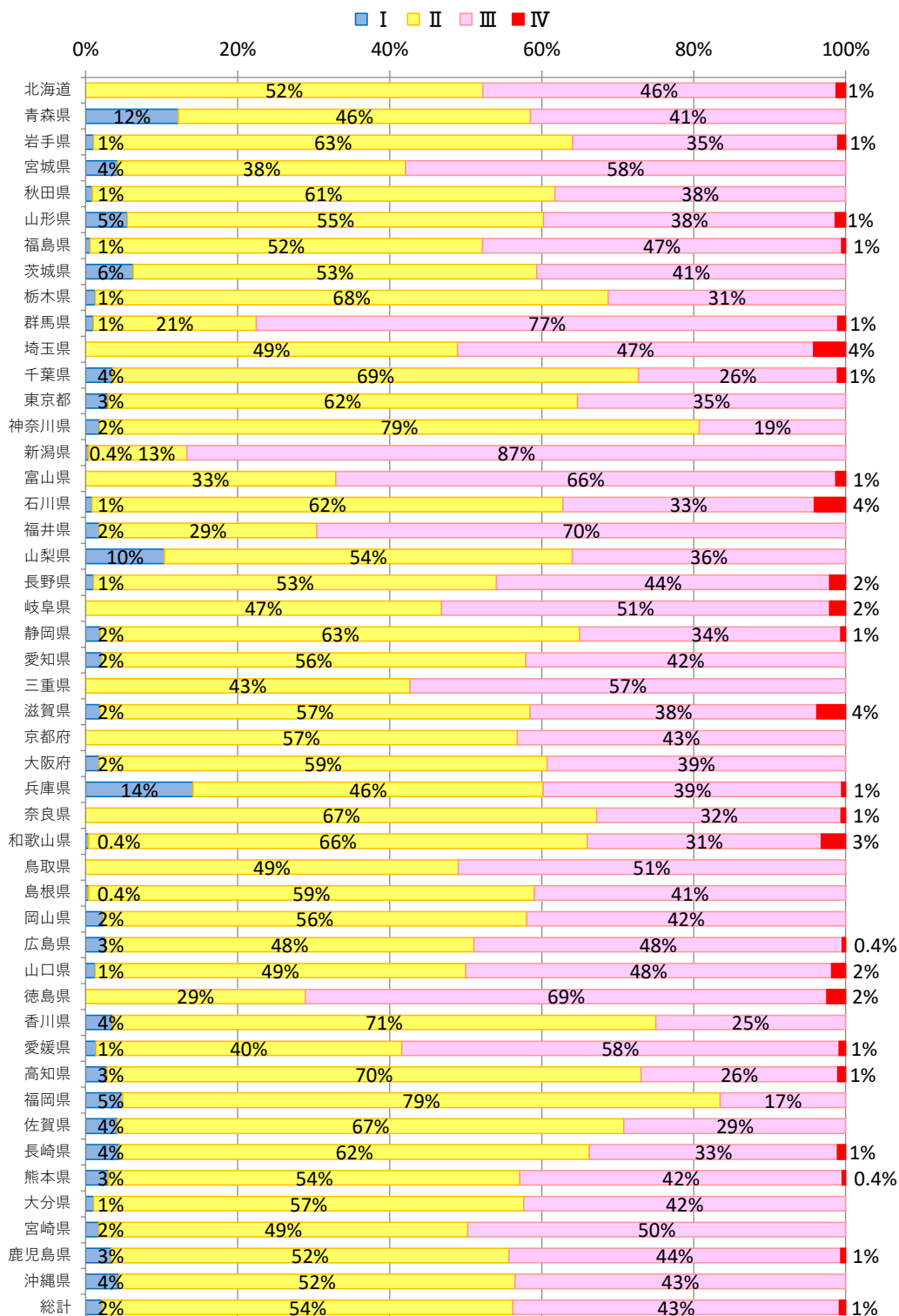
- 過年度の点検(2014~2022年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、I 2%、II 62%、III 35%、IV 1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理トンネル)



※2023年3月末時点の2014~2022年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014~2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理トンネル)

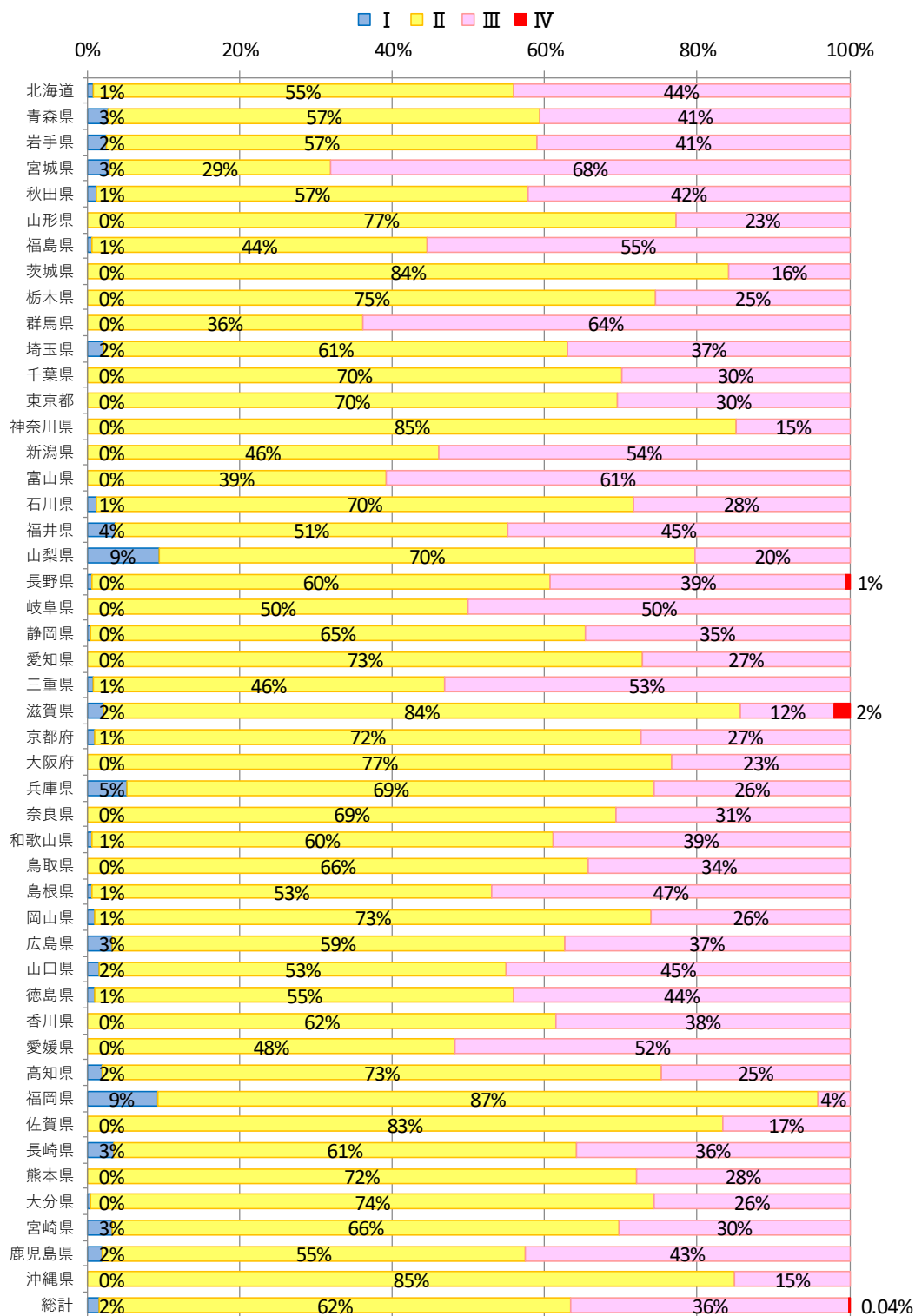


※2019年3月末時点の1巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014~22年度)の判定区分の分布

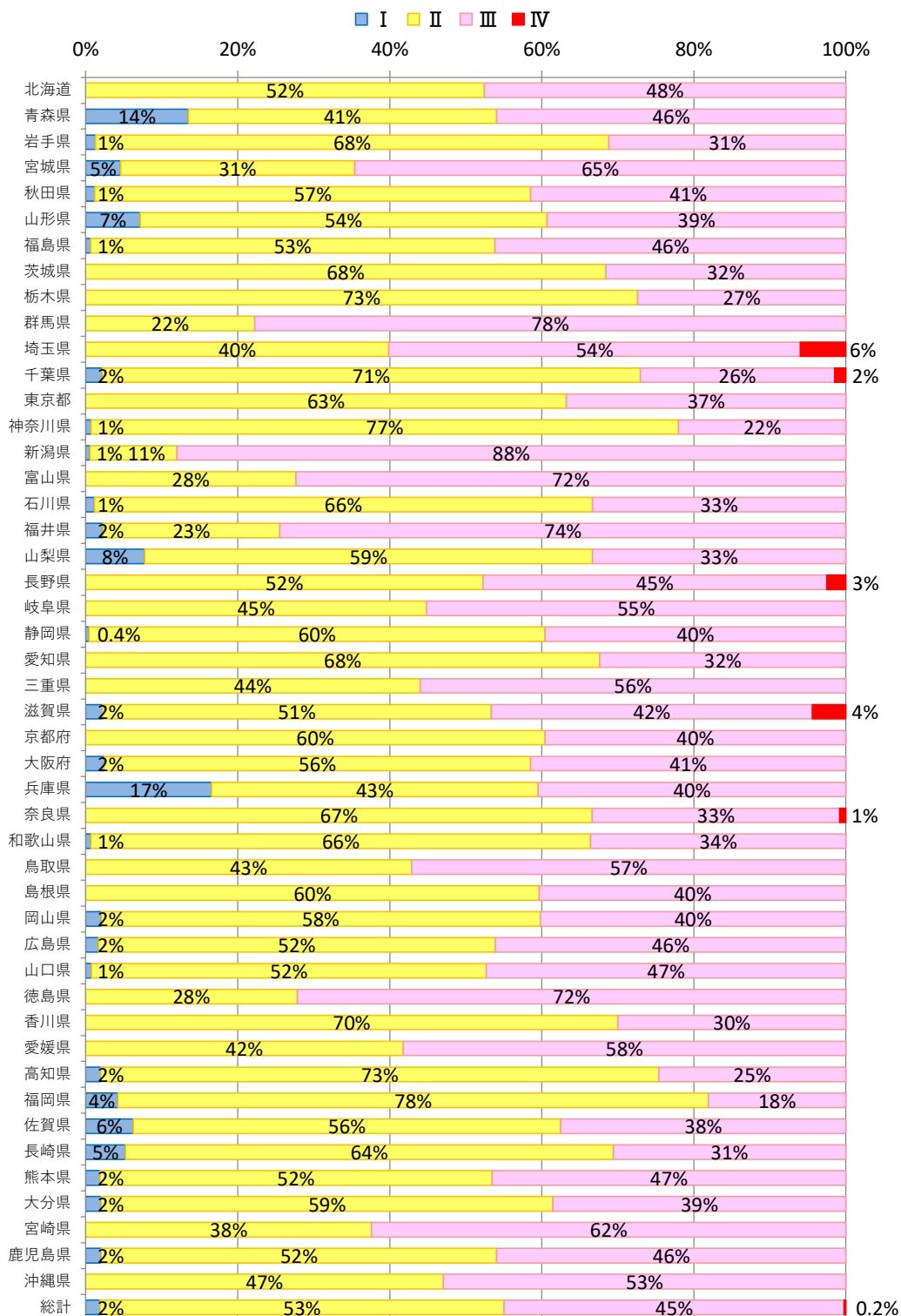
- 過年度の点検(2014~2022年度)で都道府県・政令市等が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等の全体の判定区分の割合は、I 2%、II 62%、III 36%、IV 0.04%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理トンネル)



※2023年3月末時点の2014~2022年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014~2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理トンネル)

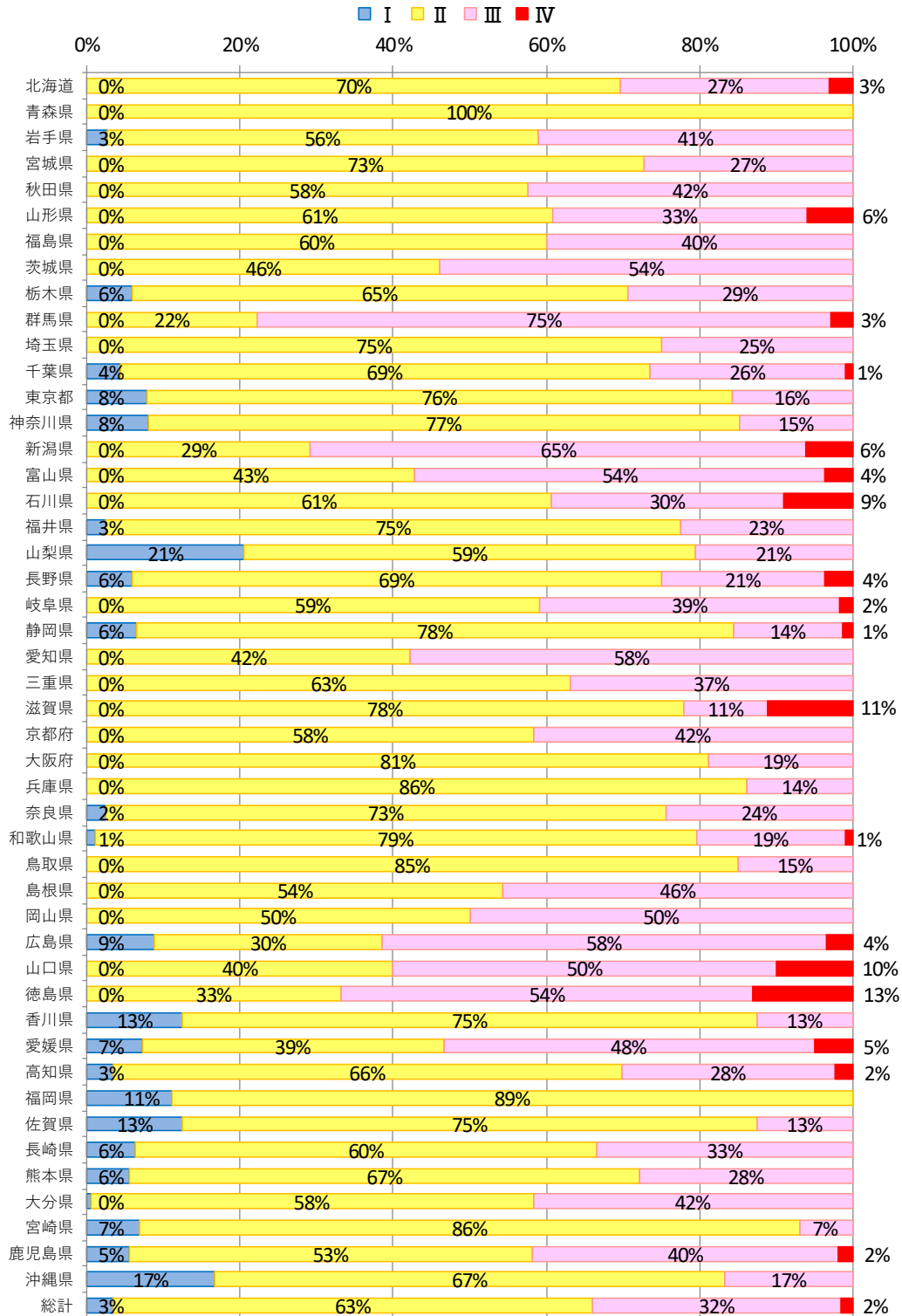


※2019年3月末時点の1巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014~22年度)の判定区分の分布

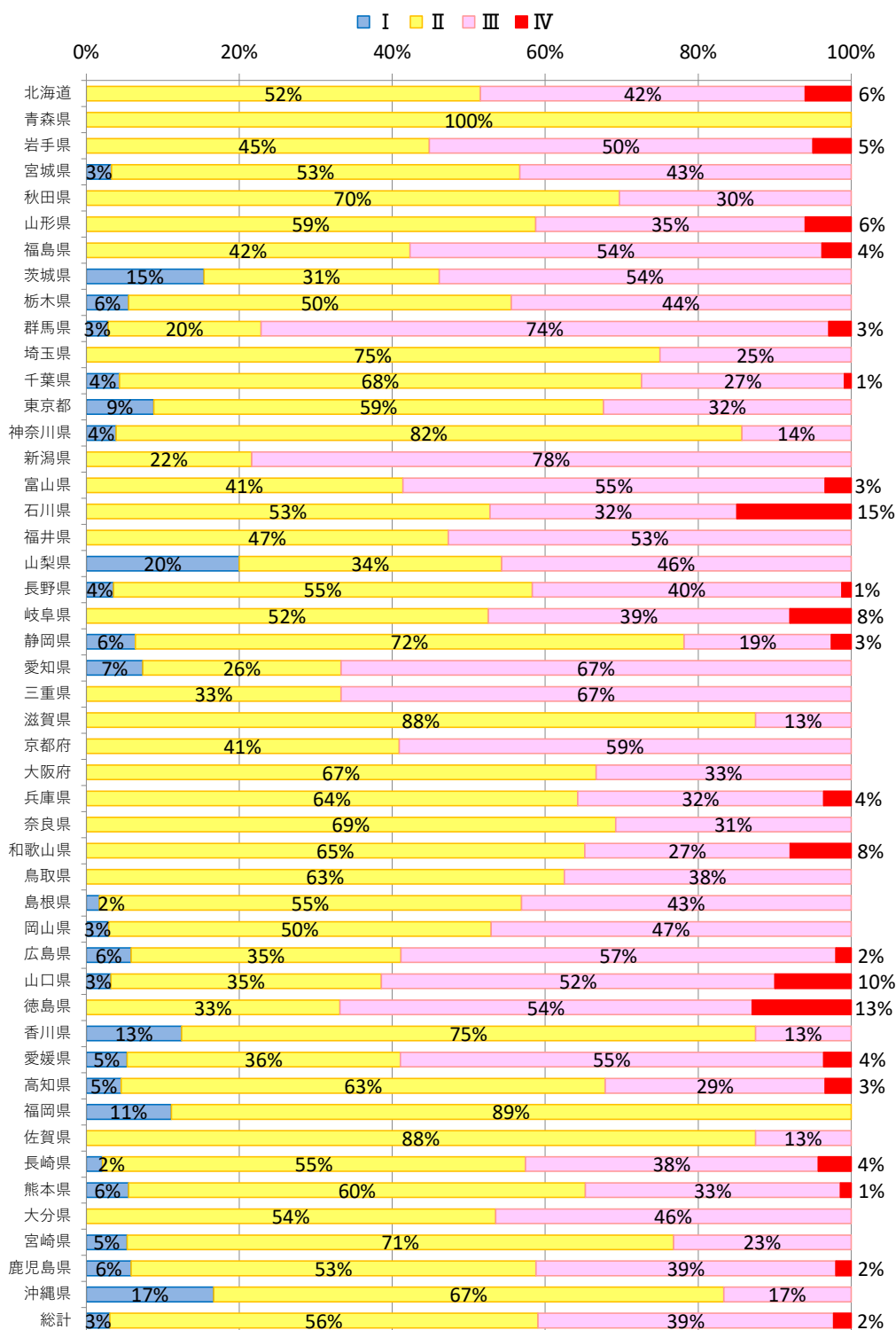
- 過年度の点検(2014~2022年度)で市区町村が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村の全体の判定区分の割合は、I 3%、II 63%、III 32%、IV 2%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)



※2023年3月末時点の2014~2022年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014~2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理トンネル)



※2019年3月末時点の1巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み

(1) 道路メンテナンス会議の開催

- 関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、「道路メンテナンス会議」を設置しました。（2014年7月7日に全都道府県で設置済）

体制

- ・ 地方整備局（直轄事務所）
- ・ 地方公共団体（都道府県、市町村）
- ・ 高速道路会社（NEXCO・首都高速道路・阪神高速道路・本州四国連絡高速道路）
- ・ 道路公社

役割

1. 維持管理等に関する情報共有
 2. 点検、修繕等の状況把握及び対策の推進
 3. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
 4. 技術的な相談対応
- 等

地方公共団体の取り組み事例の共有

- 道路メンテナンス会議を通じて、地方公共団体における老朽化対策の取り組み事例を共有

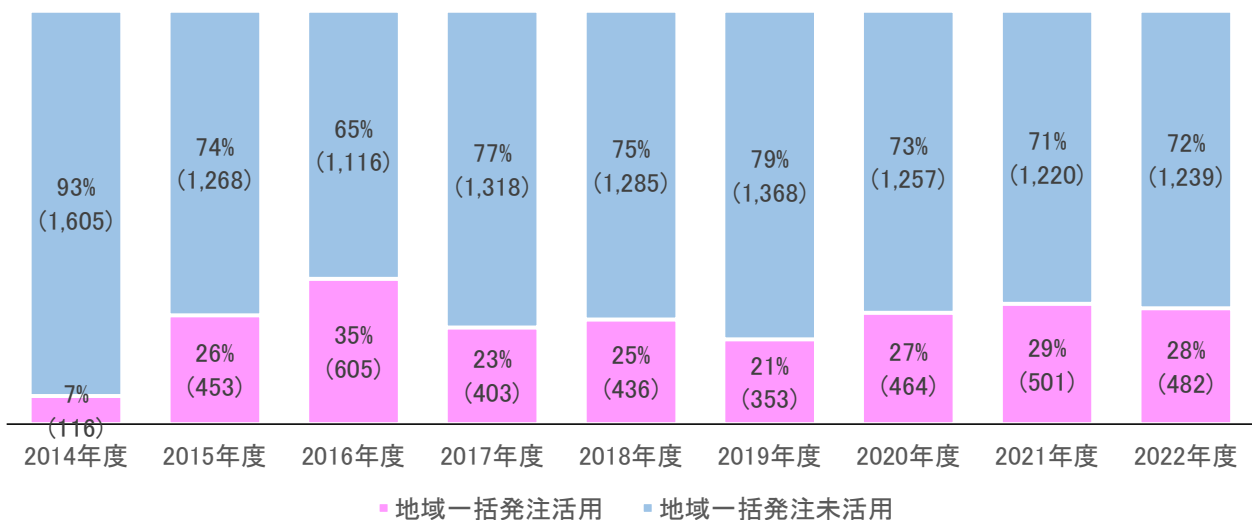
<取り組み事例>

- ・ 点検・診断の高度化・効率化、補修計画の適正化等のため、産学官の連携により、点検・診断・措置情報を効率的に記録することが出来るデータベースシステムの開発・導入
- ・ 技術力の向上、点検費用の削減のため、道路メンテナンス会議と市による合同点検（直営点検）の実施
- ・ 県による市町村への橋梁補修工法等に関する技術的助言を行う相談窓口の設置

(2) 地域一括発注の状況

- 市区町村の人不足・技術力不足を補うため、市区町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施しています。
- 2022年度は482市区町村（32道府県）が地域一括発注を活用しています。

市区町村における地域一括発注の活用状況



※点検対象となる橋梁やトンネル等がない自治体については、未活用として整理している。

(3)直轄診断・修繕代行

- 地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について、「直轄診断※」を実施しました。
- 直轄診断を実施した橋梁については、各道路管理者からの要請を踏まえ、修繕代行事業や補助事業に着手しています。

○ 直轄診断実施箇所と診断結果概要

実施年度	施設名	道路管理者名	延長(m)
2014	みしまおほし 三島大橋	三島町(福島県)	131
2014	おおまえはし 大前橋	孺恋村(群馬県)	73
2014	おおど おおはし 大渡ダム大橋	仁淀川町(高知県)	444
2015	ぬまお 沼尾シェッド	下郷町(福島県)	189
2015	さるかいはし 猿飼橋	十津川村(奈良県)	139
2015	よぶこおほし 呼子大橋	唐津市(佐賀県)	728
2016	まんごくはし 万石橋	湯沢市(秋田県)	171
2016	みほこはし 御鉾橋	神流町(群馬県)	46
2017	おとざわはし 音沢橋	黒部市(富山県)	110
2017	おとひめおほし 乙姫大橋	中津川市(岐阜県)	317
2018	にがたずいどう 仁方隧道	呉市(広島県)	260
2018	てんたいはし 天大橋	薩摩川内市(鹿児島県)	329
2019	ちちぶはし 秩父橋	秩父市(埼玉県)	135
2019	ふるかわはし 古川橋	吉田町(静岡県)	54
2020	しろおいはし 白老橋	白老町(北海道)	148
2020~2021	つるまいはし 鶴舞橋	奈良市(奈良県)	97
2022	だんざきはし 伊達崎橋	福島県(福島県)	288



緊急性・難易度を踏まえて対応

○ 直轄修繕代行等実施状況

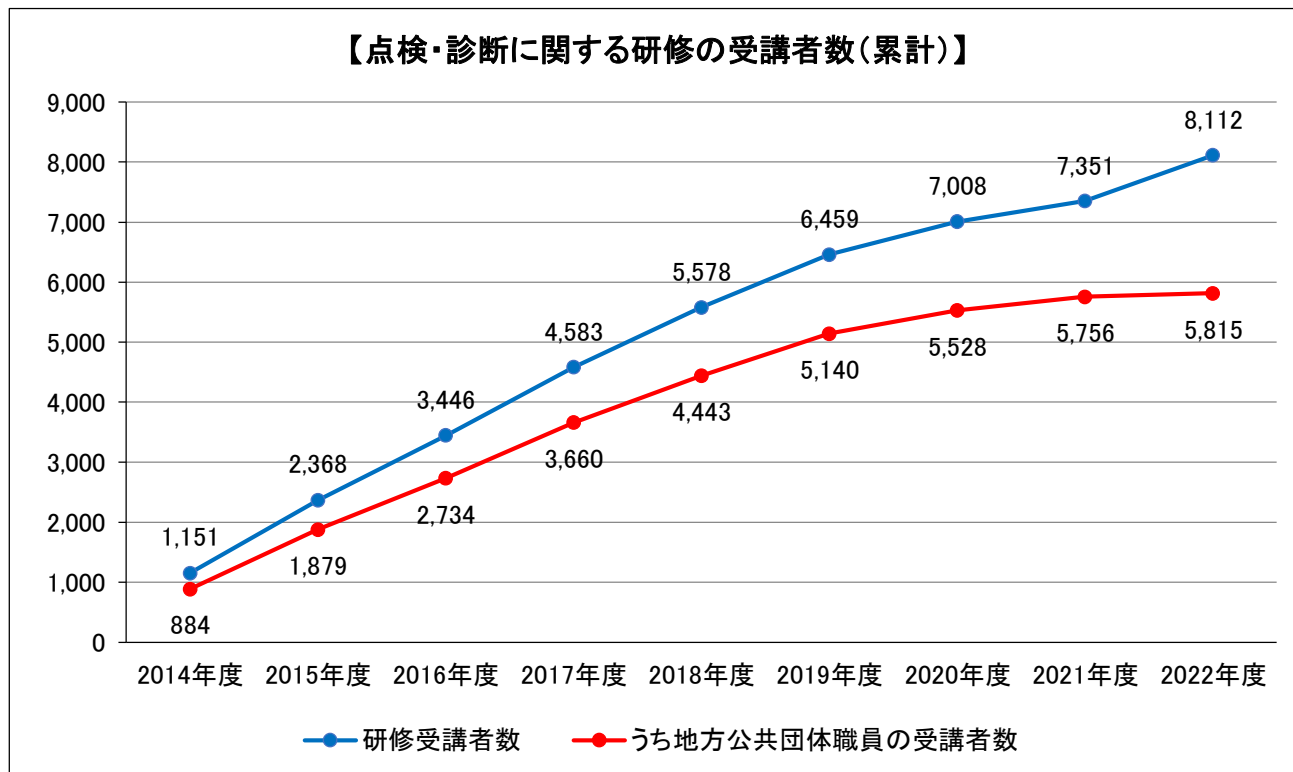
2015年度	○ 三島大橋、大渡ダム大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
	○ 大前橋 <u>大規模修繕・更新補助事業</u> に着手
2016年度	○ 沼尾シェッド、猿飼橋、呼子大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2017年度	○ 万石橋、御鉾橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2018年度	○ 音沢橋、乙姫大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2019年度	○ 仁方隧道、天大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2020年度	○ 秩父橋、古川橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2021年度	○ 白老橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2022年度	○ 鶴舞橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2023年度	○ 伊達崎橋 <u>修繕代行事業</u> に着手

※直轄診断:「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立開発研究法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

(4) 研修の実施状況

- 2014年度より、国土交通省、地方公共団体の職員等を対象に、橋梁、トンネル等の点検に関する研修を実施しています。
- 2022年度までの受講者数は8,112人（地方公共団体：5,815人）です。

研修受講者数（累計）

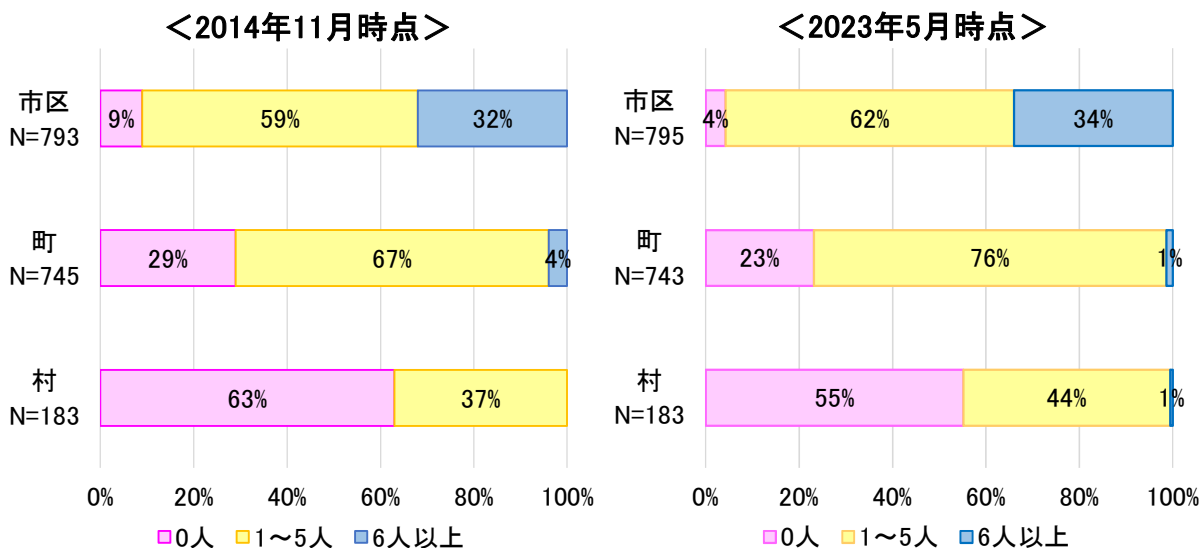


※2023年3月末時点

(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数

- 橋梁管理に携わる土木技術者が存在しない市区町村の割合は、2014年度と2023年度を比較するといずれも減少しています。

市区町村における橋梁管理に携わる土木技術者の人数

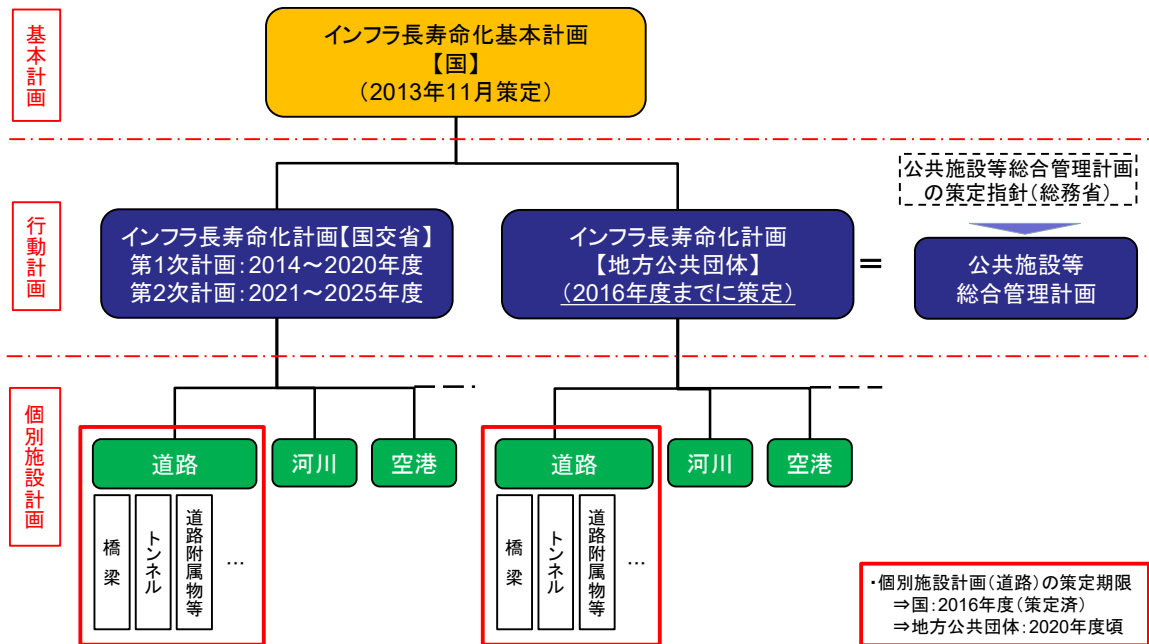


(6) 個別施設計画の策定状況(2022 年度末時点)

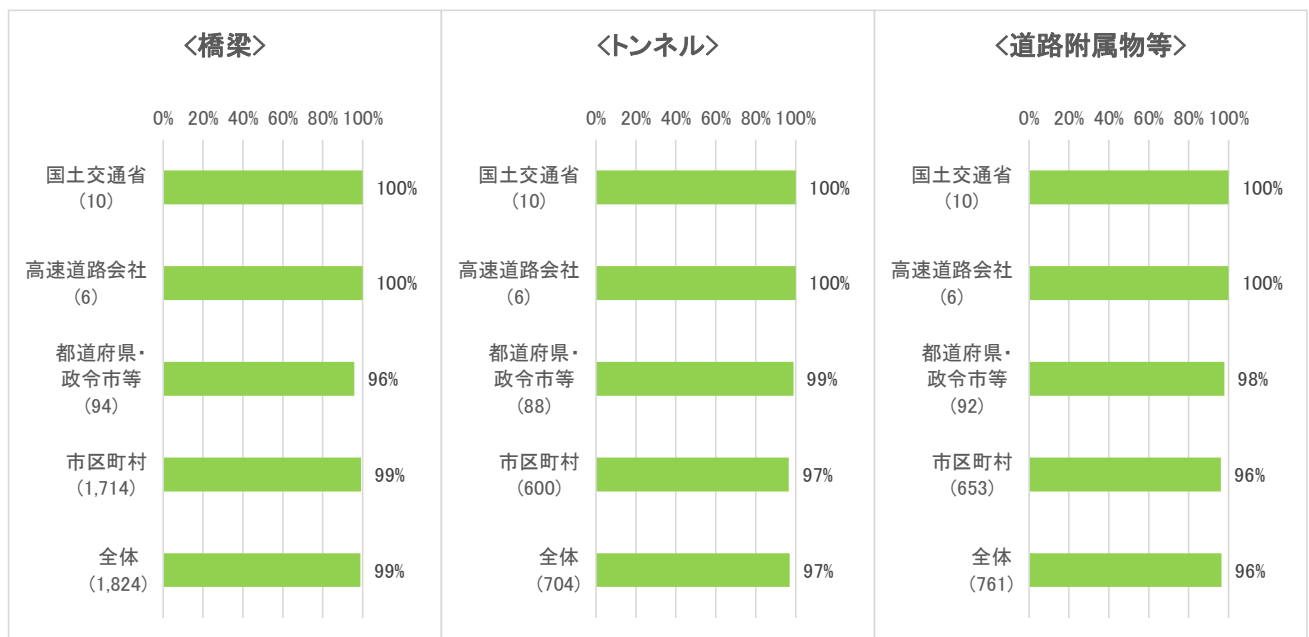
- 各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき個別施設計画※を策定しています。
- 2022 年度末時点における橋梁の個別施設計画策定率は、橋梁で 99%、管理者別では、都道府県・政令市等 96%、市区町村 99%となっています。
- トンネル及び道路附属物等の計画策定率は、それぞれ 97%、96%となっています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況(2022 年度末時点)



※()は団体数

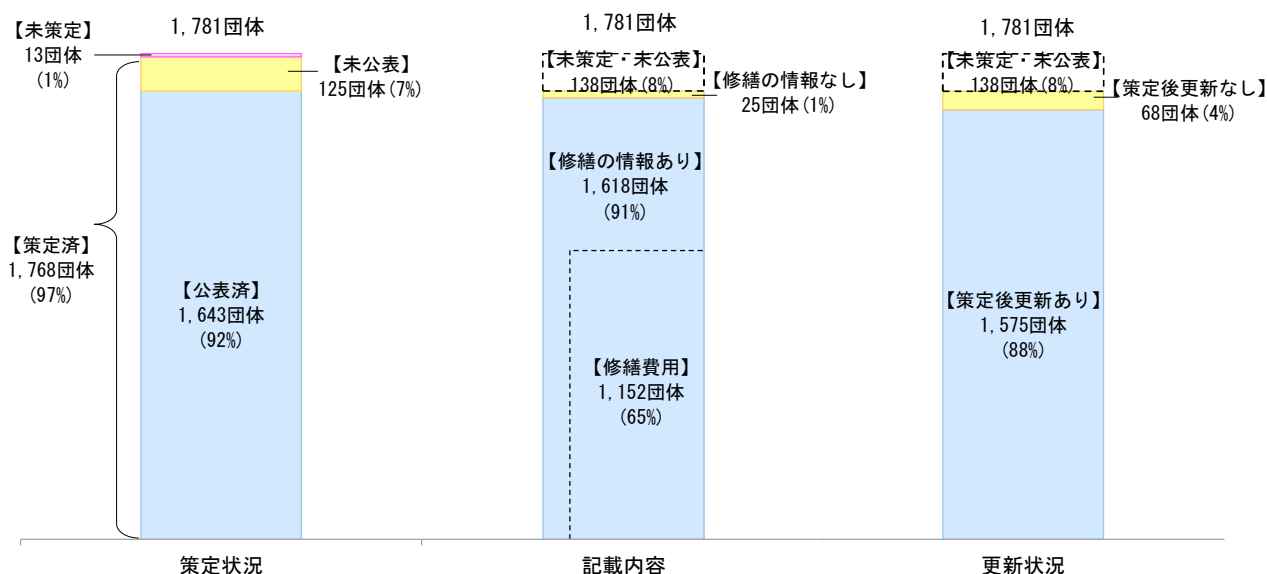
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

○個別施設計画の策定状況(2022 年度末時点)

- 国のインフラ長寿命化基本計画（2013 年）では 2020 年頃までの長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定を目標としていますが、2022 年度末時点で計画を策定していない地方公共団体が 13 団体あり、策定済みで公表していない地方公共団体は 125 団体あります。
- 修繕の時期や内容を橋梁毎に示していない計画となっている地方公共団体は 25 団体。
- また、計画の策定後に点検結果を反映するなど計画の更新を行っていない地方公共団体は 68 団体。
- 橋梁等の老朽化対策を計画的・効率的に進めるためにも、長寿命化修繕計画を策定するとともに、点検結果を踏まえ、更新を行うことが重要です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)の策定、記載内容、更新の状況(地方公共団体)】



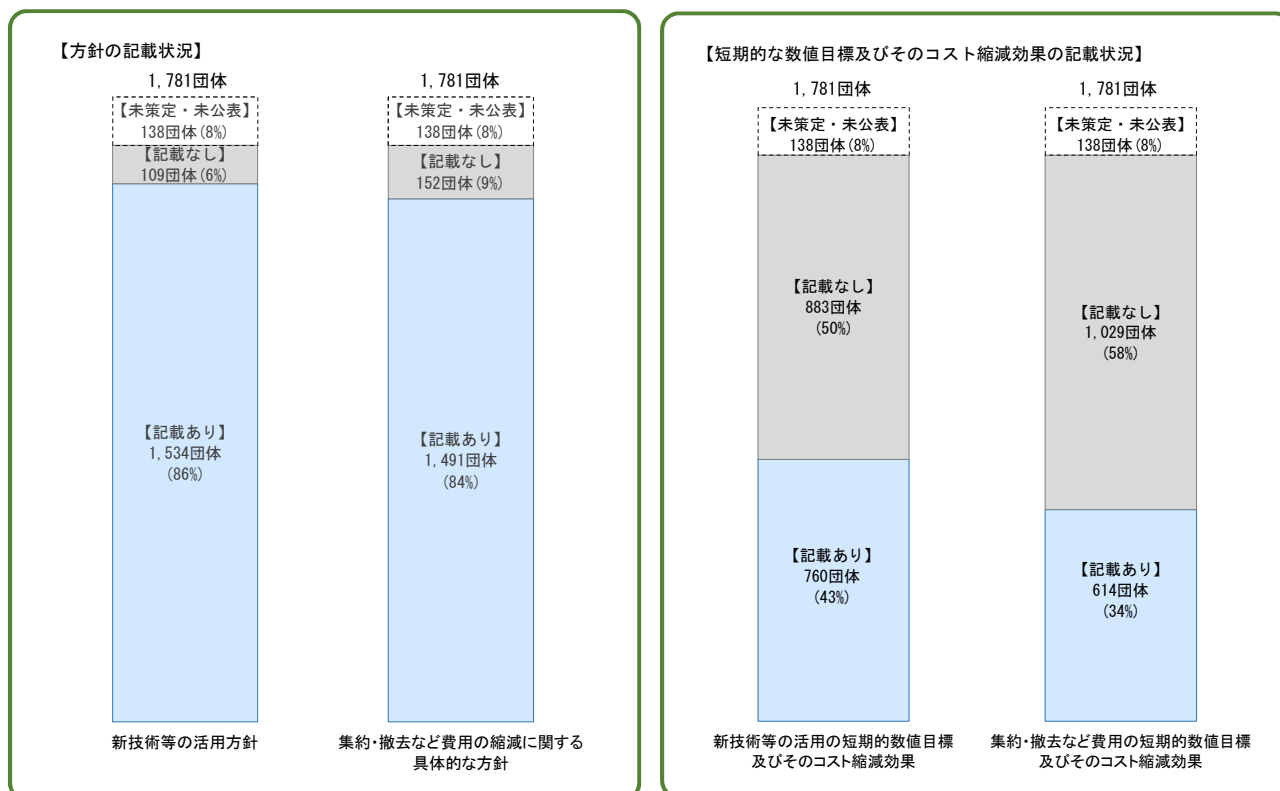
※2023 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

○個別施設計画の記載内容

- 2022 年度末時点で、橋梁の長寿命化修繕計画（個別施設計画）に「新技術等の活用方針」を記載している地方公共団体は 1,534 団体であり、「集約・撤去など費用の縮減に関する具体的な方針」を記載している地方公共団体は 1,491 団体です。
- 「短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果」を記載している地方公共団体は、「新技術等の活用」で 760 団体、「集約・撤去」で 614 団体です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)における記載状況(地方公共団体)】



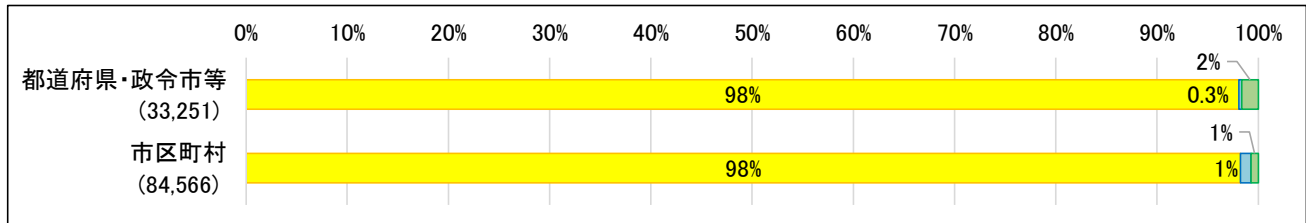
※2023 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

(7) 道路メンテナンス事業補助の活用状況

- 地方公共団体が実施した橋梁の定期点検費用について、2020 年度に創設された道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 98%、市区町村では 98%です。
- 修繕費用に道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 92%、市区町村では 94%です。

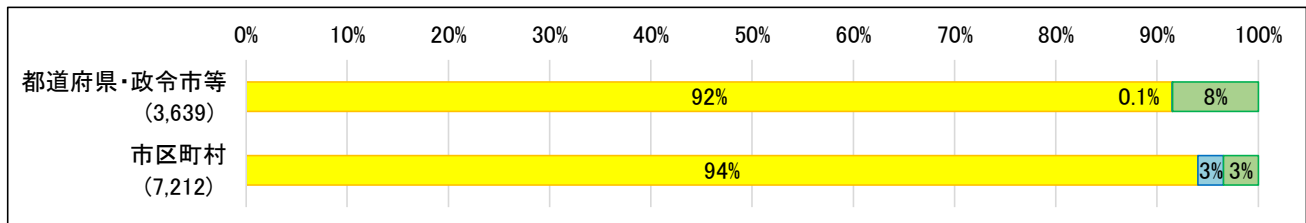
○ 地方公共団体が 2022 年度に実施した橋梁の定期点検における充当予算の状況



※2022 年度に委託点検を実施した橋梁のうち、報告があった 117,817 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

- : 個別補助事業を充当
- : 交付金を充当
- : 地方単独費で実施

○ 地方公共団体が 2022 年度に実施した橋梁の修繕における充当予算の状況



※2022 年度に修繕を実施した橋梁のうち、報告があった 10,851 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

- : 個別補助事業を充当
- : 交付金を充当
- : 地方単独費で実施

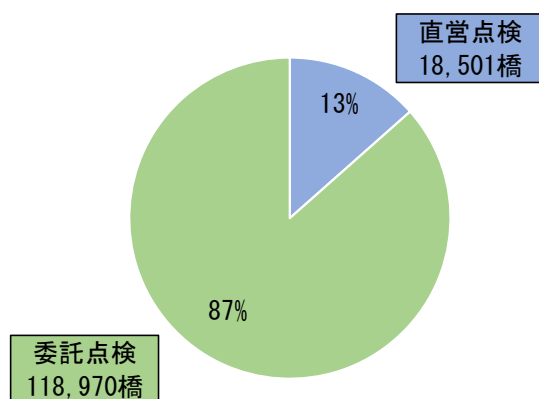
(8) 点検実施者の保有資格等

- 2022 年度に地方公共団体が実施した橋梁点検のうち、職員自らが点検（直営点検）を実施した割合は 13%となっています。
- 直営点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修※¹を受講又は資格※²を保有している割合は 48%、研修・資格ともになしは 52%となっています。
- 委託点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修を受講又は資格を保有している割合は 95%、研修・資格ともになしは 5%となっています。
- 点検の精度向上するためには研修受講、資格の活用など点検技術の向上を図る必要があります。

※1 研修：国土交通省が実施する道路管理実務者研修又は道路橋メンテナンス技術講習

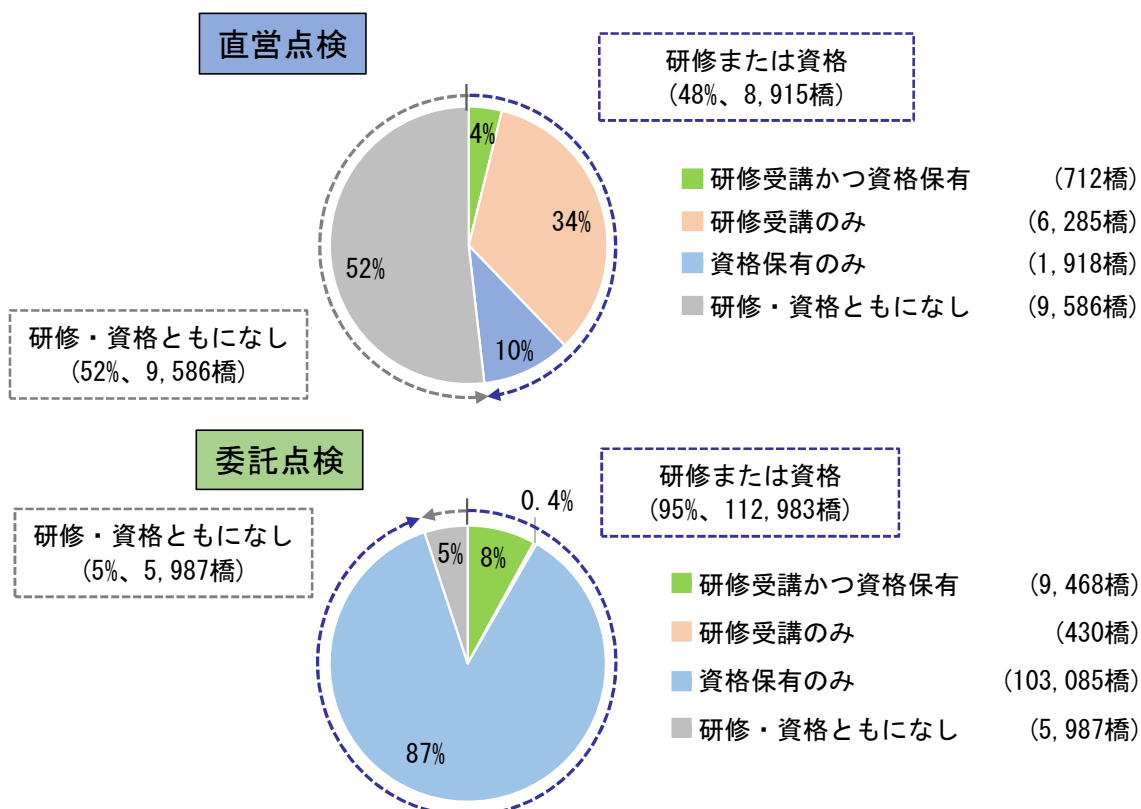
※2 資格：技術士または国土交通省登録技術資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定に基づく国土交通省登録資格）

○ 2022 点検実施橋梁の直営点検と委託点検の割合



※2022 年度に点検を実施した施設のうち、報告があった 137,471 橋を対象に橋梁数ベースで算出。（下図も同様）

○ 点検実施者の保有資格や研修受講歴

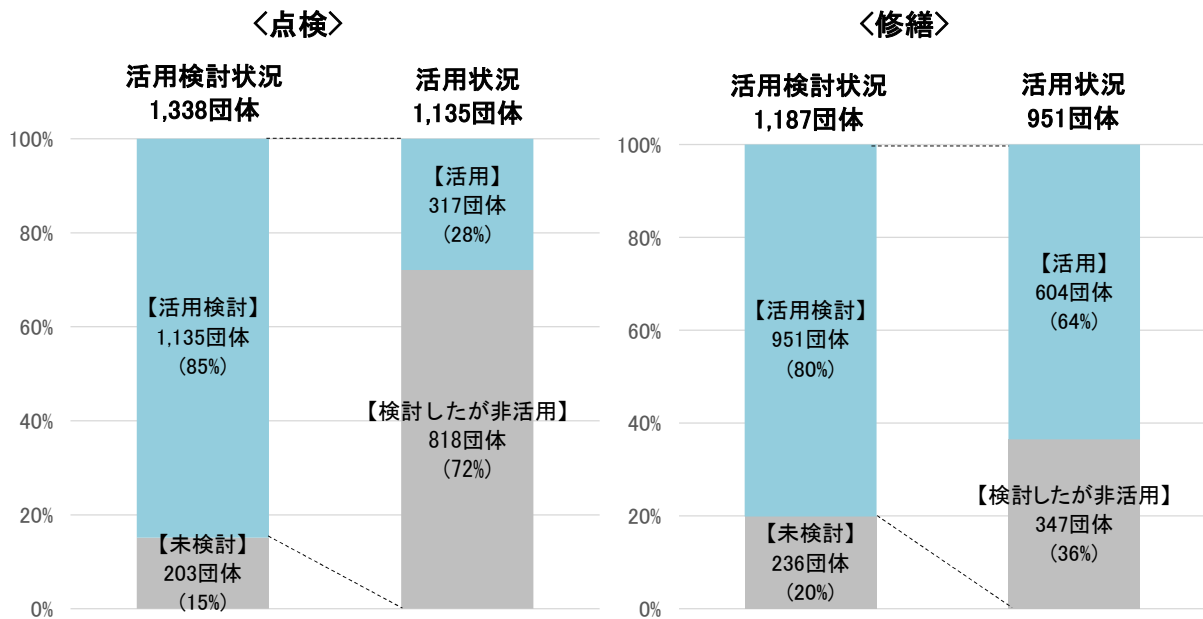


(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況

1) 橋梁

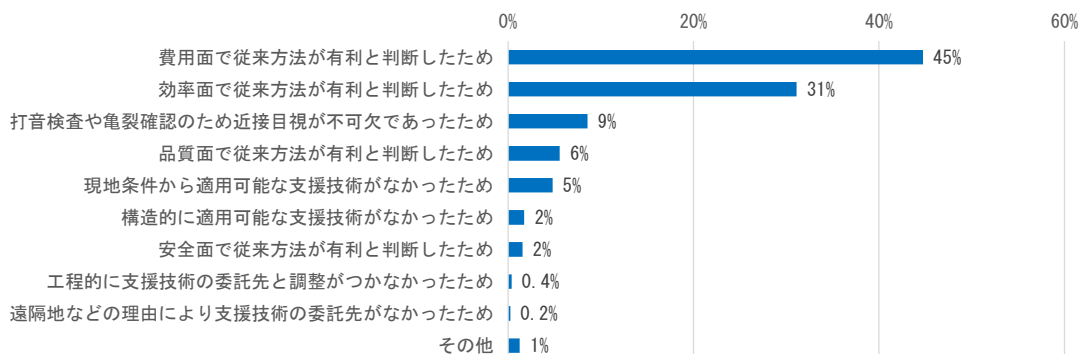
- 2022年度の橋梁点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は85%、そのうち活用した団体は28%です。
- 2022年度の橋梁修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は80%、そのうち活用した団体は64%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(橋梁)

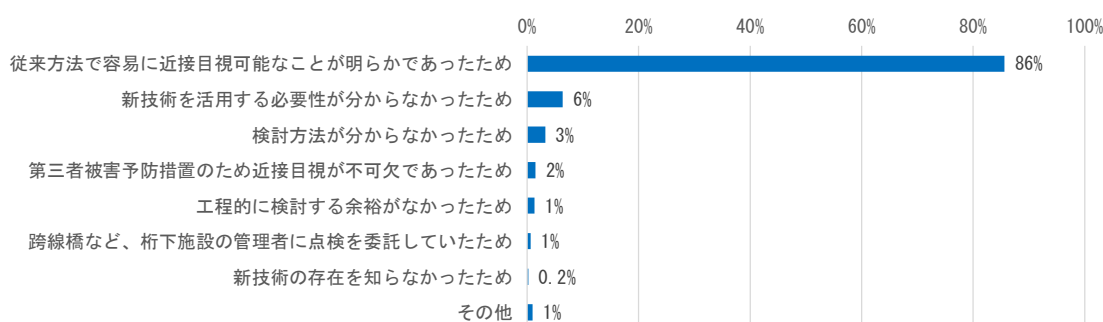


※2022年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった1,338団体と、2022年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった1,187団体を対象に算出。

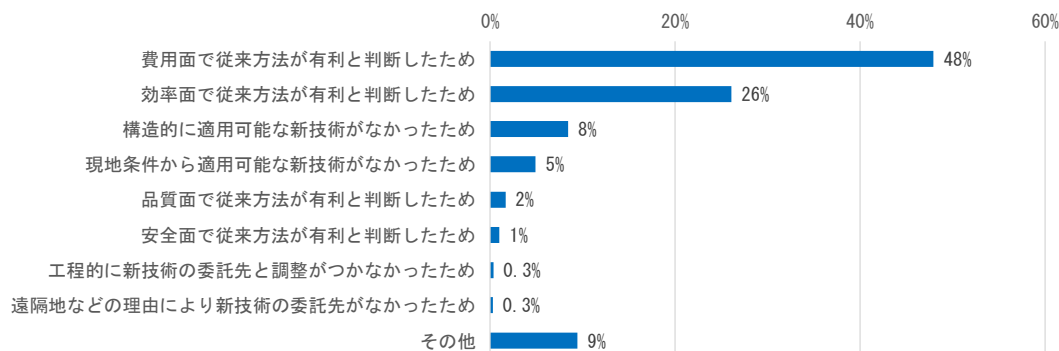
○ 新技術を活用しなかった理由(橋梁点検)



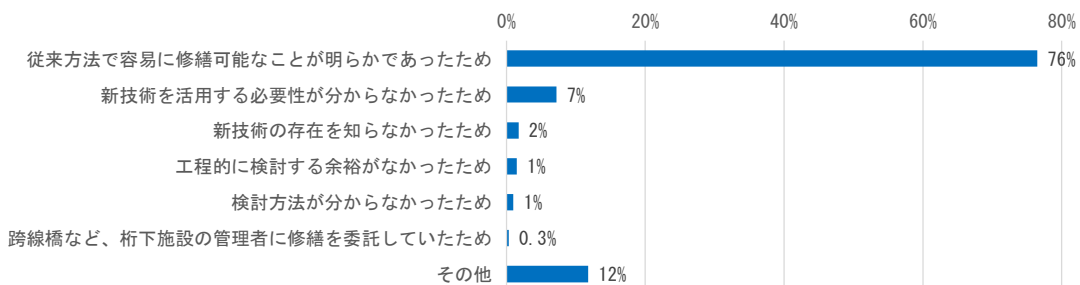
○ 新技術を検討しなかった理由(橋梁点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(橋梁修繕)



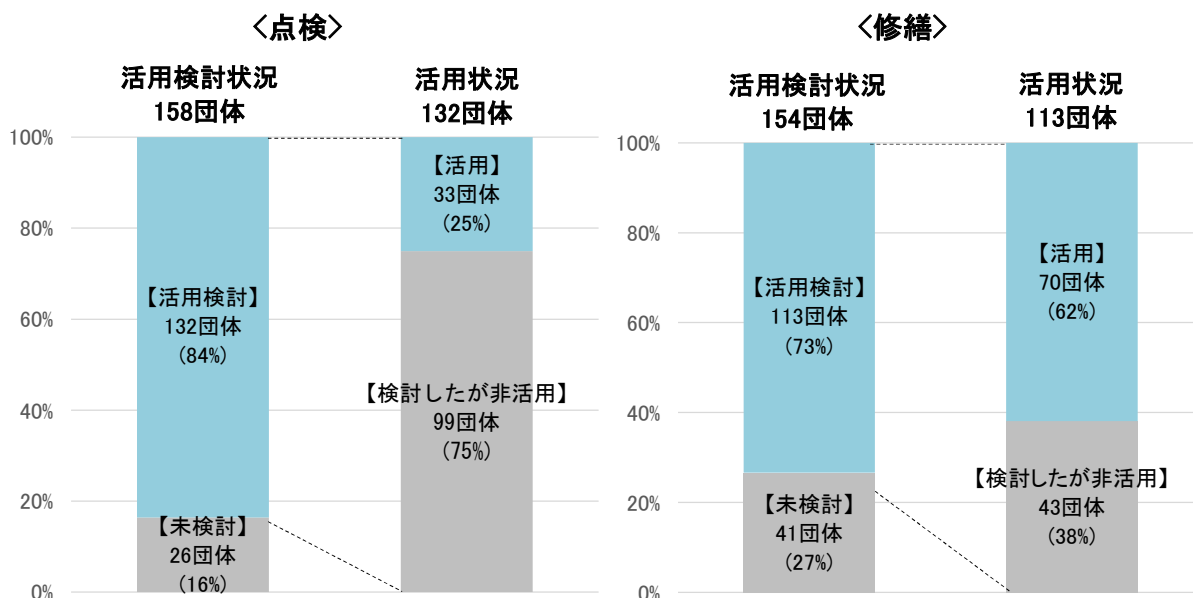
○ 新技術を検討しなかった理由(橋梁修繕)



2)トンネル

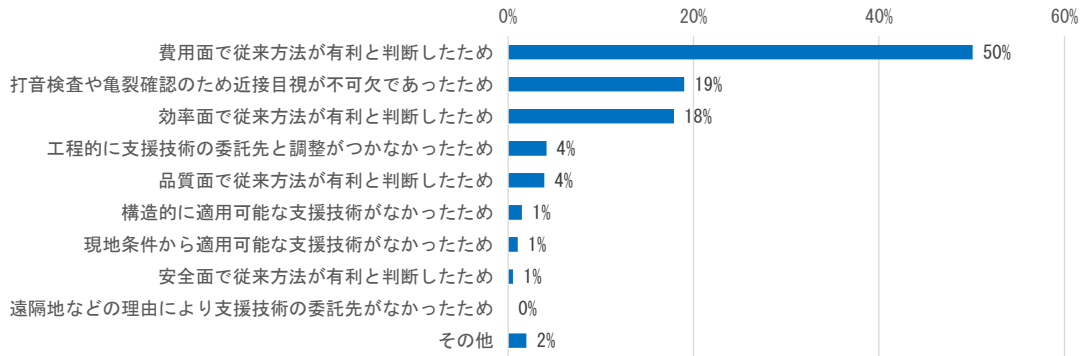
- 2022年度のトンネル点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は84%、そのうち活用した団体は25%です。
- 2022年度のトンネル修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は73%、そのうち活用した団体は62%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(トンネル)

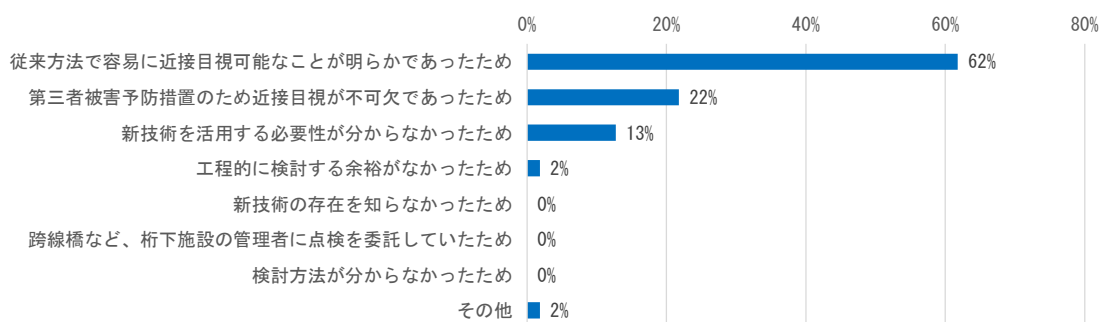


※2022年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった158団体と、2022年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった154団体を対象に算出。

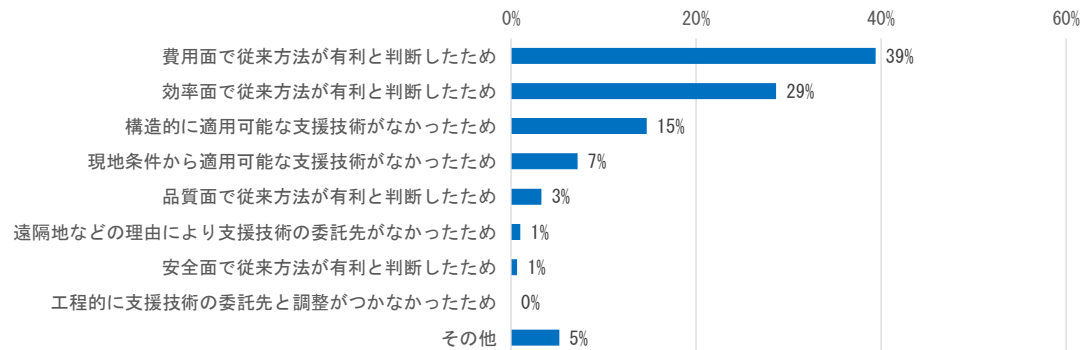
○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル点検)



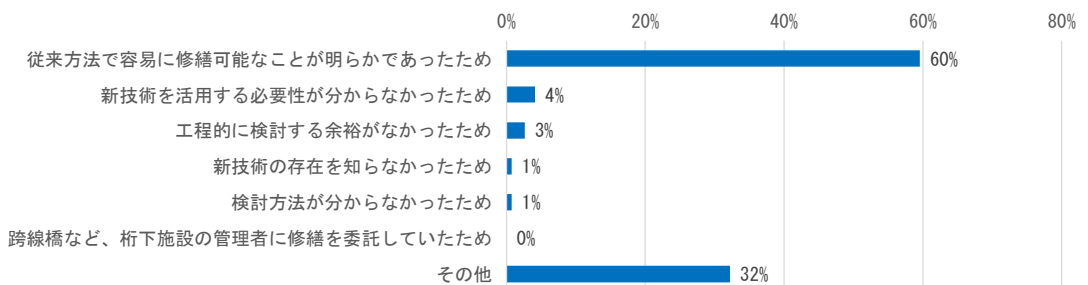
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル修繕)



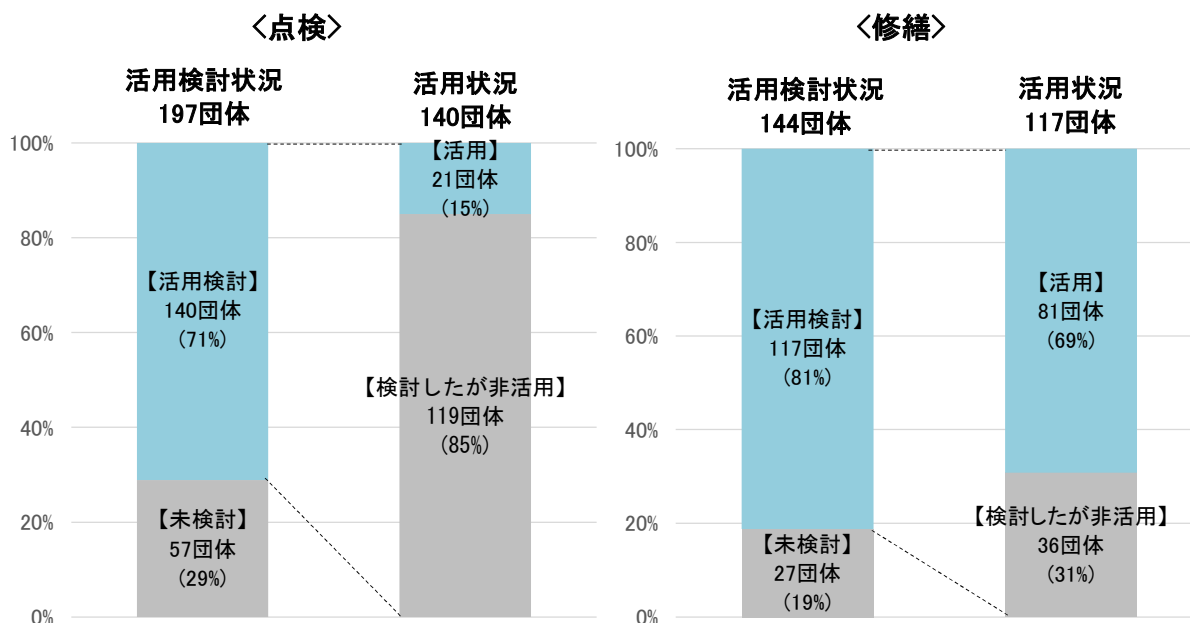
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル修繕)



3) 道路附属物等

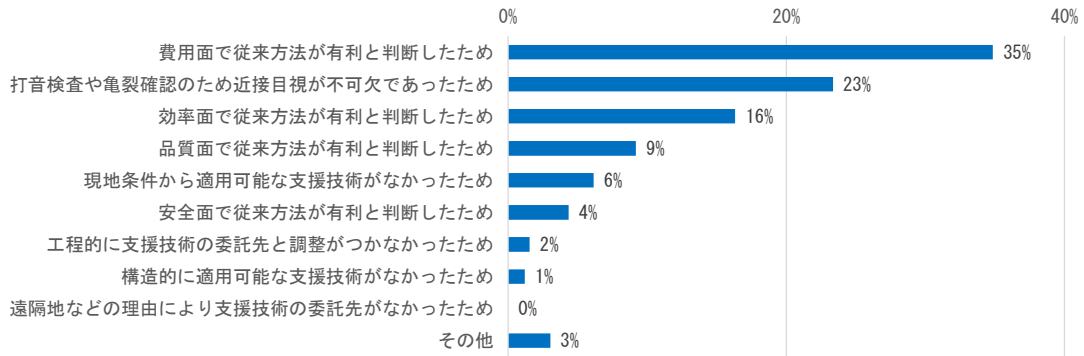
- 2022 年度の道路附属物等点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 71%、そのうち活用した団体は 15%です。
- 2022 年度の道路附属物等修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 81%、そのうち活用した団体は 69%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(道路附属物等)

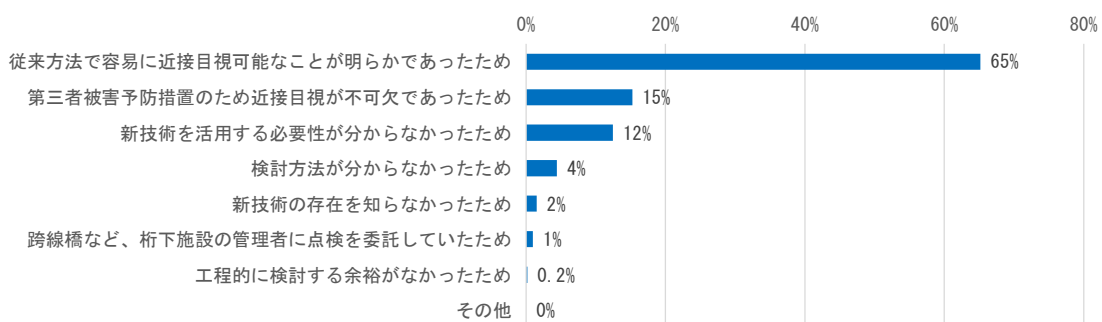


※2022 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 197 団体と、2022 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 144 団体を対象に算出。

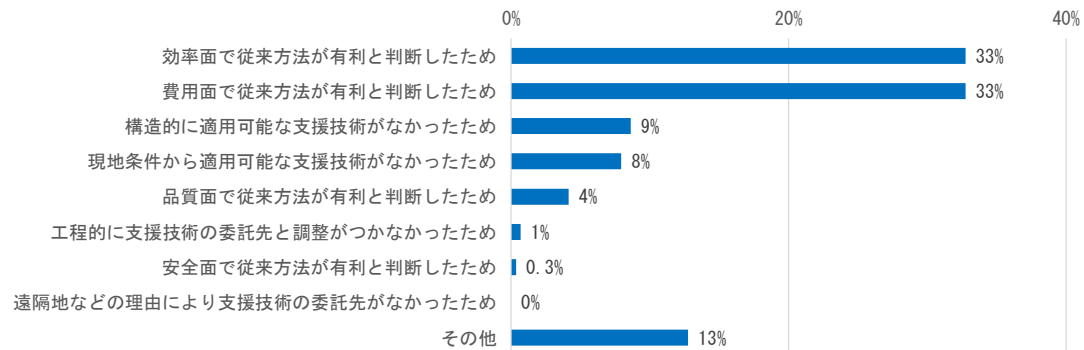
○ 新技術の活用をしなかった理由(道路附属物等点検)



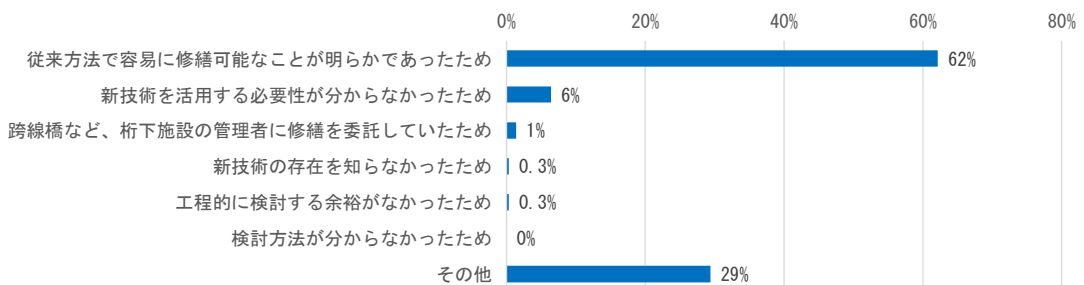
○ 新技術の検討をしなかった理由(道路附属物等点検)



○ 新技術の活用をしなかった理由(道路附属物等修繕)



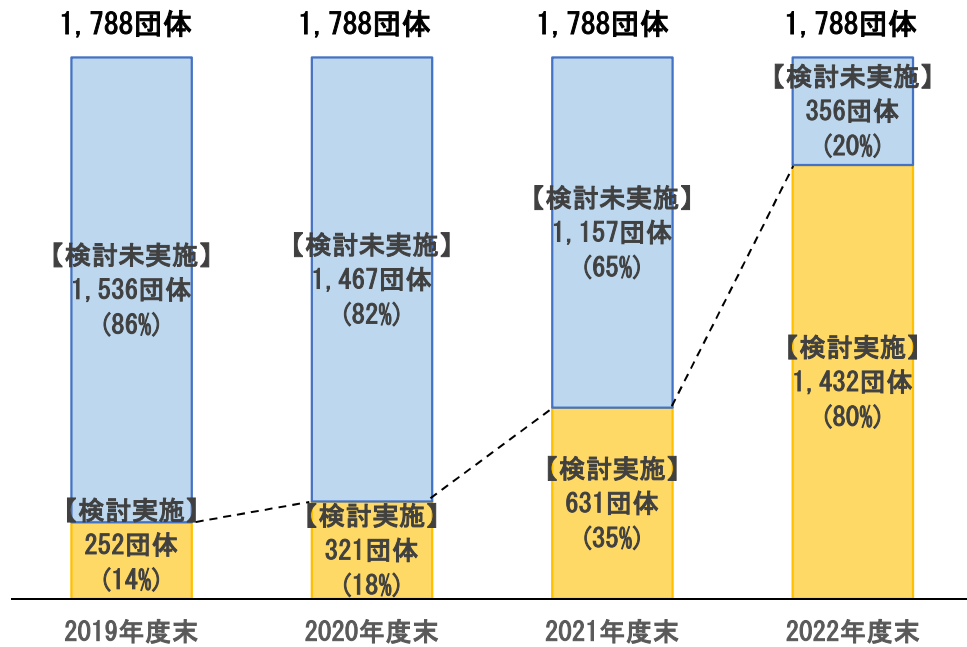
○ 新技術の検討をしなかった理由(道路附属物等修繕)



(10) 集約・撤去・機能縮小等の検討状況

○ 施設の集約・撤去等を検討した地方公共団体の割合は、2019年度末時点から増加し、2022年度末時点で約8割となっています。

○ 地方公共団体における施設の集約・撤去等の検討状況



※国土交通省道路局調べ

(11) 新技術活用事例及び集約・撤去事例集

○ 地方公共団体における取組の一助となることを目的に、新技術活用事例や道路橋の集約・撤去事例集について道路局 HP にて公開中。

○ 地方公共団体における新技術活用事例

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/chiho-katsuyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)

農免大橋における新技術活用事例(1/2) 富山県小矢部市

活用している新技術の施工写真や活用するメリットを掲載

農免大橋における新技術活用事例(2/2) 富山県小矢部市

項目	従来技術	新技術	新技術の具体的な効果や活用にあたっての課題
施工費	6,231円/m	2,920円/m	・ 注入器具の設置・撤去手間を要しない
工期	4日/100m	1日/100m	・ 注入器具を使用せず、塗布によってひび割れを補修
周辺環境への影響	注入器具が廃棄物となる	注入器具を要しない	

新技術を活用しなかった場合とのコスト比較を掲載

○ 道路橋の集約・撤去事例集

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)

単純撤去事例

～渡河橋における単純撤去事例～

実際に撤去を行った事例の概要や集約・撤去の経緯を掲載

実施年	検討内容	撤去までの検討期間	計画・調整段階	利用者・住民との合意形成	実施設計・工事
1935年	新那珂橋開通				
2007年	老朽化に伴い緊急点検を実施				
2008年	通行止め、補修工事で耐震補強を実施				
2009年	通行再開(重量制限6t、震度4以上の地震発生時の即時通行止めが条件)				
2011年	東日本大震災が発生。震度6弱を記録し、即時通行止め調査と補修工事の検討を実施した結果、撤去する方針へ町議会の全員協議会に説明 地元自治会に説明 協議会が新那珂橋の撤去工事のための補正予算を議決 着工(準備工)	約3年			
2013年3月	撤去工事完了				

集約・撤去を進めるうえでの主な検討項目 (検討事例)

検討段階	主な検討項目
計画・調整段階	利用状況の把握
	迂回距離(隣接橋梁との距離等)、迂回時間の把握
	集約・撤去対象候補の抽出
	集約・撤去実施時期の設定
	概算費用及びコスト効果の算出
	長寿命化修繕計画への反映
利用者・住民との合意形成	説明会等の開催による利用者・住民との合意形成
関係機関との協議	交差物件の管理者(鉄道事業者、道路管理者、河川管理者等)との協議
	占用物件の管理者との協議

集約・撤去を進めるうえでの検討項目や事例から得られた留意事項を掲載

※巻末資料

(1)道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳

1)2巡目(2019~2022年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	点検対象 施設数 ※	点検実施状況				
		上段:点検実施数、下段:点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	41,932	7,121	9,259	8,259	8,215	—
		17%	22%	20%	20%	—
シェッド	3,599	482	813	678	667	—
		13%	23%	19%	19%	—
大型カルバート	9,187	1,674	2,049	1,847	1,695	—
		18%	22%	20%	18%	—
横断歩道橋_跨線橋以外	11,267	2,345	2,118	2,008	2,355	—
		21%	19%	18%	21%	—
横断歩道橋_跨線橋	534	61	74	120	107	—
		11%	14%	22%	20%	—
門型標識等	17,345	2,559	4,205	3,606	3,391	—
		15%	24%	21%	20%	—

2023.3末時点

※2023年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

2)2巡目(2019~2022年度)の点検結果
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		32,854	12,349 38%	16,604 51%	3,888 12%	13 0.04%
シェッド	2,640	209 8%	1,553 59%	877 33%	1 0.04%	
		大型カルバート	7,265	3,313 46%	3,682 51%	269 4%
横断歩道橋_跨線橋以外	8,826	1,821 21%	5,077 58%	1,922 22%	6 0.1%	
		横断歩道橋_跨線橋	362	80 22%	193 53%	87 24%
門型標識等	13,761	6,926 50%	6,099 44%	733 5%	3 0.02%	

2023.3末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		10,180	3,108 31%	5,435 53%	1,635 16%	2 0.02%
シェッド	583	78 13%	311 52%	204 34%	0 —	
		大型カルバート	2,120	719 34%	1,287 61%	114 5%
横断歩道橋_跨線橋以外	2,773	474 17%	1,392 50%	905 33%	2 0.1%	
		横断歩道橋_跨線橋	32	7 22%	19 59%	6 19%
門型標識等	4,662	1,830 39%	2,426 52%	406 9%	0 —	

2023.3末時点

(高速道路会社)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	9,960	6,210 62%	3,539 36%	211 2%	0 —
シェッド	53	8 15%	29 55%	16 30%	0 —
		大型カルバート	3,897	2,368 61%	1,475 38%
横断歩道橋_跨線橋以外	43	7 16%	36 84%	0 —	0 —
		横断歩道橋_跨線橋	0	0 —	0 —
門型標識等	5,967	3,827 64%	1,999 34%	141 2%	0 —

2023.3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	12,714	3,031 24%	7,630 60%	2,042 16%	11 0.1%
シェッド	1,994	123 6%	1,213 61%	657 33%	1 0.1%
		大型カルバート	1,248	226 18%	920 74%
横断歩道橋_跨線橋以外	6,010	1,340 22%	3,649 61%	1,017 17%	4 0.1%
		横断歩道橋_跨線橋	330	73 22%	174 53%
門型標識等	3,132	1,269 41%	1,674 53%	186 6%	3 0.1%

2023.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		10,689	2,597	6,403	1,682	7
			24%	60%	16%	0.1%
シェッド	1,867	118	1,135	614	0	
		6%	61%	33%	—	
大型カルバート	920	157	693	69	1	
		17%	75%	8%	0.1%	
横断歩道橋_跨線橋以外	4,894	1,088	2,994	810	2	
		22%	61%	17%	0.04%	
横断歩道橋_跨線橋	103	26	51	25	1	
		25%	50%	24%	1%	
門型標識等	2,905	1,208	1,530	164	3	
		42%	53%	6%	0.1%	

2023.3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		2,025	434	1,227	360	4
			21%	61%	18%	0.2%
シェッド	127	5	78	43	1	
		4%	61%	34%	1%	
大型カルバート	328	69	227	32	0	
		21%	69%	10%	—	
横断歩道橋_跨線橋以外	1,116	252	655	207	2	
		23%	59%	19%	0.2%	
横断歩道橋_跨線橋	227	47	123	56	1	
		21%	54%	25%	0.4%	
門型標識等	227	61	144	22	0	
		27%	63%	10%	—	

2023.3 末時点

3) 過年度の点検(2014~2022年度)の判定区分
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		41,812	15,136 36%	21,269 51%	5,386 13%	21 0.1%
	シェッド	3,589	270 8%	2,014 56%	1,303 36%	2 0.1%
			大型カルバート	9,141	3,722 41%	4,987 55%
	横断歩道橋_跨線橋以外	11,255			2,348 21%	6,367 57%
			横断歩道橋_跨線橋	526	111 21%	281 53%
	門型標識等	17,301			8,685 50%	7,620 44%

2023.3末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		12,777	3,953 31%	6,819 53%	2,003 16%	2 0.02%
	シェッド	780	87 11%	403 52%	290 37%	0 —
			大型カルバート	2,806	956 34%	1,710 61%
	横断歩道橋_跨線橋以外	3,472			674 19%	1,733 50%
			横断歩道橋_跨線橋	44	11 25%	22 50%
	門型標識等	5,675			2,225 39%	2,951 52%

2023.3末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		11,629	6,998 60%	4,362 38%	269 2%	0 —
	シェッド	61	11 18%	32 52%	18 30%	0 —
			大型カルバート	4,409	2,420 55%	1,903 43%
	横断歩道橋_跨線橋以外	48			8 17%	39 81%
			横断歩道橋_跨線橋	0	0 —	0 —
	門型標識等	7,111			4,559 64%	2,388 34%

2023.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		17,406	4,185 24%	10,088 58%	3,114 18%	19 0.1%
	シェッド	2,748	172 6%	1,579 57%	995 36%	2 0.1%
			大型カルバート	1,926	346 18%	1,374 71%
	横断歩道橋_跨線橋以外	7,735			1,666 22%	4,595 59%
			横断歩道橋_跨線橋	482	100 21%	259 54%
	門型標識等	4,515			1,901 42%	2,281 51%

2023.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		14,282	3,510 25%	8,221 58%	2,537 18%	14 0.1%
	シェッド	2,526	159 6%	1,449 57%	917 36%	1 0.04%
	大型カルバート	1,378	237 17%	992 72%	148 11%	1 0.1%
	横断歩道橋_跨線橋以外	6,047	1,277 21%	3,616 60%	1,152 19%	2 0.03%
	横断歩道橋_跨線橋	161	37 23%	85 53%	38 24%	1 1%
	門型標識等	4,170	1,800 43%	2,079 50%	282 7%	9 0.2%

2023.3末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		3,124	675 22%	1,867 60%	577 18%	5 0.2%
	シェッド	222	13 6%	130 59%	78 35%	1 0.5%
	大型カルバート	548	109 20%	382 70%	57 10%	0 —
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,688	389 23%	979 58%	318 19%	2 0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	321	63 20%	174 54%	82 26%	2 1%
	門型標識等	345	101 29%	202 59%	42 12%	0 —

2023.3末時点

(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳

1) 2巡目(2019～2022年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	管理施設数	点検対象 施設数 ※	点検実施状況				
			上段:点検実施数、下段:点検実施率				
			2019	2020	2021	2022	2023
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	16,303	15,840	3,347	3,413	3,218	2,983	—
			21%	22%	20%	19%	—
跨線橋	9,739	9,587	1,613	1,903	2,109	1,967	—
			17%	20%	22%	21%	—
緊急輸送道路を 構成する橋梁	127,905	125,944	26,779	29,302	27,534	23,102	—
			21%	23%	22%	18%	—
(参考)全橋梁	729,159	724,272	120,716	156,060	168,651	157,255	—
			17%	22%	23%	22%	—

2023.3末時点

※2023年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

2) 2巡目(2019~2022年度)の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	12,961	3,079	8,274	1,602	6
		24%	64%	12%	0.05%
跨線橋	7,592	1,310	4,543	1,725	14
		17%	60%	23%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	106,717	38,425	57,331	10,936	25
		36%	54%	10%	0.02%
(参考)全橋梁	602,682	248,378	306,302	47,521	481
		41%	51%	8%	0.1%

2023.3末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	1,844	757	877	207	3
		41%	48%	11%	0.2%
跨線橋	1,455	382	680	391	2
		26%	47%	27%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	26,473	14,865	8,989	2,601	18
		56%	34%	10%	0.1%
(参考)全橋梁	31,208	17,805	10,291	3,089	23
		57%	33%	10%	0.1%

2023.3末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,274	425	3,233	616	0
		10%	76%	14%	—
跨線橋	851	34	663	154	0
		4%	78%	18%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	19,415	4,092	13,149	2,174	0
		21%	68%	11%	—
(参考)全橋梁	19,565	4,119	13,239	2,207	0
		21%	68%	11%	—

2023.3末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	6,843	1,897	4,164	779	3
		28%	61%	11%	0.04%
跨線橋	5,286	894	3,200	1,180	12
		17%	61%	22%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	60,829	19,468	35,193	6,161	7
		32%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	551,909	226,454	282,772	42,225	458
		41%	51%	8%	0.1%

2023.3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,862	699	1,797	366	0
		24%	63%	13%	—
跨線橋	2,814	467	1,717	628	2
		17%	61%	22%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	56,905	17,886	33,107	5,907	5
		31%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	153,432	56,278	82,848	14,276	30
		37%	54%	9%	0.02%

2023.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,981	1,198	2,367	413	3
		30%	59%	10%	0.1%
跨線橋	2,472	427	1,483	552	10
		17%	60%	22%	0.4%
緊急輸送道路を構成する橋梁	3,924	1,582	2,086	254	2
		40%	53%	6%	0.1%
(参考)全橋梁	398,477	170,716	199,924	27,949	428
		43%	50%	7%	0.1%

2023.3 末時点

※2023年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

3) 過年度の点検(2014~2022年度)の判定区分
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	15,812	3,816	10,037	1,953	6
		24%	63%	12%	0.04%
跨線橋	9,557	1,688	5,652	2,202	15
		18%	59%	23%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	125,809	45,337	67,296	13,151	25
		36%	53%	10%	0.02%
(参考)全橋梁	723,027	302,632	361,507	58,211	677
		42%	50%	8%	0.1%

2023.3末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,307	991	1,055	258	3
		43%	46%	11%	0.1%
跨線橋	1,699	450	764	483	2
		26%	45%	28%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,369	18,337	10,801	3,213	18
		57%	33%	10%	0.1%
(参考)全橋梁	38,206	21,982	12,399	3,802	23
		58%	32%	10%	0.1%

2023.3末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,278	504	4,009	765	0
		10%	76%	14%	—
跨線橋	1,089	56	832	201	0
		5%	76%	18%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	23,523	4,447	16,359	2,717	0
		19%	70%	12%	—
(参考)全橋梁	23,717	4,480	16,478	2,759	0
		19%	69%	12%	—

2023.3末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,227	2,321 28%	4,973 60%	930 11%	3 0.04%
跨線橋	6,769	1,182 17%	4,056 60%	1,518 22%	13 0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	69,917	22,553 32%	40,136 57%	7,221 10%	7 0.01%
(参考)全橋梁	661,104	276,170 42%	332,630 50%	51,650 8%	654 0.1%

2023.3 末時点

(都道府県・政令市等)

(都道府県・政令市等)	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,566	909 25%	2,222 62%	435 12%	0 —
跨線橋	3,585	617 17%	2,153 60%	813 23%	2 0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	65,508	20,786 32%	37,789 58%	6,928 11%	5 0.01%
(参考)全橋梁	187,075	69,533 37%	99,739 53%	17,764 9%	39 0.02%

2023.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,661	1,412 30%	2,751 59%	495 11%	3 0.1%
跨線橋	3,184	565 18%	1,903 60%	705 22%	11 0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	4,409	1,767 40%	2,347 53%	293 7%	2 0.05%
(参考)全橋梁	474,029	206,637 44%	232,981 49%	33,886 7%	615 0.1%

2023.3 末時点

※2023年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト(2014～2022 年度)
【橋梁】

○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置内容（完了済・予定のものを含む）

管理者	管理中					撤去・ 廃止済 ※2	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕・ 架替	機能 転換 ※1	対応 未定	撤去・ 廃止			
国土交通省	32	32	0	0	0	5	37	16
都道府県・ 政令市等	56	45	0	1	10	8	64	28
市区町村	844	471	6	132	235	196	1,040	495
合計	932 (82%)	548 (48%)	6 (1%)	133 (12%)	245 (21%)	209 (18%)	1,141	539 (47%)

※1: 機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(16 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2023.3 月末時点)
関東地方 整備局	おおとねばしくだ 大利根橋(下り)	国道 6 号	1972	2021	主桁の亀裂	仮受け材設置 (通行可能)。 ストップホール 及び高力ボルト 設置。	修繕中
関東地方 整備局	くまがや ごと 熊谷2号	国道 17 号	1955	2021	床版の腐食	縞鋼板を設置	修繕予定
関東地方 整備局	こゆるぎこうかきょう 小余綾高架橋	国道 1 号(西 湘バイパス)	1966	2020	主桁の腐食、変 形・欠損、板厚減 少	仮受け材の設 置・当て板補 修(通行可 能)	修繕中
関東地方 整備局	きただいはし くだ せうどうきょう 北台橋 (下り側道橋)	国道 357 号	1986	2021	床版の腐食、変 形・欠損	仮受け材の設 置(通行可 能)	架替中
関東地方 整備局	むめいはし 無名橋(29)	国道 18 号	1964	2020	主桁の腐食	仮受け材の設 置	修繕中
関東地方 整備局	かみすわだ い ばし 上諏訪第2橋	国道 20 号	1981	2021	橋台の洗堀	角材を挿入し 橋台を補強	修繕中
関東地方 整備局	かみすわだ い ばし 上諏訪第4橋	国道 20 号	1956	2021	橋台の洗堀	仮受け材の設 置(通行可 能)	修繕中
関東地方 整備局	しもすわだ い ばし 下諏訪第1橋	国道 20 号	1969	2021	橋台(堅壁)の洗 堀	土嚢にて橋台 補強	修繕中
関東地方 整備局	さんせいじ ごと のぼり 山清路 3 号側道橋 のぼり	国道 19 号	1979	2021	床版の変形・欠 損	損傷箇所上 面の路面にコ ンパネを設置	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2023.3月末時点)
関東地方 整備局	おぐらさわぼしそくどうきょう 小倉沢橋側道橋	国道 19 号	1982	2021	床版の変形・欠損	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕中
関東地方 整備局	ききたまおほし くだ 幸魂大橋(下り)	国道 298 号	1992	2021	支承本体のゆるみ・脱落	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	かつしかおほし のぼ 葛飾大橋(上り)	国道 298 号	1979	2020	支承の変形・欠損	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	よぼつかそくどうきょう くだ 呼塚側道橋(下り)	国道 16 号	1982	2020	床版の腐食、変形・欠損	角材を挿入し床版を補強	修繕中
関東地方 整備局	みなとぼしそくほどうきょう のぼ 湊橋側歩道橋(上り)	国道 127 号	1972	2020	床版・横桁の腐食	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕中
関東地方 整備局	こむろぼし くだ 小室橋(下り)	国道 16 号	1974	2021	主桁の下フランジに亀裂	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	こむろぼし のぼ 小室橋(上り)	国道 16 号	1974	2021	主桁の下フランジに亀裂	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中

○ 都道府県・政令市等(28 橋)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2023.3 月末時点)
仙台市	なかほぼし 仲芝橋	市道サイカチ沼線	1988	2019	橋台のひびわれ、変形・欠損、洗堀など	全面通行止	架替予定
山形県	ふくしまごせんきょう 福島跨線橋	県道比子八幡線	1981	2020	主桁、横桁、支承が全体的に腐食・欠損	仮受け材の設置(通行規制(車両))	修繕中
栃木県	さんだいはし 三代橋	県道 72 号線	1934	2021	橋台にひびわれ、洗堀	支保工設置(通行可能)	修繕中
栃木県	あきひはし 旭橋	県道 182 号線	1923	2021	床版に鉄筋露出、うき、主桁・支承には腐食、断面欠損(穴あき等)	桁端部補強設置(通行可能)	修繕中
相模原市	むめいはし(つくくい 無名橋(津久井18)	市道青野原9号	1960	2021	床板に断面欠損を伴う腐食、鋼材部全体に腐食	仮設を設置し全面通行止め	撤去予定
新潟市	むめいはし 無名橋(566)	市区町村道(その他)新津 1-460 号線	不明	2021	橋の機能に支障	全面通行止	撤去予定
長野県	ならいしんはし 奈良井新橋	県道姥神奈良井線	1977	2020	張出床版、横桁の損傷	全面通行止	撤去予定
長野県	しんからさわはし 新唐沢橋	国道 151 号	1993	2021	主桁の腐食	通行規制(路肩規制)	修繕中
長野県	いち さわはし 一の沢橋	県道大河内中川原線	1971	2022	通行規制(片側規制)	通行規制(片側規制)	架替中
静岡市	しまかわはし 島川橋	市道檜尾崩野線	1956	2022	橋台背面土砂流失及び木製床板の腐朽	全面通行止	未定
浜松市	エンガクさわはし エンガク沢橋	市道水窪向島第 2 号線	不明	2015	床板の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田7号橋	市道水窪小和田引の田線	不明	2015	主桁・防護柵の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田11号橋	市道水窪小和田引の田線	不明	2015	横桁の変形	全面通行止	撤去予定
浜松市	しょうげつはし 嘯月橋	市道天竜仲町山王線	1962	2022	床版及び橋脚の変形・欠損	撤去(前面通行止)	架替予定
和歌山県	きゅう ひおきがわおほし (旧)日置川大橋	日置川すさみ線	不明	2016	主桁鉄筋の露出、ゲルバー部の遊間の異常、橋脚の変形	全面通行止	撤去中
和歌山県	なか くしたにはし 中ノ串谷橋	田辺龍神線	1966	2022	床版の鉄筋露出	通行止	修繕中
鳥取県	ごうながいはし 1号長石橋	県道倉吉福本線	不明	2021	床版に破損および抜け落ち	敷鉄板設置	修繕予定
鳥取県	ごうむめいはし 5号無名橋2	県道倉吉赤碕中山線	不明	2022	地盤沈下により倒壊の恐れ	R3 豪雨により被災したため、実施災害復旧工事による全面止め実施中。工事完了後、交通解放予定。	架替中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
鳥取県	ちゅうおうはし 中央橋	県道日野溝口線	1970	2022	主桁、横桁に孔食を伴う腐食、破断	仮橋台設置済	修繕中
岡山市	おぐらはし 小倉橋	市道建部町小倉3号線	1964	2021	主桁のひびわれ	仮受材設置(通行可能)	架替予定
岡山市	みなみはし 観波橋	県道高梁御津線	1954	2021	主桁のひびわれ	重量規制 8t	修繕中
岡山市	10046はし 橋	市道大元駅前・二日市町線	不明	2021	主鉄筋の露出	仮設材設置(通行可能)	架替予定
岡山市	10937はし 橋	市道青江38号線	不明	2022	RC床版と石橋の混合橋で、約30cmの石橋に折れが発生	仮設材設置	架替予定
岡山市	41135はし 橋	市道泉田25号線	不明	2022	下部工に大きなひび割れ	重点的な巡視・点検	架替予定
北九州市	あそうがわ とうきょう 麻生川1号橋	市道合馬26号線	1961	2021	主桁の腐食、床版の腐食、変形・欠損、沈下	全面通行止め	架替中
熊本市	つばいがわはし とうきょう 坪井川橋側道橋	国道501号	1986	2021	橋脚(鋼管杭)の損傷	全面通行止め、仮受け台の設置	架替中
鹿児島県	みなとはし 湊橋	伊関国上西之表港	1976	2019	主桁 PC 鋼線及び鉄筋の破断	通行規制(片側規制)	架替中
鹿児島県	おとこがわはし とうきょう 男川橋(旧橋)	上屋久屋久線	1961	2022	塩害による激しい劣化が進行している。	全面通行止め	撤去予定

○ 市区町村(495 橋)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2023.3 月末時点)
釧路市 (北海道)	ボンチノミ橋 ^{ばし}	市道風連別馬主来線	1980	2014	主桁の破断・腐食、床版の抜け落ち、橋台の変形・腐食	全面通行止	廃止予定
				2019			
釧路市 (北海道)	ちのみばし乳呑橋	市道風連別馬主来線	1958	2014	防護柵の破断、橋台の鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
				2019			
釧路市 (北海道)	しじみばし蜆橋	市道風連別馬主来線	1980	2015	主桁の断面欠損	全面通行止	廃止予定
				2020			
夕張市 (北海道)	だいこくばし大黒橋	市道登川住宅線	1960	2014	上部工の剥離、鉄筋露出・腐食	全面通行止	撤去予定
留萌市 (北海道)	おおわだ 6 号通り 1 号橋 ^{ごうお}	市道大和田 6 号通り	1968	2022	下部工の洗堀	全面通行止	未定
苫小牧市 (北海道)	ゆうふつ 1 号橋 ^{ごうきやう}	市道沼ノ端西 2 条線	1953	2020	主桁のうき・剥離・鉄筋露出	全面通行止	未定
稚内市 (北海道)	みなとこせんきやう港跨線橋	市道港 3 条通	1964	2021	支承の沓座面の損傷による落橋の危険性	全面通行止	修繕予定
稚内市 (北海道)	みなとほどうきやう港歩道橋	市道港歩道橋通	1978	2021	防護柵基部の腐食(断面欠損)	全面通行止	修繕予定
紋別市 (北海道)	たからばし宝橋	市道中立牛上古丹線	1965	2018	橋台の洗堀、下部工の傾斜	全面通行止	未定
士別市 (北海道)	めぐみばし恵橋	市道学田不動公園線	1980	2017	床板(木材)の抜け落ち	全面通行止	撤去中
名寄市 (北海道)	18 線橋 ^{せんばし}	市道 18 線	1960	2017	床板ひび割れ、橋脚のコンクリート剥落、鉄筋露出	全面通行止	修繕中
				2021			
三笠市 (北海道)	きゆうかつらばし旧桂橋	市道桂沢 6 号線	1952	2017	主桁(鋼材)腐食、床板の抜け落ち、鉄筋露出、支承腐食	全面通行止	撤去予定
				2022			
砂川市 (北海道)	やまもとばし山本橋	市道川沿通り	1968	2022	主桁腐食、横桁腐食、床板変形・欠損、支承腐食	全面通行止	撤去予定
富良野市 (北海道)	ひさかりばし日盛橋	市道山部西 1 号線	1983	2022	下部構造の洗堀	2022 年 8 月から通行止め。上部工借受補強を実施し 2023 年 8 月頃から交通解放予定。	架替予定
当別町 (北海道)	たんこう さわばし炭鉱の沢橋	町道炭鉱の沢線	1976	2017 2022	杭基礎の折損	全面通行止	廃止予定
松前町 (北海道)	おおさわ 1 号橋 ^{ごうきやう}	町道松前温泉通り線	1984	2019	下部工洗堀による橋台橋脚の沈下・移動・傾斜(損傷)	全面通行止	撤去予定
木古内町 (北海道)	きめがわじんどうきやう佐女川人道橋	町道木古内 2 線	1975	2021	全更新、または上部工更新、または廃橋を検討	全面通行止	撤去予定
木古内町 (北海道)	きめがわこせんじんどうきやう佐女川跨線人道橋	町道木古内 2 線	1987	2022	上部工及び支承損傷	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
岩内町 (北海道)	おいこみさんごうきょう 老古美三号橋	町道東老古 美中通り	1950	2022	木橋上部の腐朽	カラーコーン・ バーによる通 行止め	架替中
上川町 (北海道)	やまきぼし 八巻橋	町道東雲朝 日線	1965	2022	下部工前面の護 岸部に洗堀によ る損傷が見られ 、護岸背面の土 砂の吸出しがあ り、上部工の支 持力が著しく低 下している	全面通行止め	修繕予定
上川町 (北海道)	メノコ橋	町道清川陸 万2号線	1981	2022	主桁が経年劣化 により脱落し、 路面の一部が抜 け落ち、2m×1 m程度の穴が空 いた。	全面通行止め	修繕予定
音威子府村 (北海道)	なかじまはし 中島橋	村道中島公 園線	1974	2020	主桁、横桁の変 形・床版の欠損	全面通行止	修繕中
中川町 (北海道)	はしもとばし 橋本橋	町道中川5 号線	1979	2017 2022	橋台洗堀による 傾斜	チェーンゲー トによる通行止 め措置	撤去予定
小平町 (北海道)	うんせいばし 運生橋	町道親和線	1972	2018	床版(木製床版) の断面欠損	全面通行止	修繕予定
小平町 (北海道)	せんすいばし 潜水橋	町道川上本 流線	1962	2018	下部工基礎の洗 堀	全面通行止	修繕予定
小平町 (北海道)	かねじりばし 金尻橋	町道川上本 流線	1967	2018	下部工基礎の洗 堀	全面通行止	修繕予定
初山別村 (北海道)	くれないはし 紅橋	村道風連別 南線	1974	2017	橋台基礎洗堀	全面通行止	撤去予定
初山別村 (北海道)	うたこしべつばし 歌越別橋	村道共成線	1963	2017	主桁(木材)腐食	全面通行止	撤去予定
浜頓別町 (北海道)	クッチャロ大橋	町道浜頓別 自転車道1 号線	1917	2017 2022	主桁、対傾構、支 承に板厚減少を 伴う著しい腐食 、床版のひび割 れ、下部工の洗 堀	短管パイプに よる出入口口 封鎖	未定
遠軽町 (北海道)	だいくさわごうきょう 大黒沢6号橋	町道大黒沢 線	1964	2021	主桁のひびわれ 、欠損	全面通行止	未定
西興部村 (北海道)	ちゅうこうはし 中興橋	村道中興部 六興線道路	1935	2019	橋脚底板下面の 露出、横桁のひ び割れ、橋台ウ ィングの断裂、防 護柵の著しい欠 損・破断	全面通行止	撤去予定
厚真町 (北海道)	かんこうはし 官光橋	町道軽舞豊 丘線	1971	2021	パイルベント橋 台の基礎杭のせん 断	仮設材による 落橋防止措置 (通行可能)	架替中
厚真町 (北海道)	おくだかほし 奥高橋	町道高丘本 線	1967	2021	桁端部の欠損 橋台下部の洗堀	全面通行止	架替予定
むかわ町 (北海道)	なかほべつぎょう 中穂別橋	町道稲里西 線	1954	2017	橋台断面欠損	全面通行止	撤去中
新冠町 (北海道)	こうようばし 紅葉橋	町道東川2 号線	1965	2017 2022	橋台に傾斜が見 られる	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
新ひだか町 (北海道)	くどう ぐりきょう 久遠3号橋	町道歌笛久遠沢線	1978	2021	主桁に腐食、床版に破断・変形・抜落ち、舗装にわだち掘れ	全面通行止	未定
音更町 (北海道)	きゆうしんばし 共進橋	町道中音更23号	1969	2019	支承の機能障害	応急補修(通行可能)	修繕中
鹿追町 (北海道)	クテクウシ ばし 橋	下鹿追美蔓線	1959	2016	橋脚が洗堀により沈下し、橋桁がV字に折れ曲がっている。	全面通行止	撤去中
鹿追町 (北海道)	はちごうばし 八号橋	奥然別峡線	1965	2017	橋座に剥離・鉄筋露出が見られ、道路橋の機能に支障が生じている。	全面通行止	未定
				2022			
鹿追町 (北海道)	ねむのきばし 合歓木橋	奥然別峡線	1973	2022	橋台背面に洗堀が見られ、道路橋の機能に支障が生じている。	全面通行止	未定
新得町 (北海道)	たけうちばし 竹内橋	町道北新得東線	1990	2018	落橋	全面通行止	廃止予定
				2021			
弟子屈町 (北海道)	みのりばし 美農里橋	町道美農里橋線	1962	2022	床版の腐食、橋面木材の腐朽	損傷が著しく、また利用者も減少したことから平成23年度より通行止としている。	廃止予定
八戸市 (青森県)	かねはまこせんきょう 金浜跨線橋	市道大渡金浜線	1968	2020	主桁下面のはく離鉄筋露出	仮設材を設置して、車線規制	架替中
十和田市 (青森県)	さくらばし 猿倉橋	市道猿倉線	不明	2018	主桁、床版の剥離や鉄筋露出、下部工のひび割れ、断面欠損	全面通行止、仮橋設置	架替中
十和田市 (青森県)	とりやづく ぐうばし 鳥谷附2号橋	市道鳥谷附有備線	1950	2022	下部工 剥離、鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
三沢市 (青森県)	あまがもり ぐうばし 天ヶ森1号橋	市道天ヶ森1号線	1977	2021	コンクリート部材にはく離・鉄筋露出、支承に変形・欠損	車両通行止(歩行者通行可)	未定
むつ市 (青森県)	かじょうばし 霞城橋	市道野平2号線	1970	2021	主桁、床版にはく離・鉄筋露出、橋台胸壁にひびわれ	全面通行止	未定
今別町 (青森県)	おおかわだいいゆしらかわばし 大川平由四良橋	町道由四良川線	1970	2022	主桁及び支柱に腐食がみられ、床版にはく離・鉄筋露出が確認された	全面通行止	修繕予定
今別町 (青森県)	ほりかねばし 堀替橋	町道堀替線	1970	2022	主桁及び支柱に腐食がみられ、橋脚にはく離・ひび割れが確認された	全面通行止	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
深浦町 (青森県)	てきかかわばし 手岬川橋	町道風合瀬 1号線	1995	2020	主桁の腐食、板厚減少、断面欠損	全面通行止	撤去中
大鰐町 (青森県)	もりやまおほし 森山大橋	町道鯖石森 山線	1974	2021	支承サイドブロックの損傷	サイドブロック機能を補完するため、仮設材の設置	修繕予定
大鰐町 (青森県)	くまざわばし 熊沢橋	町道虹貝清 川線	1963	2021	床板の鉄筋破断、損傷	全面通行止	架替予定
東北町 (青森県)	こがわらどおりこせんきょう 小川原通跨線橋	町道 535 号 線	1967	2020	主桁の腐食、板厚減少、断面欠損	バリケート等の設置	架替中
田子町 (青森県)	ごうきょう 1号橋	町道新田黒 森線	不明	2020	コンクリート部材のはく離・鉄筋露出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中
田子町 (青森県)	ごうきょう 2号橋	町道新田黒 森線	不明	2020	コンクリート部材のはく離・鉄筋露出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中
大船渡市 (岩手県)	しろきさわばし 白木沢橋	市道白木沢 橋線	不明	2021	橋台背面が陥没	全面通行止	未定
久慈市 (岩手県)	とめたきばし 止滝橋	市道沼袋線	1969	2020	床版に剥離・鉄筋露出、格子状ひびわれ、下部工の断面欠損	全面通行止	撤去中
一関市 (岩手県)	しもなかやま ごうきょう 下中山1号橋	市道下曲田 16号線	不明	2022	主桁の欠損、床板の流出、舗装の抜け落ち	全面通行止	未定
二戸市 (岩手県)	せいがんばし 青岩橋	市道青岩線	1935	2018	主桁支点部・鋼製橋脚基部の断面欠損	全面通行止	廃止中
奥州市 (岩手県)	しもがもがさきはし 下鴨ヶ崎橋	市道梨ノ木 線	1976	2014 2019	床版のひびわれ、剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
奥州市 (岩手県)	あまつちばし 天土橋	市道天土線	1954	2014 2019	橋台の変形欠損、橋脚の洗掘	全面通行止	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	なつやきはし 夏焼橋	市道上東側 根上西側線	不明	2020	木橋上部の腐朽	全面通行止	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	そとはたけはし 外畑橋	市道外畑 4 号線	不明	2021	主桁と橋面の腐朽	全面通行止	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	はし 6007橋	市道磯草 2 号線	不明	2021	主桁の腐朽と橋台の欠損	全面通行止	撤去予定
名取市 (宮城県)	ごしゃばし 五社橋	市道笠島川 内線	1971	2021	主桁の剥離・鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
川崎町 (宮城県)	おい さわばし 追の沢橋	町道碓石・ 秋保線	不明	2021	主桁の腐食による板厚減少、桁にたわみ	全面通行止	架替中
山元町 (宮城県)	くまざわはし 熊坂橋	町道浅生原 熊坂線	1973	2020	基礎部の沈下により、橋座と桁に大きな隙間が発生	仮橋を設置して、通行規制(大型車以上)	架替予定
湯沢市 (秋田県)	おやすばし 小安橋	市道寒沢線	1962	2014 2019	主桁・対傾構に腐食、防食機能の劣化が見られる。	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
湯沢市 (秋田県)	かわいばし 川井橋	市道中山・ 小沢ヶ沢線	1966	2014	主桁・横桁に腐食、防食機能の劣化が見られる。	全面通行止	撤去予定
				2019			
鹿角市 (秋田県)	うしみちし ばし 丑道下夕橋	市道長野大湯線	不明	2022	橋脚基礎の洗堀	全面通行止	架替中
鹿角市 (秋田県)	さかいばし 界橋	市道川原館線	1968	2022	橋台の損傷、橋台基礎の洗堀	全面通行止	架替中
由利本荘市 (秋田県)	あらまち ごうきょう 荒町2号橋	市道荒町4号線	1941	2020	橋台ひびわれ、欠損、床版の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
上小阿仁村 (秋田県)	なかやまはしほどうきょう 中山橋歩道橋	村道福館五反沢線	1979	2021	道路橋の機能に支障、橋台に広範囲の洗堀	全面通行止	修繕予定
五城目町 (秋田県)	おおだいらし 大台橋	町道大台線	1969	2018	橋脚のひびわれ	車両通行止 (歩行者通行可)	廃止予定
五城目町 (秋田県)	こいじばし 恋地橋	町道恋地線	1958	2022	主桁・横桁に腐食、防食機能の劣化、橋台の剥離・欠損が見られる。	全面通行止	撤去予定
尾花沢市 (山形県)	3-278-1 ごうきょう 号橋	市道Ⅲ-278号線	不明	2021	主桁のたわみ	全面通行止	撤去予定
西川町 (山形県)	おおいりまがわばし 大入間川橋	町道月岡入間線	1965	2019	橋脚の洗堀による沈下・傾斜	全面通行止	架替中
鮭川村 (山形県)	ふかさわ ごうきょう 深沢1号橋	村道木の根坂・深沢線	1964	2021	主桁の変形、床版の変形移動	全面通行止	未定
川西町 (山形県)	さかみずばし 坂水橋	町道道祖神坂水橋線	1968	2016	支承本体の傾斜 橋脚の剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
				2021			
白鷹町 (山形県)	ごろうやまばし 五郎山橋	町道五郎山村松線	1934	2022	床版のひびわれ、うき及び下部工の欠損、洗堀(基礎)	全面通行止	架替中
遊佐町 (山形県)	さかえばし 栄橋	町道白木宮海線	1956	2016	主桁の腐食、欠損、ハイルベント橋脚の損傷	全面通行止	撤去中
				2021			
いわき市 (福島県)	ずきんだいらし 頭巾平橋	市道頭巾平・長沢	不明	2017	橋脚柱部に根本接合部の剥離による10°程度の傾きが確認された	通行規制(車両)	未定
				2022			
喜多方市 (福島県)	やちはたはし 谷地畑橋	市道大平・黒岩線	不明	2015	橋台の洗堀、ひびわれ	全面通行止	架替予定
川俣町 (福島県)	とんやまはし 問屋前橋	町道問屋・津間線	1970	2016	床版下面にひび割れ及びうき、露出鉄筋の著しい腐食 主桁全体に腐食、桁端部の下フランジの残存板厚の減少 支承部のアンカーボルトに著しい腐食	全面通行止	未定
				2020			

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
金山町 (福島県)	おきたはし 沖田橋	町道湯ノ上線	1935	2016	床版の断面欠損、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
				2021			
双葉町 (福島県)	のだけうち とうばし 野竹内3号橋	町道野竹内2号線	1965	2018	橋台の移動・傾斜、背面の土砂の沈下洗掘、ひびわれ。	全面通行止	未定
双葉町 (福島県)	ふかやこせんじんどうきょう 深谷跨線人道橋	町道深谷・こ線人道橋線	1975	2021	桁のズレ	全面通行止	撤去中
浪江町 (福島県)	とうばし 5084-1号橋	町道持平小和田線	不明	2020	床版の抜け落ち	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	とうばし 6241-1号橋	町道近江前大高倉線	不明	2021	橋台の洗掘及び沈下・移動・傾斜	全面通行止	修繕予定
浪江町 (福島県)	とうばし 7017-1号橋	町道重作下亀下線	不明	2021	主桁木材が落下	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	とうばし 7173-1号橋	町道西小萱線	不明	2022	変形崩落	全面通行止	修繕予定
浪江町 (福島県)	とうばし 7173-2号橋	町道西小萱線	不明	2022	崩壊欠損	全面通行止	修繕予定
日立市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋5001	市道 9061号線	不明	2018	主桁・床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
土浦市 (茨城県)	びぜんがわ とうばし 備前川19号橋	下高津二丁目6号線	不明	2018	主桁・橋脚・橋台に腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
土浦市 (茨城県)	しんかわ とうばし 新川6号橋	立田2号線	不明	2020	主桁・床版の腐食	床版補修工	架替中
石岡市 (茨城県)	18050	市道A6747号線	不明	2020	主桁の腐食	車両通行止め	未定
石岡市 (茨城県)	とうばし 4323-1号橋	市道 B4323号線	不明	2021	主桁端部にひびわれ	仮設材を設置し全面通行止	未定
結城市 (茨城県)	かみわだばし 上和田橋	市道 5075号線	不明	2016	主桁の鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	とうきょう 1-10号橋	市道第1-81号線	不明	2017	主桁のひび割れ・剥離・鉄筋露出	全面通行止	修繕中
龍ヶ崎市 (茨城県)	とうきょう 5-44号橋	市道第5-292号線	不明	2021	基礎が沈下、路面に傾斜	全面通行止	未定
龍ヶ崎市 (茨城県)	とうきょう 4-25号橋	市道第4-96号線	不明	2022	主桁に引張荷重を担う鉄筋の破断	全面通行止	架替予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	とうきょう 4-33号橋	市道第4-106号線	不明	2022	上部構造に孔食、板厚減少を伴う腐食	全面通行止	撤去予定
高萩市 (茨城県)	しやうぶばし 昌蒲橋	市道 105号線	不明	2017	主桁断面欠損	全面通行止	未定
高萩市 (茨城県)	つかきんはし 塚金橋	市道 3055号線	不明	2017	橋台のひび割れ・欠損	全面通行止	撤去中
高萩市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋1060	市道 1026号線	不明	2020	主桁・下部工・橋面のひび割れ	全面通行止	未定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋5	市道 1320号線	不明	2018	主桁・床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋59	市道 2051号線	不明	2018	橋台A1にひび割れ・傾斜	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋135	市道 6014号線	不明	2018	主桁・支承の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋142	市道 6039号線	不明	2018	主桁の腐食により断面欠損	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 147	市道 6054 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 149	市道 6082 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 155	市道 6093 号線	不明	2018	主桁・床版の全 体が腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 172	市道 7001 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 173	市道 7002 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
取手市 (茨城県)	ごうきょう 216号橋	市道 2-5273 号線	不明	2017	A2 橋台の下部工 が傾斜、主桁の 傾斜	全面通行止	撤去予定
つくば市 (茨城県)	あづまばし 吾妻橋	4-2231号 線	1976	2015	橋台に ASR と考 えられる亀甲状の ひびわれ	全面通行止	撤去予定
				2020			
つくば市 (茨城県)	15620-1号橋	1-5620号 線	1968	2017	G1,G3 主桁、A2 横桁、デッキ PL の 腐食	敷鉄板の設置 (通行可能)	架替予定
				2019	主桁、横桁、デッ キプレート床版が 腐食により欠損		
つくば市 (茨城県)	53032-1号橋	5-3032号 線	1962	2018	P2パイルメントが A1橋台側に傾斜	仮設材を設置 し全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	53312-1号橋	5-3312号 線	1978	2018	P1, P2橋脚の洗 掘。基礎木杭が 露出	仮設材を設置 し全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	32262-1号橋	3-2262号 線	1964	2018	P1 橋脚が腐食・ 断面欠損	仮設材を設置 し全面通行止	架替予定
				2022			
常陸大宮市 (茨城県)	10695-1号橋	市道 10695 号線	不明	2021	主桁・床板が腐 食により破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	たつめさわはし 辰目沢橋	市道 30011 号線	不明	2022	主桁・床板が腐 食により破損(単 純鋼 H 型橋・床 板は木材)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	ごもくいちはし 五目板橋	市道 30363 号線	不明	2022	主桁・床板が腐 食により破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	やま かみばし 山ノ神橋	市道 30102 号線	不明	2022	主桁・床板が腐 食により破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
稲敷市 (茨城県)	104号橋	市道 (新)1223号 線	不明	2016	下部工、支承の 腐食	全面通行止	撤去予定
城里町 (茨城県)	1-3号橋	町道 1222 号線	1985	2018	木部材全体が腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	1-26	町道 1462 号線	不明	2018	主桁・床版に著し い腐食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	3-18	町道 3239 号線	不明	2018	床版に腐食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	1068	町道 8-09 99号線	不明	2018	床版に腐食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	1066	町道 8-11 00号線	不明	2018	主桁全体に腐食	仮設材を設置 し全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
城里町 (茨城県)	1-6号橋 <small>ごうきょう</small>	町道 1185 号線	不明	2022	下部工の移動	全面通行止看板設置及び防護ロープ設置	未定
大子町 (茨城県)	5021号橋 <small>ごうきょう</small> (後沢橋) <small>うしろさわばし</small>	町道5010 号線	不明	2019	P1 橋脚の支柱の欠落、橋脚付近の橋面の沈下	仮設材を設置し全面通行止	未定
栃木市 (栃木県)	牛落橋 <small>うしおちばし</small>	市道 14019 号線	1976	2018	橋脚基礎部の洗堀沈下に伴う床版の段差	迂回路設置後、通行止	架替予定
茂木町 (栃木県)	床の沢橋 <small>とこ さわばし</small>	町道床の沢 放線	1969	2020	橋脚に洗堀、剥離・鉄筋露出	通行止め	撤去予定
茂木町 (栃木県)	大橋 <small>おおはし</small>	町道山崎元 古沢線	1963	2020	A1 橋台の胸壁と堅壁の分離、胸壁の移動	通行止め	撤去予定
前橋市 (群馬県)	粕川10号橋ささら <small>かすかわ ごうきょう</small> 橋 <small>はし</small>	市道 21- 4331 号	1994	2019	主桁の腐食による断面欠損、横桁・横構の断面欠損・破断	全面通行止	架替中
前橋市 (群馬県)	江田橋 <small>えだはし</small>	市道 16-017 号	不明	2019	主桁の歪み、橋脚の減肉	全面通行止	撤去予定
中之条町 (群馬県)	吾嬭橋 <small>あづまばし</small>	町道小雨生 須線	1962	2020	縦桁に著しい腐朽が見られるため。	バリケードによる完全封鎖	未定
東吾妻町 (群馬県)	3-12号橋(鳴瀬 <small>ごうきょう</small> 橋) <small>なるせ</small> <small>はし</small>	町道 3006 号線	1935	2020	主桁のひびわれ等上部構造全体に顕著な損傷が認められる。	仮設ガードレール設置(全面通行止)	撤去予定
みなかみ町 (群馬県)	宝川橋 <small>たからがわばし</small>	町道藤原 102 号線	1958	2018	橋脚、橋台の剥離・鉄筋露出による断面減少、支承の機能障害	全面通行止	撤去予定
川越市 (埼玉県)	第25号橋 <small>だいごうきょう</small>	市道 3035 号線	不明	2019	主桁、床版、路面の腐食、橋台下部工の傾斜	仮設材の設置(全面通行止)	未定
川口市 (埼玉県)	鬼澤橋 <small>おにざわばし</small>	市道幹線第 28 号線	1958	2022	橋台の傾き	根固め工等を施工	架替予定
行田市 (埼玉県)	9-27号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 9.3- 89 号線	1933	2020	橋脚の沈下・移動・傾斜	仮設材を設置し、全面通行止め	未定
行田市 (埼玉県)	3-9号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 3.3- 193 号線	不明	2021	橋脚の鉄筋腐食及び破断	仮設材を設置し、全面通行止め	修繕予定
行田市 (埼玉県)	5-21号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 5.3- 330 号線	不明	2021	緊急に措置を講ずべき状態	仮設材を設置し、全面通行止め	修繕予定
行田市 (埼玉県)	7-30号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 7.3- 49 号線	不明	2021	床版の剥離・鉄筋露出・ひびわれ、鉄筋の腐食・破断認	仮設材を設置し、全面通行止め	修繕予定
加須市 (埼玉県)	加_4018号橋 <small>かごうきょう</small>	市道 4009 号線	1940	2016 2020	下部工の鉄筋露出 橋脚の鉄筋露出	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	加_6048号橋 <small>かごうきょう</small>	市道 6313 号線	不明	2016 2022	下部工の変形欠損 橋台の欠損	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
加須市 (埼玉県)	おおごうきょう 大130号橋	市道大2117 号線	不明	2016	主桁・床版のひびわれ、鉄筋露出、うき	全面通行止	未定
				2020	床版の鉄筋露出		
加須市 (埼玉県)	おおろっけんばし 大六軒橋	市道大2122 号線	不明	2017	主桁ウェブおよび下フランジに腐食による断面欠損	全面通行止	未定
				2022	主桁の破断		
加須市 (埼玉県)	おおとねごうきょう 大利根112号橋	市道大2040 号線	不明	2018	堅壁に傾斜が見られる	全面通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	ひかげごうきょう 日影3号橋	市道4-117 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて通行止め	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえこうちごうきょう 前耕地1号橋	市道4-177 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて通行止め	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	うねさぎごうきょう 畝杉1号橋	市道4-335 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて通行止め	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	きわむこうばし 沢向橋	市道4-431 号線	1969	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて通行止め	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	もりまえごうきょう 森の前2号橋	市道4-434 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて通行止め	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえこうちごうきょう 前耕地2号橋	市道4-174 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて通行止め	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	かわむこうごうきょう 川向1号橋	市道4-202 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて通行止め	撤去予定
鴻巣市 (埼玉県)	ごうせんごうきょう 2249号線1号橋	市道川2249 号線	不明	2022	ひびわれ、舗装の異常	仮設材を設置して、通行止め	未定
鴻巣市 (埼玉県)	ごうせんごうきょう 2272号線1号橋	市道川2272 号線	不明	2022	ひびわれ、剥離・鉄筋露出	仮設材を設置して、通行止め	未定
越谷市 (埼玉県)	しめきりばし べ切橋	市道60831 号線	1937	2020	橋脚基礎部の浸食	2021.5月にバリケード設置し、全面通行止め	修繕中
朝霞市 (埼玉県)	はまさきりつぎょう 浜崎陸橋	市道2168 号線	1971	2022	防護柵の広範囲にうき	地覆の剥落が確認できたため、緊急的な叩落し及び防錆を実施した。	修繕中
坂戸市 (埼玉県)	はちまんばし 八幡橋	市道1449 号線	2007	2022	橋脚などの木材腐朽	全面通行止め	撤去中
伊奈町 (埼玉県)	こかいとばし 小貝戸橋	町道第2185 号線	不明	2018	主桁の腐食・床版のひび割れ等	全面通行止	修繕予定
神川町 (埼玉県)	ごうはし 12154-1号橋	町道12154 号線	不明	2017	主桁、横桁の大部分が腐朽している	全面通行止	撤去中
寄居町 (埼玉県)	ごうきょう 7051号橋	町道7523 号線	不明	2022	主桁：腐朽 床版：腐朽、部材の損失	全面通行止め	撤去予定
松伏町 (埼玉県)	まつぶしだいら 松伏第2歩道橋	町道2-19 1号線	1972	2022	横桁・支承等の鋼材に著しい腐食	通行止め	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
市原市 (千葉県)	かんたくはし 干拓橋	市道イ-220 号線	1957	2020	橋脚：剥離鉄筋 露出 基礎：沈下・移 動・傾斜	全面通行止め	撤去予定
流山市 (千葉県)	あまやばし 尼谷橋	平方区画4 7号線	不明	2016	木製主桁・木製 床版・木製下部 工の腐朽	通行規制(車 両)	撤去予定
君津市 (千葉県)	おつばらばし 追原橋	市道黄和田 畑、追原線	1971	2018	歩行者用の木橋 の吊橋で塔柱の 腐食による機能 不全。	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	いずみばし 泉橋	市道六手、 玄蕃松線	1970	2018	鋼桁の著しい腐 食による断面欠 損、変形。上部工 の沈降。	バリケード設 置(全面通行 止)	撤去予定
君津市 (千葉県)	ながうらばし 長浦橋	市道奥米、 大鹿倉線	1955	2018	歩行者用の吊橋 で鋼桁の腐食に よる機能不全。	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	まさき ぎょうばし 正木1号橋	市道正木・ 奥米線	1932	2018	RC床版や下部 構造に損傷	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	なごのこせんきょう 名殿跨線橋	市道名殿、 音坊谷線	1936	2022	主桁の腐食、横 桁の破断等	全面通行止	撤去予定
印西市 (千葉県)	しもい ぎょうきょう 下井2号橋	市道下井 2124号線	1971	2017 2022	主桁・橋脚の破 損	仮設材の設置 (通行止め)	機能変更中
いすみ市 (千葉県)	おいけおほはし 小池大橋	市道 0130 号線	1975	2017 2022	ウェブの孔食	10t車両規制	修繕中
いすみ市 (千葉県)	ほそどはし 細戸橋	市道 5072 号線	1955	2018	主桁及び横桁の 腐食防食機能の 劣化	仮設材の設置 (通行規制(3t))	架替中
酒々井町 (千葉県)	いづみばし 飯積橋	町道 3B- 162号線	不明	2016 2021	主桁の腐食支承 の腐食、支承の 機能障害	主桁仮受け材 の設置(大型 車両制限)	撤去予定
長南町 (千葉県)	だいいちみやまはし 第一宮前橋	三級町道小 生田22号 線	1963	2019	A1 橋台のパイル ベント欠損	全面通行止	修繕中
中野区 (東京都)	むつみはし 睦橋	区道 25-80 号	1966	2017	床版の剥離・鉄 筋露出、鉄筋の 一部は破断	他の部材は補 修されている ため供用を継 続	架替中
あきる野市 (東京都)	あじろはし 網代橋	市道 I -11 号線	1933	2021	P2 橋脚に洗掘、 沈下・移動・傾 斜、主桁が浮上	網代橋前後の 交差点まで全 面通行止め (車両及び歩 行者)	架替予定
檜原村 (東京都)	したなかさとはし 下中里橋	村道第53-1 号中里線	不明	2022	橋台のひびわ れ、遊離石灰、崩 落	落橋のため通 行不能	未定
大島町 (東京都)	ゆのはまばし 湯の浜橋	元町漁港線	不明	2018	コンクリートの剥 落・鉄筋の露出、 腐食、破断・橋台 裏の洗掘	洗掘部をコン クリートで補修 し、主桁を覆う ように仮設橋 を設置した(通 行可能)	架替予定
三浦市 (神奈川県)	ぎょうきょう 29号橋	市道 1108 号線	不明	2018	主桁、横桁、床版 及び支承の腐食	補修・補強	架替中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
長岡市 (新潟県)	むめいはし 無名橋A1439	市道二和 125号線	2010	2021	機能支障	仮設材を設置 し、通行止め	撤去予定
長岡市 (新潟県)	むめいきょう 無名橋1号橋 (A70202)(A1914)	市道宮内 202号線	1952	2022	下部構造の変 形、欠損	全面通行止	撤去予定
柏崎市 (新潟県)	しまだばし 島田橋2	市区町村道 (その他) 柏 崎門出島田 線	1965	2019	橋台の剥離	全面通行止	未定
新発田市 (新潟県)	つのつぐりばし 角造橋	市区町村道 (その他) 蔵 光中森線	1969	2019	主桁および支 承の腐食	仮受け材の設 置(全面通行 止)	撤去中
新発田市 (新潟県)	にのうじさんどうせん 二王子参道線 1号 きょう 橋	市区町村道 (3級) 二王 子参道線	不明	2022	主桁の丸太に腐 食による空洞	全面通行止	未定
小千谷市 (新潟県)	わかみやばし 若宮橋	市区町村道 (その他) 岩 間木1号線	1998	2022	主桁及び床版の 腐朽	バリケードを設 置し、全面通 行規制	廃止予定
十日町市 (新潟県)	たぬきわばし 狸沢橋	市区町村道 (2級) 樽沢 滝沢線	1977	2022	橋梁前後のブロ ック積の基礎部 分の地山が崩落 し、ブロック積が 宙に浮いた状況	全面通行止	未定
村上市 (新潟県)	かわしたこばし 川下小橋	市区町村道 (2級) 中小 屋線	不明	2019	主桁の腐食	車両通行止	架替中
村上市 (新潟県)	かわいり 川入1号橋	市区町村道 (その他) 河 内14号線	不明	2019	主桁および床版 の腐食	全面通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	おおたにがわだいいちばし 大谷川第一橋	市道上角間 線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
糸魚川市 (新潟県)	あらかわばし 荒沢橋	市道荒沢線	1966	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
妙高市 (新潟県)	すぶんどうばし 寸分道橋	市区町村道 (その他) 大 濁寸分道線	不明	2021	機能支障	全面通行止	未定
妙高市 (新潟県)	むめいきょう 無名橋109号	市区町村道 (その他) 上 の山中江沢 線	不明	2022	主桁の亀裂・破 断	通行止め規制	未定
魚沼市 (新潟県)	むめいきょう 無名橋1	市区町村道 (その他) 高 側3号線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
弥彦村 (新潟県)	きたゆかわ 北湯川3号橋	市区町村道 (その他) 観 音寺北湯川 線	1981	2022	主桁のひび割れ 及び桁同士段差 等	看板、バリケ ード等設置に よる通行規制	未定
阿賀町 (新潟県)	おおおばし 大尾橋	町道(2級) 滝首線	1970	2020	支承の機能障害	バリケードを設 置し全面通行 止め	未定
阿賀町 (新潟県)	こあらいばし 小荒井橋	町道(その 他) 向小荒 線	1968	2020	床版の抜け落 ち、支承部アン カーボルトの折 損	バリケードを設 置し全面通行 止め	未定
湯沢町 (新潟県)	さかいばし 境橋	市区町村道 (その他) 貝 掛二居線	1952	2018	機能支障	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
関川村 (新潟県)	おおりざわぼし 大里沢橋	市区町村道 (その他)九ヶ谷郷2号線	1968	2019	主桁および床版の腐食	全面通行止	未定
関川村 (新潟県)	あらたにざわぼし 荒谷沢橋	市区町村道 (その他)九ヶ谷郷57号線	1938	2020	主桁の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	バリケードを設置し全面通行止め	撤去予定
関川村 (新潟県)	ふき きわそくどうきょう 吹ノ沢側道橋	市区町村道 (1級)高田湯沢線	1984	2022	R4.8月豪雨災害により被災。橋台の取付擁壁及び護岸の崩落や背面盛土の浸食	全面通行止	未定
富山市 (富山県)	すなくらだにぼし 砂蔵谷橋	蟹寺加賀沢線	1972	2017 2021	主桁・対傾構の変形	全面通行止	撤去予定
富山市 (富山県)	やまぶきぼし 山吹橋	高熊八尾線	1955	2017 2020	主ケーブルの破断・断面減少	全面通行止	撤去中
富山市 (富山県)	かめいわぼし 瓶岩橋	松ノ木横江線	1972	2018	支承の破損、橋台のひび割れ	バリケードを設置し全面通行止(H27より)	撤去予定
富山市 (富山県)	くりすぼし 栗須橋	栗須中山線	1958	2021	橋脚の洗堀、支承部の剥落・鉄筋露出	全面通行止	未定
魚津市 (富山県)	つきがたぼし 月形橋	有山2号線	1966	2017 2022	支承部の腐食、沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市 (富山県)	つきがたぼし 月形橋	旧県道栗山月形橋線	1966	2017	支承部の腐食、沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
砺波市 (富山県)	むめいきょう 無名橋546	前山線	1983	2017	床板の変形	通行規制(損傷部)	修繕予定
立山町 (富山県)	むめいきょう 無名橋40	町道下金剛寺金剛新線	不明	2021	機能支障	仮受け材の設置(全面通行止)	架替予定
小松市 (石川県)	むめいきょう 無名橋7009	市道尾小屋新丸線	不明	2015	上部工、下部工の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去中
小松市 (石川県)	さかい ぼし 橋	市道江指町勘定線	1926	2018	主桁の腐食・欠損	バリケードを設置し全面通行止	架替中
白山市 (石川県)	おぞうおほし 尾添大橋	中宮尾添線	1973	2018	橋台基礎における地盤崩落	バリケードを設置し全面通行止	撤去予定
白山市 (石川県)	ごみじまぼし 五味島橋	ダム1号線	1979	2018 2021	主桁の座屈	バリケードを設置し全面通行止	撤去中
小浜市 (福井県)	せざかきょう 勢坂橋	市道勢坂線	1955	2018	主桁に鉄筋破断を伴う剥離・鉄筋露出が生じている	全面通行止	撤去予定
池田町 (福井県)	ごうきょう あらたにぐちぼし 41号橋 荒谷口橋	月ヶ瀬芋ヶ平線	1966	2022	橋台躯体中央部石積みの消失、路面沈下	2巡目点検の現地踏査において緊急に措置を講じるべき損傷を確認したため、2022.5月に通行止めを実施	架替中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
山梨市 (山梨県)	ほそいりさわはし 細入沢橋	円川線	1973	2021	木床版に腐朽、横桁に孔食を伴う腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	えんがわはし ごと 円川橋3号	31044号	不明	2021	縦桁の干割れや腐朽、木床版の腐朽や抜け落ち、主ケーブルやケーブルアンカーに腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	あおざきはし 青笹橋	31052号線	1969	2021	縦桁・木床版の腐朽・抜け落ち、主塔にひびわれ・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
大月市 (山梨県)	あらぐらはし 新倉橋	市道新倉橋線	1971	2019	主要部材の断面欠損	全面通行止	撤去予定
甲州市 (山梨県)	ゆのきはし 柚木橋	下柚木1号線	1982	2022	木製の床版と床組の一部が腐朽、主塔や主ケーブルの吊り材に点錆の広がりが見られる。	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	つぼかわはし 坪川橋	市道鬼無里南128号線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	やせうね ごと 矢背畝1号橋	市道戸隠北67号線	2000	2017	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	にれぎ ごと 楡木1号橋	市道戸隠北400号線	1996	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	50085 ごと 50085号橋	市道若穂東458号線	1970	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	さわじりはし 沢尻橋	市道中条36号線	1978	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	た いりはし 田ノ入橋	市道中条70号線	1980	2017 2022	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	うめきあらい ごと 梅木新井1号橋	市道中条296号線	1975	2017 2022	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	しののいきた ごと 篠ノ井北47号橋	市道篠ノ井北215号線	不明	2020	橋脚に腐朽	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	まごめはし 孫女橋	市道信州新町127号線	1975	2020	橋台転倒および床版崩落の恐れあり	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	おおかわはし 大川橋1	市道戸隠北67号線	2000	2020	木床版に腐朽・抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	おかだかわしもはし 岡田川下橋	市道東田沢通明小線	1930	2021	木床版に抜け落ち	全面通行止	修繕予定
松本市 (長野県)	しまじまだに ごと 島々谷5号橋(30005)	市道島々5号線	1965	2014 2019	上部構造の腐食、下部構造の変形、欠損、支承の機能障害	車両通行止め	未定
松本市 (長野県)	ゆかわ ごと 湯川1号橋(30023)	市道沢渡2号線	1935	2014 2019	上部構造の腐食、支承の機能障害	通行規制(4t)	架替中
松本市 (長野県)	やくはし 矢久橋(20052)	市道召田旧道1号線	1950	2014 2019	主桁・横桁の剥離、鉄筋露出、床版の変色、劣化	車両通行止め	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
松本市 (長野県)	ひのきとうげばし 桧峠橋(30028)	市道大野川 1号線	不明	2018	橋全体の腐朽、 床版の一部が腐 朽により脱落	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	まぶねかみばし 馬船上橋(20014)	市道馬船線	1971	2021	空石積み橋台、 支承部が一部崩 壊、床版、舗装に たわみ	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	むめいばし 無名橋(14134)	市道5533 号線	不明	2022	上部工の広範囲 に鉄筋露出膨張 を伴う剥離・鉄筋 露出	全面通行止	架替予定
松本市 (長野県)	はないけばし 花池橋(20061)	市道花池取 出線	1966	2022	下部構造の洗 掘、主桁、床版の 傾斜	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	よどが さわばし 淀ヶ沢橋(20113)	市道淀ヶ沢 支線	1973	2022	主桁に断面欠損 を伴う著しい腐食	車両通行止め	架替予定
諏訪市 (長野県)	むめいきょう 無名橋13	市道48250 号線	不明	2021	防護柵の破損、 下部工の変形・ 欠損	仮受け材の設 置(全面通行 規制)	未定
小諸市 (長野県)	おおくいばし 大杭橋	市道(1級) 0121号線	1964	2017	床板の抜け落ち	全面通行止	修繕中
大町市 (長野県)	いちうだ ごうばし 一字田1号橋	市道一字田 1号線	1995	2022	主桁の腐食、断 面欠損	仮受け材の設 置(通行規制)	未定
飯山市 (長野県)	2-30号橋 ごうきょう	市道2-39 2号線	1962	2021	橋脚支柱基礎(コ ンクリート)の洗掘	バリケードによ る通行止め	未定
佐久市 (長野県)	911号橋 ごうきょう	市道67-053 号線	不明	2020	下部構造の洗 掘、舗装の異常	全面通行止	修繕予定
千曲市 (長野県)	みち ごうせん ごうきょう 道1号線1号橋	市道7-C -041号線	1998	2022	主桁、床版が腐 朽により欠損し、 橋梁にたわみが見 られる。	全面通行止	未定
安曇野市 (長野県)	きしたせん ごうきょう 木下線1号橋	市道明科5 085号線	1970	2016 2021	主桁の腐食、破 断	全面通行止	未定
安曇野市 (長野県)	やしたさわ ごうばし 矢下沢5号橋	市道明科5 143号線	1975	2016 2021	木製床版の抜け 落ち	全面通行止	未定
川上村 (長野県)	つくりおがわばし 作小川橋	村道5005 号線	1982	2020	橋台の背面土砂 流出・洗掘、取付 道路の流出	架け替え工事 中	架替中
佐久穂町 (長野県)	なかおやさわ ごうばし 中親沢2号橋	町道親沢川 線	1986	2022	木橋全体が腐食	全面通行止	未定
立科町 (長野県)	かにはらにごうばし 蟹原2号橋	町道梨ノ木 旧道線	1961	2020	主桁のひびわれ、 支間中央部がたわ んでいる	全面通行止	未定
下諏訪町 (長野県)	うちやましが ゆばし 内山洪の湯橋	町道内山洪 の湯線	2002	2022	橋台(蛇籠)に傾 斜が見られる。	全面通行止	未定
辰野町 (長野県)	0261号橋 ごうばし	町道580号 線	1984	2022	下部工の流失	全面通行止	未定
松川町 (長野県)	3-9橋(120) はし	町道91号 線	不明	2017 2022	橋台の崩落	全面通行止	未定
根羽村 (長野県)	みょうじんばし 明神橋	村道(1級) 幹I-5号 線	1954	2016	主桁・下部工の ひびわれ、鉄筋 露出、うき、漏水 遊離石灰	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
天龍村 (長野県)	ごうきょう 1号橋13	村道打滝打 川島線	1965	2022	終点側主桁(枝 桁)の腐食が激し い	仮設材を設置 して通行帯規 制	未定
上松町 (長野県)	おのがやばし 小野ヶ谷橋	町道肥沢線	1954	2022	床版に腐朽、抜 け落ちが発生	全面通行止	未定
木曾町 (長野県)	おおさわばし ふくしま 大沢橋(福島)	町道大沢線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	やくばみなみばし 役場南橋	町道旧役場 横線	不明	2017	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	ちかみぎわばし 近道沢橋	不明	不明	2021	下部構造が欠損 し、洗掘拡大	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	なかだいらばし 中平橋	不明	不明	2022	落橋	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	あかしおほし 赤塩橋	不明	不明	2022	床版の腐朽 下 部工の沈下	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	ながりばし はらの 永鳥橋(原野2)	町道永鳥線	1989	2022	主桁・床版の変 形・欠損	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	おざわ ごうきょう 小沢3号橋	不明	不明	2022	主桁・下部工の 腐食、床版の腐 朽	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	おぼやし ごうきょう 尾羽林3号橋	不明	不明	2022	主桁の腐食、床 版・下部工の腐 朽	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	おざわ ごうきょう 小沢2号橋	不明	不明	2022	主桁の腐食、床 版の腐朽	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	ざるはし 猿橋	町道(1級) 西野川線	1958	2022	主桁の鉄筋露 出、床版の土砂 化	全面通行止	未定
生坂村 (長野県)	いくさかむら ごうばし 生坂村64号橋	村道東51 号線	1972	2017 2022	主桁の腐食	全面通行止	架替予定
生坂村 (長野県)	いくさかむら ごうばし 生坂村65号橋	村道西498 号線	1974	2022	受台が浮いてお り、上部工が傾き 落橋寸前の状態	全面通行止	廃止予定
生坂村 (長野県)	いくさかむら ごうばし 生坂村66号橋	村道東257 号線	1976	2022	方杖の変形によ り、橋梁全体が不 安定	全面通行止	廃止予定
小谷村 (長野県)	こつがいばし 国境橋	村道湯原北 線	1937	2017	主桁(鋼)の変形	全面通行止	未定
木島平村 (長野県)	さむたねはし 寒種橋	村道木島平 429号線	1971	2017	橋台の洗掘	全面通行止	修繕中
小川村 (長野県)	ぞうべつとうばし 蔵別当橋	村道10-1 0号線	不明	2021	橋面の土砂堆 積、木主桁に腐 朽、上流側の主 桁に異常なたわ み	バリケード及 び通行止め看 板を設置し、 進入規制を行 っている	廃止予定
小川村 (長野県)	うえのだいらばし 上之平橋	村道12-9 号線	不明	2021	木床版の欠損や 踏み抜き	バリケード及 び通行止め看 板を設置し、 進入規制を行 っている	廃止予定
小川村 (長野県)	ももせおくばし 百瀬奥橋	村道32-1 号線	不明	2021	木床版の断面欠 損	バリケード及 び通行止め看 板を設置し、 進入規制を行 っている	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
飯綱町 (長野県)	かまぶちばし 釜淵橋	町道釜淵線	1953	2018	基礎部分洗堀、 防護柵の著しい 損傷	全面通行止	未定
				2022			
飯綱町 (長野県)	いしはらばし 石原橋	町道M3－ 218号線	1975	2022	主桁の腐食による 断面欠損及び 破断	全面通行止	修繕中
高山市 (岐阜県)	ふなとはし 船渡橋	市道中洞2 号線	1952	2015	伸縮装置の脱 落、橋台の変状	全面通行止	未定
				2020			
高山市 (岐阜県)	てんぐはし 天狗橋	市道平湯天 狗橋線	1956	2015	床板、橋脚の鉄 筋露出	全面通行止	未定
				2020			
高山市 (岐阜県)	とくごうはし 徳河橋	市道德河線	不明	2015	主桁の腐食、橋 台の変状	全面通行止	未定
				2020			
高山市 (岐阜県)	むかいばし 向橋	市道中之宿 向線	1952	2017	吊桁の腐朽、床 版の崩落	全面通行止	未定
				2022			
高山市 (岐阜県)	そふだにばし そふ谷つり橋	市道牛丸そ ふ谷線	1961	2017	主塔のひび割 れ、床版の傾き	全面通行止	撤去予定
				2022			
関市 (岐阜県)	あゆとりばし 鮎登里橋	幹2－3号 線	1969	2018	主桁が腐食及び 断面欠損	全面通行止	架替予定
関市 (岐阜県)	ほとじまばし 保戸島橋	6－282号 線	1937	2018	ゲルバー桁ヒンジ 部において、吊 桁の破断及び受 桁の破断により著 しく耐荷力が低下 している。	全面通行止	未定
中津川市 (岐阜県)	ほんきわはし 本沢橋	市道山口5 号線	不明	2021	丸太の腐食、床 版及び舗装の抜 け落ち	単管バリケードにて通行止め 迂回道路の補修	廃止予定
中津川市 (岐阜県)	ふどうばし 不動橋	市道宮の上 下浦線	1958	2022	下部工の洗堀	全面通行止	未定
羽島市 (岐阜県)	すかごうきょう 須賀2号橋	市道小荒井 1丁目3号 線	不明	2015	主桁の腐食	通行規制(車 両)	撤去予定
				2020			
羽島市 (岐阜県)	すかごうきょう 須賀6号橋	市道足近町 7丁目38号 線	不明	2015	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
				2020			
羽島市 (岐阜県)	すかごうきょう 須賀4号橋	市道小荒井 1丁目5号 線	不明	2020	主桁の腐食	全面通行止	未定
可児市 (岐阜県)	だいいちうしろだばし 第一後田橋	市道4062 号線	不明	2022	石積護岸の洗堀	バリケード・フ ェンスの設置 (全面通行止)	架替予定
山県市 (岐阜県)	あなほらばし 穴洞橋	市道51010 号線	1965	2021	下弦材の塗装塗 替え、橋脚の詳細 調査が必要	通行止	修繕予定
山県市 (岐阜県)	むめいはし 無名橋	市道53018 号線	不明	2021	鋼床版の部分取 替え、橋台の石積 みの補修、鋼部材 の塗装塗替え、防 護柵の部分取替 えが必要	通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
海津市 (岐阜県)	しづはし 志津橋	海津33169 号線	1968	2022	床版のひび割れ、桁かかり長の不足、橋台(石積み)のゆるみ	全面通行止	未定
関ヶ原町 (岐阜県)	のだばし 野田橋	町道野田・ 中田線	不明	2017	主桁断面欠損	全面通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	おりもとばし 折本橋	町道春日折 本線	1961	2014 2019	主桁、下部工の 断面欠損	全面通行止 (バリケード)	修繕中
揖斐川町 (岐阜県)	コウゾ ^{ばし} ヒラ橋	町道坂内八 草峠線	不明	2021	橋台背面崩落箇 所の復旧が必要	バリケードを設 置して、通行 止め	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	うじたに ^{ばし} 宇治谷橋	町道久瀬宇 治谷線	不明	2021	橋台背面の埋め 戻しおよび土留 工、主桁および 床版の断面修復、 防護柵の取替え が必要	バリケードを設 置して、通行 止め	撤去予定
富加町 (岐阜県)	かたま ^{ばし} 片町橋	町道加治田 17号線	1969	2022	下部構造の洗掘	全面通行止	未定
白川町 (岐阜県)	おぐら ^{ばし} 小倉橋	町道小倉線	1983	2020	床版、主桁、横桁 の腐食、橋台の ひびわれ、橋脚 基礎の洗掘	全面通行止	架替中
熱海市 (静岡県)	わだはま ^{ばし} 和田浜橋	市道都松和 田川線	1962	2021	主桁、下部構造 の腐食による機 能支障	両側バリケード 設置にて通 行止め	修繕予定
島田市 (静岡県)	むめい ^{きょう} 無名橋583	市道青木田 2号線	1992	2022	主桁の破損脱 落、床版の腐朽、 橋脚のひびわれ	全面通行止	廃止予定
島田市 (静岡県)	おもと ^{ざわ} し ^も 御源沢下橋	市道御源沢 線	1959	2022	主桁の異常なた わみ	全面通行止	架替予定
焼津市 (静岡県)	しんかわ ^{ばし} 新川橋(00533)	市道水産試 験場新川橋 線	1954	2018	主桁の鉄筋露出	ネットフェンス 設置(全面通 行止)	未定
袋井市 (静岡県)	きたあけ ^{ばし} 北明橋	市道彦島2 号線	1955	2016	主桁、床版、支 承の腐食	全面通行止	架替予定
東伊豆町 (静岡県)	しらがわ ^{ばし} 白田川橋	町道稲取片 瀬線	1950	2021	機能支障	全面通行止	架替中
松崎町 (静岡県)	おおひら ^{ばし} 大平橋	町道大平線	不明	2022	主桁、横桁、床 版に著しい腐食、 床版に2方向の ひびわれ	全面通行止	未定
西伊豆町 (静岡県)	うぐす ^{ばし} 宇久須橋	町道柴松ヶ 坂線	1932	2016	主桁の鉄筋露 出、うき	全面通行止	未定
吉田町 (静岡県)	ねんぶつ ^{ばし} 念佛橋	町道塩谷上 川原線	1960	2016	主桁の鉄筋露 出、ひびわれ	全面通行止	撤去予定
豊田市 (愛知県)	ウルシ ^{ばし} シゼ橋	市道稲武ウ ルシゼ橋線	1918	2016 2021	床版の鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
豊田市 (愛知県)	ぐんかい ^{ばし} 郡界橋2	市道稲武郡 界線	1917	2016 2021	主桁、床版の鉄 筋露出	全面通行止	修繕予定
田原市 (愛知県)	かわきたひと ^{ごう} 川北一号橋	市道川向尾 崎線	1979	2022	腐朽により主桁、 床版の抜け落ち	全面通行止	未定
弥富市 (愛知県)	なべた ^{ごう} 鍋田9号橋	鍋田17号 線	不明	2016 2020	主桁、下部工の 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
弥富市 (愛知県)	すえひろはし 末広橋	東末広107号線	1972	2016	主桁の腐食、変形欠損、下部工の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
				2021			
美浜町 (愛知県)	みくさきききょう 富具崎(5)橋	町道 5328号線	不明	2018	主桁に断面欠損を伴う腐食	全面通行止	撤去予定
東栄町 (愛知県)	にえぶわはし 煮淵橋	町道(100)川角名倉線	1976	2019	塔柱のうき	全面通行止	修繕中
東栄町 (愛知県)	ときわはし 常盤橋	町道(154)アセモ立渡瀬線	1932	2019	主桁の格点-腐食,欠損	全面通行止め	撤去予定
東栄町 (愛知県)	むめいはし 無名橋13	町道(162)吐原線	1981	2019	主桁の鉄筋腐食	全面通行止	修繕中
津市 (三重県)	3068-1号橋	市道西蔵王馬藪線	1963	2021	主桁に腐食、床版(路面)に腐食・抜け落ち	全面通行止	未定
津市 (三重県)	204-3号橋	市道大野矢持線	1965	2022	主桁の腐食	全面通行止	未定
津市 (三重県)	くちまえたはし 口前田橋	市道小杉城立溪流線	1979	2022	床版部の腐食・抜け落ち	全面通行止	未定
熊野市 (三重県)	ほそおはし 細尾橋	市道大馬細尾線	不明	2022	床版、横桁に著しい損傷	全面通行止	未定
伊賀市 (三重県)	やがみはし 山神橋	市道印代山神線	1953	2019	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
伊賀市 (三重県)	にしじょうはし 西條橋	市道山神土橋西條線	1960	2021	橋脚に洗堀、橋脚付近の主桁が変形、補強材の剥がれ、支承の変形	全面通行止	修繕中
菰野町 (三重県)	あおたきはし 蒼滝橋	町道湯の山10号線	1932	2016	主桁の腐食による断面欠損	全面通行止	架替中
大台町 (三重県)	さかせたに ぎょうきょう 坂瀬谷2号橋	町道高奈舟木谷線	1978	2020	床版に腐食	全面通行止	修繕予定
大台町 (三重県)	さかせたに ぎょうきょう 坂瀬谷3号橋	町道高山谷線	1975	2020	主桁、床版に腐朽、腐食	全面通行止	廃止予定
度会町 (三重県)	ごろうがせはし 五郎ヶ瀬橋	町道和井野権田線	1925	2017	地覆、高欄の欠損、主桁の鉄筋露出、基礎の洗堀	全面通行止	未定
				2021			
御浜町 (三重県)	こまつはし 小松橋	町道引作線	1970	2020	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
能勢町 (大阪府)	くぼたはし 久保田橋	町道松ヶ下経田線	不明	2017	腐食および橋梁本体たわみ	全面通行止	撤去予定
能勢町 (大阪府)	しろ うら ぎょうきょう 白の浦1号橋	町道白木谷宿野線	不明	2018	下部構造の洗堀により支点が沈下	車両・歩行者等の通行止	修繕予定
岬町 (大阪府)	にいしまがわ ぎょうきょう 新浜川1号橋	町道新浜1号線	不明	2022	主桁の腐食	全面通行止	架替予定
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋351	東部第79号線	不明	2018	主桁・横桁の腐食	バリケード設置及び通行止め掲示(全面通行止)	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋355	東部第88号線	不明	2018	主桁の抜け落ち	バリケード設置及び通行止め掲示(全面通行止)	未定
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋361	東部第362号線	不明	2018	主桁の抜け落ち	バリケード設置及び通行止め掲示(全面通行止)	未定
五條市 (奈良県)	しもだばし 下田橋	霊安寺8号線	1945	2016 2019	主桁の損傷、下部工のひびわれ	通行規制(車両)	未定
宇陀市 (奈良県)	おくのたに ごうきょう 奥ノ谷3号橋	市道宮奥針道線	1955	2018	桁に用いている丸太材が腐朽	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	いたばし イタ橋	市道菟田野124号線	不明	2018	床版の木材が朽ちて一部抜け落ち	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	ふじたばし 藤田橋	市道菟田野317号線	不明	2018	床版の腐朽によって橋面の一部に穴が開いている	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	カマクラばし カマクラ橋	市道下笠間茶白山線	不明	2018	主桁の破損、及び下部工の洗掘	バリケードの設置(全面通行止)	未定
平群町 (奈良県)	いちばら ごうきょう 櫛原1号橋	北槻原・西向196号線	不明	2016 2020	主桁の破断、腐食	通行規制(車両)	未定
黒滝村 (奈良県)	だいくらばし 大黒橋	村道樋口奥線	1969	2021	主桁や横桁に著しい腐食による孔食	通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	さるかいばし 猿飼橋	村道平谷猿飼線	1945	2015 2020	橋脚の変状、支承の機能障害	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	きゅうかわつおおはし 旧川津大橋	村道川津線	1960	2015 2020	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	おおのであいばし 大野出合橋	村道高滝小川線	不明	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	未定
十津川村 (奈良県)	おおびそばし 大檜曾橋	村道大檜曾線	不明	2015 2020	主桁、横桁の腐食	全面通行止	未定
十津川村 (奈良県)	いけあなばし 池穴橋	村道池穴中原橋	1931	2015 2020	主桁、床版の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	なかばらばし 中原橋	村道池穴中原橋	1945	2015 2020	主桁、床版の腐食	全面通行止	廃止予定
十津川村 (奈良県)	ゆのぼらばし 湯之原橋	村道湯之原舟谷線	1934	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
鳥取市 (鳥取県)	ちおかばし 地岡橋	その他市道小河内新田線	不明	2018	主桁、床版の腐朽	全面通行止	未定
鳥取市 (鳥取県)	おおはし 大橋	その他市道上砂見5号線	1994	2018	主桁、床版、横桁の腐朽	全面通行止	架替中
倉吉市 (鳥取県)	ひろせ ごうきょう 広瀬5号橋	広瀬2号線	1962	2018	床版の材質腐食	全面通行止	廃止予定
八頭町 (鳥取県)	かいばらかじや ごうきょう 皆原鍛冶屋2号橋	皆原鍛冶屋線	不明	2022	橋台基礎の洗掘	バリケードを設置し歩行者及び車両を全面通行止めとしている。	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2023.3月末時点)
日南町(鳥取県)	つうてんばし 通天橋	石霞溪線	1929	2015	主桁の腐食	全面通行止	未定
松江市(島根県)	りゅうげんじばし 龍源寺橋	龍源寺線	1988	2022	橋脚横鋼に孔食	全面通行止め(橋の前後に通行止め看板を設置)	未定
益田市(島根県)	ひらかわばし 平川橋	平川線	1938	2018	橋脚基礎の洗掘	全面通行止	撤去予定
雲南市(島根県)	あかし ぎょうばし 明石2号橋	明石線	不明	2022	橋台の洗堀	全面通行止	架替中
雲南市(島根県)	たくのばし 多久戸橋	多久戸線	不明	2022	流出	全面通行止	架替予定
雲南市(島根県)	うじたにばし 宇治谷橋	深野西側線	不明	2022	橋台の洗堀	全面通行止	架替中
吉賀町(島根県)	だいはし 台橋	中村隠居沖線	1973	2015 2020	主桁・横桁の腐食	全面通行止	修繕中
吉賀町(島根県)	とちぎはし 栃木橋	栃木線	1974	2015 2020	主ケーブルの損傷	全面通行止	修繕中
隠岐の島町(島根県)	あい はし 愛の橋	西郷145号線	1956	2017 2022	主桁剥離・鉄筋露出、橋脚剥離・鉄筋露出	全面通行止	架替中
赤磐市(岡山県)	かわせばし 川瀬橋	市道柿坂線	不明	2022	主桁のひびわれ	全面通行止	架替予定
赤磐市(岡山県)	じょうれんかんばら ぎょうきょう 上連神原1号橋	市道上連神原線	不明	2022	主桁のひびわれ	通行規制(車両)	修繕予定
真庭市(岡山県)	なかむらにしばし 中村西橋	市道中村西線	2000	2020	主桁の腐食・亀裂、支承の腐食、下部工の石のはらみだし	全面通行止	撤去中
真庭市(岡山県)	むねすえかみばし 宗末上橋	市道後谷・尾中線	不明	2020	床版(木部材)に著しい腐朽、破断・抜け落ち。横桁に鋼材断面減少を伴う腐食	全面通行止	撤去中
真庭市(岡山県)	のがわばし 野川橋	市道野川線	不明	2022	主桁、床版の腐食、支承部の機能障害	全面通行止	未定
矢掛町(岡山県)	にいやはし 仁井屋橋	町道辻堂線	1964	2021	主桁の腐食、路面の陥没	通行止	架替予定
呉市(広島県)	かもめ ほどろきょう 歩道橋	市道幸町海岸線	1953	2022	横桁の腐食、床版の剥離・鉄筋露出	バリケードによる通行止め	撤去予定
府中市(広島県)	しぎたにはし 鳴谷橋1	市道鳴谷広谷線	1955	2019	上部構造床版の損傷(流失)	仮設材の設置(全面通行止)	撤去予定
萩市(山口県)	しもおおのはし 下大野橋	滝ノ河内線	1963	2017	桁下下面全体に鉄筋露出、腐食による鉄筋の断面欠損。下部構造(橋台)のひびわれ	仮設材の設置(全面通行止)	未定
岩国市(山口県)	みしようばし 御庄橋	御庄1号線	1953	2016	主桁ゲルバー部のひびわれ	全面通行止	撤去中
長門市(山口県)	かみいでばし 神出橋	市道神出線	1963	2016 2021	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
柳井市 (山口県)	かまとぎ ごうきりょう 鎌磨1号橋	河原鎌磨線	1976	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
				2020			
山陽小野田市 (山口県)	だいいちたかちほほし 第一高千帆橋	市道上石井手線	1954	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	断面補修等、通行規制(9t→4t)	修繕中
山陽小野田市 (山口県)	まつがせはし 松ヶ瀬橋	市道松ヶ瀬線	1954	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	未定
				2020			
山陽小野田市 (山口県)	いしまるはし 石丸橋	市道桜川石丸線	1964	2022	下部構造の沈下	路肩規制(張出部の通行制限)	未定
田布施町 (山口県)	かみ 上シガラ橋	法寺坊線	1958	2021	橋台の一部損傷	全面通行止	未定
田布施町 (山口県)	せんぼつはし 千坊橋	竹尾奥線	1959	2021	橋台ひびわれ・亀裂、基礎部の洗掘による欠損	全面通行止	架替中
阿武町 (山口県)	ふじわらはし 藤原橋	町道藤原沼ノ奥線	1970	2019	主桁の腐食による欠損	全面通行止	修繕中
徳島市 (徳島県)	しょうひがしはし 庄東橋	市道庄・中島田東線	1965	2022	主桁の腐食、鉄筋露出および鉄筋の破断	車両通行止め	架替予定
阿南市 (徳島県)	まえじまはし 前島橋	市道伊島前島線	1984	2016	主桁の鉄筋露出、PC鋼材の損傷	全面通行止	修繕中
三好市 (徳島県)	ゆみきばし 弓木橋	旧松舟線	1963	2014	主桁、支承部の腐食、鉄筋露出	全面通行止	修繕中
三好市 (徳島県)	しらかわはし 白川橋	境谷大谷線	1933	2015	主桁、横桁の腐食	全面通行止	撤去中
三好市 (徳島県)	どうとこはし 堂床橋	境谷大谷線	1959	2015	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
三好市 (徳島県)	さかせはし 坂瀬橋	窓小祖谷線	不明	2017	床版部分の腐食	全面通行止	廃止予定
				2021			
三好市 (徳島県)	のろうちばし 野呂内橋	坪尻野呂内線	1959	2017	下部構造物の剥離、洗掘、腐食	全面通行止	廃止予定
				2021			
三好市 (徳島県)	たにおちあいせん ツフ谷落合線 3号橋	ツフ谷落合線	不明	2021	主桁に鉄筋露出・欠損、舗装の異常(土砂化)	全面通行止	廃止予定
上勝町 (徳島県)	なかすはし 中須橋	町道神明葛又線	不明	2016	木床版の腐朽、橋台の崩壊	全面通行止	撤去予定
上勝町 (徳島県)	しもうめきはし 下梅木橋	町道下梅木線	不明	2016	木床版の腐朽	全面通行止	撤去予定
つるぎ町 (徳島県)	きたたにばし 吉良谷橋	町道吉良谷線	1957	2017	鉄筋露出・橋台下部洗掘	全面通行止	撤去予定
				2022			
高松市 (香川県)	よせちばし 寄地橋	市道東谷1号線	1965	2019	下部構造の洗堀	全面通行止	撤去中
観音寺市 (香川県)	かんおんじごくらくはし 観音寺極楽橋	市道上若南線	1933	2015	上下部工の剥離、鉄筋露出	通行規制(二輪・歩行者以外)	架替予定
				2021			

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
観音寺市 (香川県)	かめきんぼし 亀錦橋	市道姫浜上 松線	不明	2021	床版、下部構造 に鉄筋露出・腐 食	通行規制(車 両)	未定
まんのう町 (香川県)	つねかねぼし 常包橋	町道常包橋 線	1933	2016	主桁ゲルバー部 のひびわれ、床 版の鉄筋露出、 支承部の腐食	通行規制(車 両)	撤去予定
				2020			
松山市 (愛媛県)	ゆやま ごうせん ぎょうきょう 湯山19号線1号橋	市道湯山19 号線	不明	2017	木造桁橋(人道 橋)。主桁4本の うち1本に腐朽・欠 損が発生。床版 全体にも腐朽。	全面通行止	撤去予定
				2022			
松山市 (愛媛県)	かしまぼし ぎょうきょう 鹿島橋3号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018	主桁の鉄筋露出	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまぼし ぎょうきょう 鹿島橋5号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018	主桁のコンクリ ート剥離、ひび割れ	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまぼし ぎょうきょう 鹿島橋6号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018	主桁の鉄筋露出	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまぼし ぎょうきょう 鹿島橋7号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018	主桁の鉄筋露出	全面通行止	未定
久万高原町 (愛媛県)	ひらいはし 平井橋	町道平井線	1964	2017	木製縦桁・床版 の腐食及び欠損	全面通行止	修繕中
				2021			
久万高原町 (愛媛県)	おもいちほし 面一橋	町道面一線	1967	2018	橋台の剥離・欠 損、橋脚の剥離・ 鉄筋露出・欠損	全面通行止	修繕中
久万高原町 (愛媛県)	こうなるほし 幸成橋	町道面一線	1981	2018	床版の剥離・鉄 筋露出、支承の 腐食・防食機能 の劣化	全面通行止	修繕中
久万高原町 (愛媛県)	こうなかほし 幸中橋	町道面一線	1981	2018	床版の剥離・鉄 筋露出、主桁の 異常なたわみ	全面通行止	修繕中
室戸市 (高知県)	みなとぼし 港橋	市道湊橋線	1971	2015	主桁、横桁、支 承の腐食	全面通行止	撤去予定
室戸市 (高知県)	さきはまぼし 佐喜浜橋	市道佐喜浜 本線	1929	2017	主桁、下部工に 腐食、剥離・鉄筋 露出 床版に剥離・鉄 筋露出 支承の機能障害	車両侵入防止 柵の設置(歩 行者・自転車 のみ通行可)	架替中
室戸市 (高知県)	きらがわおほし 吉良川大橋	市道本町西 ノ宮線	1936	2017	主桁に腐食、う き、剥離・鉄筋露 出 下部工に腐食、 剥離・鉄筋露出、 沈下	車両侵入防止 柵の設置(歩 行者・自転車 のみ通行可)	未定
室戸市 (高知県)	おきらがわぼし 沖長川橋	市道滝山線	1961	2020	主桁の破断を伴 う鉄筋露出	重量規制	修繕中
安芸市 (高知県)	はちやしきひがしせん ぎょうぼし 八屋敷東線1号橋	市道八屋敷 東線	不明	2018	床版の木材に著 しい腐朽、抜け落 ちが見られる。	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	こうのぼし 河野橋	市道入場線	不明	2018	主桁の木材に著 しい腐朽が見ら れる。また、橋台 に洗堀が見られ る。	全面通行止	廃止予定
				2022			

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2023.3月末時点)
安芸市 (高知県)	いわとせん とうばし 岩戸線4号橋	市道岩戸線	不明	2018	床版に板厚減少を伴う著しい腐食が見られる。	全面通行止	修繕予定
				2022			
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 12号 奈比賀古井線 12号 きょう橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽, 脱落が見られる。	全面通行止	修繕予定
				2022			
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 13号 奈比賀古井線 13号 きょう橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	落橋および橋台が崩落している。	全面通行止	修繕予定
				2022			
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 14号 奈比賀古井線 14号 きょう橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	落橋および橋台が崩落している。	全面通行止	廃止予定
				2022			
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 15号 奈比賀古井線 15号 ばし橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	主桁に移動、床版の木材に脱落が見られる。また、土砂崩れにより埋没している。	全面通行止	廃止予定
				2022			
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 16号 奈比賀古井線 16号 きょう橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽, 脱落が見られる。また支承部に支承の機能障害が見られる。	全面通行止	廃止予定
				2022			
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 7号 奈比賀古井線 7号 きょう橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽, 脱落が見られる。	全面通行止	修繕予定
				2022			
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 8号 奈比賀古井線 8号 ばし橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽, 脱落が見られる。	全面通行止	修繕予定
				2022			
安芸市 (高知県)	みまいやまばし 美舞山橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽, 脱落が見られる。	全面通行止	廃止予定
				2022			
須崎市 (高知県)	みやのこうち とうせん とう 宮ノ川内15号線1号 きょう橋	市道宮ノ川内15号線	不明	2014	木橋の上部構造の腐朽	全面通行止	撤去予定
				2019			
須崎市 (高知県)	おおうら とうせん とうきょう 大浦6号線2号橋	市道大浦6号線	不明	2014	木橋の上部構造の腐朽、床版の抜け落ち、下部工の石積の崩壊	全面通行止	撤去予定
				2019			
須崎市 (高知県)	おおたに とうせん とうきょう 大谷6号線2号橋	市道大谷6号線	1951	2016	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
				2021			
宿毛市 (高知県)	かいそ とうばし 貝礎1号橋	市道山田貝礎線	1979	2018	主桁:断面欠損・板厚減少 下部工:沈下・傾斜・亀裂	全面通行止	撤去予定
土佐清水市 (高知県)	だい なばたけばし 第1菜畑橋	市道川端線	1973	2016	主桁の腐食、断面欠損	全面通行止	修繕中
				2020			
土佐清水市 (高知県)	かのうぎき とうきょう 叶崎2号橋	市道大津南線	1969	2018	主桁:剥離・鉄筋露出 横桁:剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
土佐清水市 (高知県)	かのうぎき とうきょう 叶崎1号橋	市道大津南線	1969	2018	主桁:剥離・鉄筋露出 横桁:剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
土佐清水市 (高知県)	だい なばたけばし 第2菜畑橋	市道菜畑線	1971	2020	主桁の腐食による断面減少	通行止め	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
四万十市 (高知県)	みさとはし 三里橋	市道具同三里線	1963	2017	パイルベント橋脚(鋼管)の腐食	応急処置を行い、通行開放	修繕中
四万十市 (高知県)	かつまおほし 勝間大橋	市道手洗川勝間線	1958	2021	主桁や床版、下部工に鉄筋露出・ひびわれ等	総重量2t規制	修繕中
香美市 (高知県)	いのたにぼし 猪ノ谷橋	市道神池川ノ内線	不明	2021	橋梁の落橋	全面通行止め	廃止予定
馬路村 (高知県)	のぐちぼし 野口橋	村道野口橋線	1953	2017	全耐風索が破断しており、ハンガーロープにゆるみが見られる	全面通行止	未定
本山町 (高知県)	しんごろぼし 新頃橋	町道上関線	1964	2019	橋台背面の取り合わせ護岸の崩落、路面陥没	応急処置を行い、通行開放	修繕予定
大豊町 (高知県)	きゅうよしのがわぼし 旧吉野川橋	町道穴内尾生線	1911	2017 2021	変形・欠損・異状 なたわみ	全面通行止	未定
大豊町 (高知県)	なかうちだにぼし 中内谷橋	町道大滝中内線	不明	2019	A1 橋台の顕著な沈下、移動、傾斜	下部工の開き部に間詰コンクリート施工	修繕予定
土佐町 (高知県)	ゆのきはし 柚ノ木橋	町道柚ノ木線	1971	2015	主索の腐食	全面通行止	修繕中
津野町 (高知県)	むめいきょう 無名橋12	町道茶屋ヶ駄場線	1951	2021	主桁及び横桁に腐食	通行規制(損傷の著しい箇所を封鎖)	廃止予定
四万十町 (高知県)	たいしょうぼし 大正橋	町道吾川線	1928	2016	主桁、縦桁、横桁の腐食	全面通行止	未定
四万十町 (高知県)	しもどうしもついで 下道下津井1号橋	町道下道下津井線	1940	2016 2021	橋台のひびわれ	全面通行止	修繕中
四万十町 (高知県)	せりぼし 瀬里橋	町道田野々瀬里線	不明	2018	主桁の中央部の橋軸上に垂直の貫通ひびわれがある	全面通行止	修繕予定
四万十町 (高知県)	たにごうぼし コヤノ谷1号橋	町道向山線	不明	2018	木でできた主桁部分が腐食し強度不足の恐れがある	全面通行止	架替中
四万十町 (高知県)	しもつさいぼし 下津才橋2	町道大井川西土佐線	1963	2018	主桁下部の広範囲浮いている状態で、主筋も断面欠損を生じる腐食がある	全面通行止	撤去予定
四万十町 (高知県)	つがかわぼし 津賀の川橋	町道津賀の鼻線	1961	2018	下部工が流水により変形・欠損し、支承付近しか残っていない	全面通行止	撤去予定
黒潮町 (高知県)	たちばなぼし 橋橋	町道橋川ミセマチ線	1933	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	通行規制(2t)	撤去予定
黒潮町 (高知県)	こぶしのかわぼし 拳ノ川橋	町道拳ノ川北線	1935	2015 2020	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
柳川市 (福岡県)	しんうえなかのぼし 新上中野橋	市道村中中野線	2002	2022	鋼桁・鋼床版の腐食による板厚減少、横桁の脱落	車両通行止め	架替予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2023.3月末時点)
宮若市(福岡県)	いとだばし糸田橋	市道 糸田・相手無線	1963	2020	橋脚傾き	バリケードを設置し、全面通行止め。	撤去予定
武雄市(佐賀県)	こばごうばし古場4号橋	市道乳待坊線	1976	2022	橋脚の洗掘	車両通行止め	未定
小城市(佐賀県)	あんしんばし安心橋	市道峰・畑田線	1994	2020	下部構造の変形・欠損	全面通行止	架替中
平戸市(長崎県)	やすまんばし安満橋	市道旧大越線	1959	2016 2021	主桁の損傷	通行規制(車両)	廃止予定
平戸市(長崎県)	さかいばし境橋	市道若宮線	1931	2016 2021	主桁、床版、高欄の鉄筋露出	通行規制(車両)	廃止予定
対馬市(長崎県)	しんばし新橋1	市道尾崎郷崎線	不明	2021 2020	主桁の腐食、床版の剥離、鉄筋露出	通行規制(2t)	架替中
対馬市(長崎県)	おおますばし大増橋	市道大増本線	1974	2015 2020	主桁、支承の腐食	通行規制(車両) 通行規制(車両)	修繕中
対馬市(長崎県)	いななかやません ごときり伊奈中山線13号橋	市道伊奈中山線	不明	2022	下部工の沈下、傾斜	通行規制(2t)	修繕中
水俣市(熊本県)	さいわいばし幸橋	市道幸町・牧ノ内線	1965	2020	ラーメン橋脚(無筋構造)の梁下面及び柱に大きな損傷(ひび割れ、断面欠損)	重量規制(5t)	架替中
宇土市(熊本県)	くろばし黒橋	市道(9-182)川越・宮の後線	不明	2015 2019	主桁、床版の腐食、下部工のひびわれ	全面通行止	未定
天草市(熊本県)	よこはまばし横浜橋1	市道横浜 2号線	1988	2021	主桁と横桁に腐食、支承も腐食・機能障害、下部工胸壁に剥離・沈下	全面通行止	撤去中
天草市(熊本県)	ながたばし長田橋	市道軍ヶ浦上線	1989	2021	主桁に鉄筋露出・うき、ハンチ部にうき	全面通行止	架替予定
大津町(熊本県)	いけつるばし池鶴橋	町道八迫線	1970	2022	橋台の欠損	全面通行止	未定
小国町(熊本県)	やまつのはし山角橋	町道山角古屋線	1965	2022	橋台の洗掘、舗装の陥没	全面通行止	廃止予定
水上村(熊本県)	せん ひらばし千が平橋	村道片地横才線	1971	2019	主桁の欠損、鉄筋露出、変形	全面通行止	修繕中
水上村(熊本県)	ゆやまばし湯山橋	村道汗の原下馬場線	1958	2021	P1 橋脚の剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
相良村(熊本県)	しんふかみばし新深水橋	村道新深水線	2005	2020	下部工洗掘	全面通行止め	修繕中
球磨村(熊本県)	だいにやまのかみばし第二山神橋	村道毎床線	1995	2020	主構遊間の異常、主構のひび割れ	全面通行止	修繕中
球磨村(熊本県)	またぐちばし俣口橋	村道釘原線	1966	2020	主構のひび割れ・鉄器露出・うき、A1 橋台基礎の洗掘	A1 橋台基礎を補修して、4t車以上通行止め	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
球磨村 (熊本県)	ももはらばし 桃原橋	村道神瀬大岩線	1968	2021	RC床版の鉄筋露出・うき、橋台の洗堀	全面通行止 (仮設道路設置)	架替中
球磨村 (熊本県)	まるいわけ 丸岩橋	村道神瀬大岩線	1971	2022	下部構造の洗堀	4t車以上通行止め	未定
球磨村 (熊本県)	いわたいちばし 岩尾第一橋	村道井手線	1965	2022	下部構造の洗堀	4t車以上通行止め	修繕予定
球磨村 (熊本県)	つげばし 告橋	村道告線	1960	2022	下部構造の洗堀	4t車以上通行止め	修繕予定
球磨村 (熊本県)	まつばばし 松葉橋	村道神瀬大岩線	1971	2022	下部構造の洗堀、剥離・鉄筋露出	4t車以上通行止め	修繕中
球磨村 (熊本県)	しらばし 白濱橋	村道田野線	1954	2022	支承の機能障害	4t車以上通行止め	廃止予定
佐伯市 (大分県)	きよたきはし 清滝橋	市道河内清滝橋線	1958	2017	主桁・横桁・支承の劣化、腐食	全面通行止	撤去予定
津久見市 (大分県)	ひじろばし 日代橋	市道福良網代1号線	1962	2014 2019	床版の鉄筋露出、主桁の腐食	全面通行止	廃止予定
津久見市 (大分県)	ひじろほどうきよう 日代歩道橋	市道福良網代1号線	1962	2014 2019	床版、主桁の腐食	全面通行止	廃止予定
津久見市 (大分県)	ふくやまばし 福山橋	市道岩屋線	1936	2014 2019	床版の剥離、鉄筋露出、うき	全面通行止	撤去予定
豊後大野市 (大分県)	なかつむればし 中津無礼橋	市道中津無礼合川線	1965	2019	橋脚が無筋の為	通行制限(4t車以上)	架替中
由布市 (大分県)	きかいし 堺橋	市道仁瀬小袋線	不明	2015 2020	主桁、支承の腐食、橋台の洗堀	全面通行止	廃止予定
由布市 (大分県)	しばはらばし 芝原橋	市道中恵宮田線	不明	2015 2020	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
由布市 (大分県)	かんぶらばし 上瀧橋	市道下柿木線	不明	2015 2020	主桁、橋脚の剥離、鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
由布市 (大分県)	はねつばし 壇坪橋	市道東行壇坪岡線	1929	2015 2021	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
由布市 (大分県)	かすかばし 粕掛橋	市道梶屋挾間線	1951	2019	主桁、横桁、床版の剥離、鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
国東市 (大分県)	もとみやばし 元宮橋	市道元宮線	1950	2021	支承の防食機能の劣化・腐食	全面通行止	架替予定
九重町 (大分県)	へいけだにばし 平家谷橋	町道平家山線	不明	2020	袖擁壁の変形・欠損	全面通行止	廃止予定
延岡市 (宮崎県)	ふかたにかわばし 深谷川橋	市道城打扇線	1971	2019	鋼製床版の腐食	通行止	廃止予定
西之表市 (鹿児島県)	たかはまはし 高浜橋	市道鴨女町1号	1974	2022	主桁、横桁、支承部の著しい板厚減少や破断	全面通行止 (看板設置)	修繕予定
薩摩川内市 (鹿児島県)	しらきばし 白木橋	市道手打1号線	1968	2022	全ての支承や主桁端部の鋼材で板厚減少や孔食が見られる。	全面通行止	修繕予定
日置市 (鹿児島県)	あいらばし あいら橋	市道向湯田湯田原	1924	2016 2021	石桁のひびわれ、鋼部材の腐食	車両通行止	撤去予定
奄美市 (鹿児島県)	だいさにばし 第1佐仁橋	市道佐仁35号線	1981	2019	主桁の腐食	全面通行止 (看板設置)	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
始良市 (鹿児島県)	いおせとばし 岩瀬戸橋	市道酒屋段	1961	2017	アーチ石の崩落	全面通行止	未定
天城町 (鹿児島県)	むけがわ ころばし 向川2号橋	町道中地前 塔9号	1966	2021	橋台底面に浮き	全面通行止 (看板設置)	架替予定
伊仙町 (鹿児島県)	かねくはし 兼久橋	町道カネク	1977	2019	主桁の腐食	全面通行止 (看板設置)	未定
沖縄市 (沖縄県)	うちきなばし 内喜納橋	市道東南植 物楽園線	1976	2020	床板の剥離・鉄 筋露出	仮受け材の設 置(通行規制 (車両))	架替予定
宜野座村 (沖縄県)	ごう 1号ボックスカルバ ート3	村道潟原旧 国道線	1967	2017	頂版全体に鉄筋 露出が確認され、 橋梁構造の安全 性が著しく損なわ れている。	全面通行止	未定
				2022			
与那国町 (沖縄県)	しまなかはし 島仲橋	町道ティン ダバナ線	1963	2018	主桁・床板のたわ み、剥離、うき、鉄 筋露出	全面通行止	架替予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2023.7に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【トンネル】

○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	3	3	0	0	0	3	0
都道府県・ 政令市等	13	12	0	1	0	13	3
市区町村	40	17	17	6	19	59	27
合計	56 (75%)	32 (43%)	17 (23%)	7 (9%)	19 (25%)	75	30 (40%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理のトンネルは健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(0箇所)

○ 都道府県・政令市等(3箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2023.3月末時点)
滋賀県	よこやまざいどう 横山隧道	一般県道大 野木志賀谷 長浜線	1923	2022	背面空洞	侵入できない よう門扉設置 済み	未定
奈良県	たかはら 高原トンネル	国道169号	1996	2018	覆工のひびわれ	全面通行止	修繕中
長野県	ねざめトンネル	一般県道上 松南木曾線	2002	2021	覆工の巻厚不足	はく落防止措 置	修繕中

○ 市区町村(27箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2023.3月末時点)
上士幌町 (北海道)	ふじかわ 不二川トンネル	町道糠平線	1955	2018 2021	剥落・漏水・ひび われ	全面通行止	廃止予定
みなかみ町 (群馬県)	たからがわ 宝川トンネル	町道宝川線	1960	2018	覆工(吹付モルタル)の材質劣化	全面通行止	修繕中
君津市 (千葉県)	おくごめ ございどう 奥米3号隧道	市道奥米、 廻田線	不明	2014	激しい崩落、崩落 した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
君津市 (千葉県)	いわ うえざいどう 岩の上隧道	市道坂畑・草 川原線	不明	2014	激しい崩落、崩落 した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
見附市 (新潟県)	とちくぼざいどう 枅窪隧道	椿沢・枅窪線	1956	2019	坑口の崩壊	全面通行止	未定
村上市 (新潟県)	おおききやま 大崎山トンネル	市道府屋碁 石線	1955	2019	本体工の材質劣 化	全面通行止	廃止予定
村上市 (新潟県)	まのうち 間ノ内トンネル	市道府屋碁 石線	1955	2019	本体工の材質劣 化	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2023.3月末時点)
富山市 (富山県)	すなぐら 砂蔵トンネル	市道蟹寺加賀沢線	1977	2018	側壁に段差を伴うひび割れ、坑門ひび割れ	全面通行止	修繕中
白山市 (石川県)	かぜせざいどう 数瀬隧道	市道数瀬2号線	1959	2018	アーチ部のうき、側面壁の欠損	全面通行止 (2004より)	廃止予定
白山市 (石川県)	すすくりずいどう 鈴栗隧道	市道ダム1号線	1979	2018	アーチ部のうき	全面通行止 (1985より)	廃止予定
白山市 (石川県)	しらおさかいずいどう 白尾境隧道	市道ダム1号線	1979	2018	アーチ部の漏水、空洞	全面通行止 (2014より)	廃止予定
伊那市 (長野県)	みお 美和ダム1号トンネル	市道勝間赤の入線	1958	2018	アーチ部のひびわれ	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	あおめき 青抜トンネル	村道下寺湯原線	1962	2022	豆板・漏水	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	ゆばら 湯原2号トンネル	村道下寺湯原線	1958	2022	豆板・ひび割れ	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	ひわだ 日和田1号トンネル	市道近城線	不明	2018	坑門工左肩部にブロック化した浮き	全面通行止	未定
沼津市 (静岡県)	しげでら 重寺トンネル	市道5054号線	不明	2017	左側壁に一部剥離、うき	全面通行止	廃止中
長浜市 (滋賀県)	こほくずいどう 湖北隧道	市道八田部岩熊線	1934	2020	覆工・坑門の材質劣化(浮き、剥離、ひび割れ)、漏水多数	全面通行止	未定
田辺市 (和歌山県)	おうさかずいどう 逢坂隧道	市道近露福定線	1945	2014 2019	覆工コンクリートのひび割れ	全面通行止	修繕中
北広島町 (広島県)	しもやま 下山トンネル	町道下山橋山線	1935	2019	覆工コンクリート、岩盤の剥落、漏水	仮設材の設置 (全面通行止)	修繕予定
下関市 (山口県)	みずたれ 水垂トンネル	市道附野水垂線	1930	2018	壁面の崩落	全面通行止	廃止予定
萩市 (山口県)	えみねずいどう 江舟隋道	市道江舟尻線	不明	2018	覆工に、うき・剥離・剥落	全面通行止	廃止予定
周防大島町 (山口県)	おきうらずいどう 沖浦隧道	出井津海木線	1921	2018	コンクリートの著しい材質劣化による骨材露出、うき	全面通行止	廃止予定
宇和島市 (愛媛県)	たわらつずいどう 俵津隧道	市道野福線	1928	2021	露岩のはく落(素掘りトンネル)	全面通行止	廃止予定
西予市 (愛媛県)	たわらつずいどう 俵津隧道	市道旧町地区349号線	1926	2021	露岩のはく落(素掘りトンネル)	全面通行止	廃止予定
愛南町 (愛媛県)	なかのがわすいどう 中ノ川隧道	町道中川満倉線	1960	2018	覆工コンクリートのはく落	全面通行止	廃止中
宿毛市 (高知県)	すくも 宿毛トンネル	市道与市明野地線	1929	2017	アーチ部のうき、剥離	全面通行止	廃止予定
佐伯市 (大分県)	はちめい 八明トンネル	市道床木海崎線	1955	2017	覆工コンクリートの土砂化、覆工厚の減少	全面通行止	廃止予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2023.7に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【道路附属物等】

○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	4	4	0	0	4	8	2
都道府県・ 政令市等	20	17	0	3	5	25	5
市区町村	8	5	0	3	7	15	4
合計	32 (67%)	26 (54%)	0 (0%)	6 (13%)	16 (33%)	48	11 (23%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の道路附属物等は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(2施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2022.3月末時点)
関東地方 整備局	かめいどえきまえほどうきょう 亀戸駅前歩道橋	国道14号	1970	2018 2022	主桁ゲルバー部 の腐食による欠 損(閉塞済み)	排水機能の改 善・追加、水 分供給経路の 遮断、桁受け 材の設置(通 行可能)	修繕中
関東地方 整備局	はっちようめほどうきょう 八丁目歩道橋	国道4号	1971	2019	デッキプレート、 横桁の腐食・孔 食等	横桁設置・孔 食部 FRP シ ート設置・間 詰コンクリート 打設・橋面防 水工・コンパ ネ、縞鋼板設 置(通行可能)	修繕中

○ 都道府県・政令市等(5施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2022.3月末時点)
大阪府	道路標識	国道423号	不明	2021	柱・基部境界部 の孔食	FRPシート貼 付+根巻コン クリート	架替中
大阪府	道路標識	国道423号	不明	2021	柱・基部境界部 の孔食	FRPシート貼 付+根巻コン クリート	架替中
福岡市	ゆみたまちほどうきょう 弓田町歩道橋	1級市道博 多駅春日原 2号線	1969	2022	F11T 高力ボルト の使用	ボルト落下防 止キャップの 設置	未定
福岡市	みのしまほどうきょう 美野島歩道橋	一般県道桧 原比恵線	1968	2022	F11T 高力ボルト の使用	ボルト落下防 止キャップの 設置	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
福岡市	ひがしわじろほどうきょう 東和白歩道橋	JR 鹿児島本線	1947	2022	F11T 高力ボルトの使用	ボルト落下防止キャップの設置	未定

○ 市区町村(4施設)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
四街道市 (千葉県)	みそら ^{ほどうきょう} 歩道橋	みそら 78 号線	不明	2022	主桁と横桁の取付部の損傷	通行止め及び職員による見回り	未定
阿賀町 (新潟県)	いがしま 五十島スノーシェッド	町道向山戸線	不明	2019	頂版からの漏水および遊離石灰	ゲートを設置し全面通行止	未定
上田市 (長野県)	あおくぼ ^{ほどうきょう} 蒼久保歩道橋	市町村道久保林大屋線	不明	2022	鋼材の腐食による縦桁、床版の劣化	頻繁な監視及び一部通行制限	架替予定
津市 (三重県)	つえきとうざいれん らくほどうきょう	羽所町第11号線	1968	2022	床版部デッキプレート の顕著な腐食・間詰コンクリートの露出	全面通行止	未定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2023.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

① 橋梁

建設年度	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村	合計
1920 以前	15	0	167	614	796
1921	1	0	53	84	138
1922	3	0	66	50	119
1923	6	0	91	94	191
1924	7	0	101	80	188
1925	9	0	136	111	256
1926	45	0	254	205	504
1927	26	0	331	218	575
1928	17	0	369	258	644
1929	21	0	353	248	622
1930	16	0	430	401	847
1931	26	0	470	284	780
1932	55	0	524	334	913
1933	88	0	666	474	1,228
1934	51	0	630	368	1,049
1935	53	0	679	688	1,420
1936	49	0	468	384	901
1937	54	0	581	330	965
1938	51	0	415	283	749
1939	47	0	264	191	502
1940	38	0	222	394	654
1941	62	0	144	156	362
1942	42	0	107	94	243
1943	23	0	110	165	298
1944	8	0	69	60	137
1945	17	0	137	316	470
1946	9	0	83	190	282
1947	21	0	216	213	450
1948	12	0	160	258	430
1949	59	0	215	244	518
1950	59	0	451	1,111	1,621
1951	114	0	584	675	1,373
1952	140	0	637	791	1,568
1953	124	0	942	970	2,036
1954	141	0	1,051	1,454	2,646
1955	194	0	1,452	2,418	4,064
1956	206	0	1,366	1,159	2,731
1957	258	0	1,438	1,550	3,246
1958	388	3	1,924	1,943	4,258
1959	473	21	2,060	2,167	4,721
1960	526	19	2,823	5,374	8,742
1961	606	10	2,852	3,435	6,903
1962	791	15	2,756	3,931	7,493
1963	842	367	2,883	4,032	8,124
1964	890	361	2,868	4,075	8,194
1965	878	140	3,532	8,075	12,625
1966	702	7	3,065	4,573	8,347
1967	689	220	3,441	5,420	9,770
1968	676	1,024	3,538	5,341	10,579
1969	832	225	3,309	5,126	9,492
1970	846	206	3,927	10,898	15,877
1971	895	360	3,894	7,315	12,464

建設年度	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村	合計
1972	980	665	4,600	8,621	14,866
1973	956	856	3,963	9,057	14,832
1974	721	1,086	3,039	7,054	11,900
1975	648	792	3,033	10,731	15,204
1976	491	526	2,606	7,367	10,990
1977	500	582	2,703	7,379	11,164
1978	699	623	3,646	7,764	12,732
1979	743	567	3,196	7,665	12,171
1980	697	620	3,687	10,445	15,449
1981	641	336	3,196	8,150	12,323
1982	562	737	2,713	7,934	11,946
1983	553	596	3,010	7,248	11,407
1984	592	411	2,296	6,170	9,469
1985	525	578	2,801	7,808	11,712
1986	594	418	2,864	6,097	9,973
1987	693	862	2,656	5,822	10,033
1988	670	610	3,019	5,878	10,177
1989	607	449	2,687	4,914	8,657
1990	453	558	2,498	6,406	9,915
1991	440	606	2,656	4,925	8,627
1992	426	653	2,386	4,442	7,907
1993	469	430	2,733	4,781	8,413
1994	482	482	2,396	4,057	7,417
1995	354	422	2,190	3,987	6,953
1996	535	565	2,158	3,868	7,126
1997	380	571	2,062	3,502	6,515
1998	439	396	2,111	3,706	6,652
1999	521	420	2,081	3,233	6,255
2000	543	453	1,953	3,890	6,839
2001	586	351	1,731	3,114	5,782
2002	560	490	1,711	2,802	5,563
2003	475	490	1,606	2,474	5,045
2004	487	260	1,418	2,116	4,281
2005	470	151	1,186	1,781	3,588
2006	431	155	1,176	1,599	3,361
2007	512	183	1,390	1,657	3,742
2008	468	213	1,205	1,338	3,224
2009	488	247	891	1,135	2,761
2010	466	195	985	1,287	2,933
2011	468	160	850	1,109	2,587
2012	436	133	735	946	2,250
2013	469	155	631	845	2,100
2014	380	205	631	912	2,128
2015	276	233	489	813	1,811
2016	220	58	373	752	1,403
2017	244	228	360	694	1,526
2018	192	224	335	628	1,379
2019	182	159	274	485	1,100
2020	141	10	274	450	875
2021	62	91	145	332	630
2022	18	0	94	162	274
不明	1,972	0	29,913	177,202	209,087
総計	39,118	24,239	188,646	477,156	729,159

②トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	0	0	53	103	156
1921	0	0	3	8	11
1922	0	0	0	6	6
1923	1	0	7	5	13
1924	0	0	1	7	8
1925	3	0	0	5	8
1926	1	0	7	10	18
1927	1	0	6	9	16
1928	3	0	9	9	21
1929	0	0	1	12	13
1930	0	0	14	21	35
1931	0	0	6	9	15
1932	0	0	13	8	21
1933	0	0	7	12	19
1934	1	0	12	11	24
1935	3	0	14	16	33
1936	0	0	10	12	22
1937	0	0	6	6	12
1938	1	0	9	6	16
1939	2	0	8	5	15
1940	0	0	3	7	10
1941	1	0	3	10	14
1942	2	0	8	6	16
1943	3	0	6	16	25
1944	2	0	3	6	11
1945	1	0	4	8	13
1946	0	0	1	4	5
1947	1	0	4	5	10
1948	2	0	5	3	10
1949	7	0	3	3	13
1950	5	0	11	14	30
1951	1	0	11	12	24
1952	2	0	12	12	26
1953	2	0	27	24	53
1954	3	0	28	16	47
1955	2	0	51	33	86
1956	5	0	38	20	63
1957	6	1	29	17	53
1958	10	0	57	19	86
1959	8	1	43	17	69
1960	9	0	47	25	81
1961	11	0	42	15	68
1962	24	6	42	15	87
1963	43	8	67	11	129
1964	37	21	38	25	121
1965	45	0	55	20	120
1966	25	0	55	14	94
1967	30	5	71	14	120
1968	32	27	79	23	161
1969	27	16	44	20	107
1970	47	1	56	24	128
1971	38	3	83	27	151

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1972	27	6	91	30	154
1973	18	22	96	32	168
1974	24	24	113	23	184
1975	20	12	73	23	128
1976	10	5	74	20	109
1977	20	33	105	22	180
1978	14	13	98	34	159
1979	18	12	85	33	148
1980	16	37	87	27	167
1981	14	37	87	30	168
1982	17	73	96	17	203
1983	18	28	91	37	174
1984	15	20	79	26	140
1985	17	57	82	32	188
1986	10	60	90	27	187
1987	16	76	97	22	211
1988	19	64	123	23	229
1989	17	60	92	32	201
1990	13	90	118	24	245
1991	20	68	108	12	208
1992	29	67	116	31	243
1993	11	98	127	33	269
1994	27	48	115	21	211
1995	15	33	113	36	197
1996	17	43	130	41	231
1997	22	81	133	60	296
1998	15	59	130	51	255
1999	17	58	117	35	227
2000	15	29	129	34	207
2001	23	46	118	36	223
2002	22	55	121	30	228
2003	24	35	102	33	194
2004	23	49	102	27	201
2005	36	48	82	14	180
2006	40	16	79	11	146
2007	67	26	71	13	177
2008	39	55	65	11	170
2009	57	35	58	11	161
2010	39	25	68	6	138
2011	54	31	59	10	154
2012	55	6	53	4	118
2013	31	35	36	3	105
2014	47	29	51	7	134
2015	51	62	48	10	171
2016	51	9	49	7	116
2017	45	21	39	2	107
2018	28	56	35	7	126
2019	21	17	39	3	80
2020	20	3	16	2	41
2021	14	3	30	2	49
2022	2	0	9	1	12
不明	7	0	19	301	327
総計	1,754	2,064	5,556	2,184	11,558

道路メンテナンス年報データ集目録（HP）

- ・ 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- ・ 全国道路施設点検データベース
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- ・ 管理施設数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検実施数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検結果（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 施設名（国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）